鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事

建　築　工　事

＜　構　造　図　＞

鹿児島市建設局建築部建築課

図面リスト

鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事　建築工事

<構造図>

	通し番号	整理番号	図　面　名　称	A1縮尺
0章		00 － 01	表紙	－
表紙・図面リスト		00 － 02	図面リスト	－
1章		S1 － 01	改修工事特記仕様書構造編	－
特記仕様書				
2章		S2 － 01	溶接開先基準図(1)	－
標準図・要領図		S2 － 02	溶接開先基準図(2)	－
		S2 － 03	溶接開先基準図(3)	－
		S2 － 04	鉄骨標準要領図(1)	－
3章		S3 － 01	第一ホール改修新設部材立体図	－
第一ホール改修図		S3 － 02	第一ホール改修後伏図(1)	1/100
		S3 － 03	第一ホール改修後伏図(2)	1/100
		S3 － 04	第一ホール改修後伏図(3)	1/100
		S3 － 05	第一ホール改修後軸組図(1)	1/100
		S3 － 06	第一ホール改修後軸組図(2)	1/100
		S3 － 07	第一ホール改修後軸組図(3)	1/100
		S3 － 08	第一ホール改修後軸組図(4)	1/100
		S3 － 09	第一ホール改修後軸組図(5)	1/100
		S3 － 10	第一ホール改修後軸組図(6)	1/100
		S3 － 11	第一ホール改修後軸組図(7)	1/100
		S3 － 12	第一ホール改修後軸組図(8)	1/100
		S3 － 13	第一ホール改修下地材配置図(1)	1/50
		S3 － 14	第一ホール改修下地材配置図(2)	1/50
		S3 － 15	第一ホール改修下地材配置図(3)	－
		S3 － 16	第一ホール部材断面表・継手基準図	1/10
		S3 － 17	第一ホール改修鉄骨要領図(1)	1/10, 1/20
		S3 － 18	第一ホール改修鉄骨詳細図(1)	1/10
		S3 － 19	第一ホール改修鉄骨詳細図(2)	1/20, 1/50
		S3 － 20	第一ホール改修鉄骨詳細図(3)	1/20
		S3 － 21	第一ホール改修天井内キャットウォーク支持材配置図	1/100
		S3 － 22	第一ホール改修天井内キャットウォーク支持要領	1/20
4章		S4 － 01	第二ホール改修新設部材立体図	－
第二ホール改修図		S4 － 02	第二ホール改修後伏図(1)	1/100
		S4 － 03	第二ホール改修後伏図(2)	1/100
		S4 － 04	第二ホール改修後軸組図(1)	1/100
		S4 － 05	第二ホール改修後軸組図(2)	1/100
		S4 － 06	第二ホール改修後軸組図(3)	1/100
		S4 － 07	第二ホール改修後軸組図(4)	1/100
		S4 － 08	第二ホール改修後軸組図(5)	1/100
		S4 － 09	第二ホール改修後軸組図(6)	1/100
		S4 － 10	第二ホール改修下地材配置図(1)	1/50
		S4 － 11	第二ホール改修下地材配置図(2)	－
		S4 － 12	第二ホール部材断面表・継手基準図	1/10
		S4 － 13	第二ホール改修鉄骨要領図(1)	1/10, 1/20
		S4 － 14	第二ホール改修鉄骨詳細図(1)	1/10, 1/20
		S4 － 15	第二ホール改修鉄骨詳細図(2)	1/20
		S4 － 16	第二ホール改修鉄骨詳細図(3)	1/20
		S4 － 17	第二ホール改修鉄骨詳細図(4)	1/20
		S4 － 18	第二ホール改修天井内キャットウォーク支持材配置図	1/100
		S4 － 19	第二ホール改修天井内キャットウォーク支持要領	1/20

	通し番号	整理番号	図　面　名　称	A1縮尺
5章		S5 － 01	1階床梁伏図（参考図）	1/100
参考図		S5 － 02	2階床梁伏図（参考図）	1/100
		S5 － 03	3階床梁伏図（下部）（参考図）	1/100
		S5 － 04	3階床梁伏図（参考図）	1/100, 1/200
		S5 － 05	4階床梁伏図（参考図）	1/50
		S5 － 06	5階床梁伏図（参考図）	1/50
		S5 － 07	5階床梁伏図（上部）（参考図）	1/50
		S5 － 08	R階床梁伏図（参考図）	1/50
		S5 － 09	第一ホール棟軸組図-1（参考図）	1/50
		S5 － 10	第一ホール棟軸組図-2（参考図）	1/50
		S5 － 11	第二ホール棟軸組図（参考図）	1/50
		S5 － 12	管理棟軸組図（参考図）	1/50
		S5 － 13	第一ホール棟伏図・軸組図（参考図）	1/50
		S5 － 14	第二ホール棟伏図・軸組図（参考図）	1/50
		S5 － 15	管理棟伏図・軸組図（参考図）	1/50
		S5 － 16	柱符号位置図（参考図）	1/50
		S5 － 17	第一・第二ホール棟　柱断面表（参考図）	1/50
		S5 － 18	管理棟　柱断面表（参考図）	1/50
		S5 － 19	第一ホール棟　大梁断面表（参考図）	1/50
		S5 － 20	第二ホール棟　大梁断面表（参考図）	1/50
		S5 － 21	管理棟　大梁断面表（参考図）	1/50
		S5 － 22	小梁断面表（参考図）	1/50
		S5 － 23	床スラブ、壁断面表（参考図）	1/100
		S5 － 24	鉄骨詳細図-4（参考図）	1/50
		S5 － 25	鉄骨詳細図-5（参考図）	1/50

	通し番号	整理番号	図　面　名　称	A1縮尺

特記仕様書の適用　追補

a.各特記事項の適用に関するルールは、次による。
1)⊙印の付いたものを適用する。
2)※印は、他の選択肢に○印の無い場合に適用する。ただし、※印の内容が「標仕の特仕がない場合の仕様」を示す場合は標仕として扱い、他の設計図書に異なる記載がある場合は、その記載を優先する。
3)◉印は⊙印と同義とする。
4)⊙印と◉印の両方が付いた場合は、両方とも適用する。
b.各章の章・節・項の番号は、公共建築協会編「民間(七会)連合協定工事請負契約約款に適合した　工事共通仕様書　令和5年版　建築工事編」(以下、共仕という)及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下、改修標仕という)の当該番号に対応する。ただし、項番号の頭に“標”を付したものは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下、標仕という)の当該項番号に対応する。
c.章・節・項のタイトル部分に示される注記の意味は、次による。なお、［　］はその章・節又は項の全体に対する注記を示し、［　］は、それを付された項目(号)のみに対する注記を示す。次に例示する。なお、[付加M]等のように、M又はPの文字を付された注記も、その意味はMやPを付されていない注記と変わらない。
1)［置換］:共仕・改修標仕の当該章・節・項の規定全体を特記仕様書(以下、特仕という)の当該規定と置換する。
2)［(b)(2)置換］:共仕・標仕の(b)(2)号の規定を、特仕の当該規定と置換する。
特仕本文で置換内容を示した場合は、［置換］とする場合がある。
3)［付加］:共仕・改修標仕に特仕の当該規定を新規追加する(新設の章・節・項)。
4)［付加］:共仕・改修標仕に特仕の当該規定を号単位で追加する。ただし改修標仕の当該号が明らかな場合は[(c)付加]のように表示することもある。
5)［追補］:共仕・改修標仕にない当該規定を新規追加する(新設の章・節・項)。
d.特仕において、共仕又は改修標仕等の項番号を引用する場合は、“共仕[○、○、○]”、“改修標仕[○、○、○]”等と表記する。
e.共仕、改修標仕及び特仕において、共仕又は改修標仕の項番号等を引用している場合で、引用された共仕又は改修標仕の規定に対して特仕で追加、読替え等を行っている場合は、それらも併せて適用する。
f.特記事項に示す(表・・)(図・・)の番号は、共仕又は改修標仕の当該表又は図の番号を表す。
g.改修標仕及び本特仕の[8章耐震改修工事]の規定は、耐震改修工事のほか、それ以外の構造関連工事にも適用する。ただし、他の特記により適用を除外されるものは除く。
h.特仕の[12章　シックハウス対応]の特記内容と、他の部分の特記内容に相違がある場合は、他の部分の特記が優先する。また、特仕12章と改修標仕の各章の規定に相違がある場合は、特仕12章の規定が優先する。

8章　耐震改修工事

1節　共通事項

8.1.1 一般事項 ［付加］
a.改修標仕8章に示す工事のほか、耐震改修以外の構造改修工事においても、本章を適用する。

8.1.5 鉄骨製作工場
a.鉄骨製作工場の加工能力等
・機器・材料製造者、専門工事業者一覧表に示す鉄骨製作工場
⊙建築基準法施行規則第1条の3第1項の規定に適合する工場として国土交通大臣の認定を受けた鉄骨製作工場とし、次による。
性能評価基準　・S　・H以上　⊙M以上　・R以上
月産製作トン数(　200　)トン以上
その他の条件(　―――　)
・

8.1.6 鉄骨製作工場における施工管理技術者
a.施工管理技術者　※適用する(※鉄骨製作管理技術者2級同等以上　・　)
・適用しない
b.工場製作要領書を作成し、監督職員の承諾を受ける。

8.1.8 設備機器等の移設・仮撤去復旧 ［追補］
a.耐震補強による設備機器の移設、仮撤去復旧は、設計図によるほか、壁面や柱面等の設備類(スイッチ、空調コントローラ、コンセント、テレビ、電話等)の移設、仮撤去復旧は、本工事に含む。

2節　材料

8.2.4 あと施工アンカー
a.あと施工アンカーの種類は次による。
1)金属系アンカー
イ.アンカー本体の径、有効埋込み長さ、引張耐力、せん断耐力及び使用箇所

径(mm)	有効埋込み長さ(mm)	引張耐力(kN/本)	せん断耐力(kN/本)	使用箇所
M16	100	7.93	8.30	全般
M12	80	3.10	4.00	モルタル落下止め

※1 有効埋込み長さとは構造計算上有効な長さをいう。
※2 引張耐力及びせん断耐力は、既往の調査結果に基づき既存躯体コンクリート強度をFc22.5N/mm²として、日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説(2023年版)」[第4編 各種アンカー設計指針]に準拠して算定した数値を示す。
ロ.セットの方式　(　※本体打込み式改良型　・　)
ハ.接合筋の種類、径、長さ　※設計図による　・
2)接着系アンカー
イ.アンカー筋の種類、径、有効埋込み長さ、引張耐力、せん断耐力及び使用箇所

種類	径(mm)	有効埋込み長さ(mm)	引張耐力(kN/本)	せん断耐力(kN/本)	使用箇所
無機系	M16	100	13.0	100	図示による

※1 有効埋込み長さとは構造計算上有効な長さをいう。
※2 引張耐力及びせん断耐力は、既往の調査結果に基づき既存躯体コンクリート強度をFc22.5N/mm²として、日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説(2023年版)」[第4編 各種アンカー設計指針]に準拠して算定した数値を示す。
ロ.アンカーの種類　※カプセル型回転-打撃式(※無機系　・有機系)　・
ハ.アンカー筋の新設壁内への定着長さ
※頭部ナット付きの場合はアンカー筋径の20倍以上、頭部ナットなしの場合はアンカー筋径の30倍以上
⊙設計図による
b.あと施工アンカーの性能確認試験　※実施する　・実施しない
1)試験方法
※日本建築あと施工アンカー協会「あと施工アンカー標準試験法」による。
・
2)試験対象と試験数　※種類及び径ごとに各3本　・設計図による
［付加］c.あと施工アンカーの打設位置決定前に電磁波レーダー探査により、既存鉄筋位置を確認する。

8.2.8 鋼材
a.材質等　※次による　・

種類の記号	使用箇所	名称	備考
STK400	大梁	鋼管	高炉・電炉
SS400	大梁・小梁・ガセットプレート・スプライスプレート・あと施工アンカーボルト	形鋼,鋼板,棒鋼	高炉・電炉
SN400B	大梁	形鋼,鋼板	高炉・電炉
SN490C	通しダイアフラム	鋼板	高炉
SSC400	野縁受下地鉄骨	軽量形鋼	電炉

b.形状、寸法　※設計図による　・
［付加］c.電炉広幅平鋼、電炉鋼板、電炉H形鋼を使用する場合の種類、板厚及び板幅は次による。

鋼材の種類	種類の記号	板厚	板幅
電炉広幅平鋼	SS400,SN400A/B SM490A(CD級,E級) SN490B/C	40mm以下	500mm以下
電炉鋼板	SS400,SN400A/B/C SM490A,SN490B/C	40mm以下	製造者製造可能寸法
電炉H形鋼	SS400,SN400A/B SM490A,SN490B	JIS G 3192 製造者製造可能寸法	JIS G 3192 製造者製造可能寸法

［付加］d.490N/mm²級電炉広幅平鋼は、普通鋼電炉工業会「建築構造用広幅平鋼メーカー規格」の化学成分及び機械的性質を満足するものとする。400N/mm²級電炉広幅平鋼、400N/mm²級及び490N/mm²級電炉鋼板、400N/mm²級及び490N/mm²級電炉H形鋼は、該当する鋼材のJIS規格の化学成分及び機械的性質を満足するものとする。

8.2.9 高力ボルト
a.高力ボルト
◉トルシア形高力ボルト(JSS Ⅱ 09)(大臣認定品) 2種(S10T)
⊙JIS形高力ボルト(JIS B 1186)　2種(F10T) トルク係数値による種類 A
・溶融亜鉛めっき高力ボルト(大臣認定品) 1種(F8T) トルク係数値による種類 A
・防錆処理高力ボルト(大臣認定品)　2種(F10T) トルク係数値による種類 A
b.高力ボルトのネジの呼び　※設計図による　・

8.2.10 溶接材料
a.改修標仕[8.2.10(1)(2)]以外の溶接材料　※なし　・

8.2.12 柱底均し［付加］モルタル及び及びグラウト材(既存躯体取合部)
a.柱底均しモルタル　※無収縮モルタル　・
b.新旧コンクリートの一体化、ひび割れ補修に用いるエポキシ樹脂は、引張強度が8N/mm²以上で、圧入部のひび割れ幅及びその方向を考慮して、適切な粘度を有する材料とする。
c.既存躯体取合部のモルタルはエポキシ樹脂モルタルとする。

8.2.14 鋼材の材料試験等
a.鋼材の材料試験　※行わない
・行う(対象鋼材:　　)
1)試験要領は、改修標仕[8.2.14(1)]による。
b.板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験　※行わない
・行う(対象鋼材:　　)
［付加］c.高力ボルトの材料試験　※行わない　・行う(対象ボルト:　　)
1)材料試験の有無によらず、JISマーク表示認証工場以外の製品を使用する場合は、又－P管理図　を提出する。
2)材料試験を行う場合は、JIS形高力ボルトはJIS B 1186、トルシア形高力ボルトはJSS Ⅱ 09に述べる試験方法に基づいて試験を行う。抜取り数は、監督職員との協議による。

8.2.16 普通ボルト ［付加］
a.ボルト及びナットの材料等　・設計図による　⊙標仕[表7.2.3]
b.普通ボルトのねじの呼び　※設計図による　・
c.戻り止め　※ばね座金　・

8.2.17 ターンバックル ［付加］
a.種類　建築用ターンバックル胴
・設計図による　⊙割枠式　・パイプ式　・
建築用ターンバックルボルト
・設計図による　⊙羽子板ボルト　・
b.ねじの呼び　※設計図による　・

12節　あと施工アンカー工事

8.12.2 あと施工アンカー工事における施工管理技術者 ［付加］
a.施工管理技術者は、日本建築あと施工アンカー協会認定の次の有資格者とする。
※あと施工アンカー技術管理士
・あと施工アンカー主任技士
・

8.12.3 あと施工アンカー工事の作業を行う技能資格者 ［付加］
a.あと施工アンカー作業における技能者は、日本建築あと施工アンカー協会認定の次の有資格者とする。
※第1種あと施工アンカー施工士
・特2種あと施工アンカー施工士
・第2種あと施工アンカー施工士

8.12.4 穿孔
a.埋込み配管等の探査の方法は以下による。
・設計図による　・放射線透過検査　⊙電磁波レーダー検査

8.12.7 施工確認試験
a.あと施工アンカーの施工後の確認試験　※実施する　・実施しない
1)確認試験方法　※引張試験　・
2)1ロットの定義　※1日に施工されたものの径及び仕様ごと
・
3)試験の箇所数　※1ロットに対し3本とし、ロットから無作為に抽出
4)確認強度　・
※アンカーの鋼材による引張荷重とコンクリート破壊による引張荷重(埋込み及びへりあきの影響を受ける場合は低減した荷重)の小さい方の荷重の2/3とする。接着系の場合は、付着破壊の荷重も考慮する。
・

13節　鉄骨工作

8.13.2 鉄骨の工作図
a.高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等は以下による。
※設計図による　・
b.工作図の作成に先立ち、受注者は既存躯体の位置、ホール内周壁躯体の位置を実測し、工作図に反映する。
［付加］c.型板・定規の確認を行う。対象部位は代表箇所全般とし、実施時期は工作図検討段階とする。

8.13.3 製作精度 ［付加］
a.製作精度　※JASS 6 (付則6)(鉄骨精度検査基準)による
・
［付加］b.既設コンクリートへ打ち込まれたあと施工アンカーへ直接接合される鉄骨の接合ボルト及び孔位置は、現地採寸により決定する。

8.13.8 ボルト孔
a.母屋又は胴縁の取付けに使用する普通ボルトの孔径
※ねじの呼び径+1.0mm
［付加］b.野縁受下地鉄骨の取付に使用する普通ボルトの孔径はねじの呼び径+1.0mmとする。

8.13.10 仮組
a.仮組
※行わない

8.13.12 検査 ［追補］
a.一般事項
1)検査は、JASS6(検査)により行い、鉄骨製作工場による社内検査及び受注者による中間検査、受入検査を行う。
2)受注者による中間検査、受入検査の検査員は、受注者側AW検定委員、鉄骨製作管理技術者1級(鉄骨技術者教育センター)、又は鉄骨工事管理責任者(建築鉄骨品質管理機構)と同等以上の資格を有する者で、同規模の工事実績を有する者とし、監督職員が認めた者とする。
3)突合せ継手の食い違い及び仕口部のずれの測定要領は、建築研究所監修「突合せ継手の食い違い、仕口部のずれの検査・補強マニュアル」による。また、許容差を超えた箇所及びそれを含む製品の扱いは、監督職員との協議による。
b.中間検査
1)中間検査は、工場ごと、節ごとの初品完成時に、各加工段階の製作途中の部材及び初品完成品に対して、JASS 6[付則6](鉄骨精度検査基準)の各項目及び製作要領書の内容について確認を行い、監督職員に報告する。
c.受入検査
1)部材精度の受入検査方法は、JASS6　[付則7](寸法精度受入検査基準)による次の検査とする。
※書類検査+対物検査2　・書類検査+対物検査1
2)寸法精度検査における検査項目は、JASS6 10.2 社内検査(2)による。
上記項目以外の検査項目:(　　)
3)溶接部の受入検査方法は、8.15.12による。
4)受入検査は受注者等の発注とし、その費用は受注者等の負担とする。

14節　高力ボルト接合

8.14.1 一般事項 ［置換］
a.この節は、トルシア形高力ボルト、JIS形高力ボルト、溶融亜鉛めっき高力ボルトによる摩擦接合に適用する。
b.溶融亜鉛めっき高力ボルト接合は、改修標仕[8.20.5]を適用する。

8.14.2 摩擦面の性能及び処理 ［(a)置換］
a.摩擦面は、すべり係数値が0.45以上確保できるよう、ミルスケールをディスクグラインダー掛け、ショットブラスト又はグリッドブラスト等により、摩擦面全面を除去したのち、一様に錆を発生させたものとする。
［付加］b.溶融亜鉛めっき高力ボルトの摩擦面の処理　※ブラスト処理　・
c.すべり係数試験
トルシア形高力ボルト　※行わない　・行う(判定基準:μ=0.45以上)
JIS形高力ボルト　※行わない　・行う(判定基準:μ=0.45以上)
［(3)付加］トルシア形超高力ボルト　・行わない　※行う(判定基準:μ=0.45以上)
［(3)付加］溶融亜鉛めっき高力ボルト　※行わない　・行う(判定基準:μ=0.40以上)
［(3)付加］防錆処理高力ボルト　・行わない　※行う(判定基準:μ=0.45以上)
［付加］d.試験方法、試験片の摩擦面の状態
※日本建築学会「高力ボルト接合設計施工ガイドブック」による
・

8.14.5 締付け施工法の確認 ［付加］
a.ボルト長さがねじの呼び径の5倍を超える場合は、導入張力試験を行う。

8.14.7 締付け
a.JIS形高力ボルトの長さがねじの呼び径の5倍を超える場合の回転量
※8.14.5 a.　の結果による　・

15節　溶接接合

8.15.2 溶接作業における施工管理技術者 ［(2)置換］
a.溶接作業における施工管理技術者の資格
※鉄骨製作管理技術者2級以上またはWES2級以上
・

8.15.3 溶接作業を行う技能資格者
a.技量付加試験
※行わない

8.15.4 溶接の準備
a.開先形状　※設計図による　・

8.15.7 溶接施工[(1)(h)(b)①置換]
a.エンドタブの切除部位
※配筋上支障となる部分
・見え掛り部(　　)
・柱梁仕口部(　　)
⊙大梁勾配変化部の通しダイアフラムとフランジの溶接部
［付加］b.エンドタブの切除部の仕上り程度
※エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から、1～5mm残して、部材断面を欠損しないように直線状に切断する。切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。また切断面は、グラインダー掛けにより、粗さ100μmRz程度以下及びノッチ深さ1mm程度以下に仕上げる。

(適用部位:配筋上支障となる部分　　)
・エンドタブ、裏当て金等は、切除のうえ、部材断面を欠損しないように切断面をグラインダー掛けによりにより仕上げる。適用部位、仕上げの程度は、次による。
(適用部位:　　)
(仕上げの程度:　　)
c.板厚が異なる完全溶込み溶接突合せ継手の形状
・低応力高サイクル疲労を受ける部位(適用部位:　　)
・
d.完全溶込み溶接部のスカラップ形状
工場溶接　※ノンスカラップ工法
・複合円型スカラップ工法
・
工事現場溶接　※複合円型スカラップ工法
・ノンスカラップ工法
・反転スカラップ工法(梁端工事現場溶接のみ)
・
［付加］e.溶接施工試験
※行わない
・行う(試験内容:　　)
溶接施工試験を行う場合は、事前に溶接施工試験要領書を作成し、監督職員の承諾を受ける。
［付加］f.溶接ロボットによる溶接施工試験
使用する溶接ロボットが日本ロボット工業会の建築鉄骨溶接ロボット型式認証範囲外の溶接施工をする場合、本工事の施工条件を踏まえ、7.6.3に示すロボット溶接オペレータによる溶接施工試験を行う。事前に溶接施工試験要領書を作成し、監督職員の承諾を受ける。
［付加］g.溶接ビードの見え掛り部のグラインダ掛け
※行わない　・行う(適用部位:　　仕上り程度:　　)
仕上げを行う場合、ビード高さは母材厚以下にならないようにする。

8.15.11 溶接部の試験を行う技能資格者 ［(2)付加］
a.溶接部の試験を行う検査会社は、CIW(日本溶接協会溶接検査認定員会)の認定事業所から選定し、かつ受注者との第三者性が確保されていると監督職員が承諾した検査会社とする。
b.受入検査
発注者の直接発注による受入検査
※行わない
発注者の直接発注による受入検査を行わない場合は、受注者の発注とし、その費用は受注者の負担とする。この場合、日々の受入検査の結果は、検査会社から直接受注者及び監督職員に同時に報告をする。
・行う
［(4)置換］c.溶接部の試験を行う技術資格者は、CIW(日本溶接協会溶接検査認定委員会)の認定事業所に所属し、鉄骨技術者教育センターが認定する「建築鉄骨製品検査技術者」と「建築鉄骨超音波検査技術者」の資格を有する者とする。

8.15.12 溶接部の試験 ［(1)(イ)置換］
a.完全溶込み溶接部の食違い、仕口のずれ検査
1)工場溶接部の食違い、仕口のずれ検査の抜取検査方法は、「独立行政法人 建築研究所監修　突合せ継手の食違い、仕口のずれ検査・補強マニュアル」の抜取検査②(社内検査記録の検証)による。
2)工事現場溶接部の食い違い、仕口のずれ検査は、全数とする。
b.JASS6付則6「鉄骨精度検査基準」の付表3「溶接」に関する試験方法は、超音波探傷試験を行った完全溶込み溶接部について、寸法形状等の外観検査をJASS6 10.4のeにより行う。
c.完全溶込み溶接部の超音波探傷試験　工場溶接部　※行う　・
工事現場溶接部　※行う　・
d.完全溶込み溶接部の超音波探傷試験は(一社)日本建築学会「鋼構造建築物の超音波深傷検査基準」による。抜取率は次による。
工場溶接部　※10%以上　・　%以上
工事現場溶接部　※100%　・　%以上

1)完全溶込み溶接部は、継手形状、溶接方法、溶接姿勢ごとに層別を行ったうえで超音波探傷試験を行い、各ロットの不合格率(抜取り個数に対する不合格個数の割合)が5%以下となるような品質とする。
2)抜取り方法は、各検査工区ごととする。
3)1検査ロットの溶接箇所数を300個以下とし、最少抜取り個数は1ロットが1～200箇所の場合20個(20箇所以下は全数)、201～300箇所の場合30個とする。抜取りは、ランダムサンプリング法を原則とする。
4)抜取り回数
・1ロットの箇所数が1～20個の場合は全数検査
・1ロットの箇所数が21～200個の場合
1回目の抜取り検査で、不合格個数が1個以下ならロット合格、3個以上はロット不合格、2個の場合は2回目抜取り検査へ移行する。
1回目と2回目の不合格数合計が2個以下ならロット合格、3個以上はロット不合格とする。
・1ロットの箇所数が201～300個の場合
1回目の抜取り検査で不合格個数が1個以下ならロット合格、4個以上はロット不合格、2～3個の場合は2回目抜取り検査へ移行する。
1回目と2回目の不合格数合計が3個以下ならロット合格、4個以上はロット不合格とする。
［付加］e.磁粉探傷試験・浸透探傷試験　※行わない
・行う(適用部位:　　数量:　　)
［付加］f.平12建告第1464号第二号ロの規定に基づく溶接部の検査を行う。検査対象部位は、すべての完全溶込み溶接部とし、検査の方法及び内容は管理ランクBによる。
1)部材の重要度に応じて、次の管理ランクを設定する。
管理ランクA:柱梁等の主要耐震要素で、極めて稀に発生する地震時に十分な塑性変形を期待する部材。
管理ランクB:上記以外の部材。
2)上記1)で定めた管理ランクに応じて、受注者は次の管理を行う。
イ.管理ランクA
中間検査及び受入検査時に、抜取りにて溶接部近傍に書かれた積層図等を確認し、実際の施工状況と比較し、溶接条件が適切に守られていることを確認し、監督職員に報告する。
ロ.管理ランクB
中間検査及び受入検査時に、実際の施工状況を確認し、溶接条件が適切に守られていることを確認し、監督職員に報告する。

17節　鉄骨の錆止め塗装

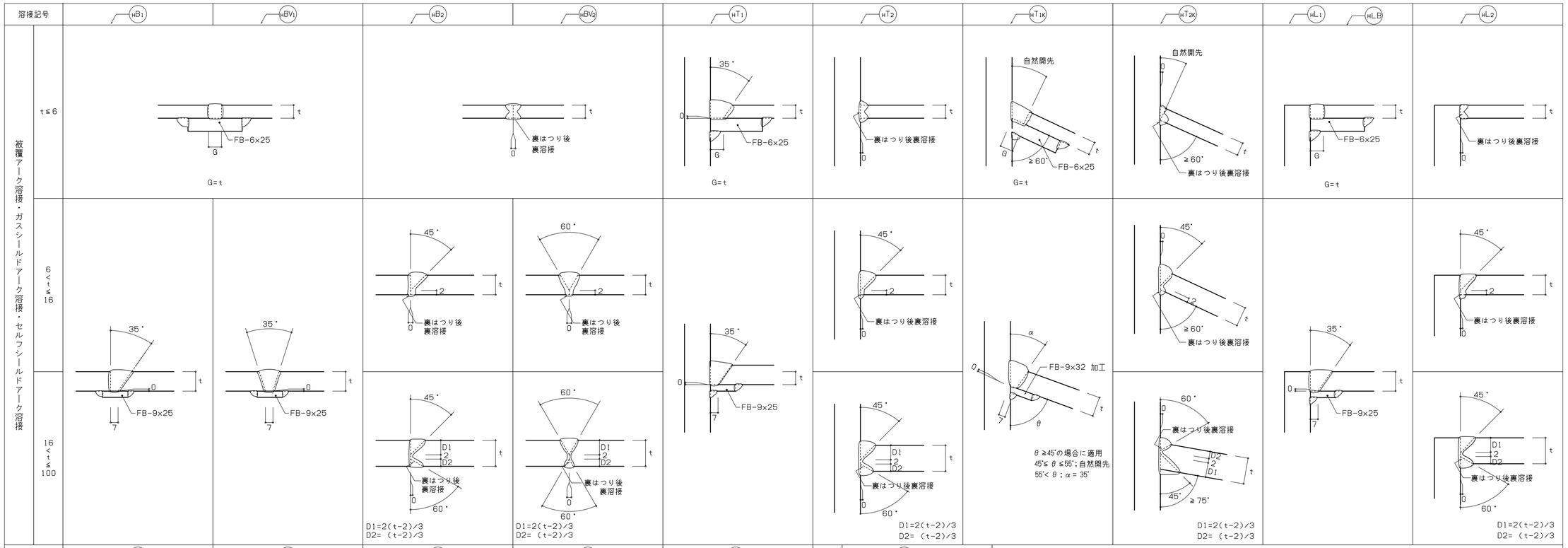
8.17.2 塗装の範囲 ［付加］
a.耐火板張り、耐火材巻付け工法等の耐火被覆を施す部材の錆止め塗装
※行わない　・行う(適用部位:　　)
b.耐火板張り、耐火材巻付け工法等以外の耐火被覆を施す部材の錆止め塗装
※行わない　・行う(適用部位:　　)
c.塗装の範囲は、新設鉄骨(改修標仕[8.17.2(1)(ア)～(オ)]の部分を除く)、及び既存鉄骨のうち改修により塗装を除去する部分とする。

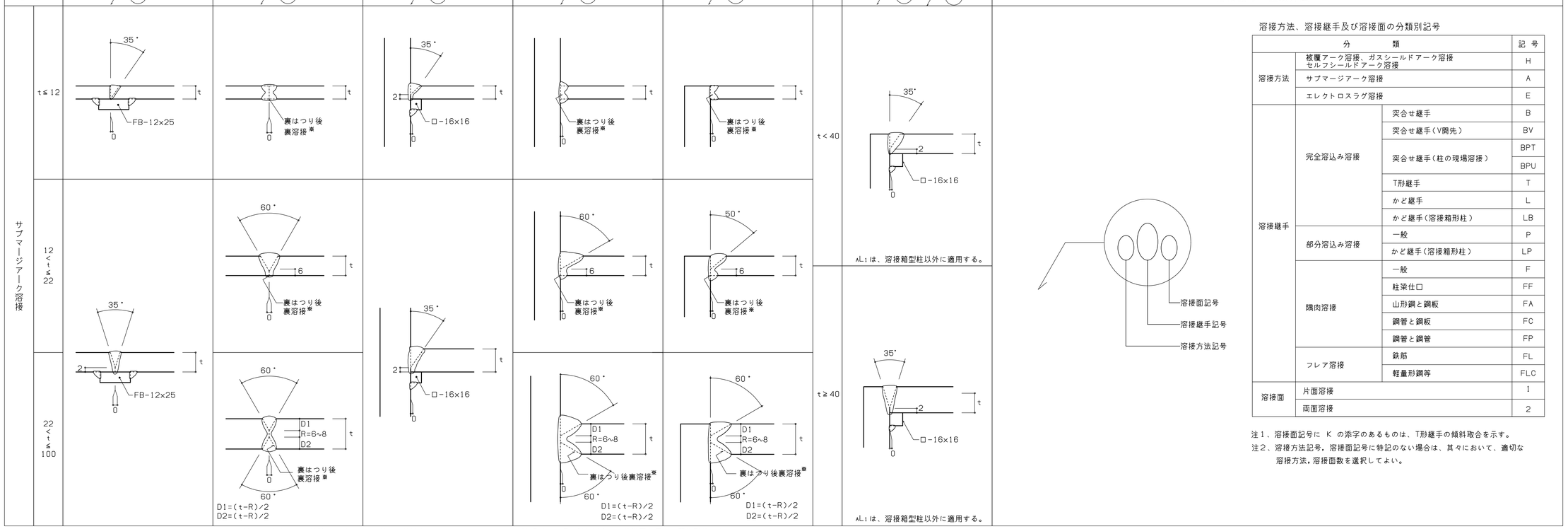
8.17.4 塗料の種別
a.鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブ内面の錆止め塗料の種別
⊙行わない
b.耐火被覆材の接着する面の錆止め塗料の種別
⊙行わない
［付加］c.発泡性耐火塗料を施す部位の錆止め塗料の種別は、事前に製造者の確認を行い、仕様を決定する。
d.改修標仕[7.4.1]の適用範囲以外の鉄骨面に適用する錆止め塗料の種別は、改修標仕[表7.4.1]B種とし、錆止め塗料塗りは、改修標仕[表7.4.3]B種とする。

19節　鉄骨の工事現場施工

8.19.3 現場組立 ［付加］
a.現場施工計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。
b.既存鉄骨への現場溶接部は、既存鉄骨面の塗装をディスクサンダー等で除去(下地調整RA種)し、現場溶接・検査終了後塗装する。完全溶込溶接部については超音波探傷検査に支障がないように既存塗装除去範囲に留意する。
c.既存鉄骨へ高力ボルト摩擦接合する場合は、摩擦面処理範囲の既存塗装をディスクサンダー等で除去(下地調整RA種)のうえ、孔明け・摩擦面処理を行う。高力ボルト締め付け後検査終了後、塗装する。

整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S1－01	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第　346221　号 高橋　淳	改修工事特記仕様書構造編	A1:　－ A3:　－
		鹿児島市建設局建築部建築課	





溶接記号の記載方法

溶接方法、溶接継手及び溶接面の分類別記号

分類			記号
溶接方法	被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接 セルフシールドアーク溶接		H
	サブマージアーク溶接		A
	エレクトロスラグ溶接		E
溶接継手	完全溶込み溶接	突合せ継手	B
		突合せ継手（V開先）	BV
		突合せ継手（柱の現場溶接）	BPT
			BPU
		T形継手	T
		かど継手	L
		かど継手（溶接箱形柱）	LB
	部分溶込み溶接	一般	P
		かど継手（溶接箱形柱）	LP
	隅肉溶接	一般	F
		柱梁仕口	FF
		山形鋼と鋼板	FA
		鋼管と鋼板	FC
		鋼管と鋼管	FP
	フレア溶接	鉄筋	FL
		軽量形鋼等	FLC
溶接面	片面溶接		1
	両面溶接		2

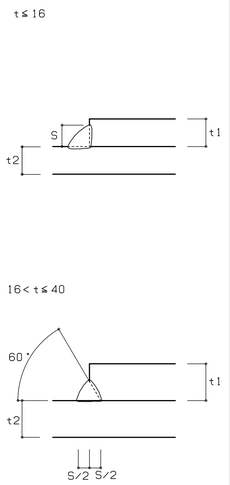
注１、溶接面記号に K の添字のあるものは、T形継手の傾斜取合を示す。
注２、溶接方法記号，溶接面記号に特記のない場合は、其々において、適切な溶接方法，溶接面数を選択してよい。

注）1. 裏当て金の材質は原則として母材と同等以上とする。
ただし、母材材質が520N級以上の場合は、監理者と協議の上、490N級とすることが出来る。また、板厚・サイズは参考とする。
2. サブマージアーク溶接にて完全溶込溶接を両面溶接とする場合、完全な溶込が得られたことが確認できる場合は、監理者の承認を得て，裏はつり（※印）を省略することができる。
3. 監理者の承認を得た場合は、基準図と異なる開先形状とすることが出来る。
4. 余盛高さは、特記なき限りＪＡＳＳ6による。

整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S2－01	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	溶接開先基準図（1）	A1: － A3: －
		鹿児島市建設局建築部建築課	

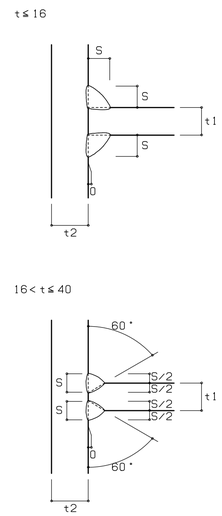
'02.09.25訂正　仕様書委員会　作成
'20.08.06 改定　金属研究会　作成

HF1



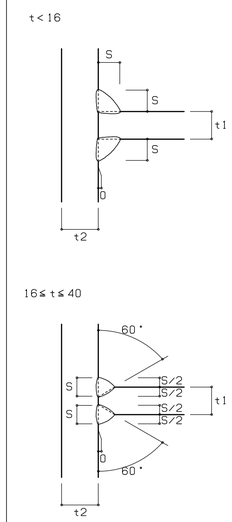
注）tはt1，t2の薄い方の板厚とする。

HF2



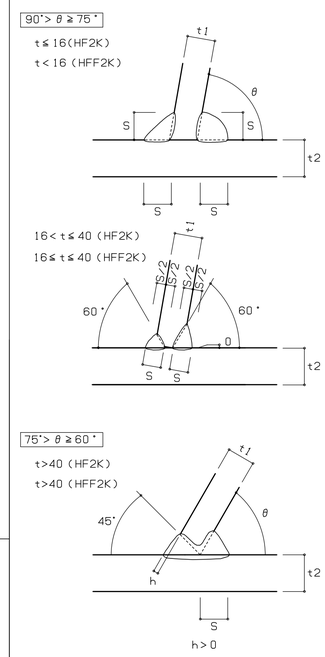
注）tはt1，t2の薄い方の板厚とする。

HFF2



注）tはt1，t2の薄い方の板厚とする。

HF2K　HFF2K



SはHF2、HFF2にによる。

注）tはt1，t2の薄い方の板厚とする。

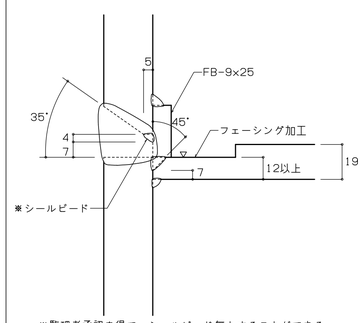
隅肉溶接のサイズ

サイズ＼t		4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22	25	28	32	36	40
S	F	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	12	13	15	17	19	21	24
	FF	−	−	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	15	18	20	21	23	25	27	29

注）特記なき場合は柱・梁仕口部の溶接は　ＦＦ　とする。

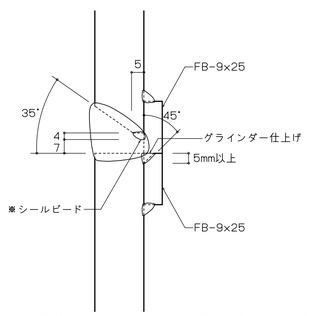
注）サブマージアーク溶接で施工する場合のルートフェイスは、溶接方法に応じた寸法とし事前に監理者の承認を得る。

BPT　柱の現場溶接（溶接箱形柱、鋼管、角形鋼管）



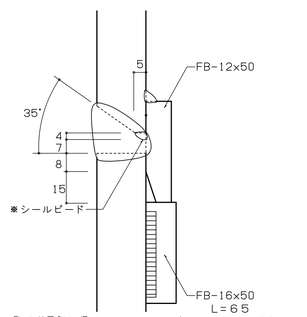
※監理者承認を得て、シールビード無とすることができる

BPU　柱の現場溶接（鋼管、角形鋼管、H形鋼）



※監理者承認を得て、シールビード無とすることができる

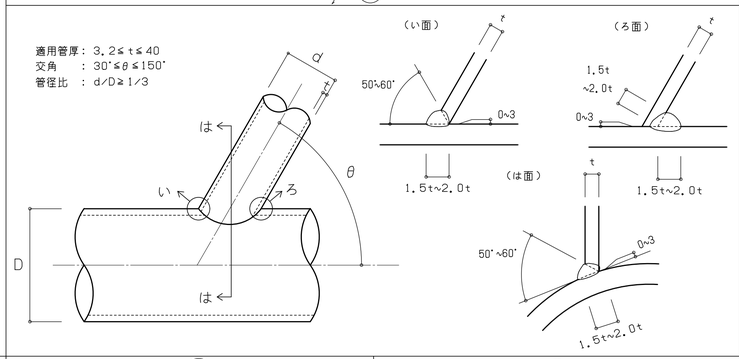
BPS　柱の現場溶接（鋼管、角形鋼管）



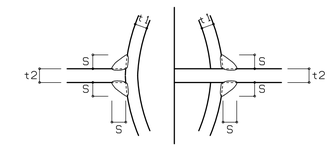
※監理者承認を得て、シールビード無とすることができる

HFP　鋼管と鋼管

適用管厚：3.2≦t≦40
交角　：30°≦θ≦150°
管径比　：d/D≧1/3

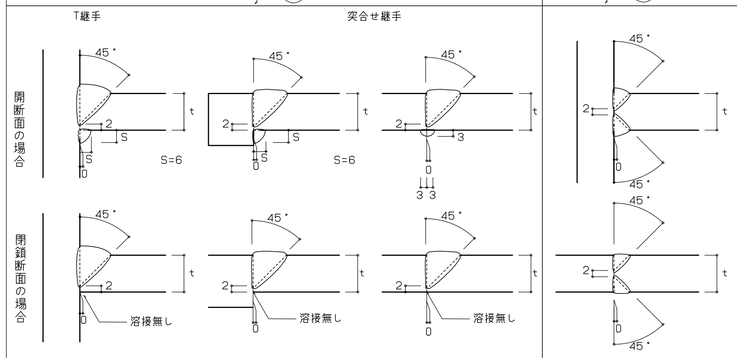


HFC　鋼管と鋼板

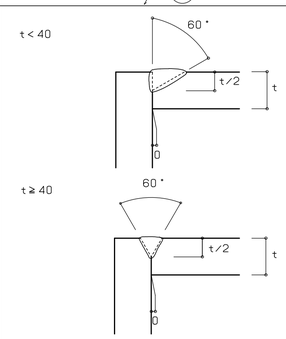


t1>6	S=t1
4≦t1≦6	S=6

HP1　HP2

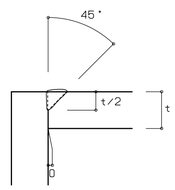


LP　溶接箱形柱（部分溶込み溶接）

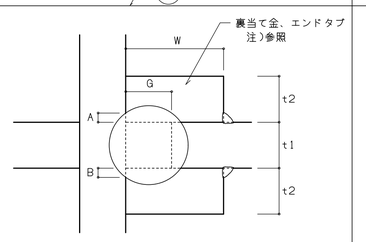


開先角度はLPの開先幅を考慮すること

HLP　溶接箱形柱（部分溶込み溶接）



ET　エレクトロスラグ溶接



・A≧0mm　かつ　B≧0mm　かつ　A+B≧6mm

t1	t2	G	W
22~28	25	25	50
32~36	28		

裏当て金、エンドタブ

裏当て金の厚さ

溶接方法	厚さt(mm)
被覆アーク溶接	6以上
ガスシールドアーク溶接	9以上
サブマージアーク溶接	12以上

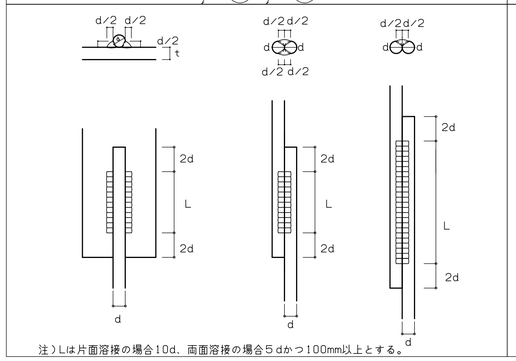
裏当て金のサイズ（S）

裏当て金の厚さ	サイズS(mm)
t≦9	6
t>9	7

エンドタブの長さ

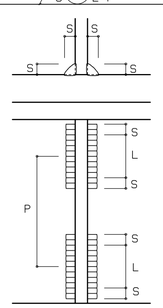
溶接方法	L(mm)
被覆アーク溶接	35以上
ガスシールドアーク溶接	38以上
サブマージアーク溶接	150以上

HFL1　HFL2　棒鋼と棒鋼，鋼板



注）Lは片面溶接の場合10d、両面溶接の場合５dかつ100mm以上とする。

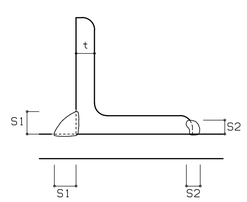
S HF2 L-P



L>10S　かつ40mm以上

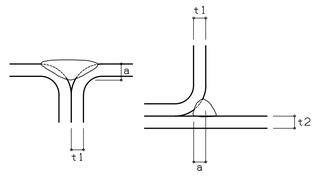
注）サイズ（S）有効長さ（L）および溶接ピッチ（P）は特記する。

HFA　山形鋼と鋼板



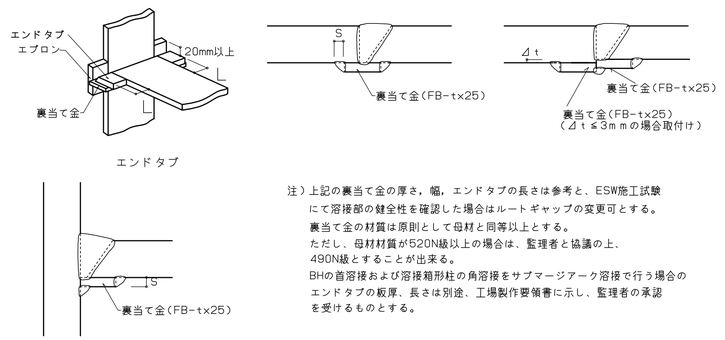
サイズ＼t	6	7	9	10	12	13
S1	8	10	14	14	17	17
S2	4	5	7	7	10	10

HFLG　軽量形鋼等



t≧3のとき　a=t
t<3のとき　a=3

注）　tはt1，t2の薄い方の板厚とする。



注）上記の裏当て金の厚さ，幅，エンドタブの長さは参考と、ESW施工試験にて溶接部の健全性を確認した場合はルートギャップの変更可とする。
裏当て金の材質は原則として母材と同等以上とする。
ただし、母材材質が520N級以上の場合は、監理者と協議の上、490N級とすることが出来る。
BHの首溶接および溶接箱形柱の角溶接をサブマージアーク溶接で行う場合のエンドタブの板厚、長さは別途、工場製作要領書に示し、監理者の承認を受けるものとする。

注）1．裏当て金の材質は原則として母材と同等以上とする。
ただし、母材材質が520N級以上の場合は、監理者と協議の上、490N級とすることが出来る。また、板厚・サイズは参考とする。

2．監理者の承認を得た場合は、基準図と異なる開先形状とすることが出来る。

3．余盛高さは、特記なき限りＪＡＳＳ6による。

整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S2－02	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第　346221 号 高橋　淳	溶接開先基準図（２）	A1:　－ A3:　－
		鹿児島市建設局建築部建築課	

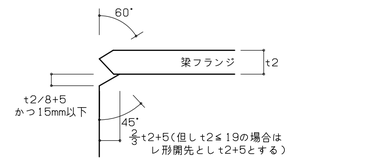
'02.09.25訂正　仕様書委員会　作成
'20.08.06　改定　金属研究会　作成

工　場　溶　接

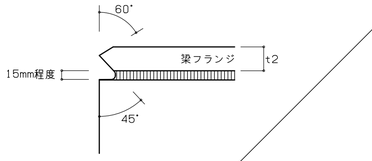
柱通しタイプノンスカラップ工法

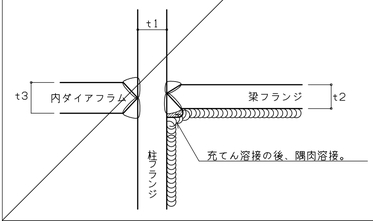
（１）裏はつり方式の場合

（a）同時組みによる溶接組立てH形断面梁の場合



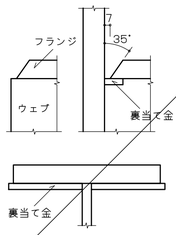
（b）先組みによる溶接組立てH形断面梁および圧延H形鋼梁の場合



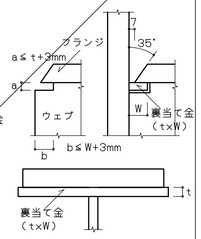


（２）裏当て金方式の場合

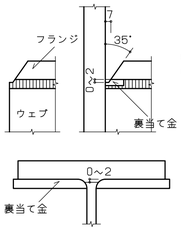
（a）同時組みによる溶接組立てH形断面梁の場合（1）



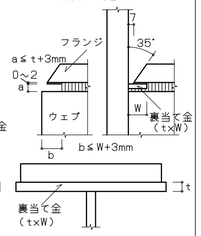
（b）同時組みによる溶接組立てH形断面梁の場合（2）



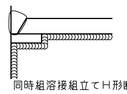
（c）先組みによる溶接組立てH形断面梁および圧延H形鋼梁の場合（1）



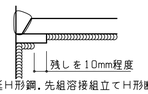
（d）先組みによる溶接組立てH形断面梁および圧延H形鋼梁の場合（2）



・柱フランジと梁の隅肉溶接要領



同時組溶接組立てH形断面

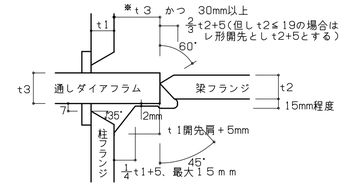


圧延H形鋼，先組溶接組立てH形断面

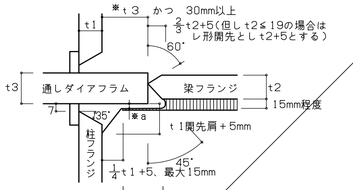
梁通しタイプノンスカラップ工法

（１）裏はつり方式の場合

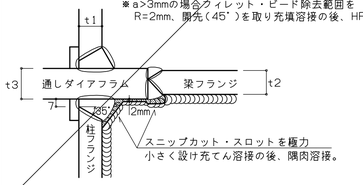
（a）同時組みによる溶接組立てH形断面梁の場合



（b）先組みによる溶接組立てH形断面梁および圧延H形鋼梁の場合



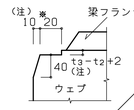
フレット・ビード除去範囲
※a>3mmの場合フィレット・ビード除去範囲を
R=2mm、開先（45°）を取り充填溶接の後、HFF2とする



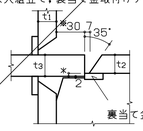
（２）裏当て金方式の場合

（a）同時組みによる溶接組立てH形断面梁の場合

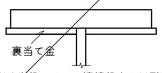
（BH組立て）



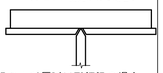
（大組立て，裏当て金取付け）



（一般の場合）

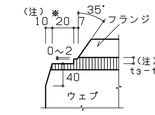


（ウェブに開先がある場合）

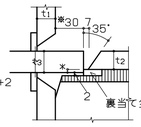


（b）先組みによる溶接組立てH形断面梁および圧延H形鋼梁の場合

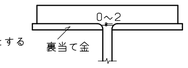
（開先加工）



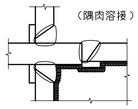
（大組立て，裏当て金取付け）



（一般の場合）

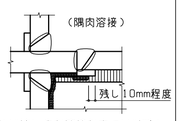


（隅肉溶接）



同時組溶接組立てH形断面

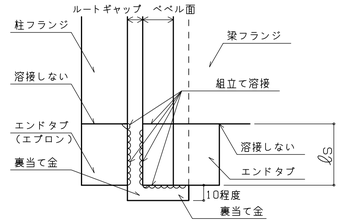
（隅肉溶接）

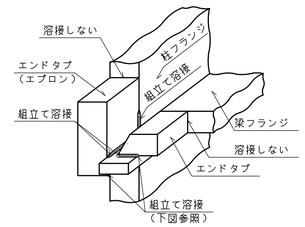


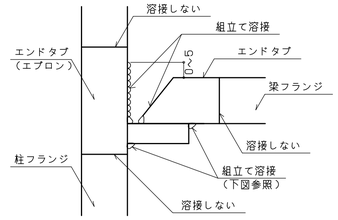
圧延H形鋼，先組溶接組立てH形断面

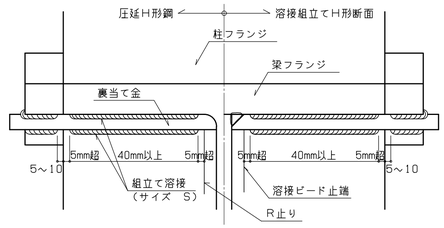
※ダイヤフラム出寸法：30ｍｍの場合

エンドタブ・裏当て金溶接要領







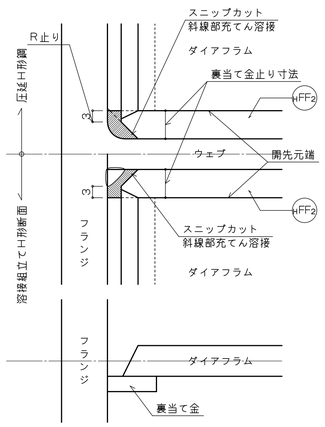


工　場　溶　接

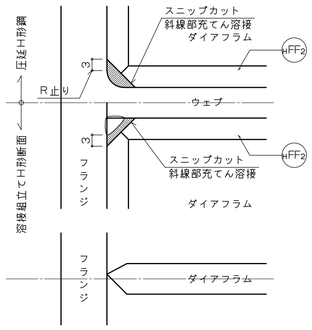
ダイアフラム溶接要領

a．裏当て方式の場合
ダイアフラムの圧延H形鋼フィレット
R部（溶接組立てH形断面の場合は
隅肉溶接部）をスニップカット
し充てん溶接とする。

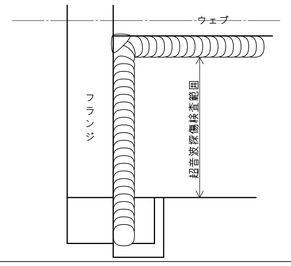
裏当て金の止り寸法は、HFF2
開先元端または圧延H形鋼フィレ
ットR止り（溶接組立てH形断面の
場合は隅肉溶接脚長）のどちら
か大きい寸法とする。



b．裏はつり方式の場合



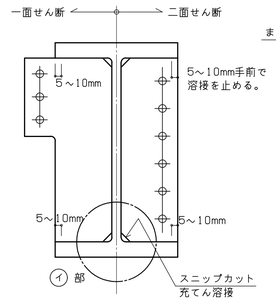
c．超音波探傷検査の範囲
超音波探傷検査の範囲は
ウェブの隅肉溶接（HFF2）
ビード端までとする。



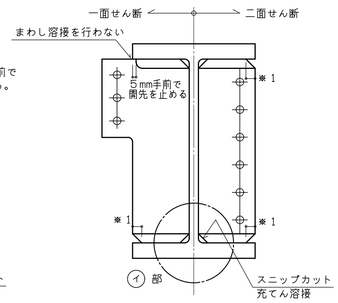
ガセットプレート溶接要領

a．ガセットプレート、スティフナーのフランジ端部側

1、開先無の場合
フランジ端部より5mm～10mmひかえ溶接を止める。



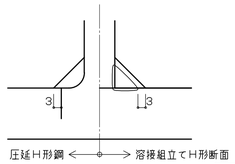
2、開先有りの場合
スニップカットを設けまわし溶接を行う。



※1　スニップカットの大きさは、開先高さとする。

b．ガセットプレート、スティフナーのウェブ側

ガセットプレートの圧延H形鋼フィレットR部
（溶接組立てH形断面の場合は隅肉溶接部）を
スニップカットし充てん溶接とする。



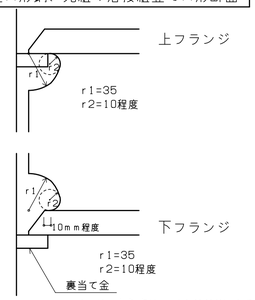
スニップカット要領

イ部

現　場　溶　接

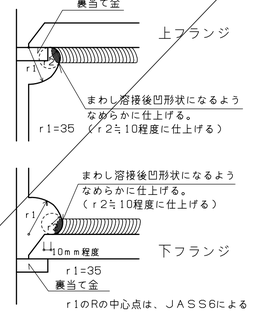
スカラップ形状

圧延H形鋼、先組み溶接組立てH形断面



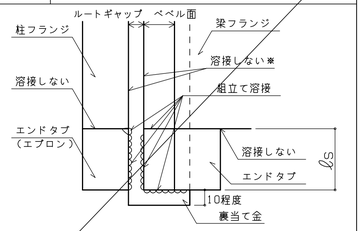
r1のRの中心点は、JASS6による

同時組溶接組立てH形断面

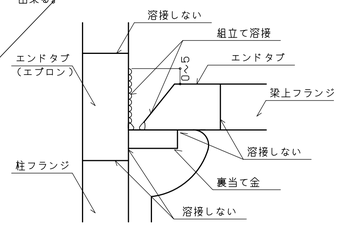


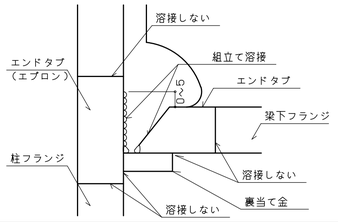
r1のRの中心点は、JASS6による

エンドタブ・裏当て金溶接要領



※ 監理者の承認を得た場合は、組立溶接を開先内に行なうことが
出来る。





注）1．この基準図は、記入なき限り被覆アーク溶接及びガスシールド
アーク溶接による鋼材溶接継手の形状を示す。
2．裏当て金の材質は原則として母材と同等以上とする。
ただし、母材材質が520N級以上の場合は、監理者と協議の上、
490N級とすることが出来る。

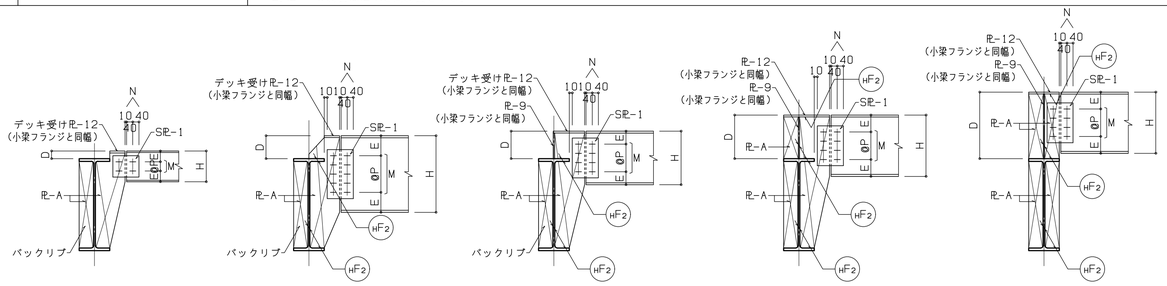
整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S2－03	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	溶接開先基準図（３）	A1: － A3: －
		鹿児島市建設局建築部建築課	

*02.09.25訂正　仕様書委員会　作成
*20.08.06 改定　金属研究会　作成

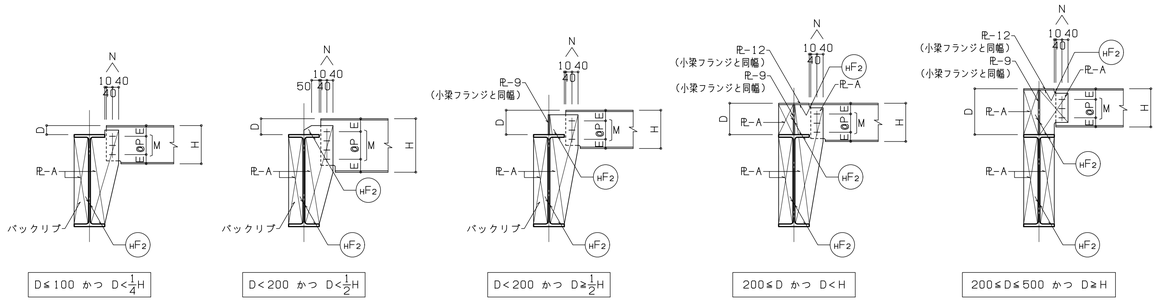
1 鉄骨梁の段差部接合要領図

注）1. バックリブの省略規定は別図による。
2. PL-**の材質はPL-Aと同材質とする。

ダブルシアの場合

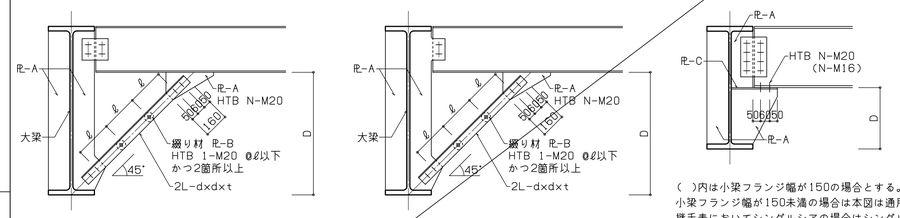


シングルシアの場合



2 大梁横補剛要領

（注）1. 梁伏図で ═══ 印のある箇所に以下要領を適用する。
2. 横補剛材取合部においては、バックリブの省略規定対象外とする。
3. 山形鋼（アングル）断面及びボルト本数N、綴り材間隔ℓは表による。
4. D<300の場合のボルト本数Nは下表による。
5. PL-Bは材厚をPL-Aと同厚とし、材質はSS400とする。
6. PL-Cは材厚を12mmとし、材質はPL-Aと同材質とする。



ダブルシア 300≦D　　シングルシア 300≦D　　D<300かつ小梁フランジ幅≧150

（ ）内は小梁フランジ幅が150の場合とする。
小梁フランジ幅が150未満の場合は本図は適用しない。
継手表においてシングルシアの場合はシングルシアとする。

300≦Dの場合のアングル断面表
特記なき限り※による。○印が有る場合は○印による。

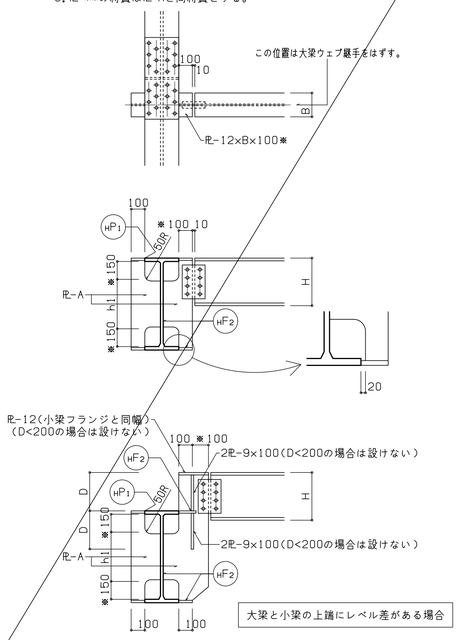
	アングル断面	ボルト本数(N)	綴り材間隔ℓ (mm)	備 考
※	L-75×75×6(SS400)	2	600以下	D>600について綴り材を設ける
・				
・				
・				

D<300の場合のボルト本数表
特記なき限り※による。○印が有る場合は○印による。

	ボルト本数(N)	備 考
※	4	
・		
・		
・		

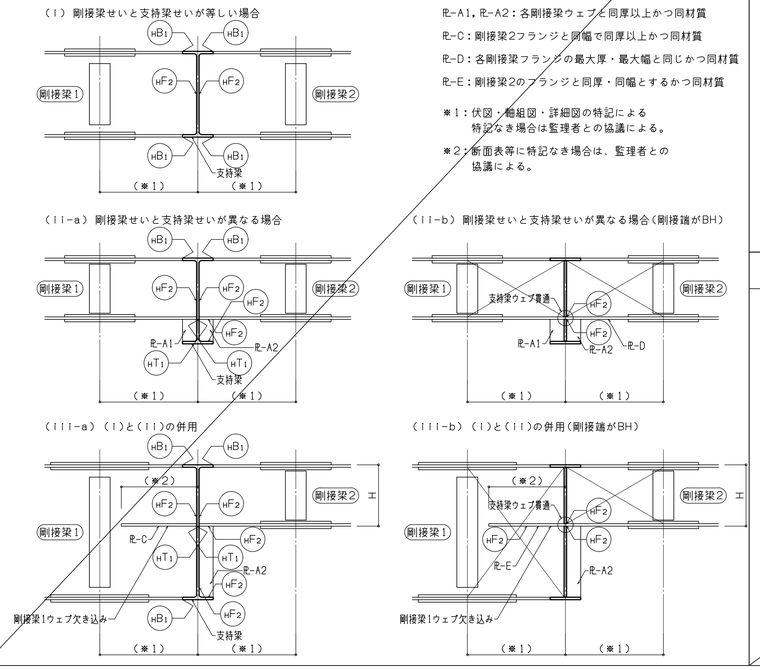
3 継手フランジスプライスプレートにガセットが干渉する場合の取付要領

（注）1. ※100寸法は、小梁の継手ボルト列数に応じて調整すること。
2. h1≧Hとなることを原則とする。h1<Hとなる場合は監理者との協議による。
3. D>500の場合は監理者との協議による。
4. ※150寸法は、施工者にて高力ボルト締付施工について問題ないことを確認する。
5. 大梁フランジ継手を現場溶接へ変更する場合は監理者との協議による。
6. PL-**の材質はPL-Aと同材質とする。



4 鉄骨梁の剛接合要領

（注）1. 鉄骨梁が支持梁に剛接合する場合は本図による。
2. 剛接梁の断面は断面表による。
3. 剛接梁フランジ厚が支持梁フランジ厚を超える場合は、監理者との協議による。
4. 剛接梁と支持梁せいが異なる場合、特記なき限り(II-a)、(III-a)による。
(II-b)、(III-b)は伏図又は断面表等で特記のある場合に限る。

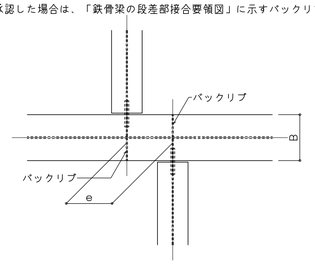


PL-A1, PL-A2：各剛接梁ウェブと同厚以上かつ同材質
PL-C：剛接梁2フランジと同幅で同厚以上かつ同材質
PL-D：各剛接梁フランジの最大厚・最大幅と同じかつ同材質
PL-E：剛接梁2のフランジと同厚・同幅とするかつ同材質

※1：伏図・軸組図・詳細図の特記による
特記なき場合は監理者との協議による。
※2：断面表等に特記なき場合は、監理者との
協議による。

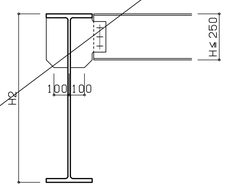
5 バックリブの省略規定

（注）1. 横補剛材が取合う部位には、本規定は適用しない。
2. 梁端ウェブ補剛工法の適用部位には本規定は適用しない。
3. 下図に示すバックリブとガセットプレートの内法寸法eが150以下かつ(B/2)以下で
監理者が承認した場合は、「鉄骨梁の段差部接合要領図」に示すバックリブを省略出来る。



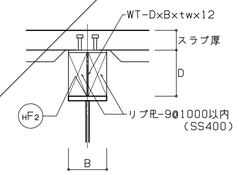
6 ガセットプレートせいの短縮規定

（注）1.「鉄骨梁の段差部接合要領図」に示すガセットプレートについて以下を全て満足する場合は、
監理者の承認のうえで下図を適用することが出来る。
・横補剛材が取合う部位には本規定は適用しない。
・梁端ウェブ補剛工法の適用部位には本規定は適用しない。
・H2が1000を超える。
・小梁が大梁せい内に納まる。
・Hが250以下。



7 鉄骨梁のかさ上げ要領

（注）1. 鉄骨梁天とスラブ下端のレベル差Dが150<D≦500の場合に
本図を適用する。Dが150以下の場合はフラットデッキ取付
要領による。
2. WTの鋼材材質は母材と同材質とする。
3. twは特記なき限り大梁の場合はウェブ厚と同厚、小梁の
場合はPL-9とする。
4. かさ上げ材に設けるスタッド配置は母材のそれと同等とし、
別図「鉄骨梁スタッド取付要領」による。



共通
注）1. ガセットプレート・スプライスプレート・高力ボルトは継手表による。
2. PL-Aは鉄骨部材断面表又は継手表による。

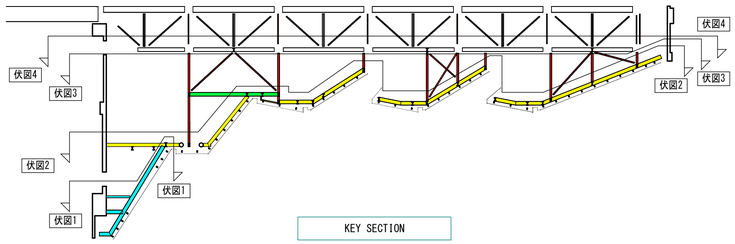
整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事
S2－04	一級建築士事務所 東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 高橋 淳	鉄骨標準要領図（1） A1: － A3: －
		鹿児島市建設局建築部建築課

'24.08.31 金属研標準要領図編集委員会 作成

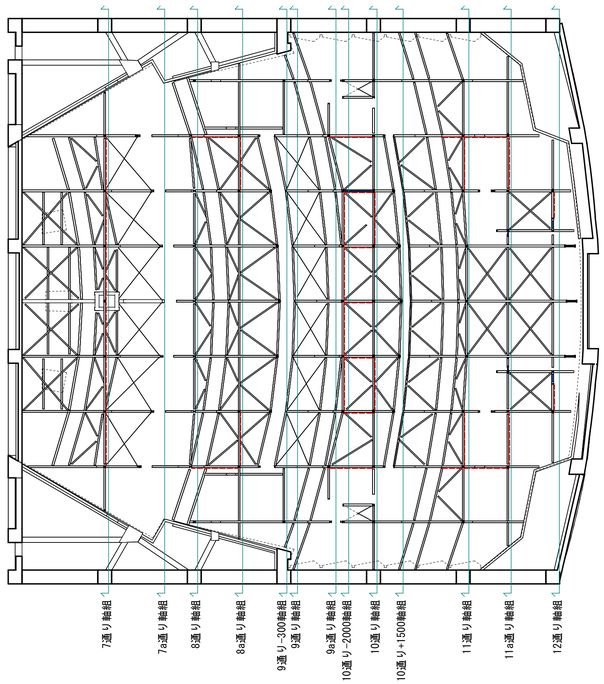
第一ホール改修新設部材立体図

1. 本図は、天井の準構造化のために新設する鉄骨部材を示す立体図である。
2. 伏図及び軸組図において、色分けにより示す部材種別・位置の区分を下表に示す。

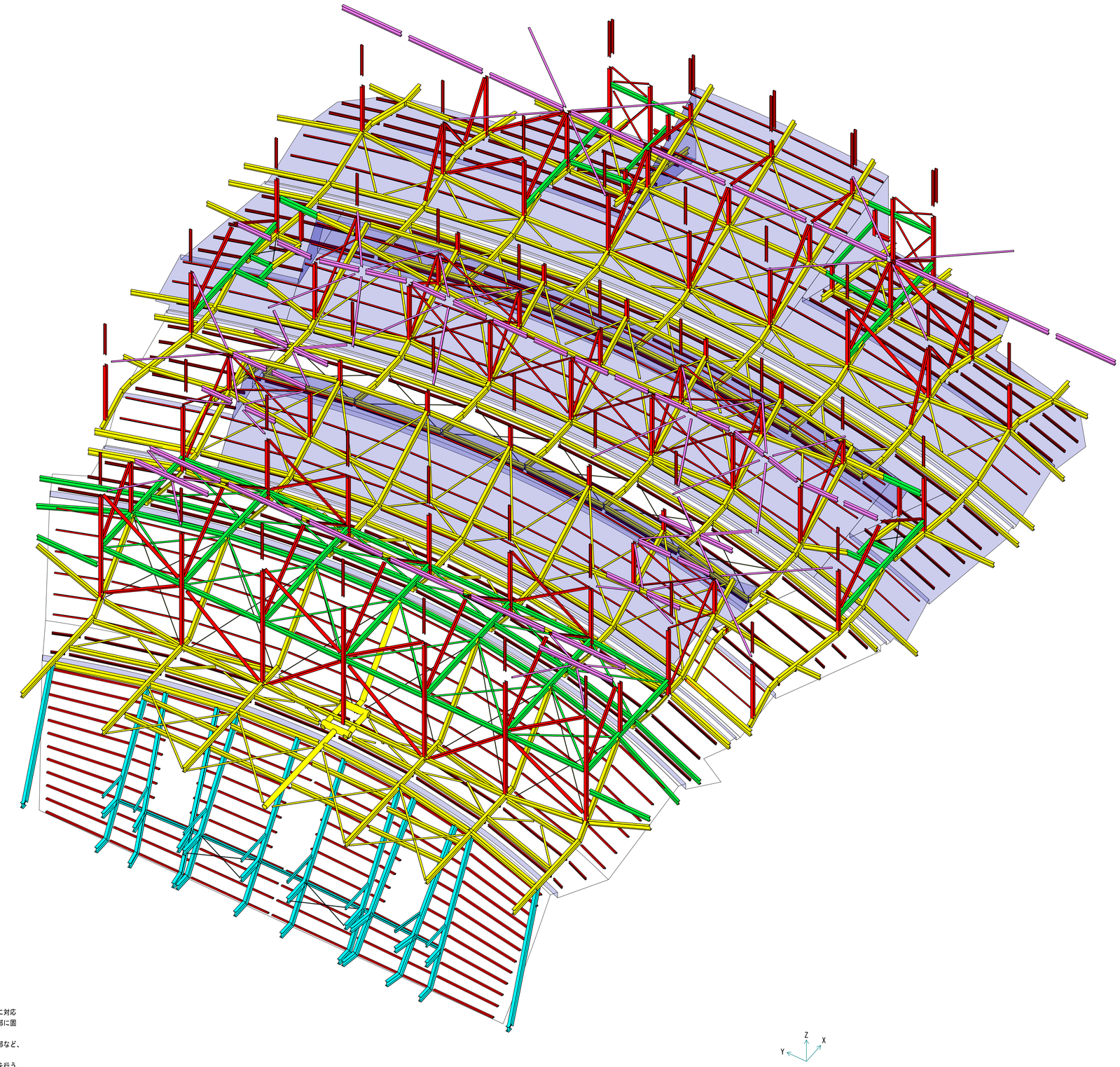
表示色	部材符号	部材種別・位置	備考
	特記なし	既設部材	
	特記なし	天井下地材C100	
	図中に記載	吊材・束材・構面ブレース	
	図中に記載	伏図4の位置にある部材	
	図中に記載	伏図3の位置にある部材	
	図中に記載	伏図2の位置にある部材	
	図中に記載	伏図1の位置にある部材	



KEY SECTION



KEY PLAN



■改修概要
・第一ホール客席上部天井について、既存の吊天井を撤去し、建物と一体化した剛な天井とする「準構造化」による耐震改修を行う。
・天井内のシーリングスポット室を構成する既存鉄骨は残置する。

【補強方針】
・新設の天井下地材（天井を固定するための野縁及び野縁受け）は、天井材近傍に新設する重量鉄骨及び支持構造部（準構造鉄骨）に直接固定する。準構造鉄骨は曲面の天井の施工誤差に対応できるよう天井面からのクリアランスを確保したレベル設定とし、野縁受けは同様に曲面や施工誤差に対応できるレベル設定かつ角度調整機構付きの直接接合金物を使用して支持構造部に固定する。
・天井及び天井面に設置される設備、天井下地材、準構造鉄骨に生じる地震力は、準構造鉄骨から上部既存鉄骨トラスを介して、外周の耐力壁に伝達する。ただし、プロセニアムアーチ部など、上部鉄骨トラスから遠い部位については、準構造鉄骨からプロセニアムアーチ部既存躯体に直接力を伝達する。
・天井改修における、準構造鉄骨の追加及び天井材の仕様見直しにより、上部既存鉄骨トラスが支持する重量が増加する。これに対応するため、上部既存鉄骨トラスの斜材の一部に補強を行う。

【具体的補強方法】
・準構造鉄骨は、ホール幅方向に架かる既存鉄骨トラス下弦材及び下弦材間をつなぐ既存鉄骨小梁下に、重量鉄骨の吊材を設けて鉛直支持する。ただし、シーリングスポット室を構成する既存鉄骨を残置するため、シーリングスポット室を避けた位置とする。
・天井材近傍に新設する準構造鉄骨の梁組は、ホール奥行き方向を主桁方向とし、天井面に沿った折れ梁にて主桁を構成する。ホール奥行き方向の地震力は、主桁上に構面ブレースを設けて上部既存鉄骨へ伝達する。
・主桁間をつなぐ横架材は、天井面を構成する円弧と同心円状に配置する。ホール幅方向の地震力は、ホール幅方向（既存鉄骨トラスと平行方向）に横架材を設け、当該横架材上に構面ブレースを設けて上部既存鉄骨へ伝達する。
・準構造鉄骨横架材のホール外周端部は、既存躯体にあと施工アンカーにて接合する。

■注意事項
・3章各図は既存設計図を基に作図したものである。標記寸法は必ずしも現地状況と厳密に一致しない可能性があるので、施工にあたっては既存天井撤去後に改めて現地実測を行い、その結果を施工図に反映すること。

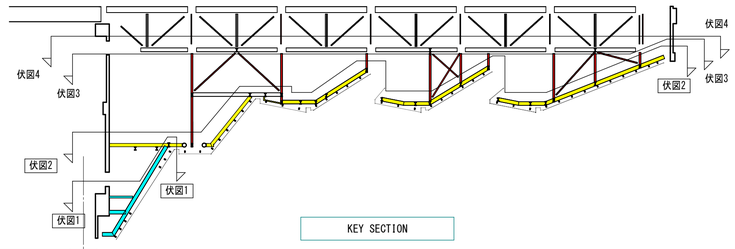
整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S3 － 01	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	第一ホール改修新設部材立体図	A1:　－ A3:　－
		鹿児島市建設局建築部建築課	

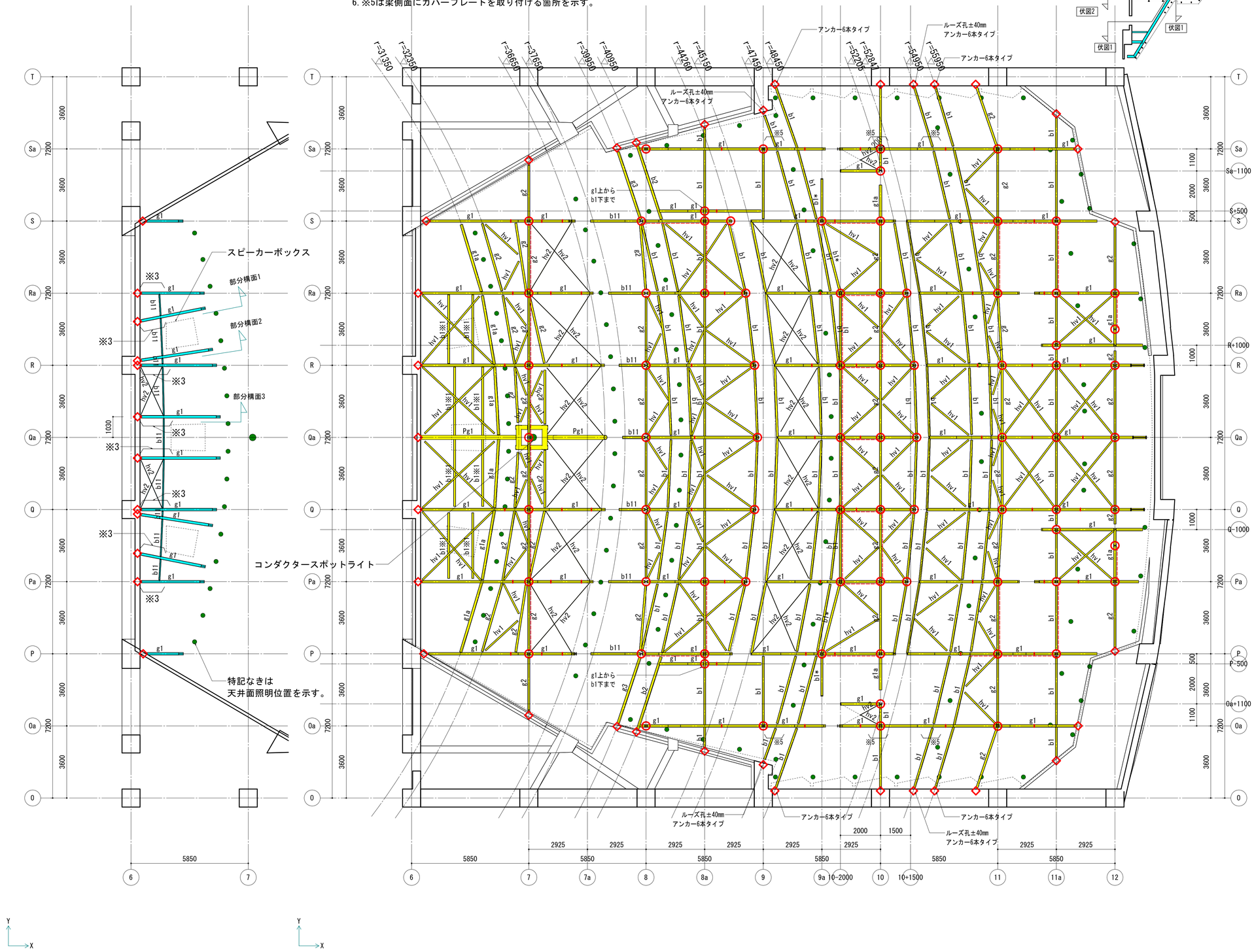
伏図1	A1:1/100 A3:1/200

注記）記入なき限り下記による。
1. ◇ 印は、既設RC躯体接合部を示す。
2. ※3は、伏図1レベルのg1上部にキャットウォーク支持材として b11を設ける箇所を示す。

伏図2	A1:1/100 A3:1/200

注記）記入なき限り下記による。
1. ※1はスピーカー吊材受けを示す。g1梁下に取り付け。
2. ----- 印は、構面ブレース位置を示す。符号及び形状は軸組図による。
3. ○ 印は、吊材m1位置を示す。
4. ◇ 印は、既設RC躯体接合部を示す。
5. b1*は、軸組図における表示部材の区別のために*印を付記した符号であり、部材断面はb1に同じである。
6. ※5は梁側面にカバープレートを取り付ける箇所を示す。





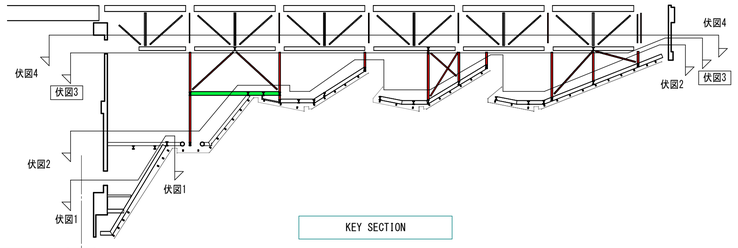
符　号	部材断面	材　質
m1	H-125x125x6.5x9	SS400
Pg1	216.3φx8.2+267.4φx9.3 要領図参照	STK400
g1	H-250x125x6x9	SN400B
g1a	H-248x124x5x8	SS400
g2	H-200x100x5.5x8	SS400
g3	H-248x124x5x8	SS400
b1,b1*	H-200x100x5.5x8	SS400
b2	H-248x124x5x8	SS400
b11	[-125x65x6x8	SS400
t1	[-100x50x5x7.5	SS400
a	L-75x75x6	SS400
b	2L-75x75x6	SS400
c	L-100x100x7	SS400
d	L-150x150x10	SS400
hv1	L-75x75x6	SS400
hv2	1-M16	JISターンバックル 筋かい
C100	C-100x50x20x2.3	SS400

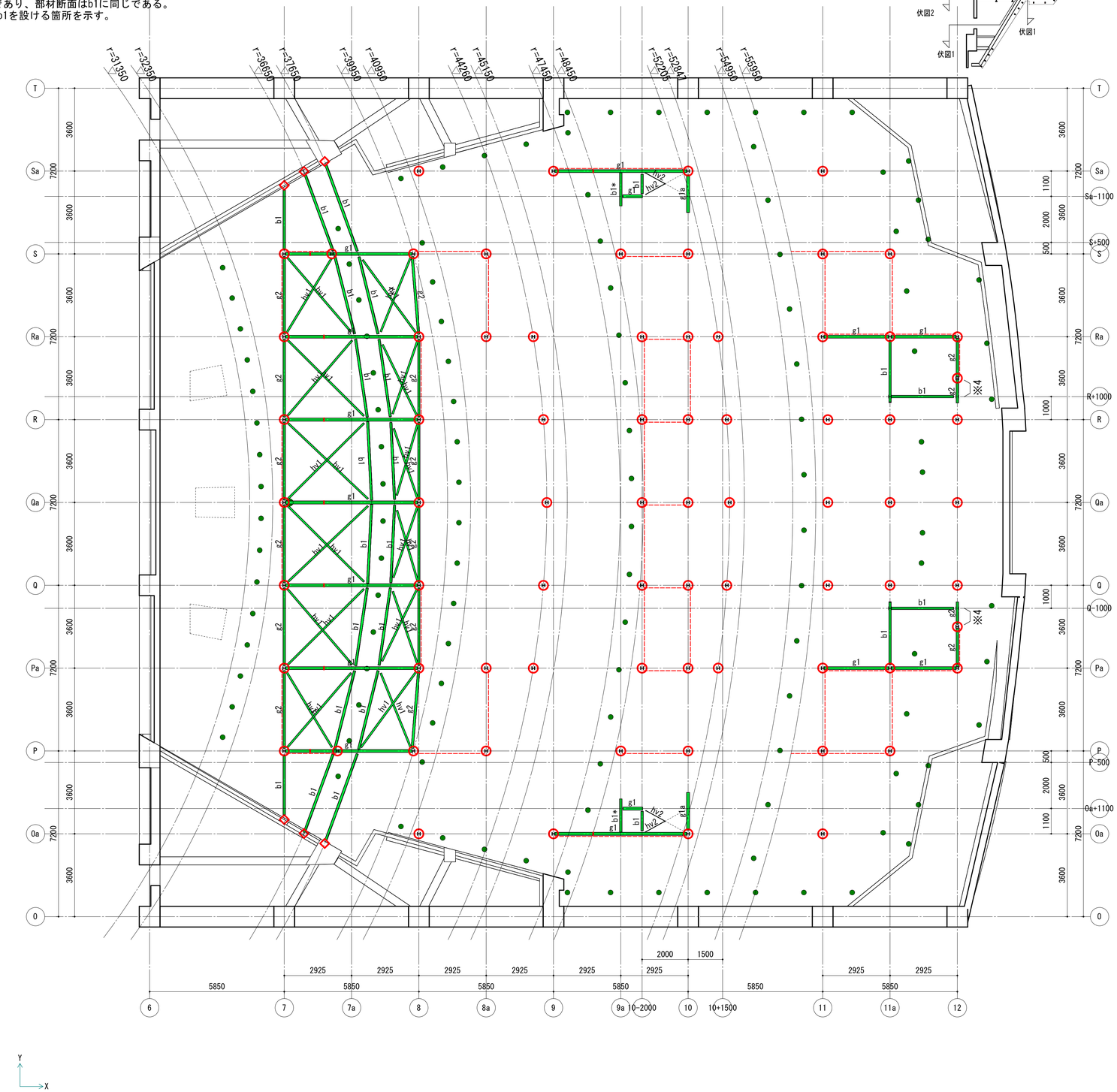
注記）1. 特記なき限り、レベルの記載は部材芯の狙い点位置を示す。
2. ┃ は現場継手を示す。
3. 特記なき限り、部材同士の接合は、継手基準図に示すウェブ継手とする。
4. ◇ 印は、既存RC躯体接合部を示す。

整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S3 － 02	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	第一ホール改修後伏図（1）	A1: 1/100 A3: 1/200
		鹿児島市建設局建築部建築課	

伏図3	A1:1/100 A3:1/200

注記）記入なき限り下記による。
1. ------ 印は、構面ブレース位置を示す。本図で示すレベルに梁がない位置において
伏図2（黄色で示すレベル）から本図で示すレベルを通過するブレースについても図示している。
2. ◯ 印は、吊材m1位置を示す。本図で示すレベルに梁がない位置において伏図2（黄色で示すレベル）
から本図で示すレベルを通過する吊材についても図示している。
3. ◇ 印は、既設RC躯体接合部を示す。
4. b1*は、軸組図における表示部材の区別のために*印を付記した符号であり、部材断面はb1に同じである。
5. ※4は、伏図2と伏図3の中間レベルにキャットウォーク支持材としてb1を設ける箇所を示す。





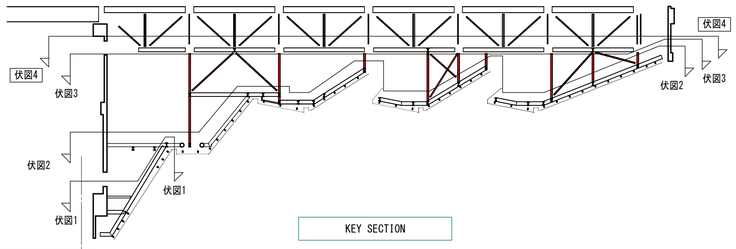
符　号	部材断面	材　質
m1	H-125x125x6.5x9	SS400
Pg1	216.3φx8.2+267.4φx9.3 要領図参照	STK400
g1	H-250x125x6x9	SN400B
g1a	H-248x124x5x8	SS400
g2	H-200x100x5.5x8	SS400
g3	H-248x124x5x8	SS400
b1,b1*	H-200x100x5.5x8	SS400
b2	H-248x124x5x8	SS400
b11	[-125x65x6x8	SS400
t1	[-100x50x5x7.5	SS400
a	L-75x75x6	SS400
b	2L-75x75x6	SS400
c	L-100x100x7	SS400
d	L-150x150x10	SS400
hv1	L-75x75x6	SS400
hv2	1-M16	JISターンバックル 筋かい
C100	C-100x50x20x2.3	SS400

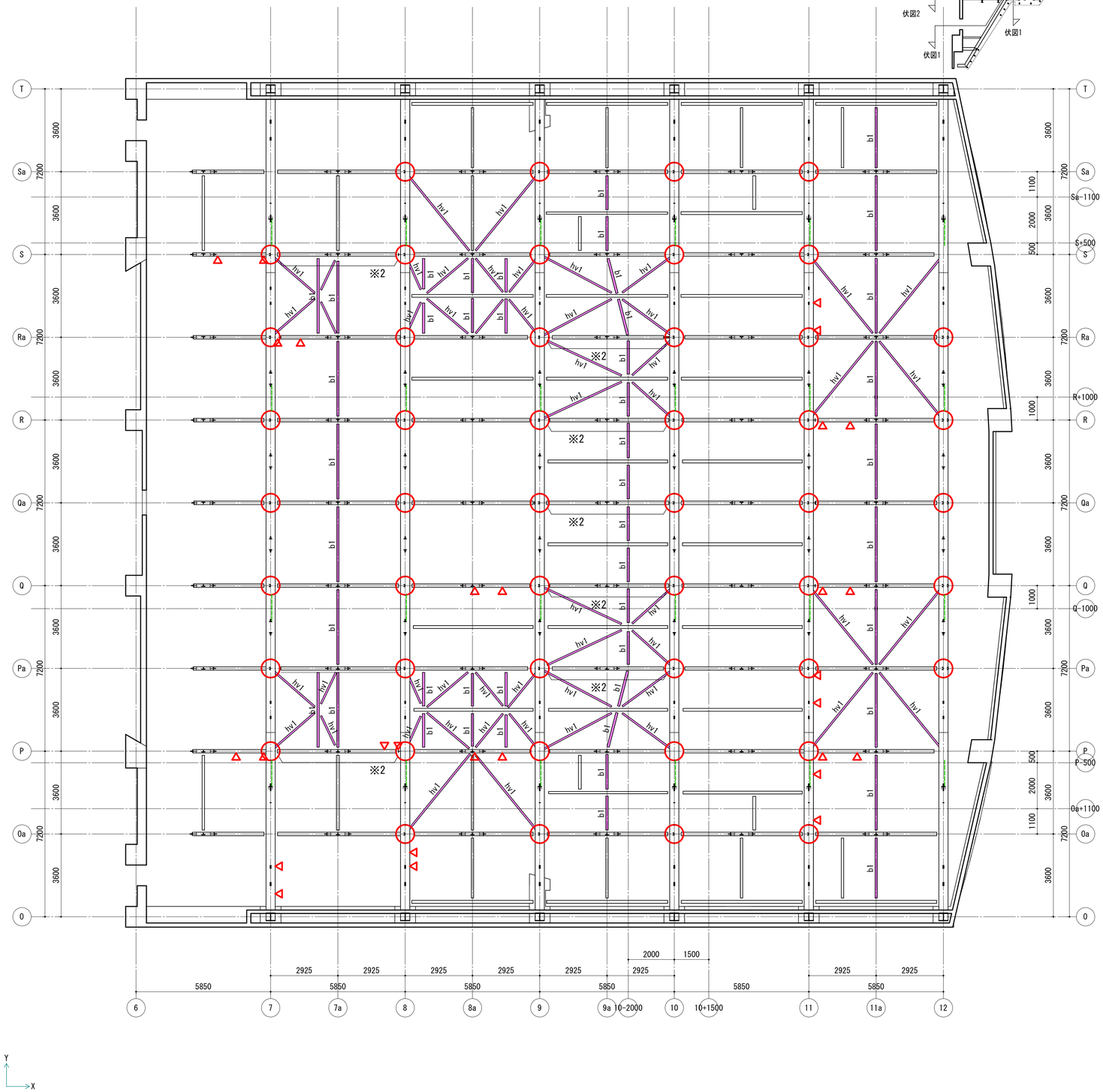
注記）1. 特記なき限り、レベルの記載は部材芯の狙い点位置を示す。
2. ┃ は現場継手を示す。
3. 特記なき限り、部材同士の接合は、継手基準図に示すウェブ継手とする。
4. ◇ 印は、既存RC躯体接合部を示す。

整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S3 － 03	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	第一ホール改修後伏図（２）	A1: 1/100 A3: 1/200
		鹿児島市建設局建築部建築課	

伏図4	A1:1/100 A3:1/200

注記）記入なき限り下記による。
1. ※2は既設梁補強範囲を示す。
2. ○ 印は、既設トラス上下弦材間に追加する束材 t1 を示す。
3. ------ 印は、既設トラス梁ラチス材補強範囲を示す。
4. △ 印は、設備ダクト支持材追加箇所を示す。

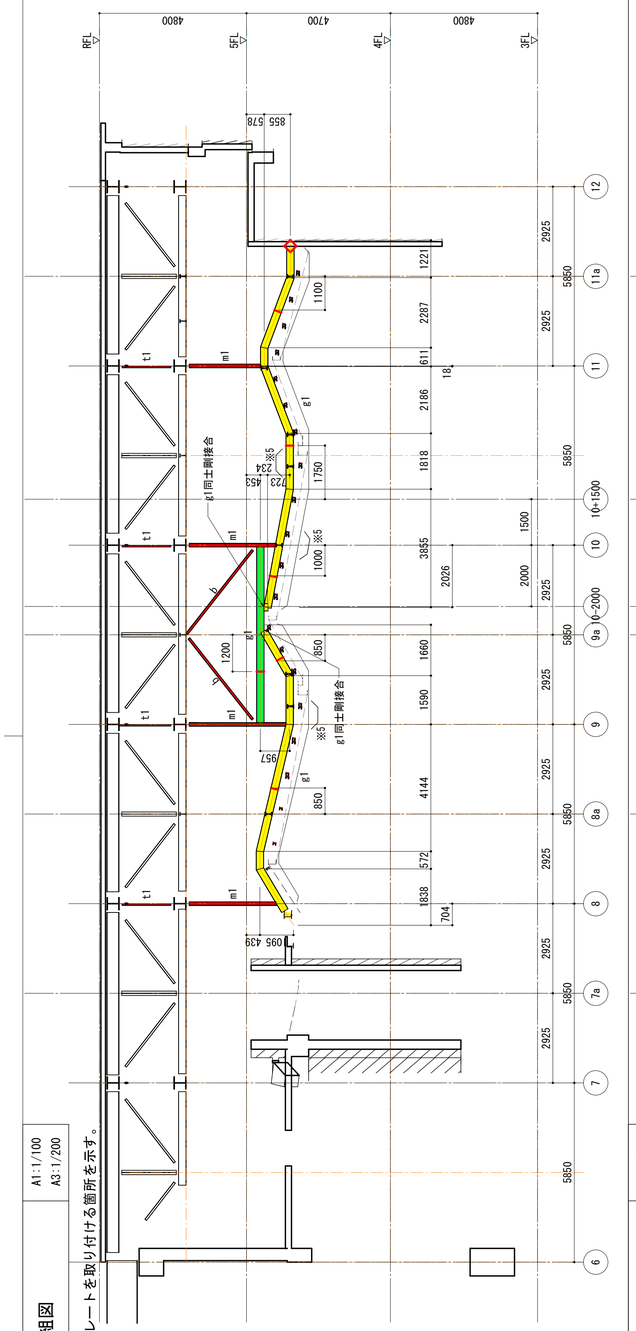




符　号	部材断面	材　質
m1	H-125x125x6.5x9	SS400
Pg1	216.3φx8.2+267.4φx9.3 要領図参照	STK400
g1	H-250x125x6x9	SN400B
g1a	H-248x124x5x8	SS400
g2	H-200x100x5.5x8	SS400
g3	H-248x124x5x8	SS400
b1,b1*	H-200x100x5.5x8	SS400
b2	H-248x124x5x8	SS400
b11	[-125x65x6x8	SS400
t1	[-100x50x5x7.5	SS400
a	L-75x75x6	SS400
b	2L-75x75x6	SS400
c	L-100x100x7	SS400
d	L-150x150x10	SS400
hv1	L-75x75x6	SS400
hv2	1-M16	JISターンバックル 筋かい
C100	C-100x50x20x2.3	SS400

注記）1. 特記なき限り、レベルの記載は部材芯の狙い点位置を示す。
2. ┃ は現場継手を示す。
3. 特記なき限り、部材同士の接合は、継手基準図に示すウェブ継手とする。
4. ◇ 印は、既存RC躯体接合部を示す。

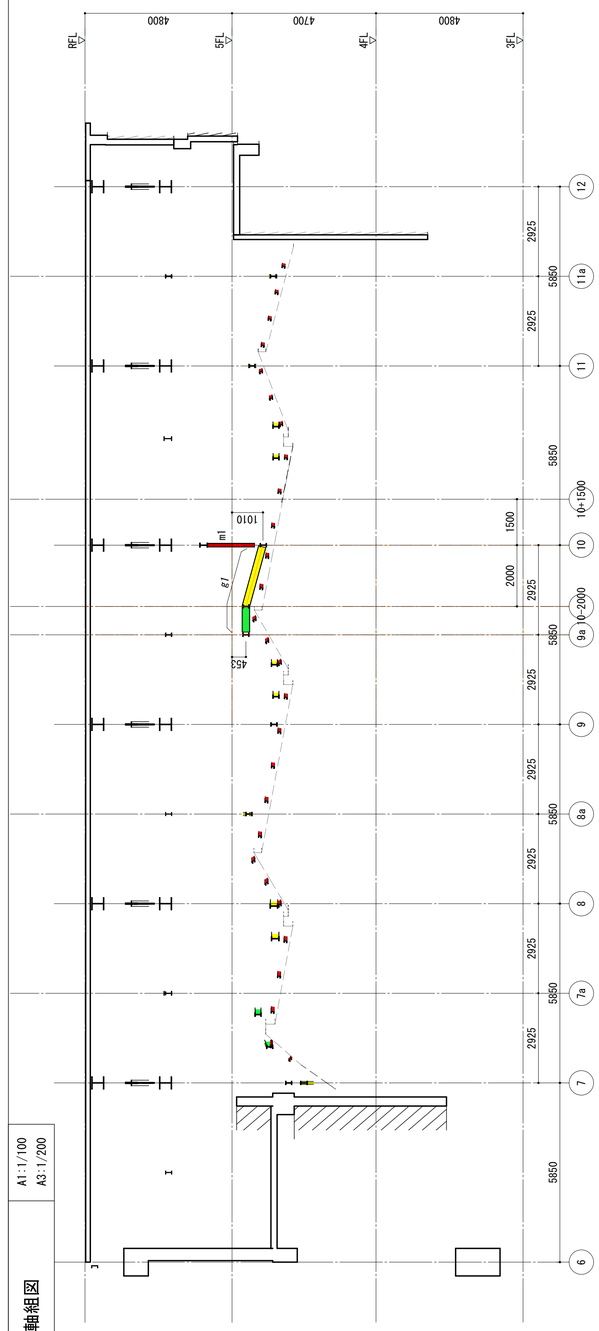
整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事
S3 － 04	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	第一ホール改修後伏図（３） A1: 1/100 A3: 1/200
		鹿児島市建設局建築部建築課



Oa通り軸組図

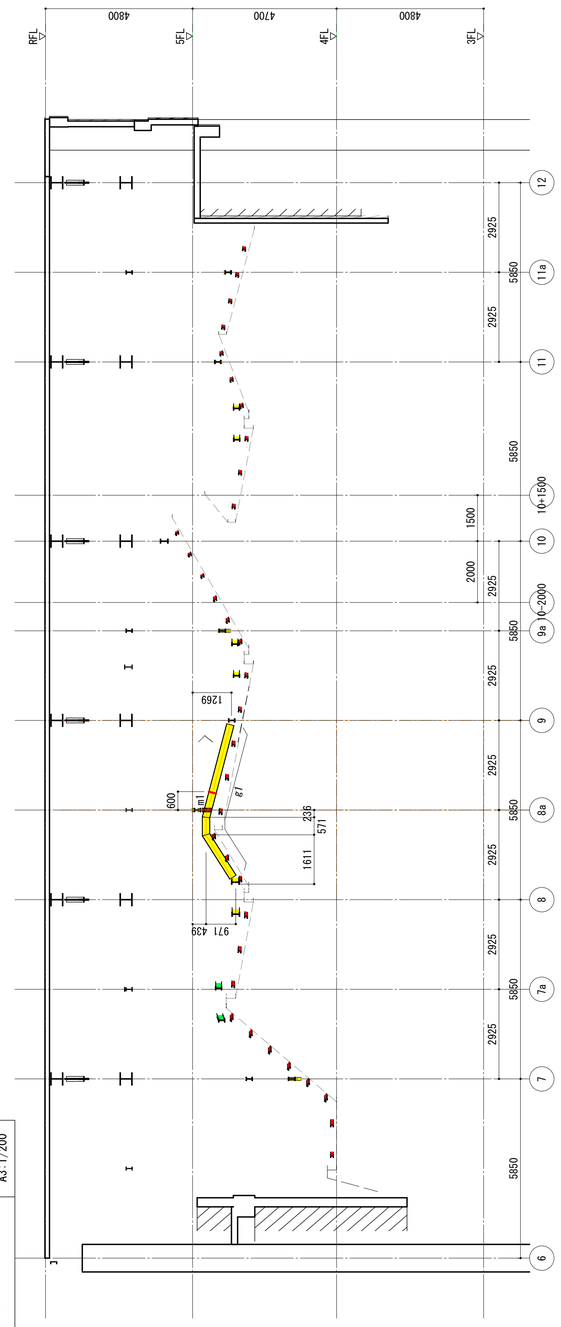
A1:1/100
A3:1/200

1. ※5は梁側面にカバープレートを取り付ける箇所を示す。



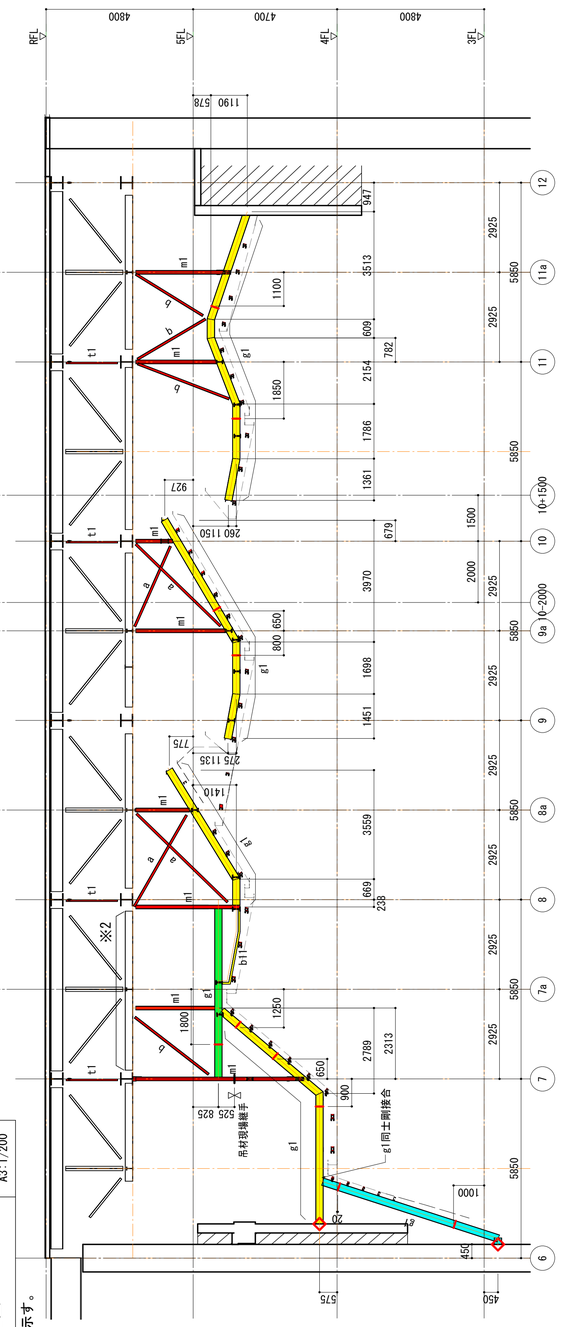
Oa通り+1100軸組図

A1:1/100
A3:1/200



P通り-500軸組図

A1:1/100
A3:1/200



P通り軸組図

A1:1/100
A3:1/200

1. ※2は既設梁補強範囲を示す。

注記）1. 特記なき限り、レベルの記載は部材芯の狙い点位置を示す。
2. ▭ は現場継手を示す。
3. 特記なき限り、部材同士の接合は、継手基準図に示すウェブ継手とする。
4. ◇ 印は、既存RC躯体接合部を示す。

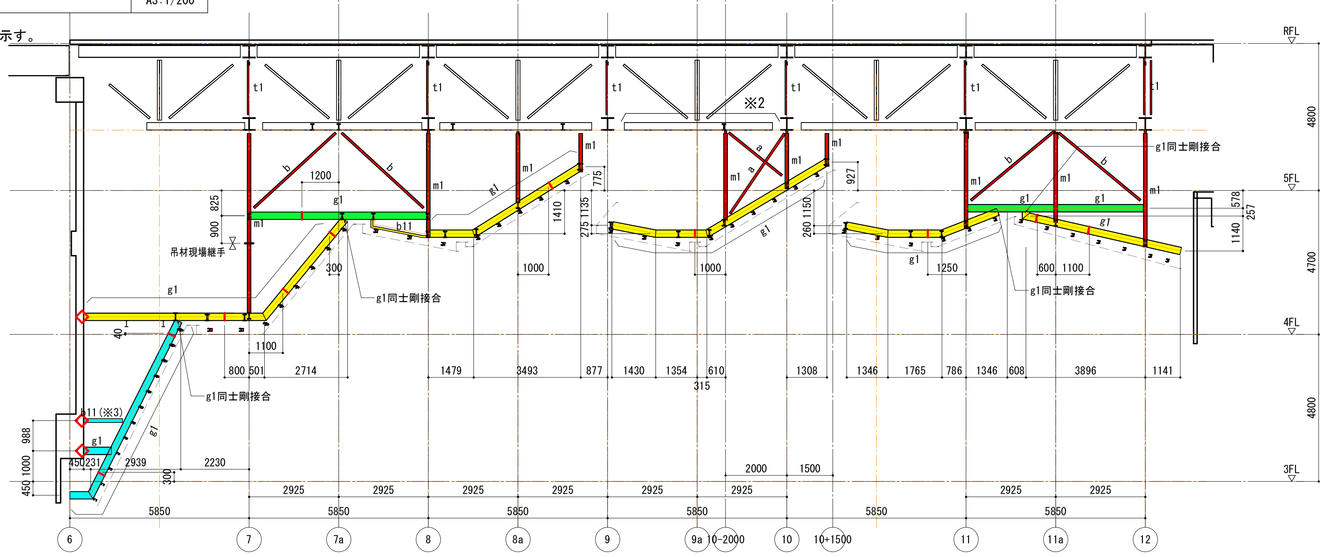
整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S3 － 05	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	第一ホール改修後軸組図（1）	A1: 1/100 A3: 1/200
		鹿児島市建設局建築部建築課	

注記）1. 特記なき限り、レベルの配置は部材芯の狙い点位置を示す。
2. ┼┼ は現場継手を示す。
3. 特記なき限り、部材同士の接合は、継手基準図に示すウェブ継手とする。
4. ◇ 印は、既存RC躯体接合部を示す。

Pa通り軸組図

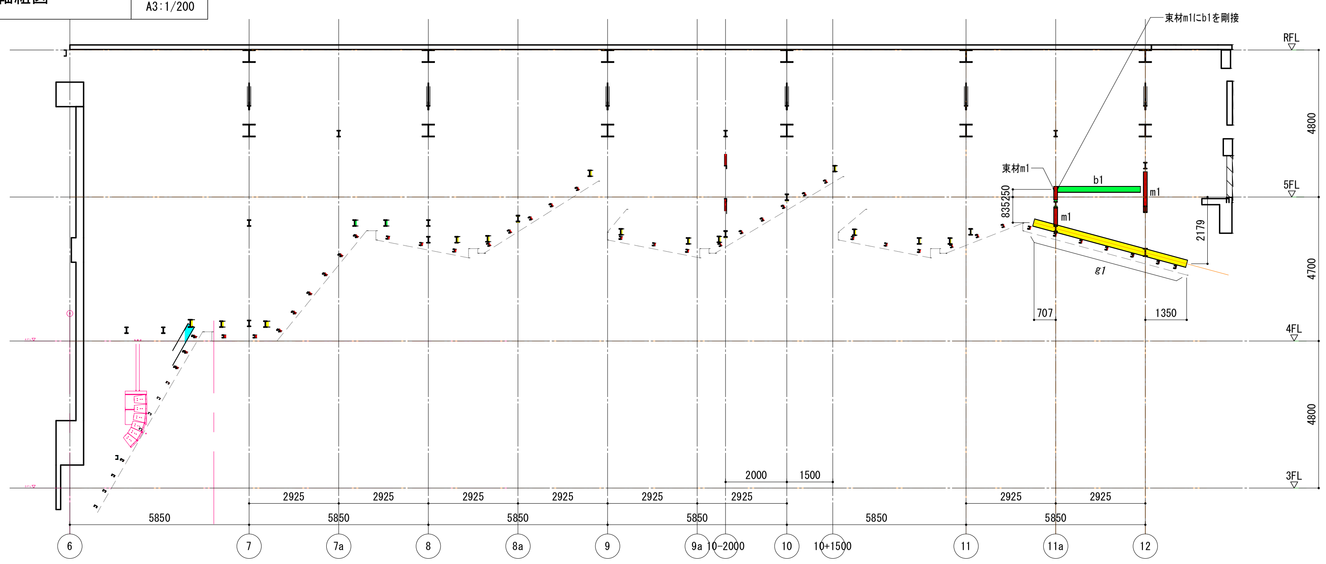
A1:1/100
A3:1/200

1. ※2は既設梁補強範囲を示す。



Q通り-1000軸組図

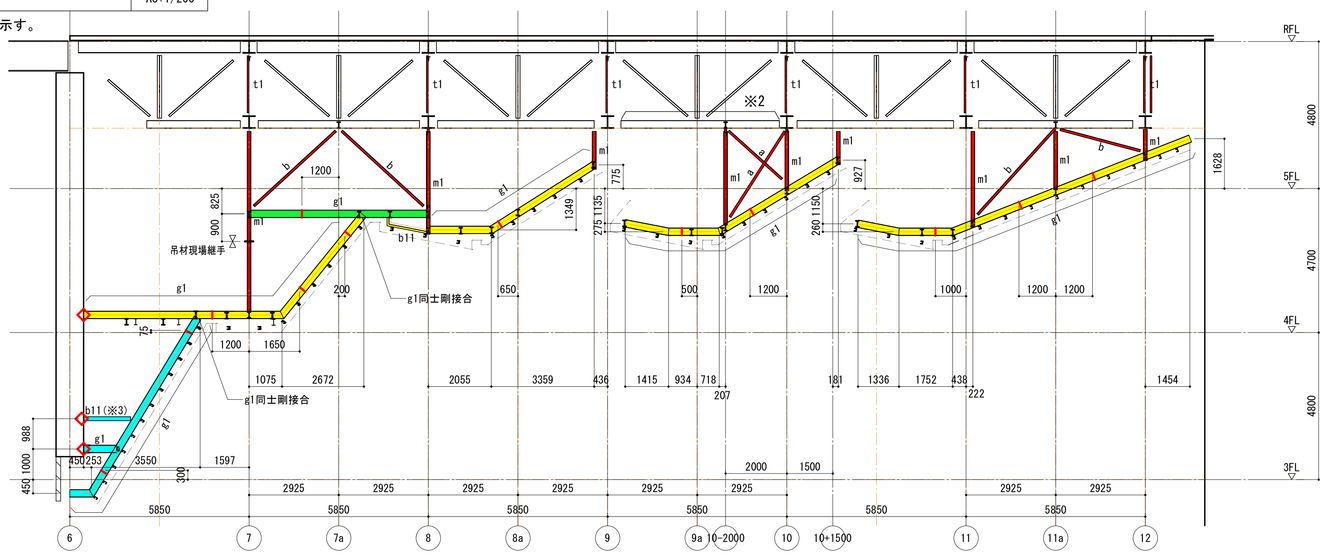
A1:1/100
A3:1/200



Q通り軸組図

A1:1/100
A3:1/200

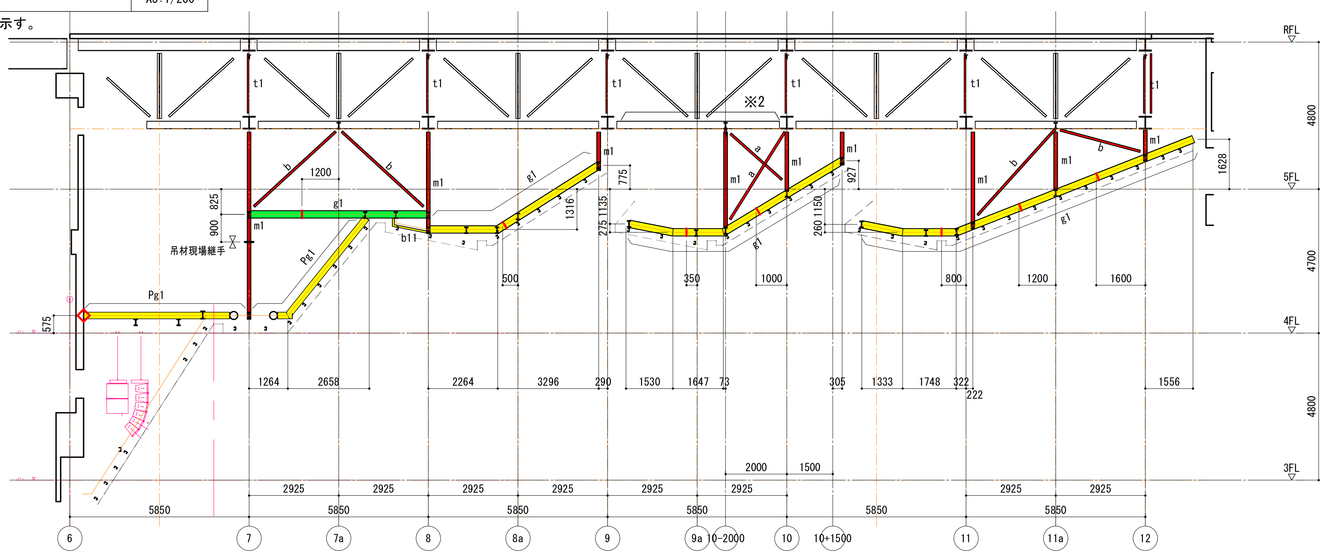
1. ※2は既設梁補強範囲を示す。



Qa通り軸組図

A1:1/100
A3:1/200

1. ※2は既設梁補強範囲を示す。



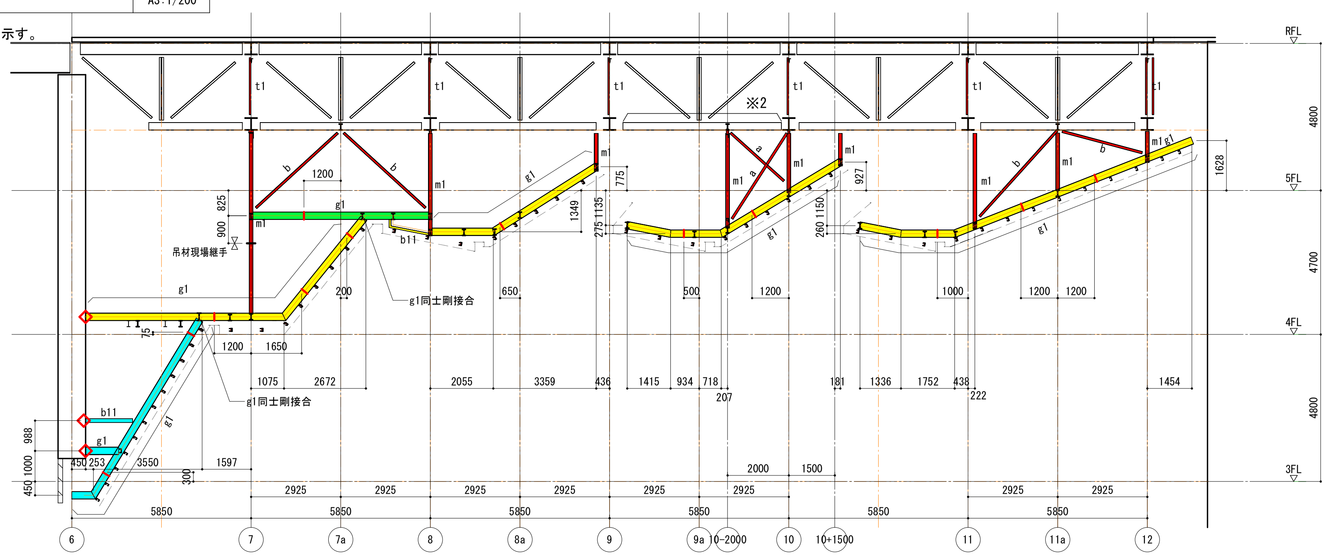
整理番号	S3 － 06
鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1047号 株式会社日本建築設計事務所 一級建築士事務所 第3021号 高橋 淳
第一ホール改修後軸組図（2）	A1: 1/100 A3: 1/200
鹿児島市建設局建築部建築課	

注記）1. 特記なき限り、レベルの配置は部材芯の狙い点位置を示す。
2. ═══ は現場継手を示す。
3. 特記なき限り、部材同士の接合は、継手基準図に示すウェブ継手とする。
4. ◇ 印は、既存RC躯体接合部を示す。

R通り軸組図

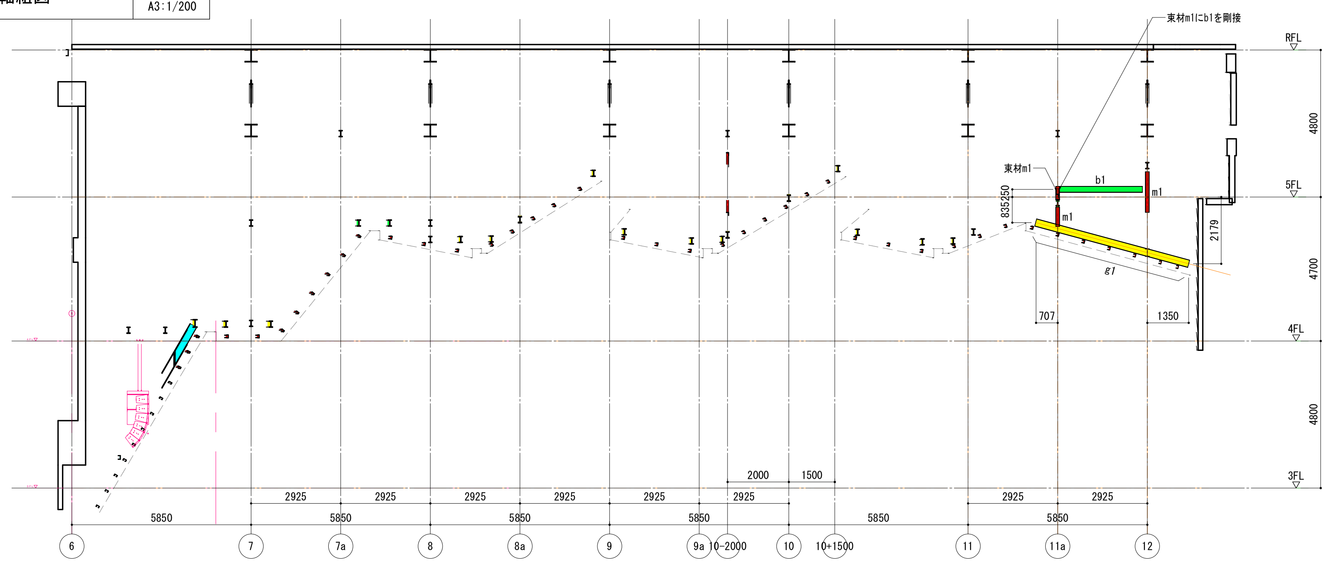
A1:1/100
A3:1/200

1. ※2は既設梁補強範囲を示す。



R通り+1000軸組図

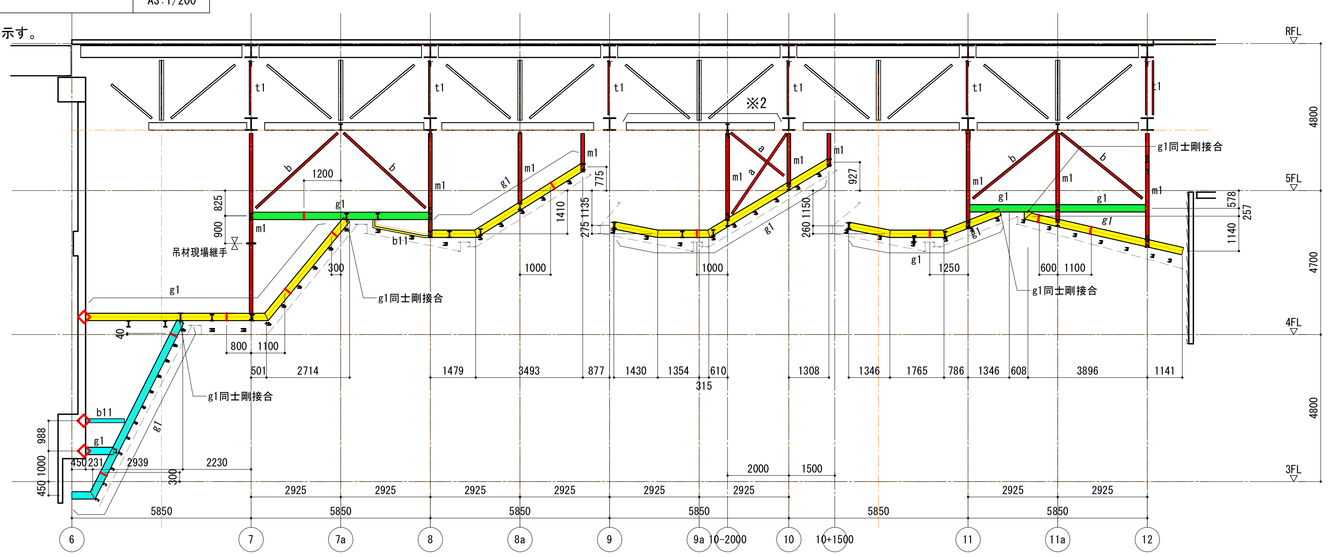
A1:1/100
A3:1/200



Ra通り軸組図

A1:1/100
A3:1/200

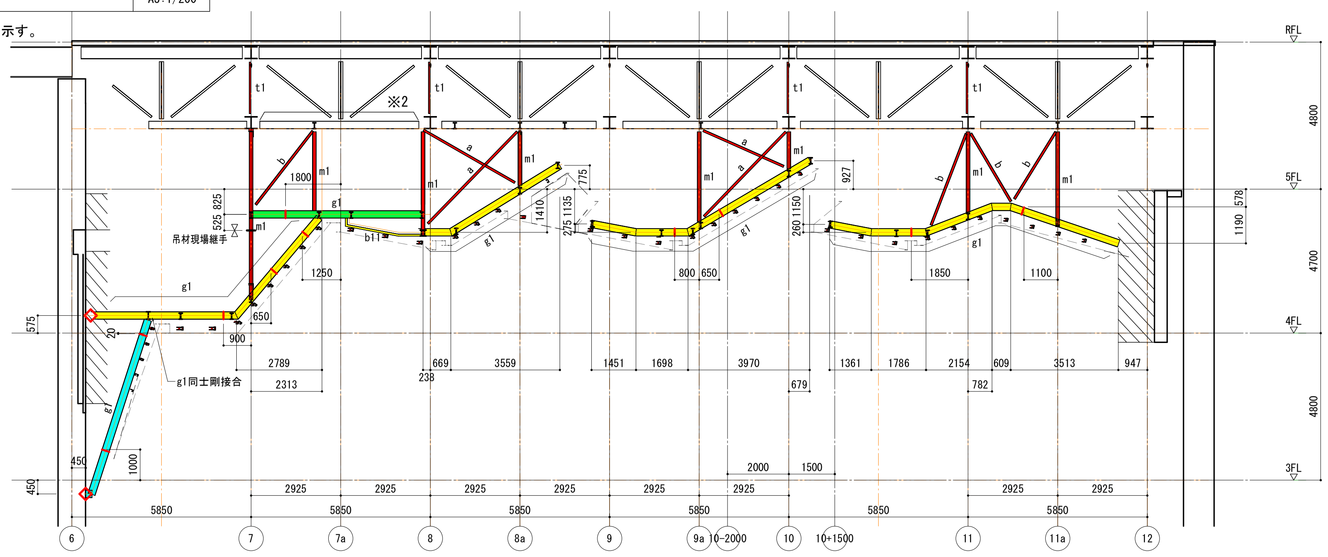
1. ※2は既設梁補強範囲を示す。



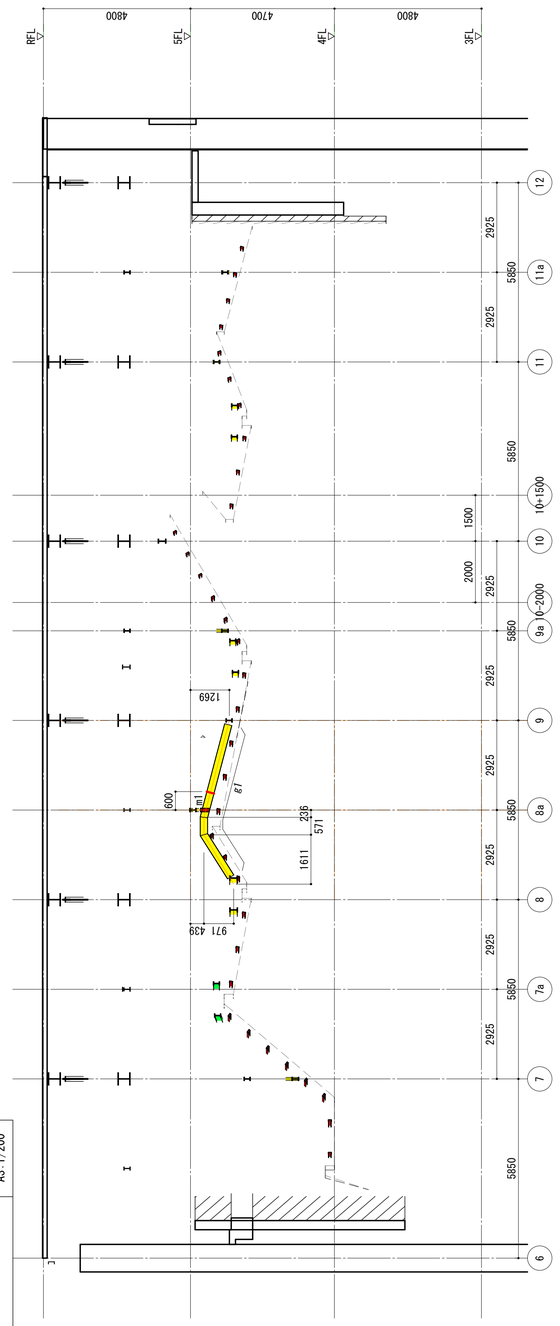
S通り軸組図

A1:1/100
A3:1/200

1. ※2は既設梁補強範囲を示す。

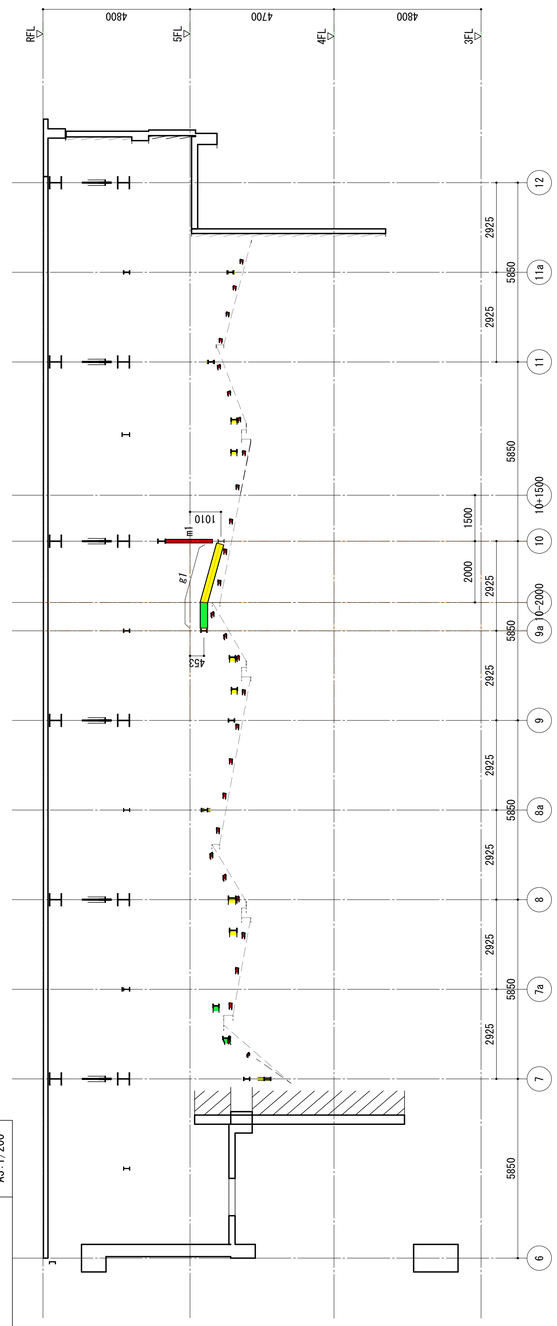


整理番号	S3 － 07
鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第10471号 株式会社日本建築設計事務所 一級建築士事務所 第34021号 高橋 淳
第一ホール改修後軸組図（3）	A1: 1/100 A3: 1/200
鹿児島市建設局建築部建築課	



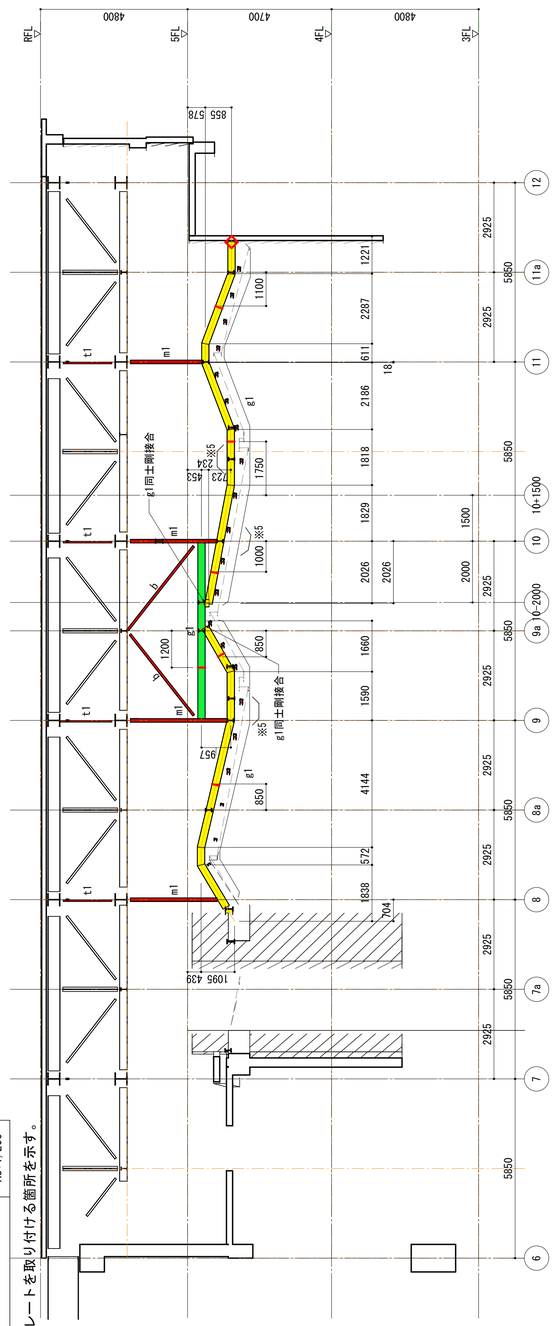
S通り+500軸組図

A1:1/100
A3:1/200



Sa通り-1100軸組図

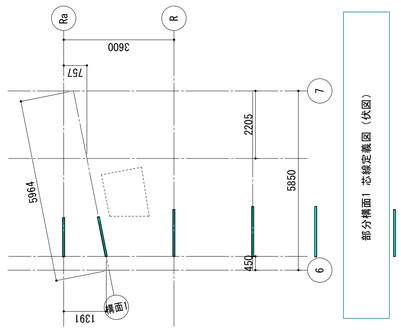
A1:1/100
A3:1/200



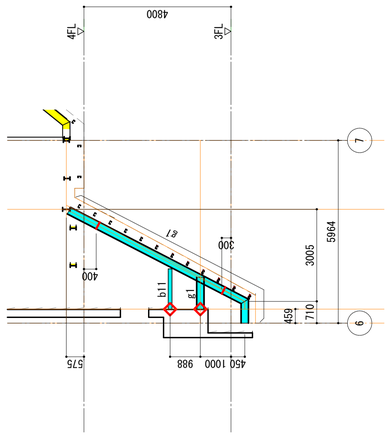
Sa通り軸組図

A1:1/100
A3:1/200

1.※5は梁側面にカバープレートを取り付ける箇所を示す。



部分構面1 芯線定義図（伏図）



部分構面1軸組図

A1:1/100
A3:1/200

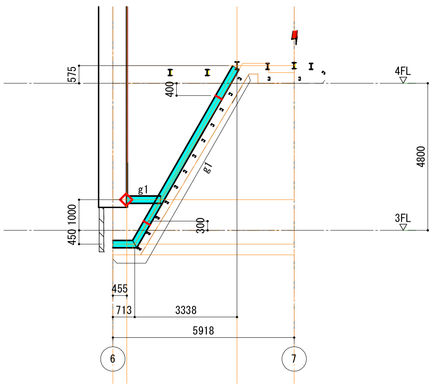
注記）1.特記なき限り、レベルの記載は部材芯の狙い点位置を示す。
2. ┃ は現場継手を示す。
3.特記なき限り、部材同士の接合は、継手基準図に示すウェブ継手とする。
4. ◇ 印は、既存RC躯体接合部を示す。

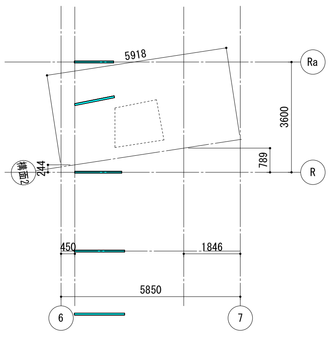
整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S3 － 08	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	第一ホール改修後軸組図（4）	A1: 1/100 A3: 1/200
		鹿児島市建設局建築部建築課	

注記）1. 特記なき限り、レベルの配置は部材芯の狙い点位置を示す。
2. ┼ は現場継手を示す。
3. 特記なき限り、部材同士の接合は、継手基準図に示すウェブ継手とする。
4. ◇ 印は、既存RC躯体接合部を示す。

部分構面2軸組図

A1:1/100
A3:1/200

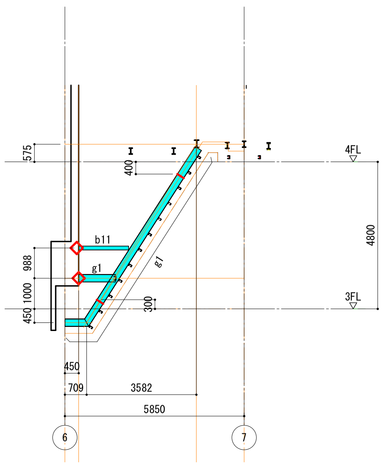




部分構面2 芯線定義図（伏図）

部分構面3軸組図

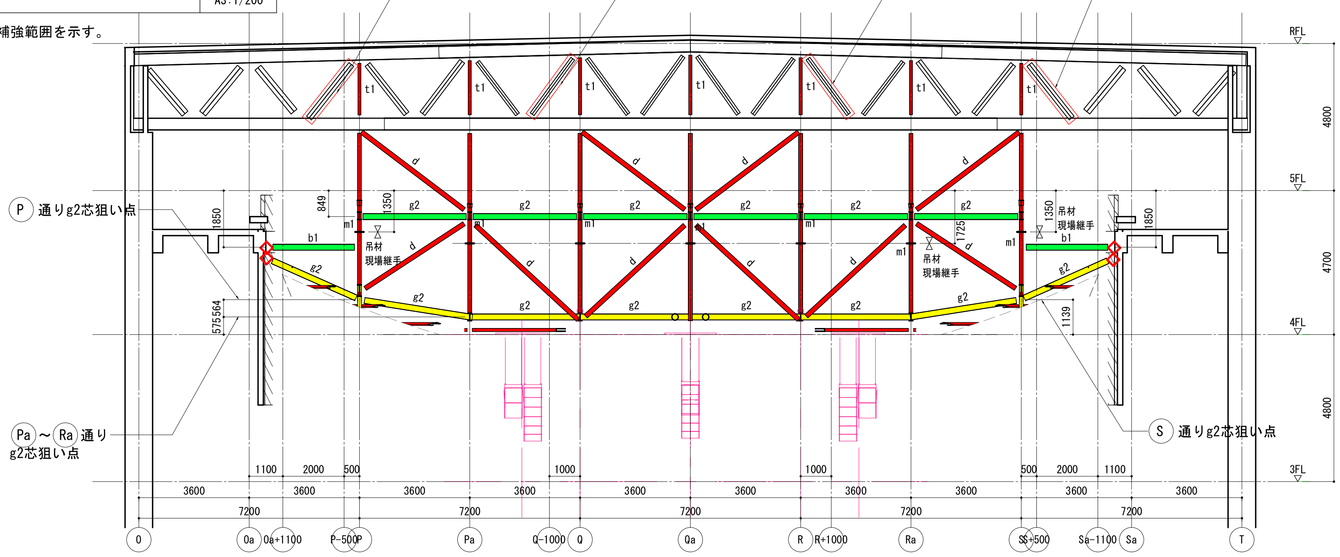
A1:1/100
A3:1/200



7通り軸組図

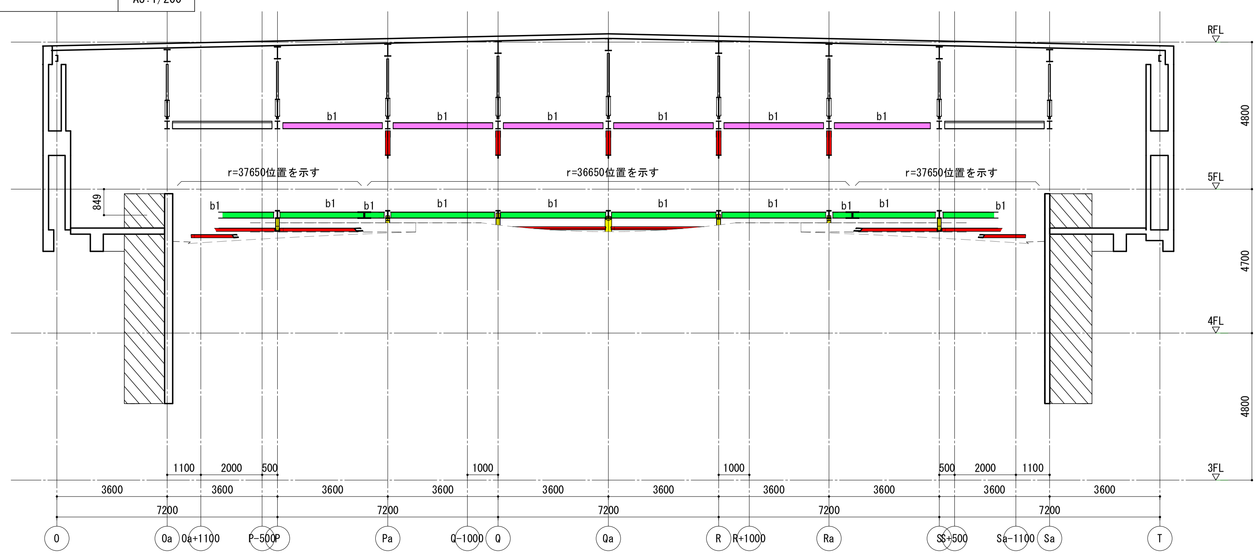
A1:1/100
A3:1/200

1. ※2は既設梁補強範囲を示す。



7a通り軸組図

A1:1/100
A3:1/200



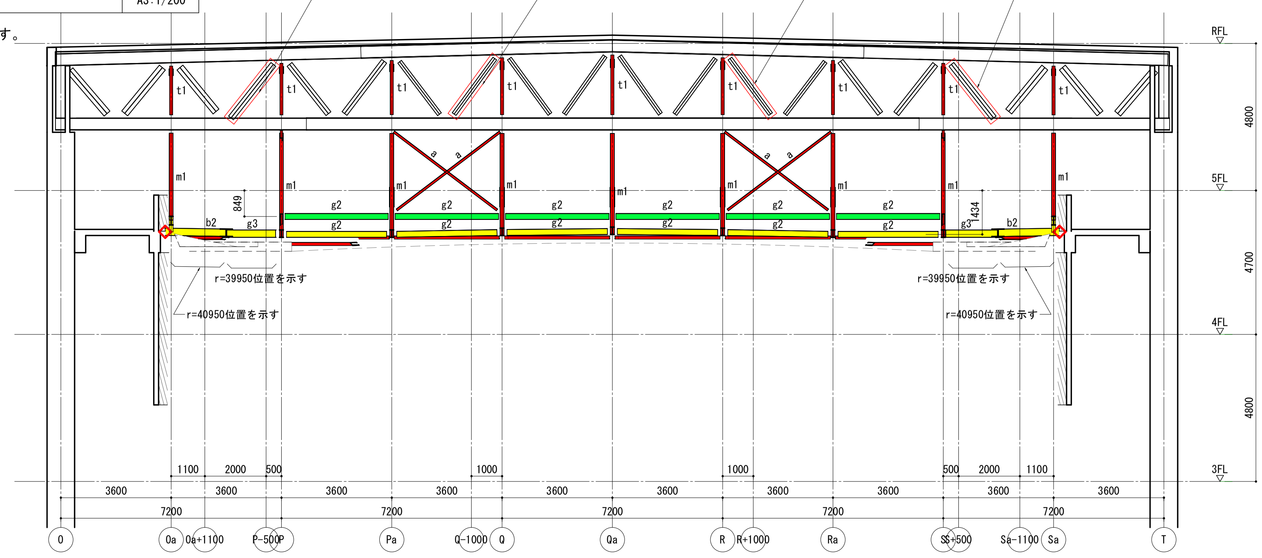
整理番号	S3 － 09
一級建築士事務所 株式会社日本建築総合研究所	鹿児島知事登録 第1047号 一級建築士事務所 第 3622 号 高橋 淳
鹿児島市建設局建築部建築課	鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事
	第一ホール改修後軸組図（5）
	A1: 1/100 A3: 1/200

注記）1. 特記なき限り、レベルの配置は部材芯の狙い点位置を示す。
2. ═══ は現場継手を示す。
3. 特記なき限り、部材同士の接合は、継手基準図に示すウェブ継手とする。
4. ◇ 印は、既存RC躯体接合部を示す。

8通り軸組図

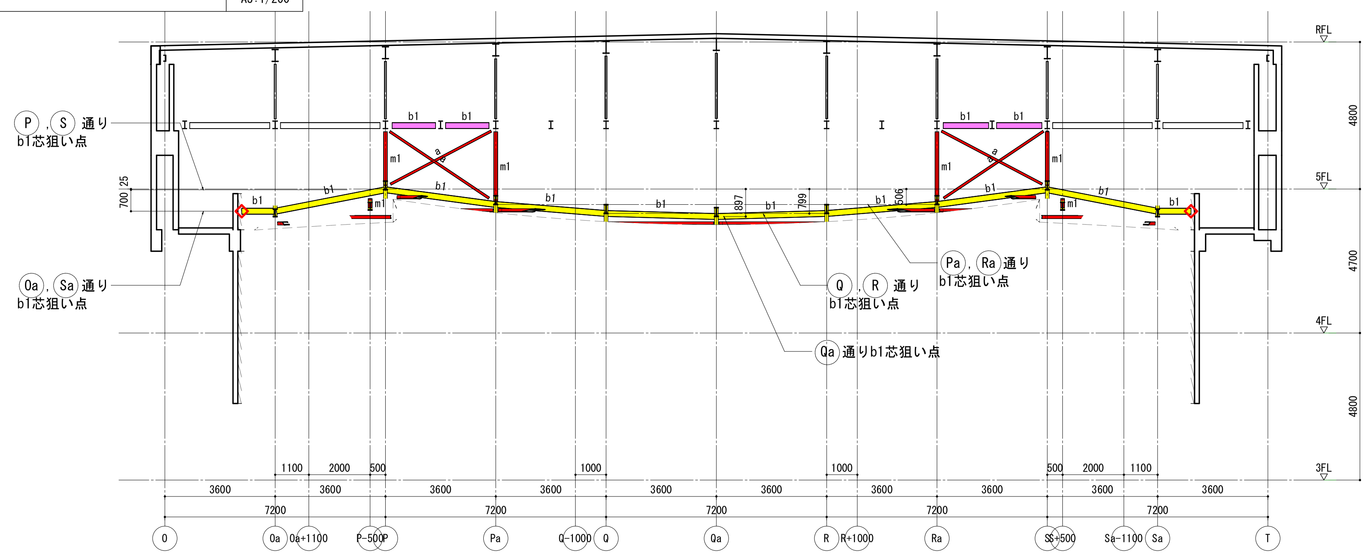
A1:1/100
A3:1/200

1.※2は既設梁補強範囲を示す。



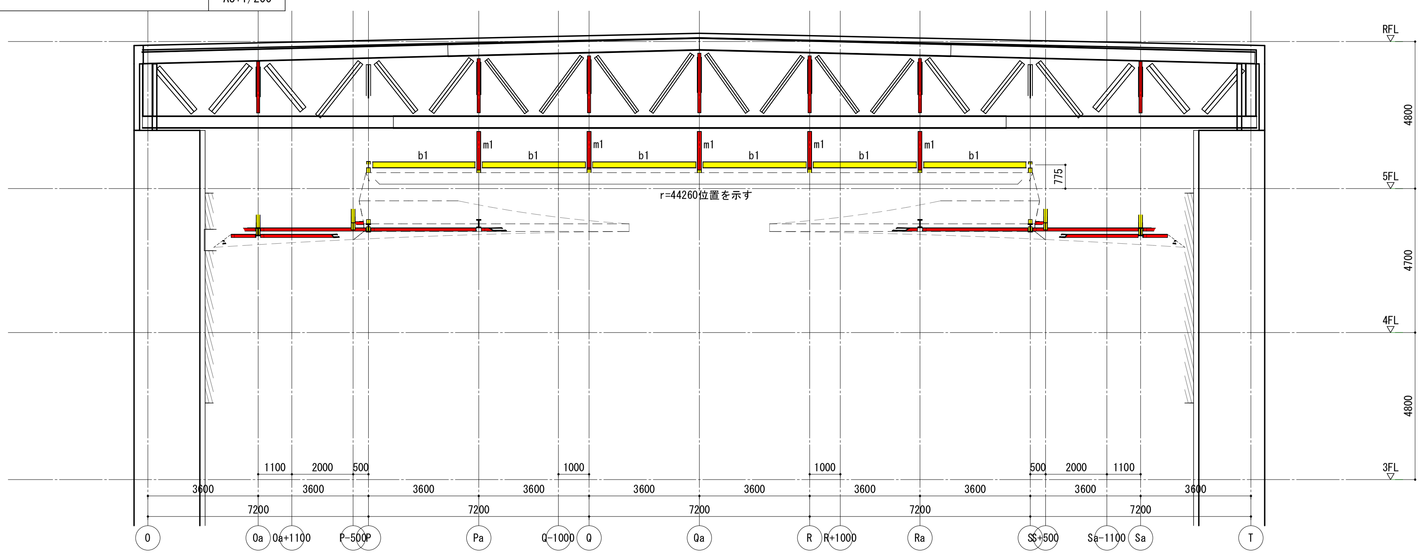
8a通り軸組図

A1:1/100
A3:1/200



9通り-300軸組図

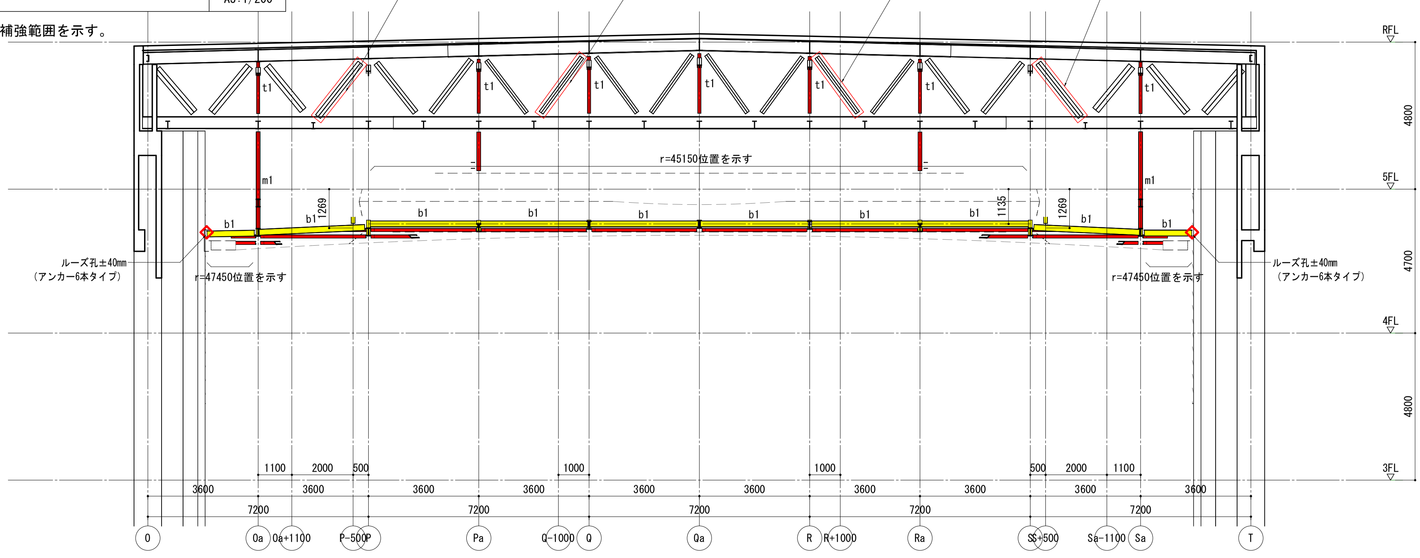
A1:1/100
A3:1/200



9通り軸組図

A1:1/100
A3:1/200

1.※2は既設梁補強範囲を示す。



整理番号 S3 － 10

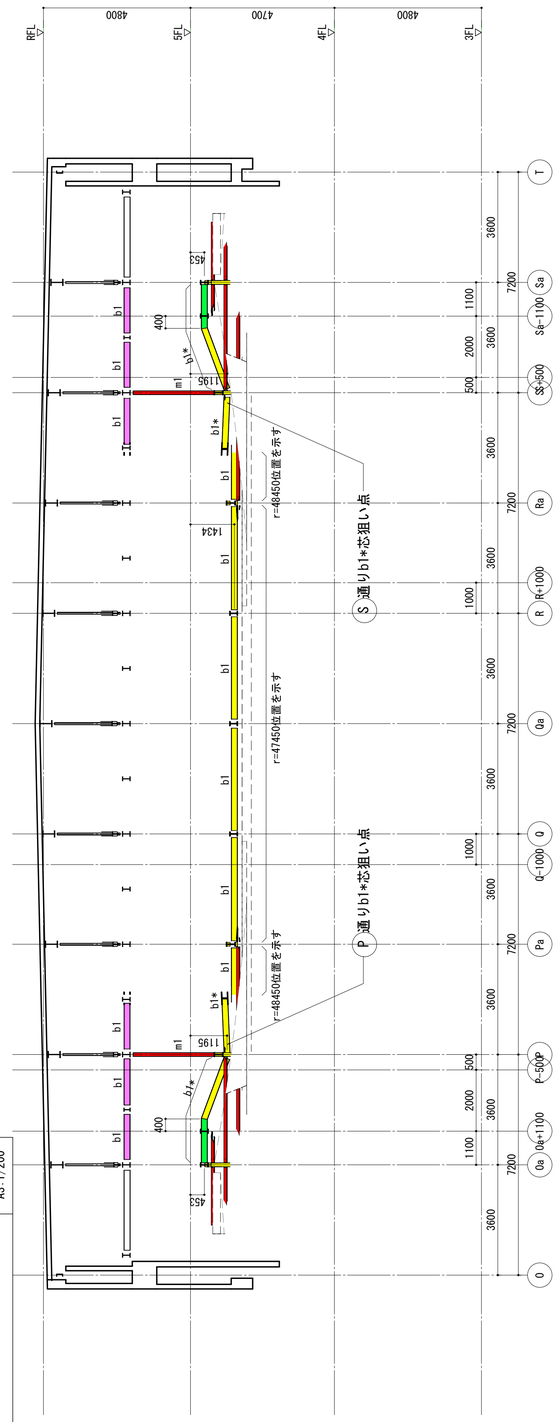
一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1047号
株式会社 日高設計 一級建築士事務所 第 3622 号
一級建築士 高橋 淳

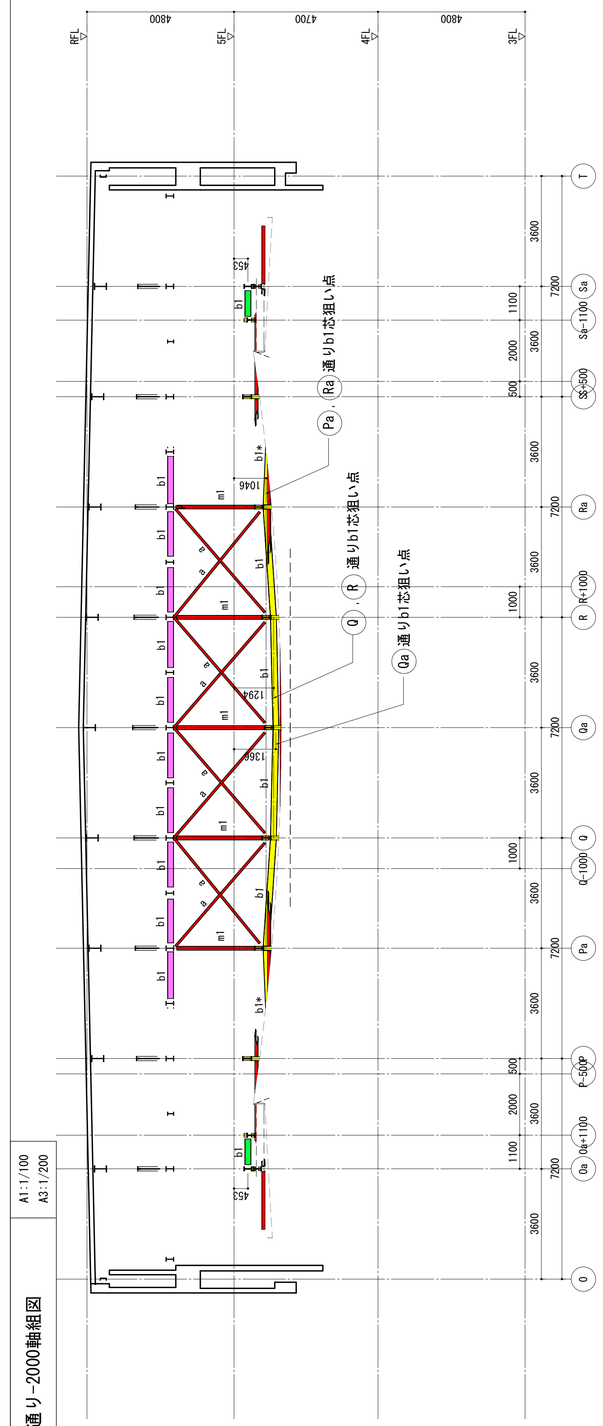
鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事

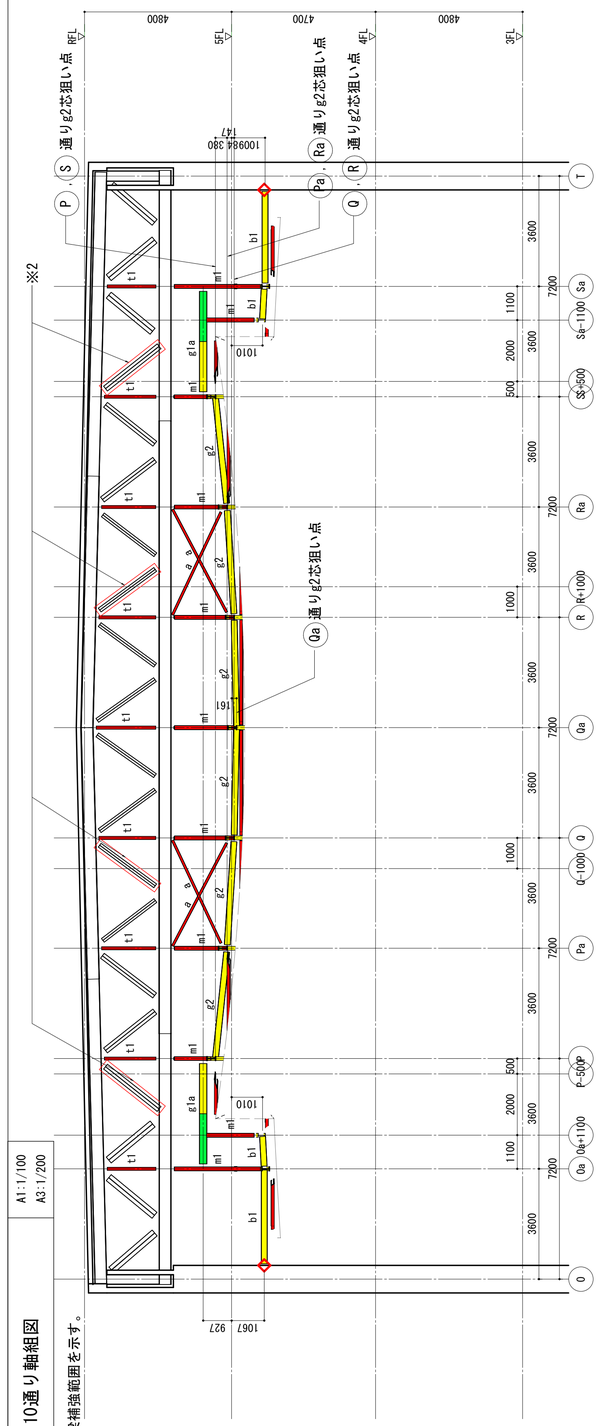
第一ホール改修後軸組図（6）

A1: 1/100
A3: 1/200

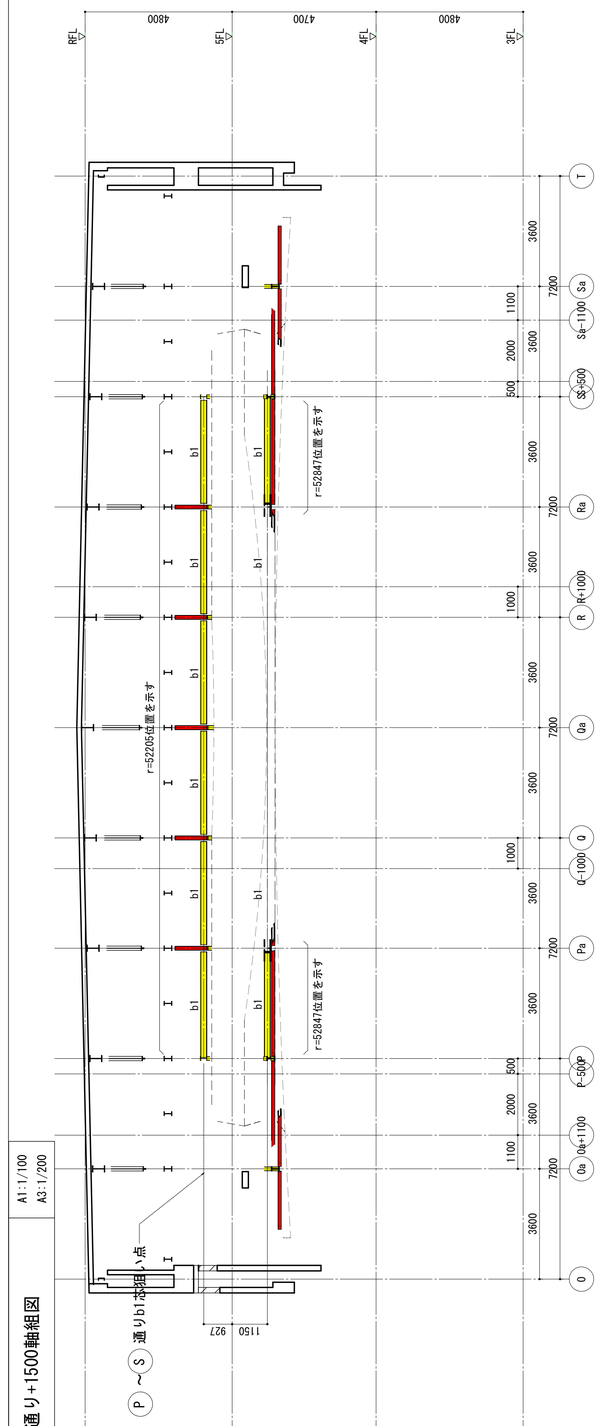
鹿児島市建設局建築部建築課





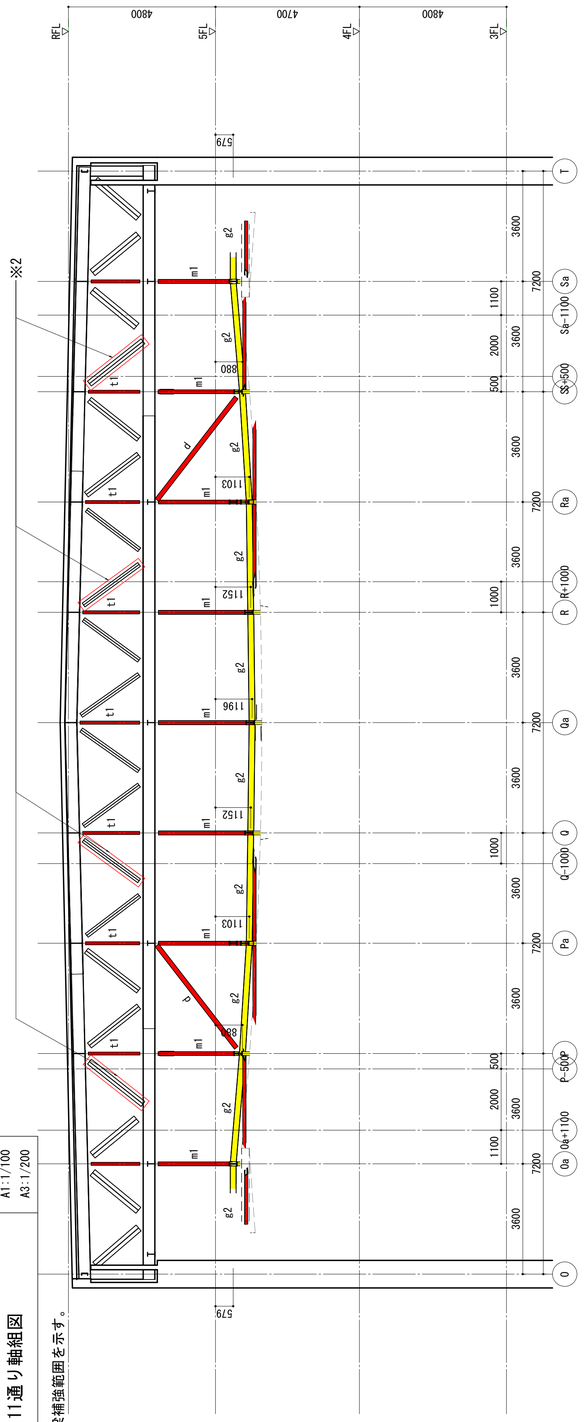


1. ※2は既設梁補強範囲を示す。



注記）1. 特記なき限り、レベルの記載は部材芯の狙い点位置を示す。
2. ┼ は現場継手を示す。
3. 特記なき限り、部材同士の接合は、継手基準図に示すウェブ継手とする。
4. ◇ 印は、既存RC躯体接合部を示す。

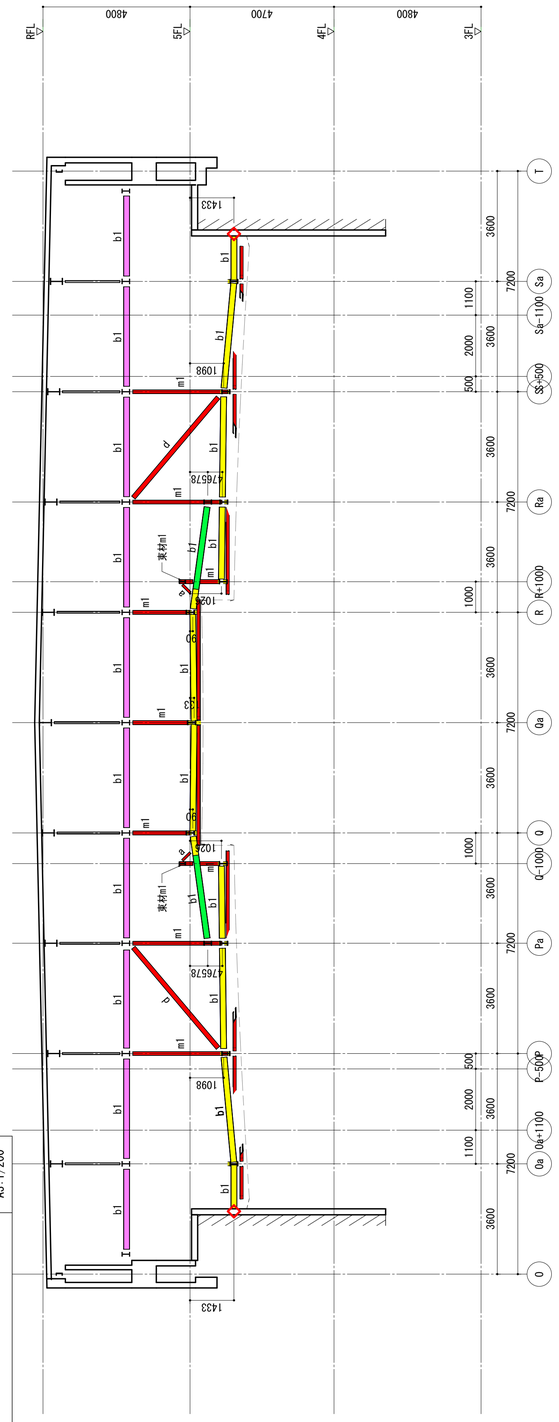
整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S3 － 11	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	第一ホール改修後軸組図（7）	A1: 1/100 A3: 1/200
		鹿児島市建設局建築部建築課	



11通り軸組図

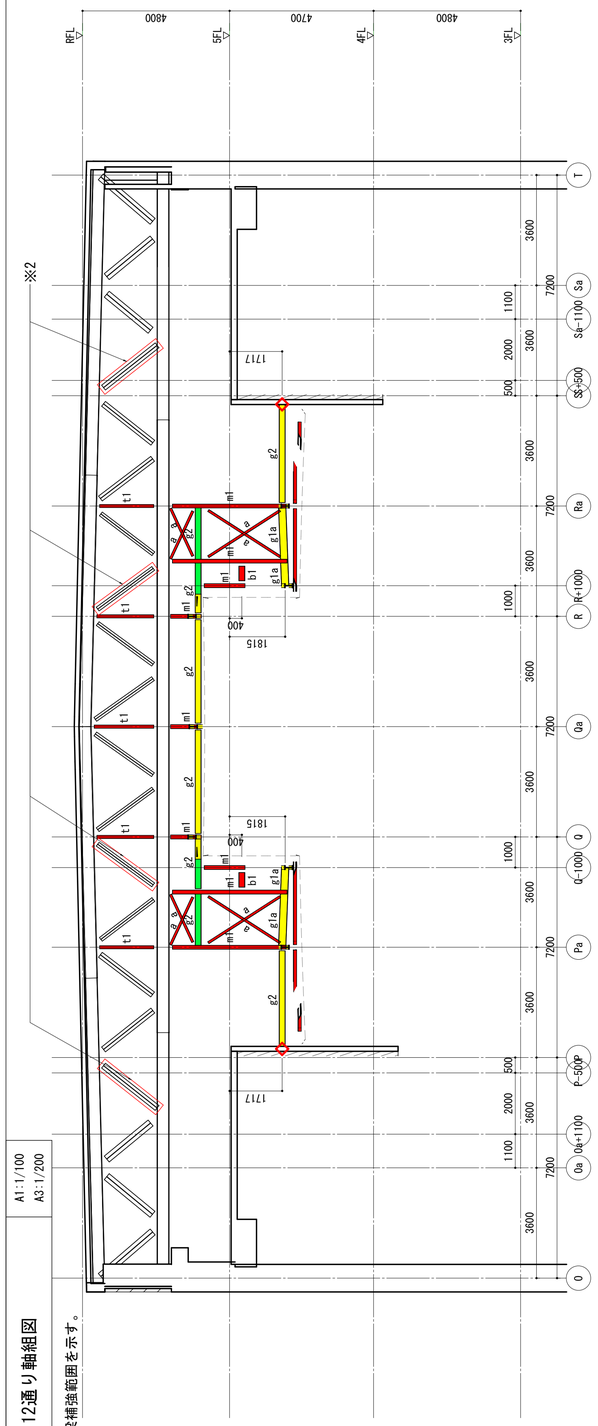
A1:1/100
A3:1/200

1.※2は既設梁補強範囲を示す。



11a通り軸組図

A1:1/100
A3:1/200



12通り軸組図

A1:1/100
A3:1/200

1.※2は既設梁補強範囲を示す。

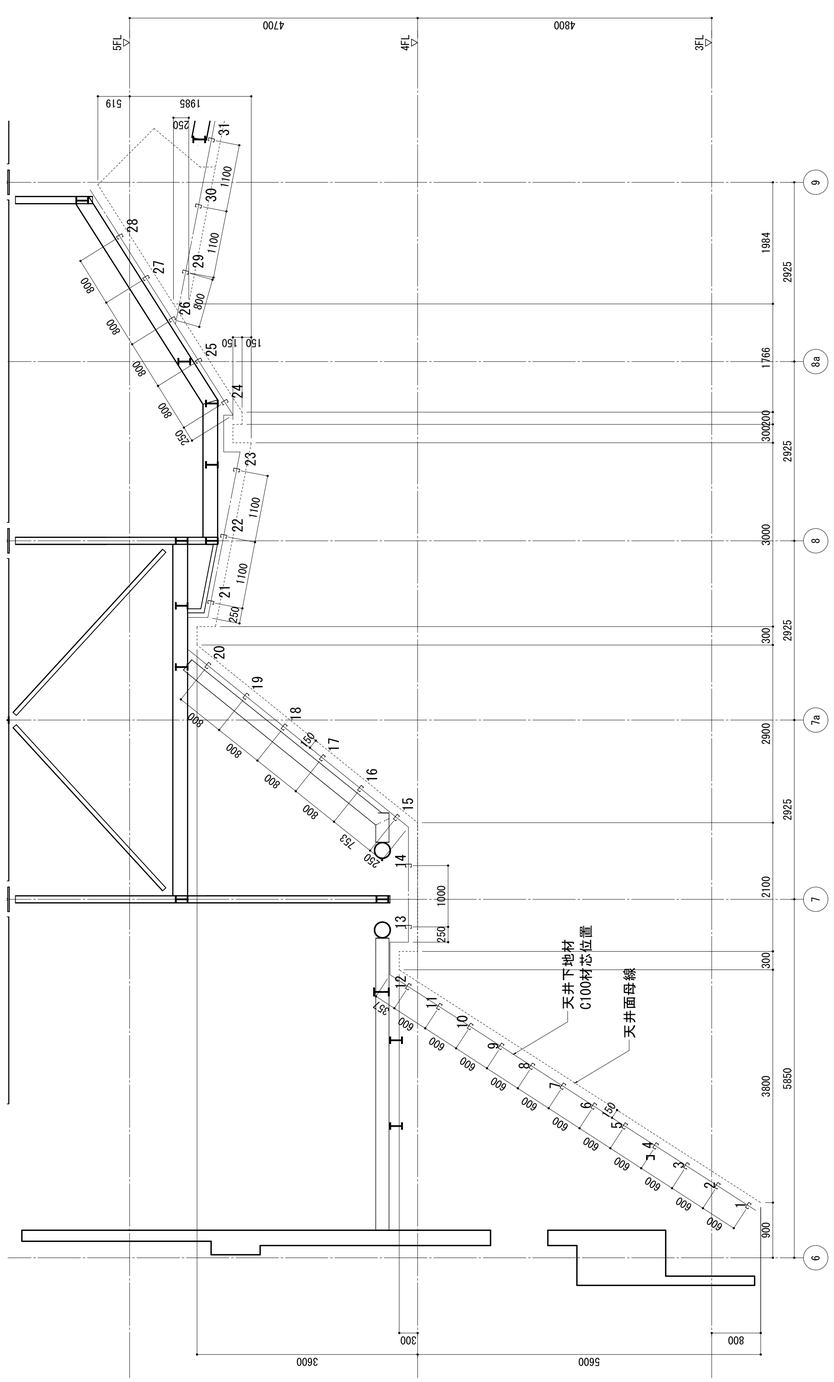
注記）1.特記なき限り、レベルの記載は部材芯の狙い点位置を示す。
2. ┃ は現場継手を示す。
3.特記なき限り、部材同士の接合は、継手基準図に示すウェブ継手とする。
4. ◇ 印は、既存RC躯体接合部を示す。

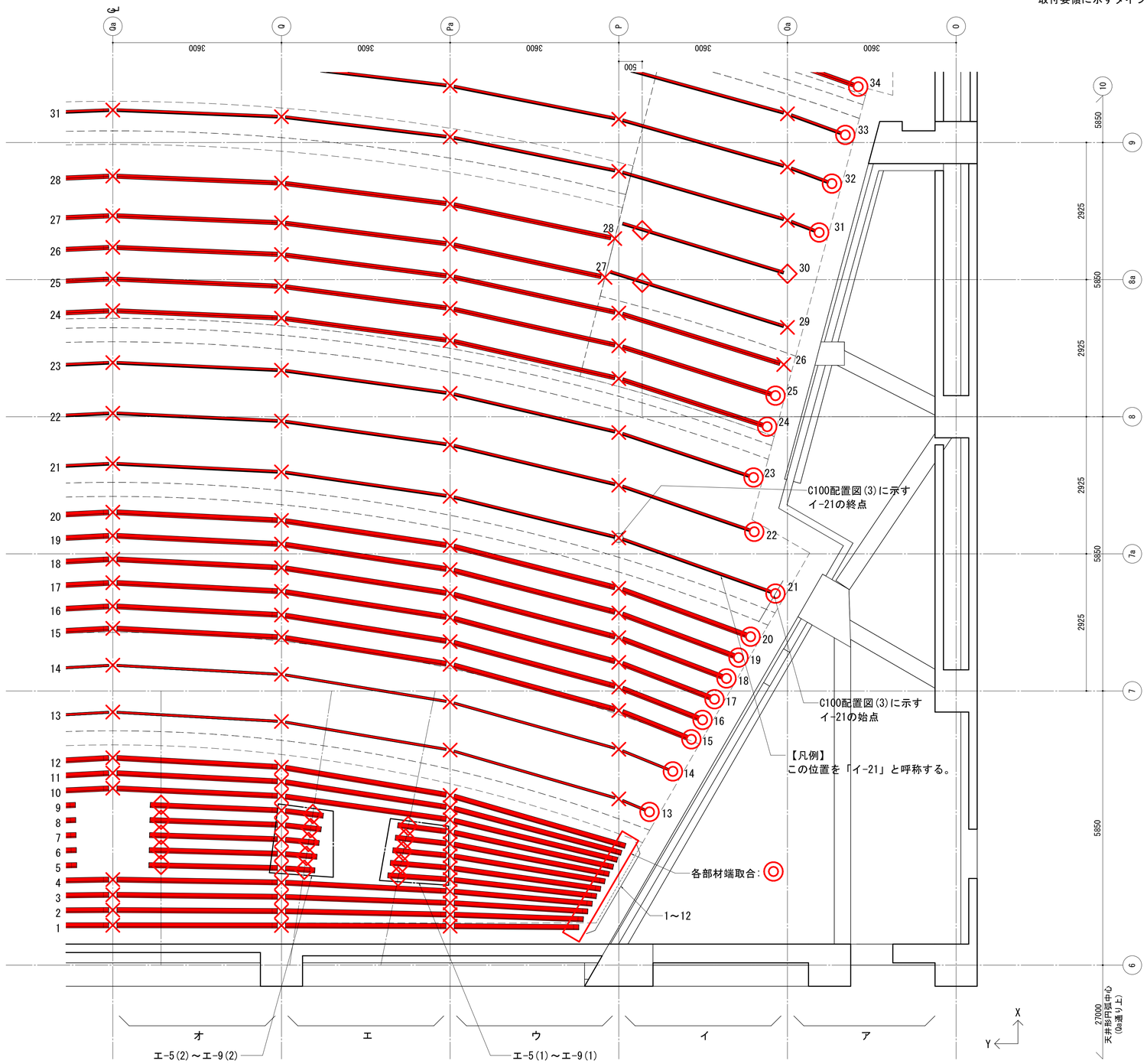
整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S3 － 12	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	第一ホール改修後軸組図（8）	A1: 1/100 A3: 1/200
		鹿児島市建設局建築部建築課	

天井下地材C100配置図(1)

A1:1/50
A3:1/100

凡例
- ╳ 印:C100取合要領に示す梁下取合タイプⅠ
- ◇ 印:C100取合要領に示す梁下取合タイプⅡ
- ◎ 印:客席側壁RC躯体取付要領に示すタイプⅢ
- ◆ 印:客席側壁RC躯体取付要領に示すタイプⅣ

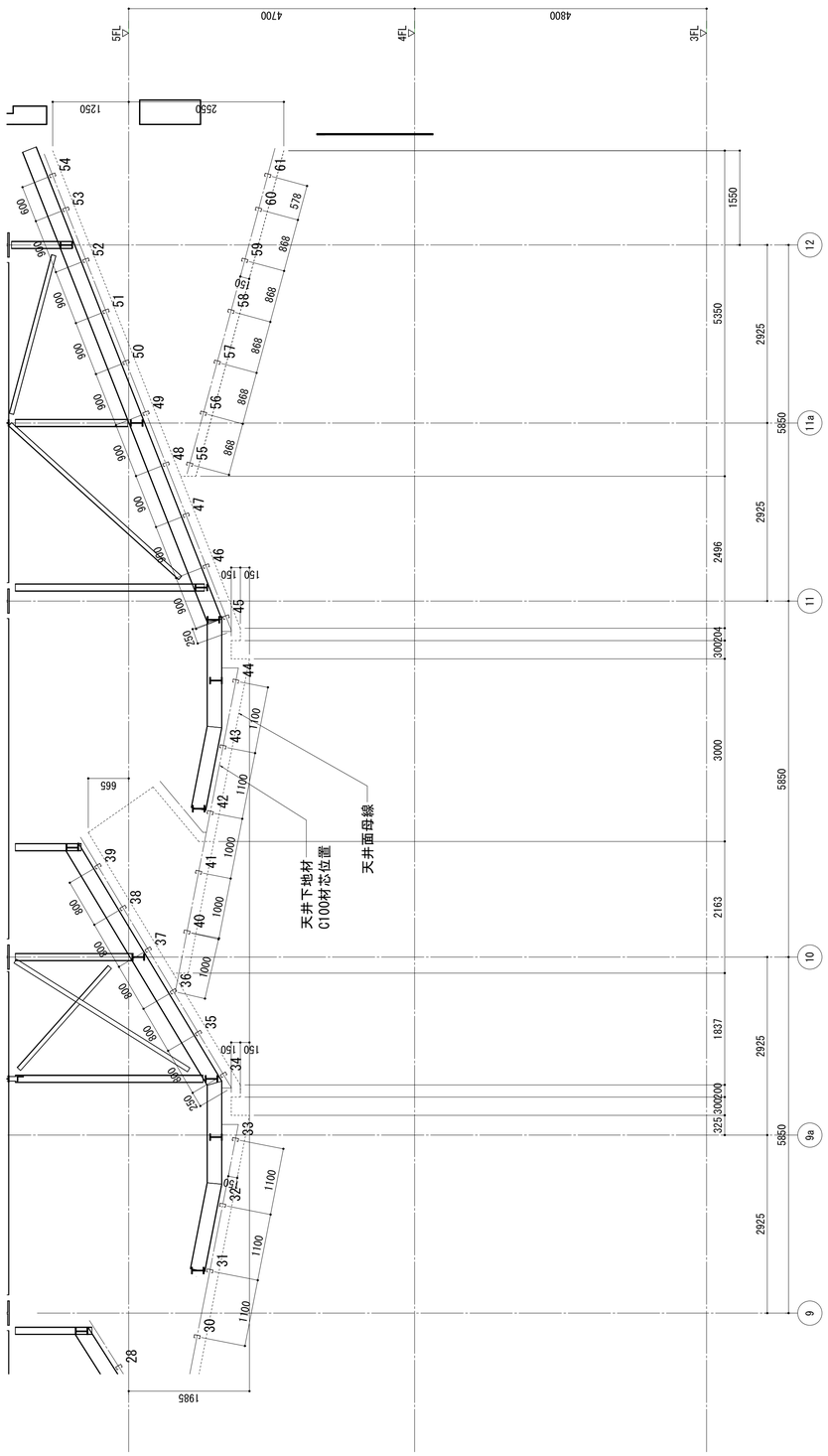


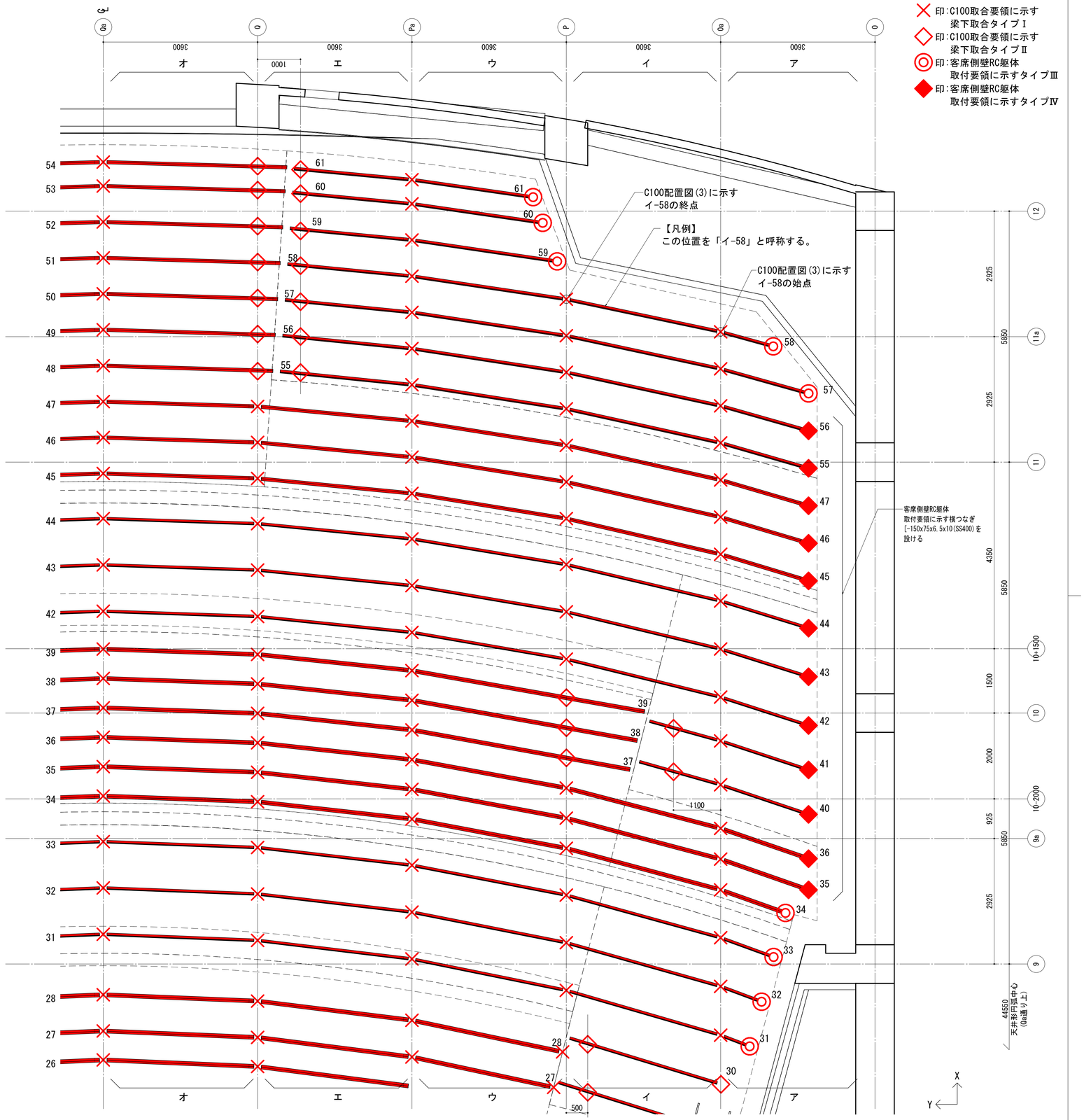


整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S3 － 13	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 髙橋　淳	第一ホール改修下地材配置図（1）	A1: 1/50 A3: 1/100
		鹿児島市建設局建築部建築課	

天井下地材C100配置図(2)

A1:1/50
A3:1/100

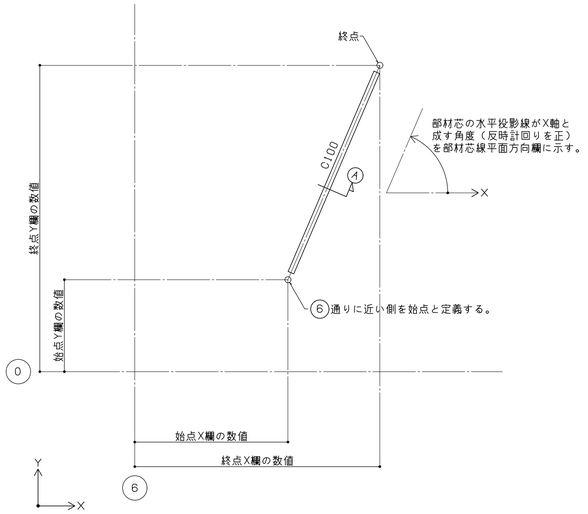


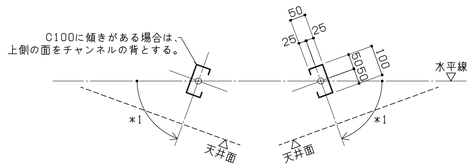


整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S3 − 14	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	第一ホール改修下地材配置図（2）	A1: 1/50 A3: 1/100
		鹿児島市建設局建築部建築課	

天井下地材C100配置図(3)

注記）　記入なき限り下記による。
1．本表には、⓪～Ⓠa 通り間について示す。 Ⓠa ～Ⓣ通り間は、 Ⓠa 通りを軸に対称配置とする。





*1の角度を強軸方向の傾きの欄に示す。
左上図の場合を正値、右図の場合を
負値とする。

Ⓐ 断面（拡大）

配置	始点 X 6通り基準	始点 Y ⓪通り基準	終点 X 6通り基準	終点 Y ⓪通り基準	高さ位置 Z 3FL基準	部材芯線 平面方向	強軸方向 の傾き	狙い点間 長さ
ア- 31	15631	2923	15891	3600	8166	69.0	-79.0	725
ア- 32	16671	2644	17028	3600	7956	69.5	-79.0	1020
ア- 33	17713	2365	18163	3600	7745	70.0	-79.0	1314
ア- 34	18742	2090	19278	3600	7940	70.5	-58.9	1603
ア- 35	19279	1550	19995	3600	8353	70.7	-58.9	2172
ア- 36	20006	1550	20711	3600	8766	71.0	-58.9	2168
ア- 40	21038	1550	21728	3600	8543	71.4	-79.0	2163
ア- 41	22075	1550	22751	3600	8352	71.8	-79.0	2158
ア- 42	23110	1550	23772	3600	8160	72.1	-79.0	2154
ア- 43	24246	1550	24893	3600	7950	72.5	-79.0	2150
ア- 44	25380	1550	26013	3600	7739	72.8	-79.0	2146
ア- 45	26482	1550	27102	3600	7898	73.2	-68.5	2142
ア- 46	27358	1550	27968	3600	8227	73.4	-68.5	2139
ア- 47	28233	1550	28834	3600	8556	73.7	-68.5	2136
ア- 55	29107	1550	29698	3600	8498	73.9	-74.9	2134
ア- 56	29980	1550	30562	3600	8272	74.1	-74.9	2131
ア- 57	30852	1550	31425	3600	8045	74.4	-74.9	2129
ア- 58	31949	2373	32287	3600	7819	74.6	-74.9	1273
イ- 13	3270	6545	3547	7200	4950	67.1	-90.0	711
イ- 14	4135	6046	4606	7200	4950	67.8	-90.0	1247
イ- 15	4819	5651	5434	7200	5145	68.3	-38.9	1667
イ- 16	5233	5412	5932	7200	5732	68.6	-38.9	1920
イ- 17	5674	5157	6460	7200	6355	69.0	-38.9	2189
イ- 18	6117	4901	6987	7200	6978	69.3	-38.9	2458
イ- 19	6562	4645	7513	7200	7601	69.6	-38.9	2727
イ- 20	7008	4387	8039	7200	8224	69.9	-38.9	2996
イ- 21	7927	3856	9115	7200	8176	70.4	-79.0	3549
イ- 22	9246	4308	10241	7200	7965	71.0	-79.0	3058
イ- 23	10404	4324	11363	7200	7755	71.5	-79.0	3032
イ- 24	11489	4033	12514	7200	7946	72.1	-57.6	3329
イ- 25	12150	3856	13213	7200	8375	72.4	-57.6	3509
イ- 26	12813	3678	13912	7200	8803	72.7	-57.6	3690
イ- 29	13607	3600	14814	7460	8587	72.6	-79.0	4044
イ- 30	14750	3600	15846	7199	8377	73.1	-79.0	3762
イ- 31	15891	3600	16936	7200	8166	73.8	-79.0	3749
イ- 32	17028	3600	18047	7200	7956	74.2	-79.0	3741
イ- 33	18163	3600	19156	7200	7745	74.6	-79.0	3735
イ- 34	19278	3600	20248	7200	7940	74.9	-58.9	3728
イ- 35	19995	3600	20950	7200	8353	75.1	-58.9	3725
イ- 36	20711	3600	21652	7200	8766	75.3	-58.9	3721
イ- 40	21728	3600	22288	5576	8543	74.2	-79.0	2053
イ- 41	22751	3600	23233	5337	8352	74.5	-79.0	1803
イ- 42	23772	3600	24658	7200	8160	76.2	-79.0	3707
イ- 43	24893	3600	25760	7200	7950	76.5	-79.0	3703
イ- 44	26013	3600	26862	7200	7739	76.7	-79.0	3699
イ- 45	27102	3600	27934	7200	7898	77.0	-68.5	3695
イ- 46	27968	3600	28787	7200	8227	77.2	-68.5	3692
イ- 47	28834	3600	29640	7200	8556	77.4	-68.5	3689
イ- 55	29698	3600	30493	7200	8498	77.6	-74.9	3687
イ- 56	30562	3600	31345	7200	8272	77.7	-74.9	3684
イ- 57	31425	3600	32196	7200	8045	77.9	-74.9	3682
イ- 58	32287	3600	33047	7200	7819	78.1	-74.9	3679
ウ- 1	809	7966	831	10800	-599	89.5	-22.8	2834
ウ- 2	976	7869	1078	10800	-94	88.0	-22.9	2932
ウ- 3	1140	7775	1326	10800	410	86.5	-22.9	3031
ウ- 4	1302	7681	1576	10800	915	85.0	-22.9	3131
ウ- 5	1461	7589	1827	10800	1419	83.5	-22.9	3231
ウ- 6	1614	7501	2076	10800	1917	82.0	-23.0	3331
ウ- 7	1773	7409	2333	10800	2428	80.6	-22.9	3437
ウ- 8	1926	7321	2588	10800	2932	79.2	-22.9	3541
ウ- 9	2077	7234	2845	10800	3437	77.8	-22.9	3648
ウ- 10	2226	7148	3102	10800	3941	76.5	-22.8	3756
ウ- 11	2374	7063	3361	10800	4446	75.2	-22.8	3866
ウ- 12	2520	6978	3621	10800	4950	73.9	-22.7	3977
ウ- 13	3547	7200	4590	10800	4950	73.8	-90.0	3748
ウ- 14	4606	7200	5615	10800	4950	74.3	-90.0	3739
ウ- 15	5434	7200	6418	10800	5145	74.7	-38.9	3732
ウ- 16	5932	7200	6902	10800	5732	74.9	-38.9	3728
ウ- 17	6460	7200	7415	10800	6355	75.1	-38.9	3724
ウ- 18	6987	7200	7927	10800	6978	75.4	-38.9	3721
ウ- 19	7513	7200	8439	10800	7601	75.6	-38.9	3717

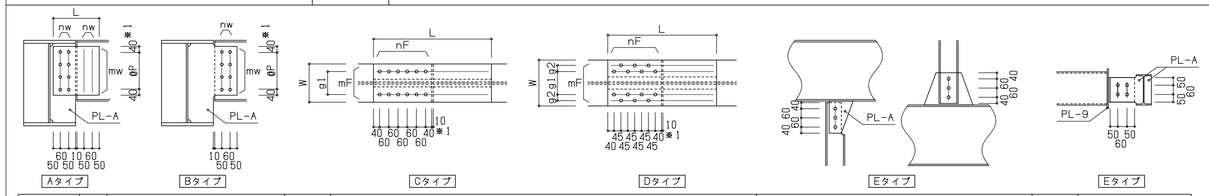
配置	始点 X 6通り基準	始点 Y ⓪通り基準	終点 X 6通り基準	終点 Y ⓪通り基準	高さ位置 Z 3FL基準	部材芯線 平面方向	強軸方向 の傾き	狙い点間 長さ
ウ- 20	8039	7200	8951	10800	8224	75.8	-38.9	3714
ウ- 21	9115	7200	10001	10800	8176	76.2	-79.0	3707
ウ- 22	10241	7200	11101	10800	7965	76.6	-79.0	3701
ウ- 23	11363	7200	12199	10800	7755	76.9	-79.0	3696
ウ- 24	12514	7200	13325	10800	7946	77.3	-57.6	3690
ウ- 25	13213	7200	14011	10800	8375	77.5	-57.6	3687
ウ- 26	13912	7200	14697	10800	8803	77.7	-57.6	3684
ウ- 27	14674	7495	15382	10800	9232	77.9	-57.6	3380
ウ- 28	15501	7287	16238	10800	9768	78.1	-57.6	3590
ウ- 31	16936	7200	17667	10800	8166	78.5	-79.0	3674
ウ- 32	18047	7200	18760	10800	7956	78.8	-79.0	3670
ウ- 33	19156	7200	19853	10800	7745	79.0	-79.0	3667
ウ- 34	20248	7200	20929	10800	7940	79.3	-58.9	3664
ウ- 35	20950	7200	21621	10800	8353	79.4	-58.9	3662
ウ- 36	21652	7200	22314	10800	8766	79.6	-58.9	3660
ウ- 37	22070	5631	23006	10800	9179	79.7	-58.9	5254
ウ- 38	22744	5460	23698	10800	9592	79.9	-58.9	5424
ウ- 39	23419	5290	24390	10800	10005	80.0	-58.9	5595
ウ- 42	24658	7200	25281	10800	8160	80.2	-79.0	3654
ウ- 43	25760	7200	26371	10800	7950	80.4	-79.0	3651
ウ- 44	26862	7200	27460	10800	7739	80.6	-79.0	3649
ウ- 45	27934	7200	28521	10800	7898	80.7	-68.5	3647
ウ- 46	28787	7200	29365	10800	8227	80.9	-68.5	3646
ウ- 47	29640	7200	30209	10800	8556	81.0	-68.5	3645
ウ- 55	30493	7200	31053	10800	8498	81.1	-74.9	3643
ウ- 56	31345	7200	31897	10800	8272	81.3	-74.9	3642
ウ- 57	32196	7200	32741	10800	8045	81.4	-74.9	3641
ウ- 58	33047	7200	33585	10800	7819	81.5	-74.9	3640
ウ- 59	33930	7414	34428	10800	7592	81.6	-74.9	3423
ウ- 60	34829	7750	35271	10800	7366	81.7	-74.9	3082
ウ- 61	35427	7974	35833	10800	7215	81.8	-74.9	2855
エ- 1	831	10800	846	14400	-599	89.8	-29.1	3600
エ- 2	1078	10800	1152	14400	-94	88.8	-29.1	3601
エ- 3	1326	10800	1458	14400	410	87.9	-29.2	3602
エ- 4	1576	10800	1764	14400	915	87.0	-29.3	3605
エ- 5 (1)	1827	10800	1923	12217	1419	86.1	-27.7	1420
エ- 5 (2)	2016	13601	2070	14400	1419	86.1	-30.9	801
エ- 6 (1)	2076	10800	2190	12164	1919	85.2	-27.7	1369
エ- 6 (2)	2306	13556	2376	14400	1922	85.2	-30.9	847
エ- 7 (1)	2333	10800	2461	12110	2428	84.4	-27.7	1316
エ- 7 (2)	2598	13511	2684	14400	2428	84.4	-30.9	893
エ- 8 (1)	2588	10800	2729	12057	2932	83.6	-27.7	1265
エ- 8 (2)	2887	13467	2992	14400	2932	83.6	-30.9	939
エ- 9 (1)	2845	10800	2997	12004	3437	82.8	-27.7	1213
エ- 9 (2)	3176	13423	3300	14400	3437	82.8	-30.9	985
エ- 10	3102	10800	3608	14400	3941	82.0	-29.5	3635
エ- 11	3361	10800	3917	14400	4446	81.2	-29.5	3643
エ- 12	3621	10800	4226	14400	4950	80.5	-29.5	3650
エ- 13	4590	10800	5199	14400	4950	80.4	-90.0	3651
エ- 14	5615	10800	6205	14400	4950	80.7	-90.0	3648
エ- 15	6418	10800	6995	14400	5145	80.9	-38.9	3646
エ- 16	6902	10800	7470	14400	5732	81.0	-38.9	3645
エ- 17	7415	10800	7975	14400	6355	81.2	-38.9	3643
エ- 18	7927	10800	8479	14400	6978	81.3	-38.9	3642
エ- 19	8439	10800	8984	14400	7601	81.4	-38.9	3641
エ- 20	8951	10800	9488	14400	8224	81.5	-38.9	3640
エ- 21	10001	10800	10523	14400	8176	81.8	-79.0	3638
エ- 22	11101	10800	11608	14400	7965	82.0	-79.0	3636
エ- 23	12199	10800	12692	14400	7755	82.2	-79.0	3634
エ- 24	13325	10800	13804	14400	7946	82.4	-57.6	3632
エ- 25	14011	10800	14482	14400	8375	82.5	-57.6	3631
エ- 26	14697	10800	15160	14400	8803	82.7	-57.6	3630
エ- 27	15382	10800	15838	14400	9232	82.8	-57.6	3629
エ- 28	16238	10800	16686	14400	9768	82.9	-57.6	3628
エ- 31	17667	10800	18100	14400	8166	83.1	-79.0	3626
エ- 32	18760	10800	19183	14400	7956	83.3	-79.0	3625
エ- 33	19853	10800	20266	14400	7745	83.5	-79.0	3624
エ- 34	20929	10800	21332	14400	7940	83.6	-58.9	3623
エ- 35	21621	10800	22019	14400	8353	83.7	-58.9	3622
エ- 36	22314	10800	22706	14400	8766	83.8	-58.9	3621
エ- 37	23006	10800	23393	14400	9179	83.9	-58.9	3621

配置	始点 X 6通り基準	始点 Y ⓪通り基準	終点 X 6通り基準	終点 Y ⓪通り基準	高さ位置 Z 3FL基準	部材芯線 平面方向	強軸方向 の傾き	狙い点間 長さ
エ- 38	23698	10800	24080	14400	9592	83.9	-58.9	3620
エ- 39	24390	10800	24767	14400	10005	84.0	-58.9	3620
エ- 42	25281	10800	25652	14400	8160	84.1	-79.0	3619
エ- 43	26371	10800	26734	14400	7950	84.2	-79.0	3618
エ- 44	27460	10800	27816	14400	7739	84.4	-79.0	3618
エ- 45	28521	10800	28870	14400	7898	84.5	-68.5	3617
エ- 46	29365	10800	29709	14400	8227	84.5	-68.5	3616
エ- 47	30209	10800	30548	14400	8556	84.6	-68.5	3616
エ- 55	31053	10800	31374	13958	8498	84.2	-74.9	3174
エ- 56	31897	10800	32207	13900	8272	84.3	-74.9	3116
エ- 57	32741	10800	33041	13843	8045	84.4	-74.9	3057
エ- 58	33585	10800	33875	13785	7819	84.4	-74.9	2999
エ- 59	34428	10800	34709	13727	7592	84.5	-74.9	2941
エ- 60	35271	10800	35543	13670	7366	84.6	-74.9	2882
エ- 61	35833	10800	36099	13631	7215	84.6	-74.9	2843
オ- 1	846	14400	851	18000	-599	89.9	-32.4	3600
オ- 2	1152	14400	1176	18000	-94	89.6	-32.4	3600
オ- 3	1458	14400	1501	18000	410	89.3	-32.4	3600
オ- 4	1764	14400	1826	18000	915	89.0	-32.4	3601
オ- 5	2070	14400	2135	17316	1419	88.7	-32.3	2917
オ- 6	2376	14400	2457	17310	1923	88.4	-32.3	2911
オ- 7	2684	14400	2778	17303	2428	88.2	-32.3	2904
オ- 8	2992	14400	3099	17296	2932	87.9	-32.3	2898
オ- 9	3300	14400	3421	17289	3437	87.6	-32.3	2891
オ- 10	3608	14400	3775	18000	3941	87.3	-32.4	3604
オ- 11	3917	14400	4100	18000	4446	87.1	-32.4	3605
オ- 12	4226	14400	4425	18000	4950	86.8	-32.4	3605
オ- 13	5199	14400	5400	18000	4950	86.8	-90.0	3606
オ- 14	6205	14400	6400	18000	4950	86.9	-90.0	3605
オ- 15	6995	14400	7185	18000	5145	87.0	-38.9	3605
オ- 16	7470	14400	7658	18000	5732	87.0	-38.9	3605
オ- 17	7975	14400	8160	18000	6355	87.1	-38.9	3605
オ- 18	8479	14400	8662	18000	6978	87.1	-38.9	3605
オ- 19	8984	14400	9163	18000	7601	87.1	-38.9	3604
オ- 20	9488	14400	9665	18000	8224	87.2	-38.9	3604
オ- 21	10523	14400	10700	18000	8176	87.2	-79.0	3604
オ- 22	11608	14400	11775	18000	7965	87.3	-79.0	3604
オ- 23	12692	14400	12855	18000	7755	87.4	-79.0	3604
オ- 24	13804	14400	13963	18000	7946	87.5	-57.6	3603
オ- 25	14482	14400	14638	18000	8375	87.5	-57.6	3603
オ- 26	15160	14400	15314	18000	8803	87.6	-57.6	3603
オ- 27	15838	14400	15989	18000	9232	87.6	-57.6	3603
オ- 28	16686	14400	16834	18000	9768	87.6	-57.6	3603
オ- 31	18100	14400	18244	18000	8166	87.7	-79.0	3603
オ- 32	19183	14400	19323	18000	7956	87.8	-79.0	3603
オ- 33	20266	14400	20403	18000	7745	87.8	-79.0	3603
オ- 34	21332	14400	21466	18000	7940	87.9	-58.9	3602
オ- 35	22019	14400	22151	18000	8353	87.9	-58.9	3602
オ- 36	22706	14400	22837	18000	8766	87.9	-58.9	3602
オ- 37	23393	14400	23522	18000	9179	88.0	-58.9	3602
オ- 38	24080	14400	24207	18000	9592	88.0	-58.9	3602
オ- 39	24767	14400	24892	18000	10005	88.0	-58.9	3602
オ- 42	25652	14400	25774	18000	8160	88.0	-79.0	3602
オ- 43	26734	14400	26854	18000	7950	88.1	-79.0	3602
オ- 44	27816	14400	27934	18000	7739	88.1	-79.0	3602
オ- 45	28870	14400	28985	18000	7898	88.2	-68.5	3602
オ- 46	29709	14400	29823	18000	8227	88.2	-68.5	3602
オ- 47	30548	14400	30661	18000	8556	88.2	-68.5	3602
オ- 48	31374	13958	31498	18000	8886	88.2	-68.5	4044
オ- 49	32211	13900	32336	18000	9215	88.3	-68.5	4102
オ- 50	33049	13842	33173	18000	9544	88.3	-68.5	4160
オ- 51	33886	13784	34011	18000	9874	88.3	-68.5	4218
オ- 52	34724	13726	34849	18000	10203	88.3	-68.5	4276
オ- 53	35562	13668	35686	18000	10532	88.4	-68.5	4334
オ- 54	36120	13630	36245	18000	10752	88.4	-68.5	4372

整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事
S3－15	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第　346221　号 高橋　淳	第一ホール改修下地材配置図(3)　A1: －　A3: －
		鹿児島市建設局建築部建築課

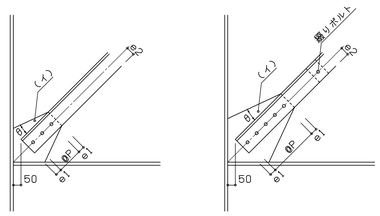
柱・大梁・小梁断面表・継手基準図

注記）　記入なき限り下記による。
1.　＊1はしあきは応力方向に2本並びの場合50mmとする。（要領図参照）



符号	材質	断面寸法 H × B × tw × tf	ボルト径	フランジ タイプ	フランジ ボルト nf	フランジ ボルト mf	フランジ ゲージ g1(mm)	フランジ ゲージ g2(mm)	フランジ 外添板 PL − t × W × L	フランジ 内添板 PL − t × W × L	ウェブ タイプ	ウェブ ボルト mw	ウェブ ボルト nw	ウェブ ボルト P(mm)	ウェブ 添板寸法 PL − t × W × L	PL-A 厚(mm)	備考
m1	△	H− 125×125×6.5× 9	M20	−	−	−	−	−	—	—	E	1	3	60	—	△ 9	部材取合部
	△	H− 125×125×6.5× 9	M16	C	3	2	65	−	△PL− 9×125× 410	—	A	1	3	60	△2PL− 9× 80× 410	△ 9	現場継手部
Pg1	△	P−216.3φ×8.2+267.4φ×9.3	M20	−	−	−	−	−	—	—	F	2	2	60	—	△ 9	
g1	▲	H− 250×125× 6× 9	M20	−	−	−	−	−	—	—	B	2	2	60	—	△ 9	部材取合部
	▲	H− 250×125× 6× 9	M16	C	3	2	65	−	△PL− 9×125× 410	—	A	2	2	60	△2PL− 9× 160× 330	△ 9	現場継手部
g1a	△	H− 248×124× 5× 8	M20	−	−	−	−	−	—	—	B	2	2	60	—	△ 9	
g2	△	H− 200×100×5.5× 8	M20	−	−	−	−	−	—	—	B	2	2	60	—	△ 9	
g3	△	H− 248×124× 5× 8	M20	−	−	−	−	−	—	—	B	2	2	60	—	△ 9	
b1	△	H− 200×100×5.5× 8	M20	−	−	−	−	−	—	—	B	2	2	60	—	△ 9	
b2	△	H− 248×124× 5× 8	M20	−	−	−	−	−	—	—	B	2	2	60	—	△ 9	
b11	△	[− 125× 65× 6× 8	M20	−	−	−	−	−	—	—	B	1	2	60	—	△ 9	
t1	△	[− 100× 50× 5×7.5	M20	−	−	−	−	−	—	—	E	1	3	60	—	△ 9	
C100	▽	C− 100× 50× 20×2.3	M16	−	−	−	−	−	—	—	B	1	2	60	—	△ 6	ボルトは中ボルトとする。
以下はルーズ孔の指定がある場合に適用し、RC躯体取合要領による。																	
b1	△	H− 200×100×5.5× 8	M20	−	−	−	−	−	—	—	A	2	1	60	△2PL− 9× 160× 290	−	梁側のボルトは中ボルトとする。

ブレース断面表・継手基準図



Aタイプ　　Bタイプ

θは（　）度以上とする。
特記なき場合は30度
以上とする。

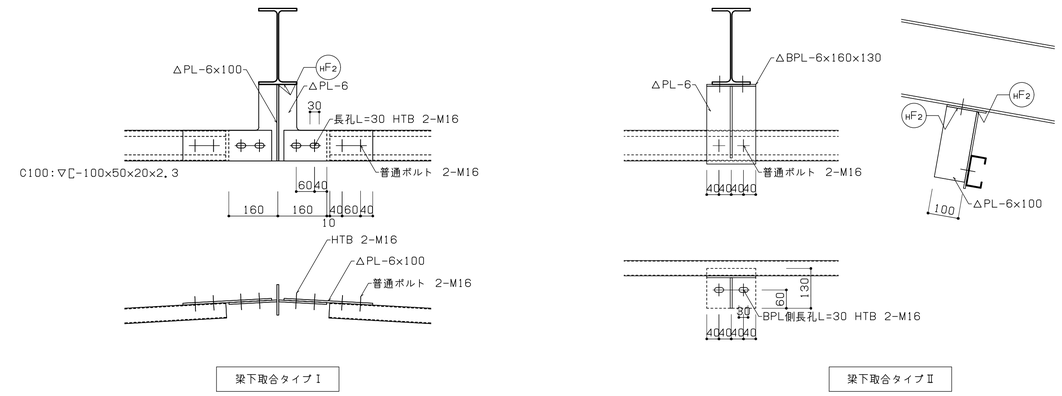
符号	ブレース　部材	継手タイプ	GPL−(イ)	ボルト本数及び径	ボルトに対する各寸法 P	e1	e2	g	縛り高力ボルトの径及びピッチ 高力ボルト	ピッチ	備考
a	△ L− 75× 75× 6	A	△ PL− 9	3−M20	60	40	37.5	−	−	−	
b	△2L− 75× 75× 6	A	△ PL− 9	3−M20	60	40	37.5	−	M20	600	
c	△ L−100×100× 7	A	△ PL− 9	3−M20	60	40	50	−	−	−	
d	△ L−150×150× 10	A	△ PL− 9	3−M20	60	40	75	−	−	−	
hv1	△ L− 75× 75× 6	A	△ PL− 9	3−M20	60	40	37.5	−	−	−	
hv2	1−M16	−	△ PL− 9	−	−	−	−	−	−	−	JISターンバックルブレース(軸部SNR400B)

注）1.鉄骨材種共通事項
2.板厚が40mmを
超える鋼材は、
TMCP鋼とすること。

印	鋼板及び形鋼	鋼管	備考
●	SN490C	—	490N/mm²
▲	SN400B	—	400N/mm²
△	SS400	STK400	
▽	SSC400	—	

C100取合要領

A1:1/10
A3:1/20

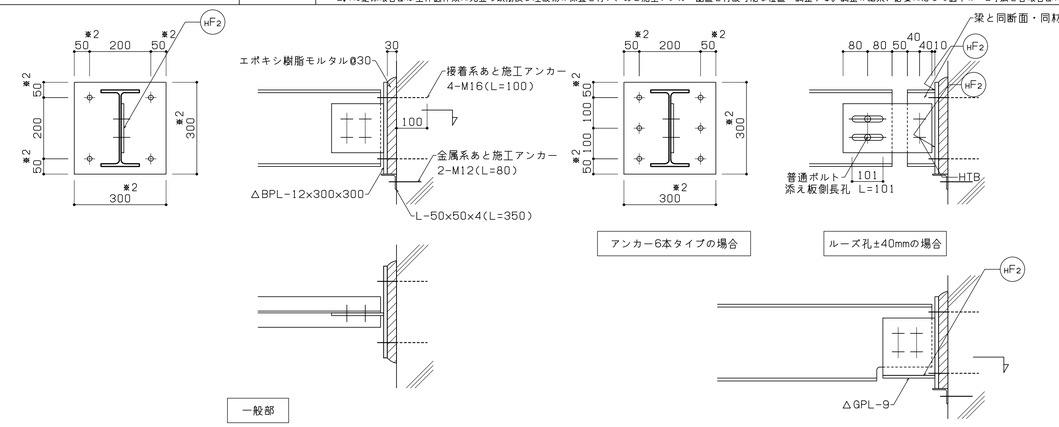


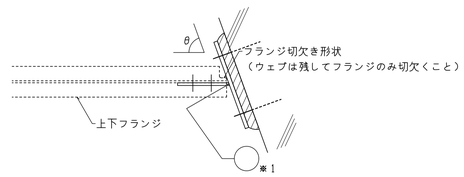
梁下取合タイプⅠ　　梁下取合タイプⅡ

RC躯体取合要領

A1:1/10
A3:1/20

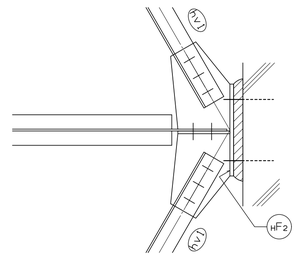
注記）　記入なき限り下記による。
1.適用部材はg1,g2,g3,b1,b2,hv1とする。
2.RC躯体取合部は工作図作成に先立ち鉄筋及び埋設物の探査を行い、あと施工アンカー配置を打設可能な位置へ調整する。調整の結果、必要に応じて図中の＊2寸法を各取合部について見直すこと。



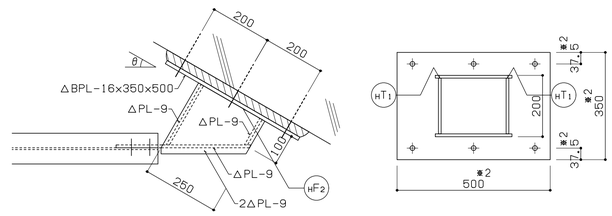


注記）＊1については下記による。
・60°≦θ≦90°はガセットの溶接は (hF2) とする。
・45°≦θ＜60°はガセットの溶接は (hT1K) とする。

梁と躯体の取合い角度が直角でない場合（45°≦θ＜90°）



ブレースが取付く場合

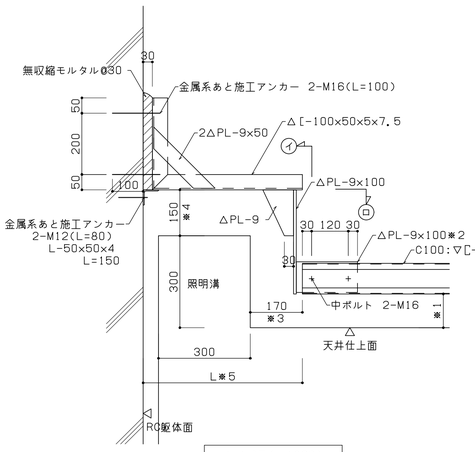


梁と躯体の取合い角度が直角でない場合（θ＜45°）

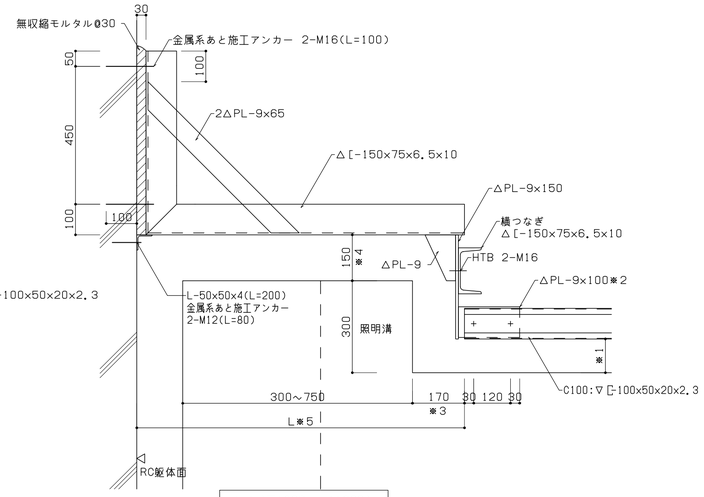
整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S3− 16	一級建築士事務所　東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 高橋　淳	第一ホール部材断面表・継手基準図	A1: − A3: −
		鹿児島市建設局建築部建築課	

野縁受下地鉄骨客席側壁RC躯体取付要領

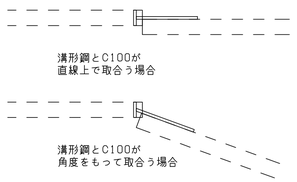
A1:1/10
A3:1/20



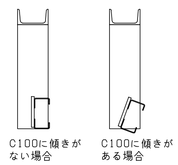
タイプⅢ(L≦800)



タイプⅣ(800<L≦1300)



㋺視図

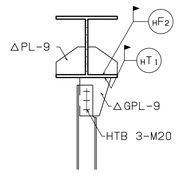


㋑視図

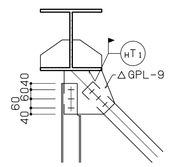
※1: 伏図に示すC100のレベルによる。
※2: C100が鉛直面から傾きのある場合は傾きに合わせて傾斜させる。
※3: 照明溝とC100が直交していない場合、最小寸法がこの数値を満足すること。
※4: 照明溝が水平でない場合、最小寸法がこの数値を満足すること。
※5: この寸法が1300を超える場合は監理と協議による。

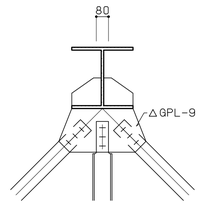
m1柱 既設鉄骨T1トラス下弦材との取合要領

A1:1/20
A3:1/40

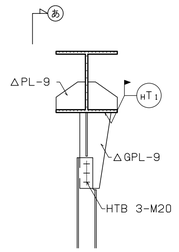


ブレースが取合わない場合

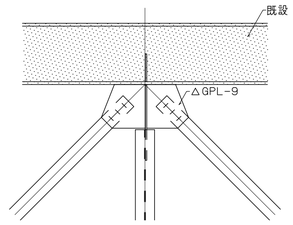




柱強軸方向にブレースが取合う場合



柱弱軸方向にブレースが取合う場合

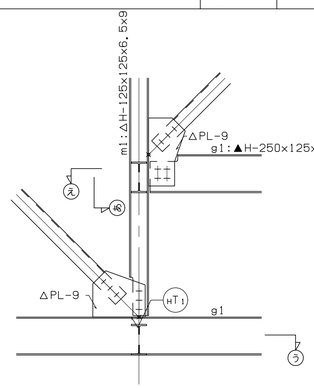


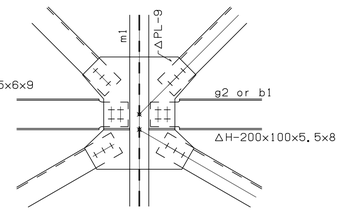
あ視図

※ブレースの高力ボルト数・径はブレース断面表による。

m1,g1,g2 構面ブレース,水平ブレース取合要領

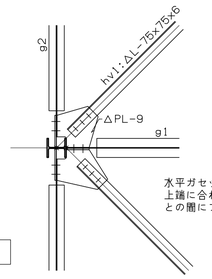
A1:1/20
A3:1/40





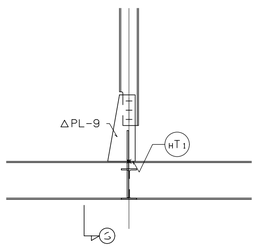
プレース狙い芯は部材芯交点を基本とするが、納まりが悪い場合は100mmまでずらして良い。

あ視図

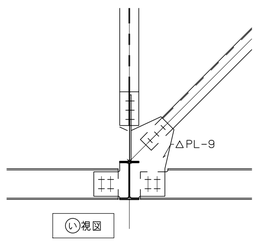


水平ガセットの天端レベルは梁下フランジ上端に合わせ、必要に応じて水平ブレースとの間にフィラープレートを入れること。

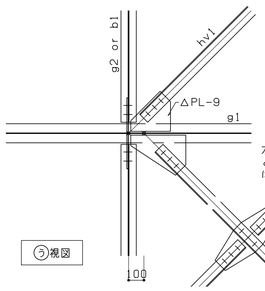
え視図



m1柱脚に構面ブレースが取合う場合



い視図



水平ブレースの狙い点は部材芯交点とするが、納まりが悪い場合は交点からは100mmまでずらして良い。

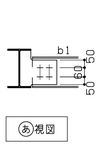
う視図

水平ブレースが取付く場合

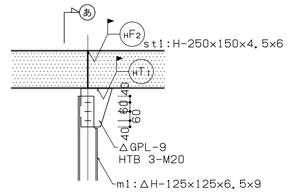
プレース交差部要領

m1柱 既設St1との取合要領

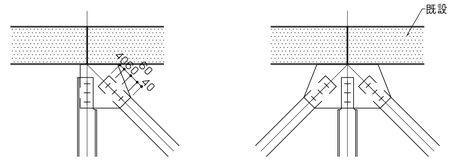
A1:1/20
A3:1/40



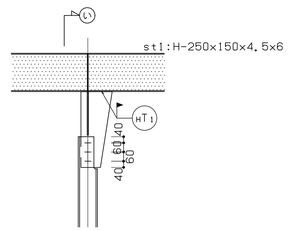
あ視図



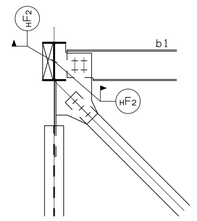
ブレースが取合わない場合



柱強軸方向にブレースが取合う場合



柱弱軸方向にブレースが取合う場合



い視図

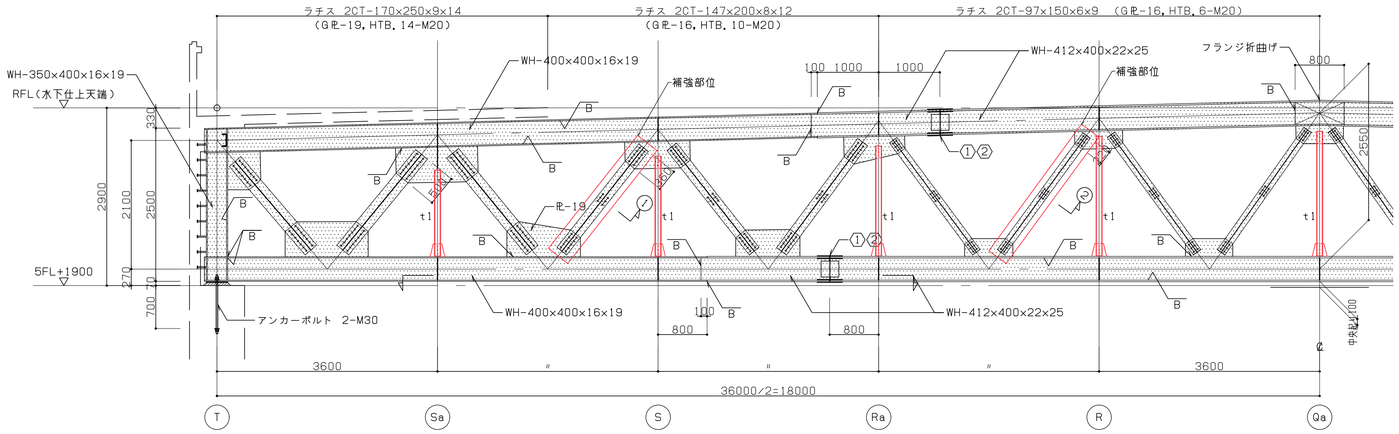
注)1.鉄骨材種共通事項
2.板厚が40mmを超える鋼材は、TMCP鋼とすること。

印	鋼板及び形鋼	鋼管	備考
●	SN490C	—	490N/mm²
▲	SN400B	—	400N/mm²
△	SS400	STK400	
▽	SSC400	—	

整理番号			
S3－17	一級建築士事務所 東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 高橋 淳	鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事 第一ホール改修鉄骨要領図(1)	A1:1/10,1/20 A3:1/20,1/40
		鹿児島市建設局建築部建築課	

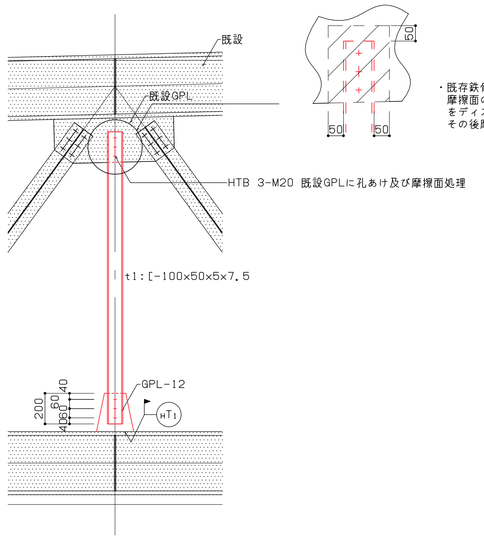
既存トラスの補強詳細

A1:-
A3:-



T1 トラス詳細図 A1:1/50 A3:1/100

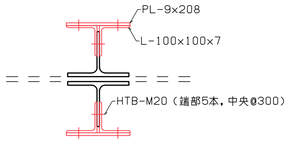
t1部材を追加する位置は軸組図による。



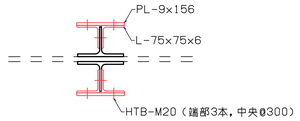
・既存鉄骨へ高力ボルト摩擦接合する部位は摩擦面の周囲50mmの範囲について既設塗装をディスクサンダー等で除去し（RA種）、その後摩擦面処理を行う。

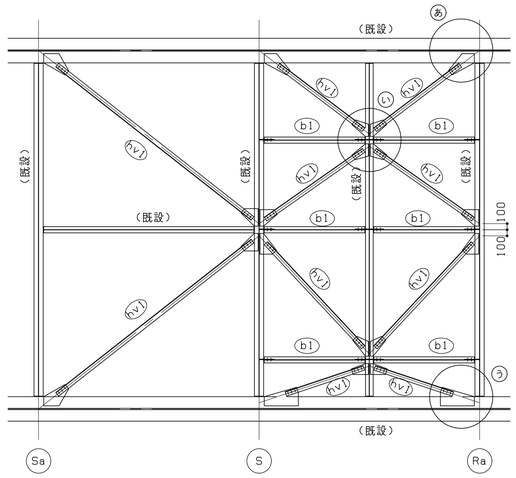
補強t1材の納まり詳細 A1:1/20 A3:1/40

①2CT-147x200x8x12

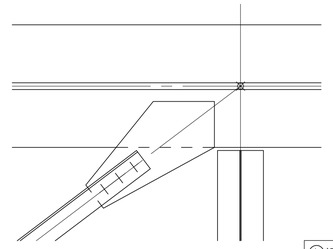


②2CT-97x150x6x9

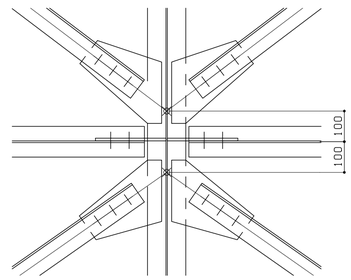




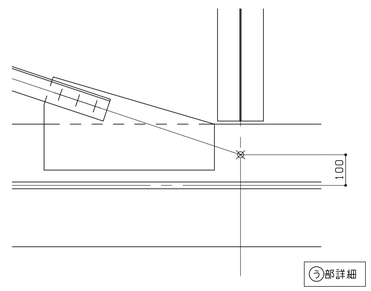
既存トラス下弦面の水平ブレース詳細
・水平ブレース取付レベルは、トラス梁下弦材の下フランジの上面にガセットプレートを現場溶接し、その上に高力ボルト接合とする。
・既存小梁・新設小梁との取合は、下フランジの上面にガセットプレートを現場溶接又は工場溶接し、その上に高力ボルト接合とする。



あ部詳細 A1:1/10 A3:1/20



い部詳細 A1:1/10 A3:1/20



う部詳細 A1:1/10 A3:1/20

注）1. 鉄骨材種共通事項
2. 板厚が40mmを超える鋼材は、TMCP鋼とすること。

印	鋼板及び形鋼	鋼管	備考
●	SN490C	—	490N/mm²
▲	SN400B	—	400N/mm²
△	SS400	STK400	
▽	SSC400	—	

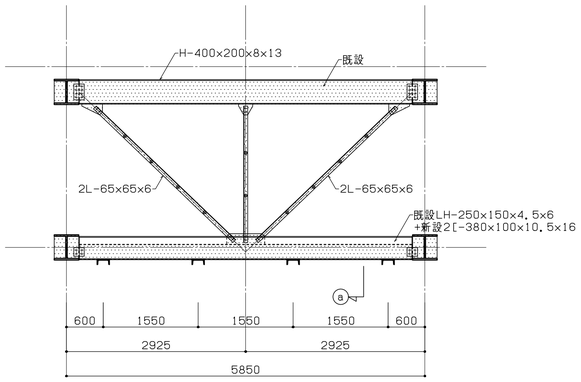
整理番号		
S3－18	一級建築士事務所 東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 高橋 淳	鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事 第一ホール改修鉄骨詳細図(1) A1: 1/10 A3: 1/20 鹿児島市建設局建築部建築課

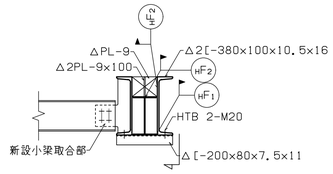
既設St1梁の補強要領

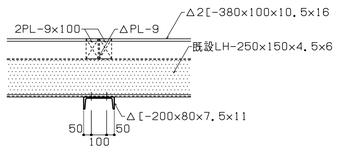
A1:1/50
A3:1/100

注記）　記入なき限り下記による。
1.　本図の補強は、伏図及び軸組図に※2符号で示す位置に適用する。

・長さ5850にわたって、St1側面に溝形鋼を取り合わせる。
（梁下端はシーリングスポット至天端とのクリアランスが少なく補強できない。梁上もブレースガセットがあり材を通せない。）





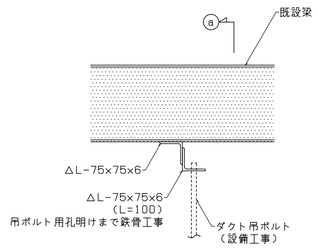


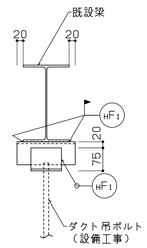
ⓐ 視図　A1:1/20　A3:1/40

設備ダクト支持材設置要領

A1:1/10
A3:1/20

注記）　記入なき限り下記による。
1.　本図は、伏図に△で示す位置に適用する。

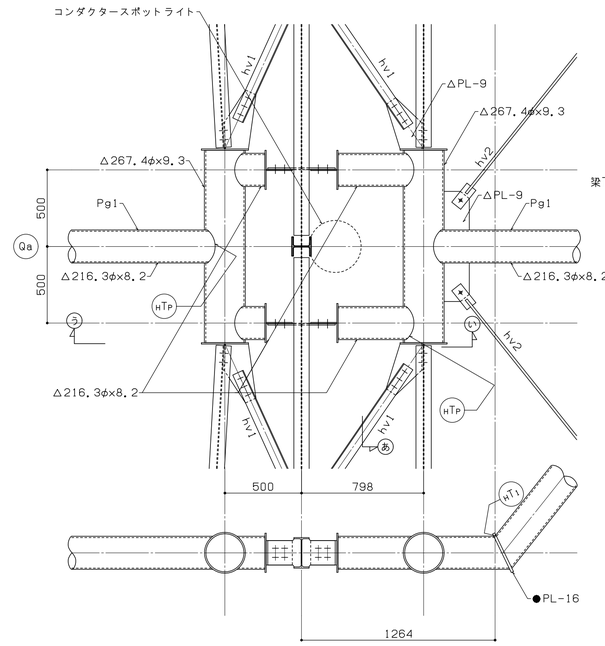




ⓐ 視図

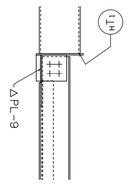
Pg1梁詳細

A1:1/20
A3:1/40



う 視図

い 視図



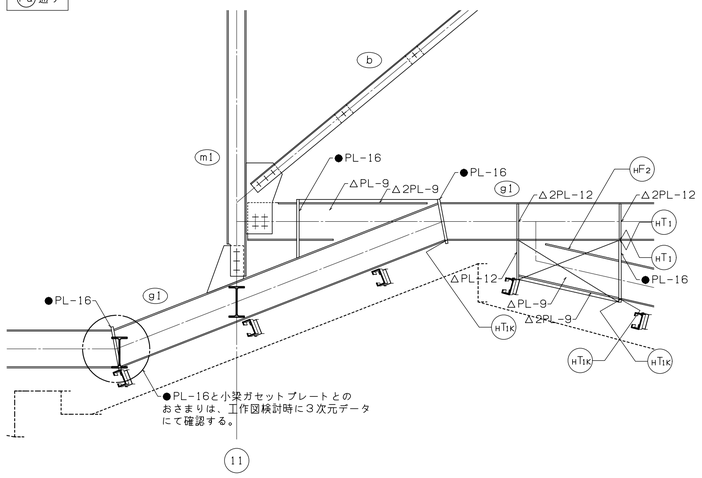
あ 視図

Pa通り鉄骨詳細図

A1:1/20
A3:1/40

注記）　記入なき限り下記による。
1.　Ra通りも本図にならう。

Pa 通り

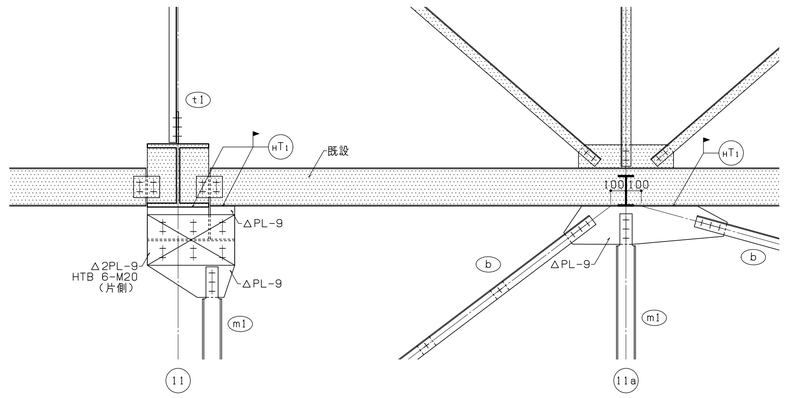


Q通り鉄骨詳細図

A1:1/20
A3:1/40

注記）　記入なき限り下記による。
1.　Qa通り、R通りも本図にならう。

Q 通り



注）1.鉄骨材種共通事項
2.板厚が40mmを
超える鋼材は、
TMCP鋼とすること。

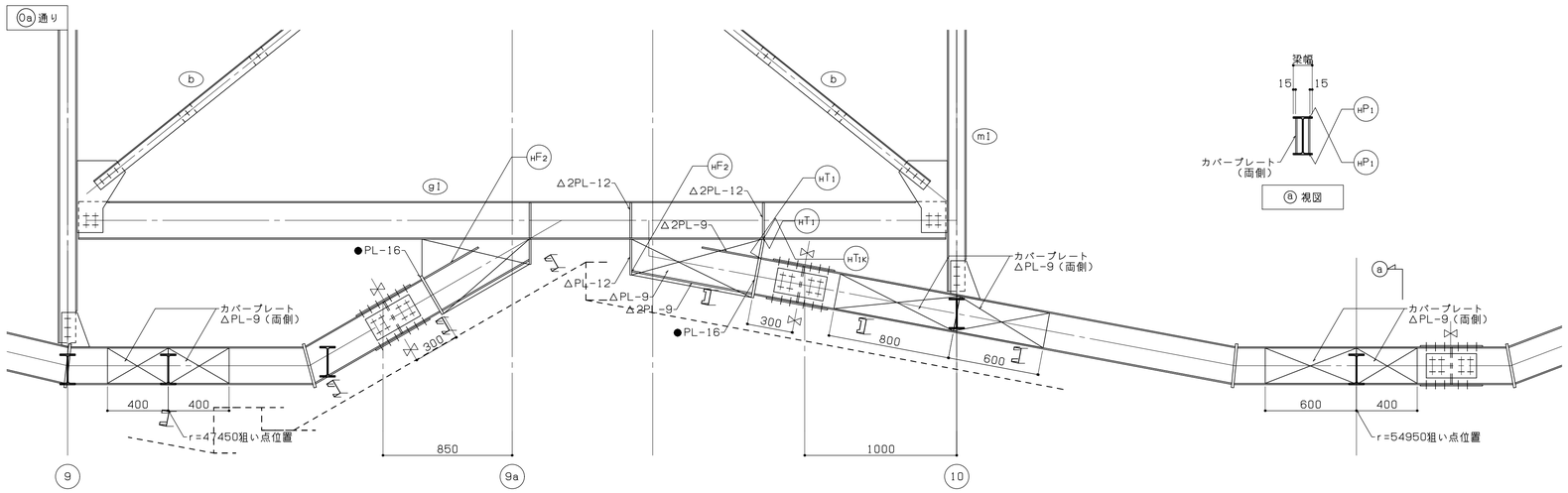
印	鋼板及び形鋼	鋼管	備考
●	SN490C	—	490N/mm²
▲	SN400B	—	400N/mm²
△	SS400	STK400	
▽	SSC400	—	

整理番号		
S3－19	一級建築士事務所　東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 高橋 淳	鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事 第一ホール改修鉄骨詳細図(2) A1:1/20,1/50 A3:1/40,1/100 鹿児島市建設局建築部建築課

0a通り鉄骨詳細図

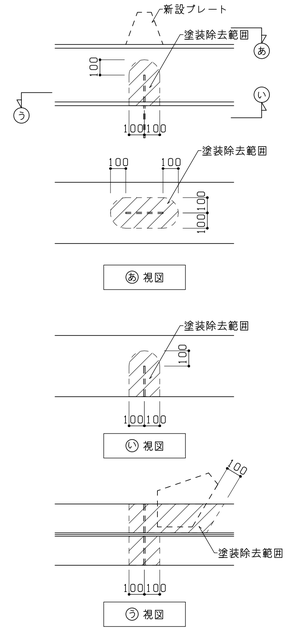
A1:1/20
A3:1/40

注記）　記入なき限り下記による。
1.　Sa通りも本図にならう。



既存鉄骨への現場溶接要領

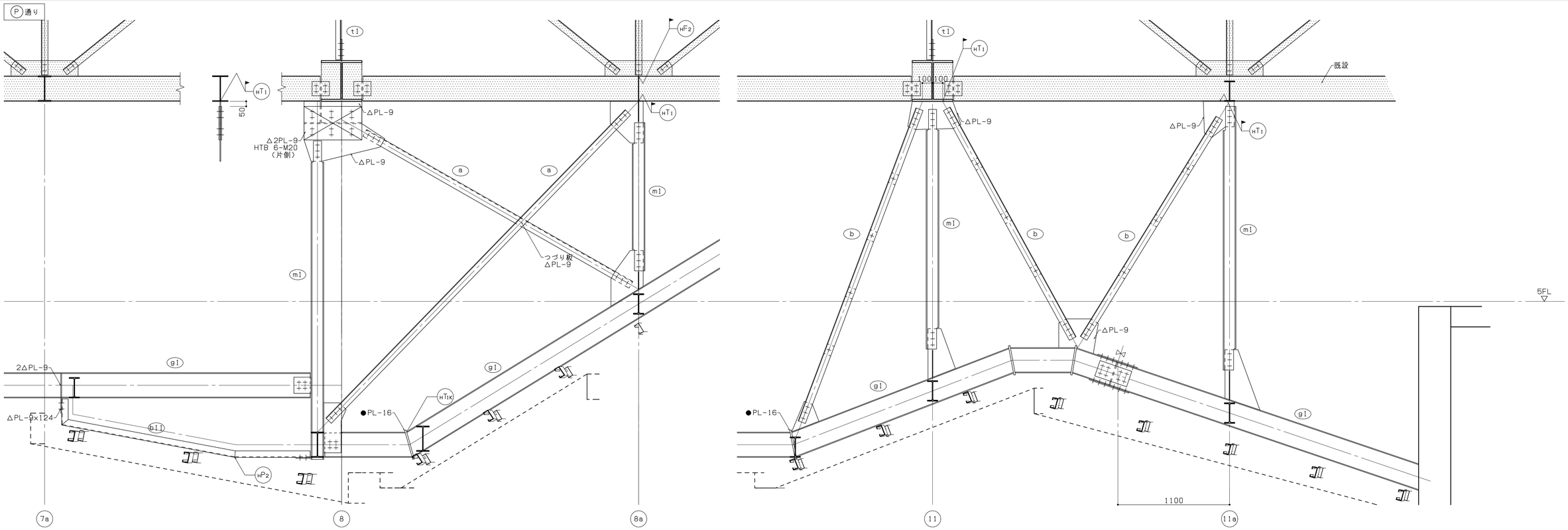
既設鉄骨面へ現場溶接する場合の、既設鉄骨面の処理は下記による。
・溶接線の周囲100mmの範囲について、既存の塗装をディスクサンダー等により除去する。その後RA種による下地処理を行う。
・現場溶接を行う。溶接後外観検査、超音波探傷検査を行う。
・塗装を行う。（構造特記による）



P通り鉄骨詳細図

A1:1/20
A3:1/40

注記）　記入なき限り下記による。
1.　S通りも本図にならう。



注）1.鉄骨材種共通事項
2.板厚が40mmを超える鋼材は、TMCP鋼とすること。

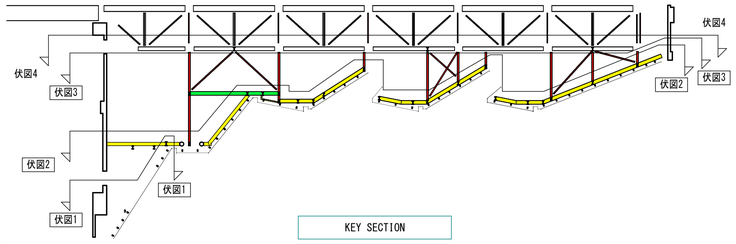
印	鋼板及び形鋼	鋼管	備考
●	SN490C	—	490N/mm²
▲	SN400B	—	400N/mm²
△	SS400	STK400	
▽	SSC400	—	

整理番号		
S3－20	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第　346221　号 髙橋　洋	鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事 第一ホール改修鉄骨詳細図(3) A1: 1/20 A3: 1/40 鹿児島市建設局建築部建築課

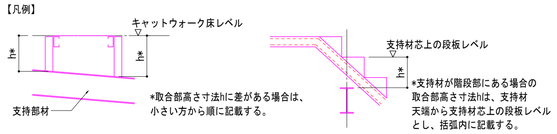
天井内キャットウォーク支持材配置図

A1:1/100
A3:1/200

注記）記入なき限り下記による。
1. ------ 印は、構面ブレース位置を示す。
2. ◯ 印は、吊材m1位置を示す。
3. ◇ 印は、既設RC躯体接合部を示す。
4. ※1はスピーカー吊材受けを示す。g1梁下に取り付け。
5. ※3は、伏図1レベルのg1上部にキャットウォーク支持材としてb11を設ける箇所を示す。
6. ※4は、伏図2と伏図3の中間レベルにキャットウォーク支持材としてb1を設ける箇所を示す。
7. ● 印は、キャットウォーク支持材位置を示す。
8. 配置図は、⓪～Ⓠa 通り間について示す。Ⓠa ～Ⓣ通り間は、Ⓠa 通りを軸に対称配置とし、下表には Ⓠa ～Ⓣ通りも含めた箇所数を示す。

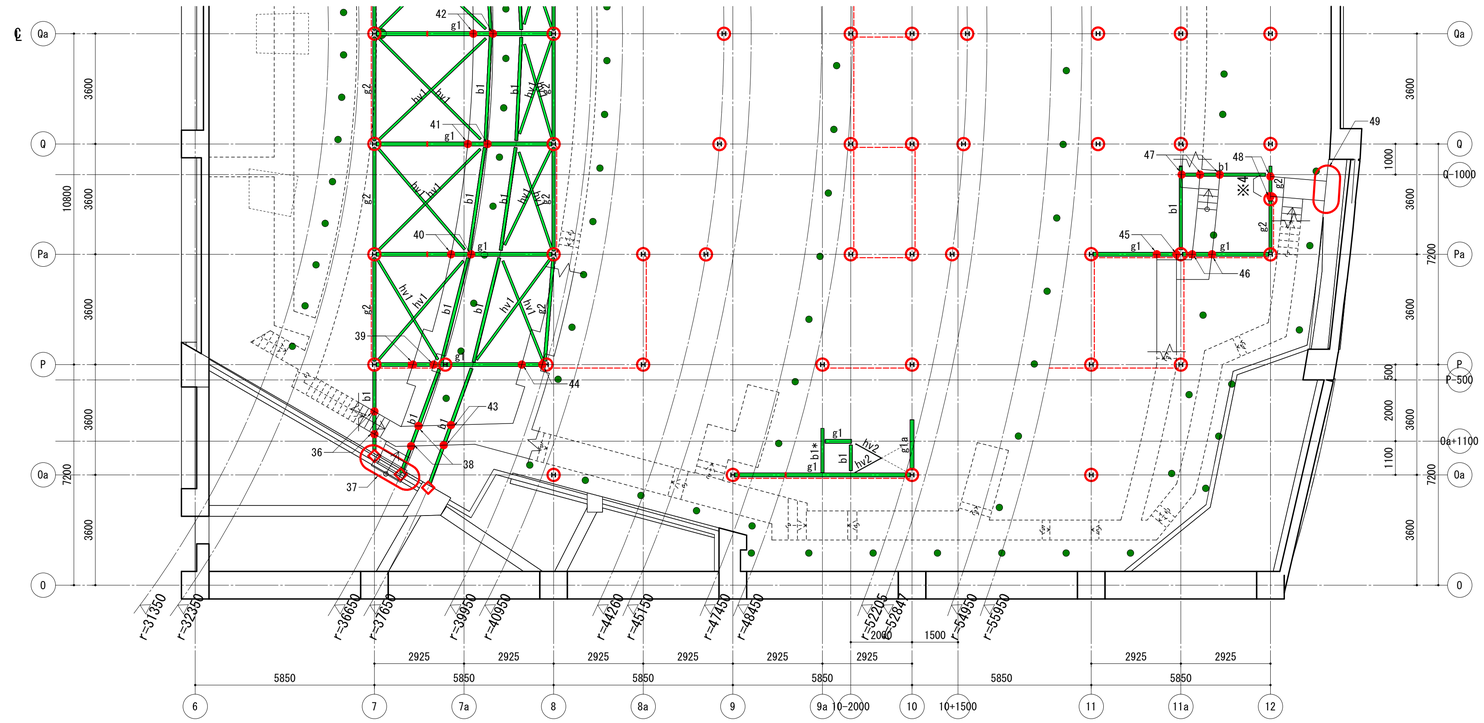


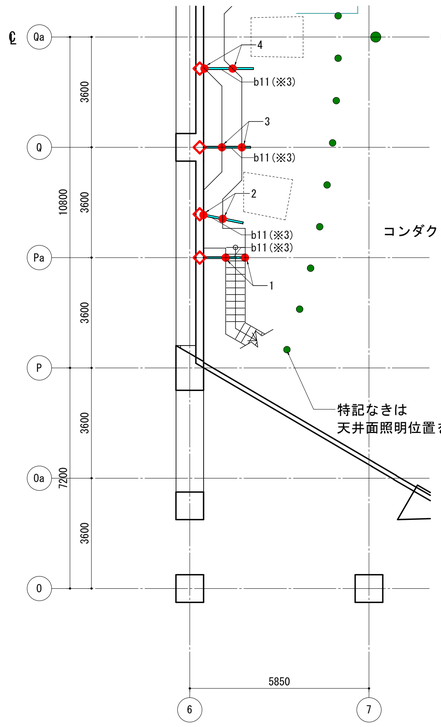
【凡例】

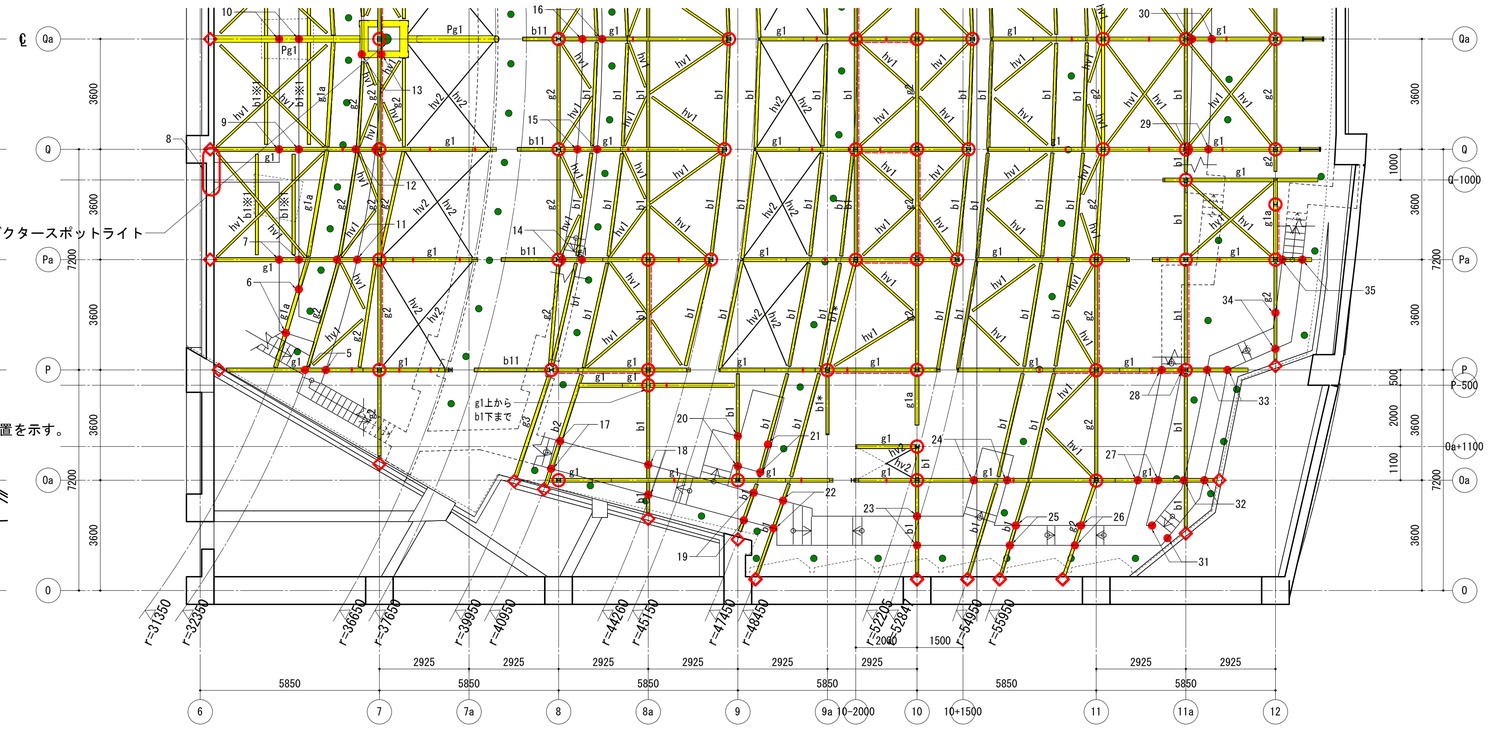


天井内キャットウォーク支持材リスト

番号	取合部高さ寸法 h*	支持部材	取合タイプ	箇所数	備考
1	150	b11(※3)	タイプⅣ	2	
2	150	b11(※3)	タイプⅣ	2	
3	150	b11(※3)	タイプⅣ	2	
4	150	b11(※3)	タイプⅣ	2	
5	350	g1	タイプⅡ	2	
6	152	g1a	タイプⅠ	2	
7	150	g1	タイプⅠ	2	
8	—	既存RC躯体	詳細図による	2	
9	150	g1	タイプⅠ	2	
10	167	Pg1	タイプⅠ	1	
11	150	g1	タイプⅠ	2	
12	150	g1	タイプⅠ	2	
13	141,167	Pg1	タイプⅠ	2	
14	735	g1	タイプⅢ	2	
15	174	g1	タイプⅠ	2	
16	141	g1	タイプⅠ	1	
17	(985)	b2	タイプⅢ	2	階段部
18	229,325	b1,b1	タイプⅠ,Ⅱ	2	
19	410	b1	タイプⅡ	2	
20	846,888	b1	タイプⅢ	2	
21	934	b1	タイプⅢ	2	
22	434	b1	タイプⅡ	2	
23	267	b1	タイプⅡ	2	
24	885	g1	タイプⅢ	2	
25	585	b1	タイプⅢ	2	
26	179	g2	タイプⅠ	2	
27	189,429	g1	タイプⅠ,Ⅱ	2	
28	158,361	g1	タイプⅠ,Ⅱ	2	
29	176,412	g1	タイプⅠ,Ⅱ	2	
30	176,412	g1	タイプⅠ,Ⅱ	1	
31	—	既存RC躯体	詳細図による	2	
32	358	g1	タイプⅡ	2	
33	262,469	g1	タイプⅡ	2	
34	167	g2	タイプⅠ	2	
35	196,333	g1	タイプⅠ,Ⅱ	2	
36	(580,787)	b1	タイプⅢ	2	階段部
37	—	既存RC躯体	詳細図による	2	
38	199	b1	タイプⅠ	2	
39	150	g1	タイプⅠ	2	
40	150	g1	タイプⅠ	2	
41	150	g1	タイプⅠ	2	
42	150	g1	タイプⅠ	1	
43	199	b1	タイプⅠ	2	
44	150	g1	タイプⅠ	2	
45	153	g1	タイプⅠ	2	
46	153	g1	タイプⅠ	2	
47	150	b1	タイプⅠ	2	
48	150	b1(※4)	タイプⅠ	2	
49	—	既存RC躯体	詳細図による	2	



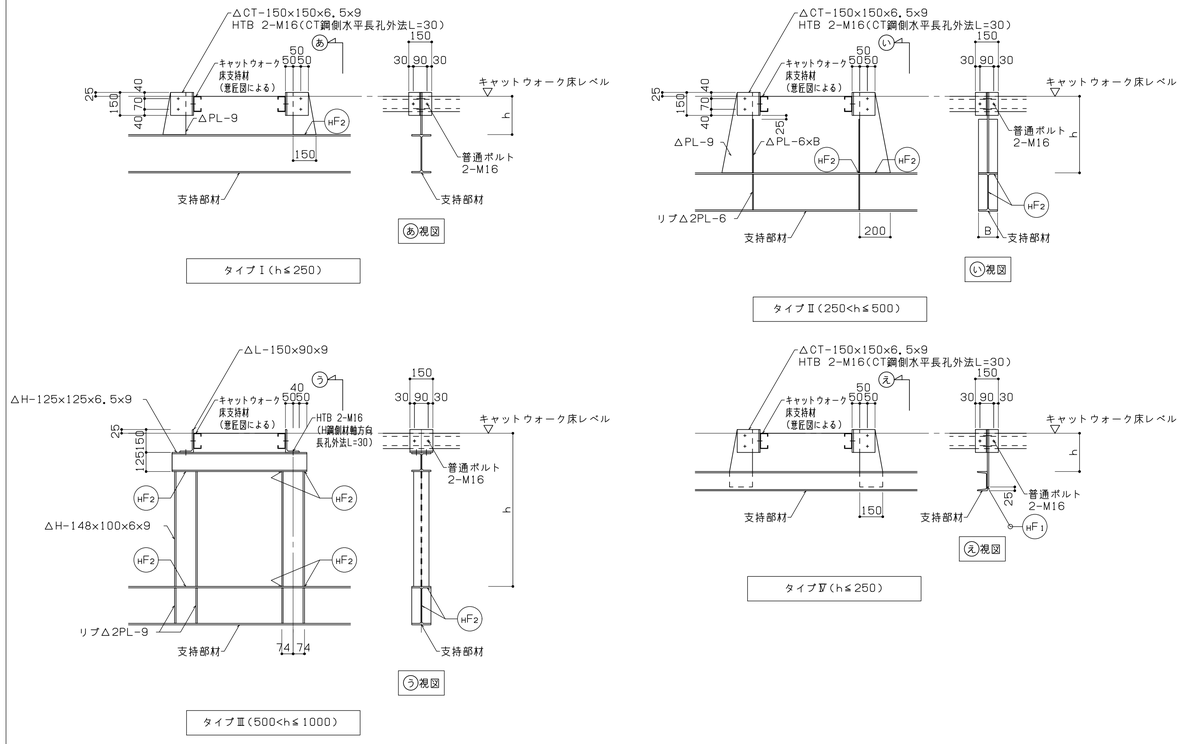




整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S3 － 21	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	第一ホール改修天井内 キャットウォーク支持材配置図	A1: 1/100 A3: 1/200
		鹿児島市建設局建築部建築課	

天井内キャットウォーク支持要領

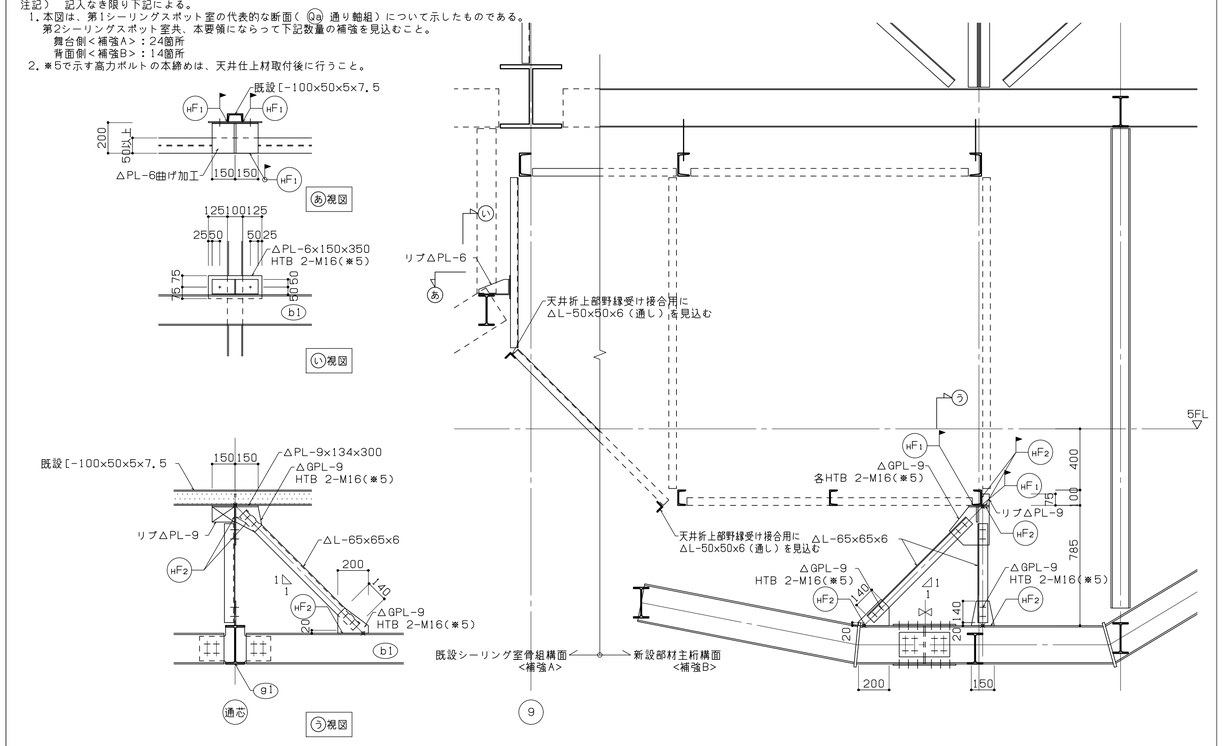
A1:1/20
A3:1/40



シーリングスポット室振れ止め補強要領図

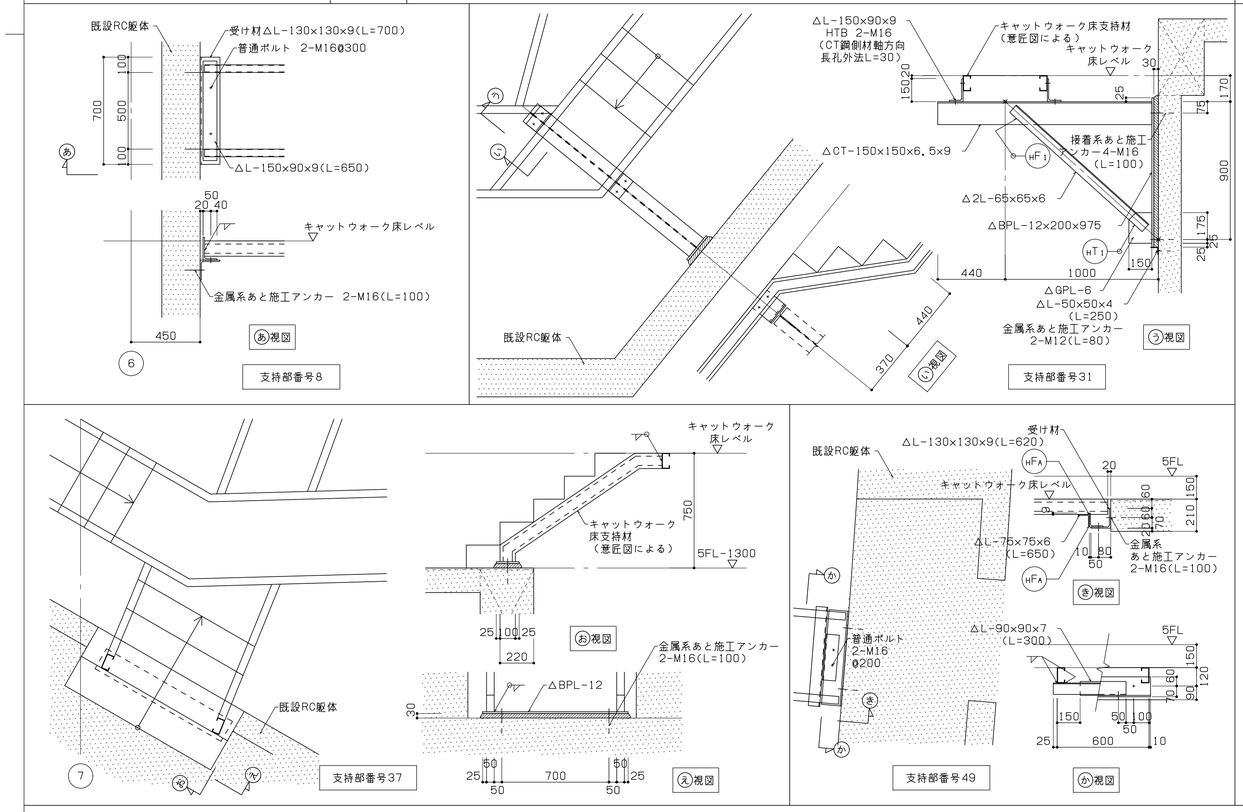
A1:1/20
A3:1/40

注記） 記入なき限り下記による。
1. 本図は、第1シーリングスポット室の代表的な断面（ Ⓠ⑧ 通り軸組）について示したものである。
第2シーリングスポット室共、本要領にならって下記数量の補強を見込むこと。
舞台側＜補強A＞：24箇所
背面側＜補強B＞：14箇所
2. ＊5で示す高力ボルトの本締めは、天井仕上材取付後に行うこと。



天井内キャットウォークと既設RC躯体取合詳細図

A1:1/20
A3:1/40



注）1. 鉄骨材種共通事項
2. 板厚が40mmを超える鋼材は、TMCP鋼とすること。

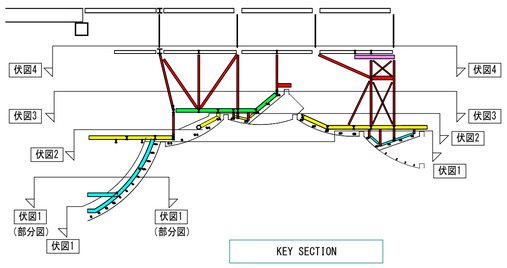
印	鋼板及び形鋼	鋼管	備考
●	SN490C	—	490N/mm²
▲	SN400B	—	400N/mm²
△	SS400	STK400	
▽	SSC400	—	

整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事
S3－22	一級建築士事務所 東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 髙橋 洋	第一ホール改修天井内キャットウォーク支持要領 A1:1/20 A3:1/40 鹿児島市建設局建築部建築課

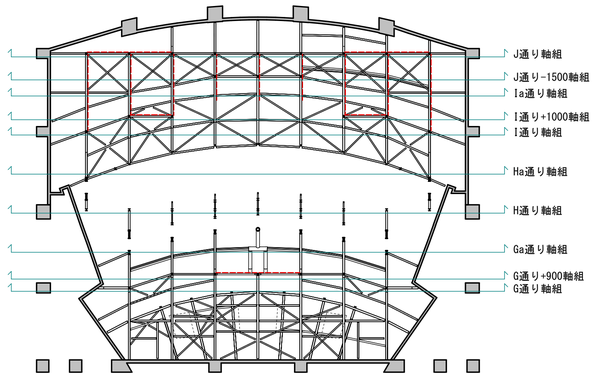
第二ホール改修新設部材立体図

1. 本図は、天井の準構造化のために新設する鉄骨部材を示す立体図である。
2. 伏図及び軸組図において、色分けにより示す部材種別・位置の区分を下表に示す。

表示色	部材符号	部材種別・位置	備考
	特記なし	既設部材	
	特記なし	天井下地材C100	
	図中に記載	吊材・束材・構面ブレース 伏図1～4に図示できない位置の部材	
	図中に記載	伏図4の位置にある部材	
	図中に記載	伏図3の位置にある部材	
	図中に記載	伏図2の位置にある部材	
	図中に記載	伏図1の位置にある部材	



KEY SECTION



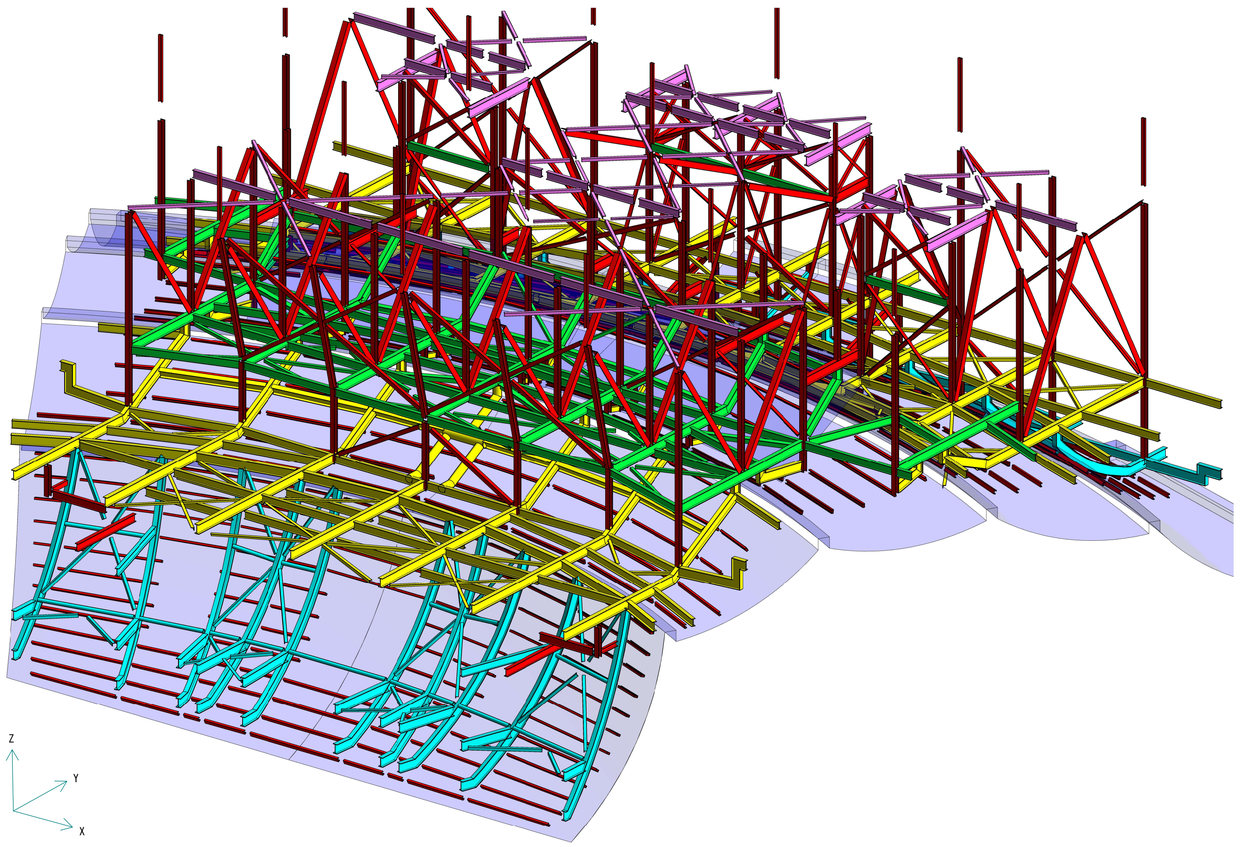
KEY SECTION

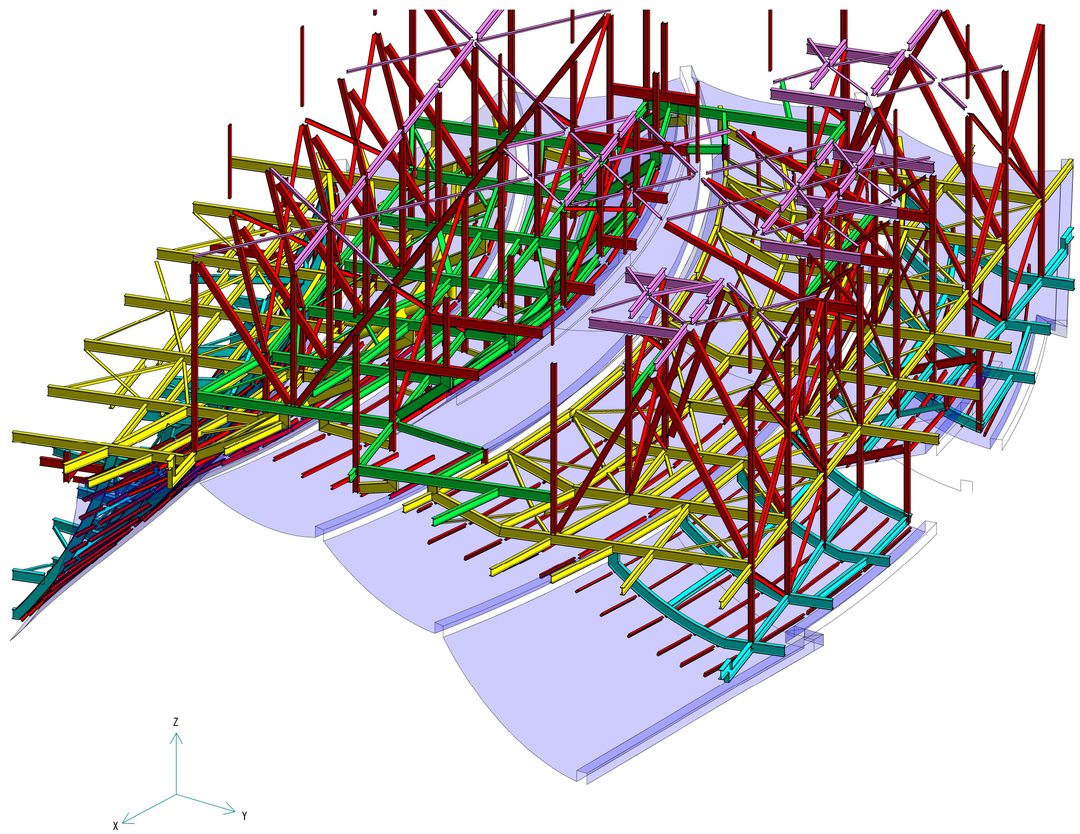
■改修概要
・第二ホール客席上部天井について、既存の吊天井を撤去し、建物と一体化した剛な天井とする「準構造化」による耐震改修を行う。
・天井内のシーリングスポット室を構成する既存鉄骨は残置する。

【補強方針】
・新設の天井下地材（天井を固定するための野縁及び野縁受け）は、天井材近傍に新設する重量鉄骨及び支持構造部（準構造鉄骨）に直接固定する。準構造鉄骨は曲面の天井の施工誤差に対応できるよう天井面からのクリアランスを確保したレベル設定とし、野縁受けは同様に曲面や施工誤差に対応できるレベル設定かつ角度調整機構付きの直接接合金物を使用して支持構造部に固定する。
・天井及び天井面に設置される設備、天井下地材、準構造鉄骨に生じる地震力は、準構造鉄骨から上部既存鉄骨トラスを介して、外周の耐力壁に伝達する。ただし、プロセニアムアーチ部など、上部鉄骨トラスから遠い部位については、準構造鉄骨からプロセニアムアーチ部既存躯体に直接力を伝達する。
・天井改修における、準構造鉄骨の追加及び天井材の仕様見直しにより、上部既存鉄骨トラスが支持する重量が増加する。これに対応するため、上部既存鉄骨トラスの斜材の一部に補強を行う。

【具体的補強方法】
・準構造鉄骨は、ホール幅方向に架かる既存鉄骨トラス下弦材及び下弦材間をつなぐ既存鉄骨小梁下に、重量鉄骨の吊材を設けて鉛直支持する。ただし、シーリングスポット室を構成する既存鉄骨を残置するため、シーリングスポット室を避けた位置とする。
・天井材近傍に新設する準構造鉄骨の梁組は、ホール奥行き方向を主桁方向とし、天井面に沿った折れ梁にて主桁を構成する。ホール奥行き方向の地震力は、主桁上に構面ブレースを設けて上部既存鉄骨へ伝達する。
・主桁間をつなぐ横架材は、天井面を構成する円弧と同心円状に配置する。ホール幅方向の地震力は、ホール幅方向（既存鉄骨トラスと平行方向）に横架材を設け、当該横架材上に構面ブレースを設けて上部既存鉄骨へ伝達する。
・準構造鉄骨横架材のホール外周端部は、既存躯体にあと施工アンカーにて接合する。

■注意事項
・4章各図は既存設計図を基に作図したものである。標記寸法は必ずしも現地状況と厳密に一致しない可能性があるので、施工にあたっては既存天井撤去後に改めて現地実測を行い、その結果を施工図に反映すること。





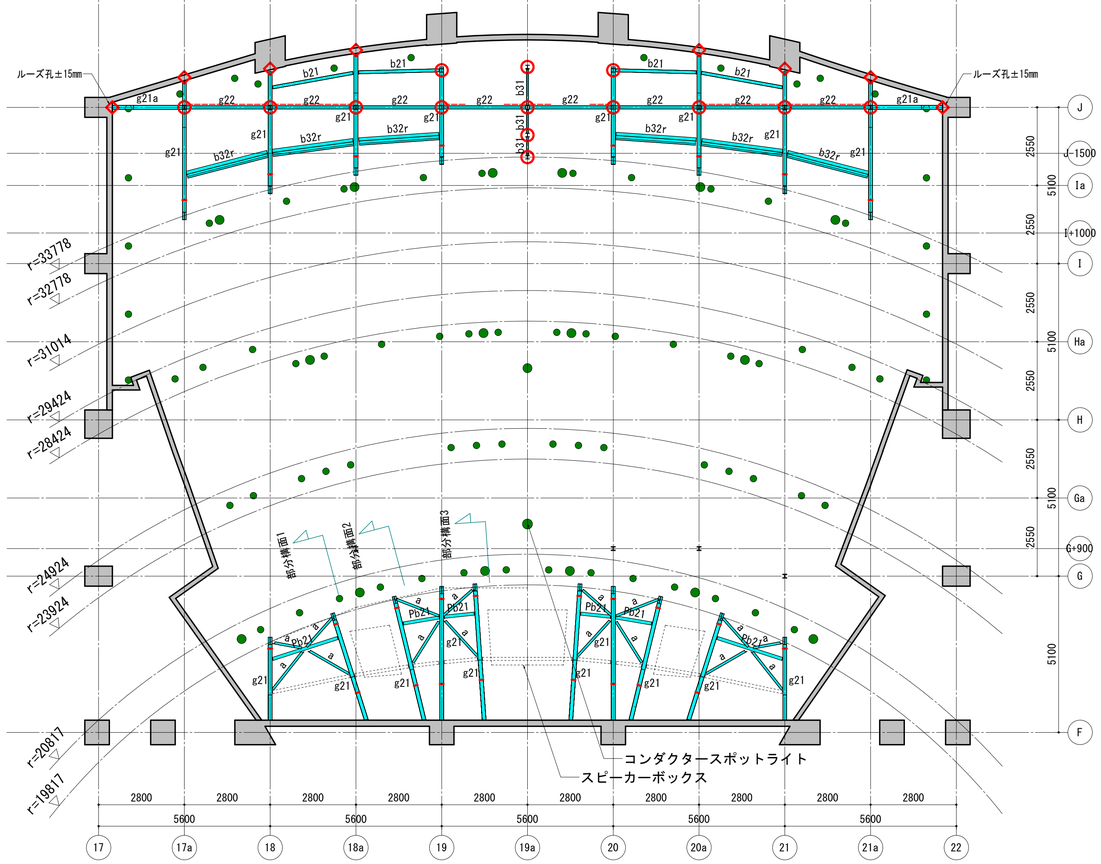
整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事
S4 － 01	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	第二ホール改修新設部材立体図 A1:　－ A3:　－ 鹿児島市建設局建築部建築課

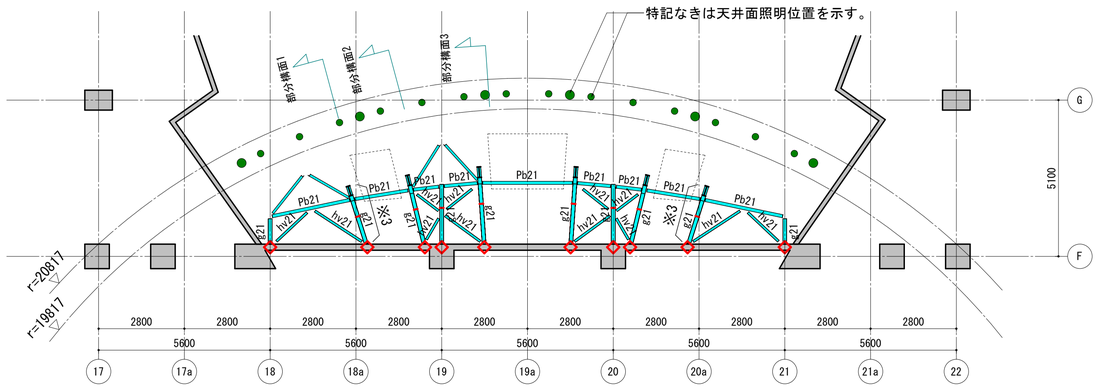
2025/03/24 15:26:42

伏図1

A1:1/100
A3:1/200

注記）記入なき限り下記による。
1. ------ 印は、構面ブレース位置を示す。符号及び形状は軸組図による。
2. ◯ 印は、吊材m21位置を示す。
3. ◇ 印は、既設RC躯体接合部を示す。
4. ※3は、伏図1（部分図）レベルのg21上部にキャットウォーク支持材としてb21を設ける箇所を示す。

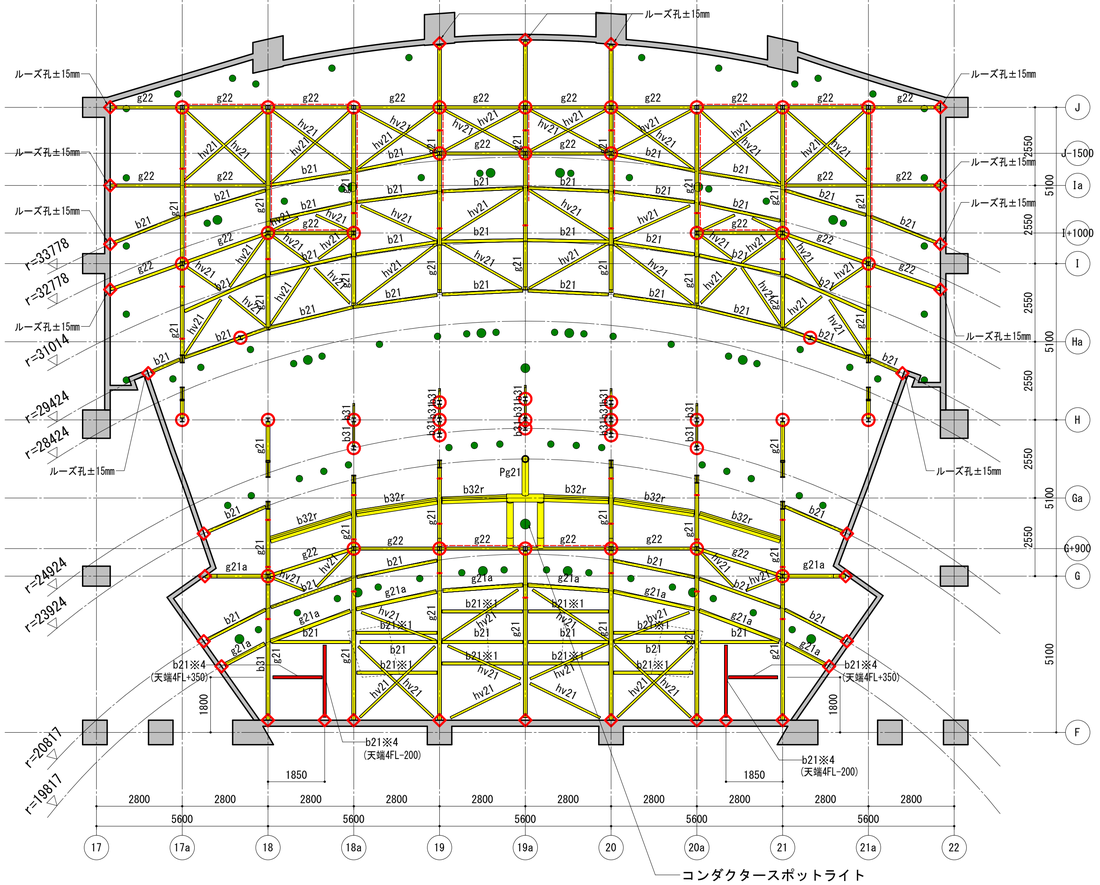


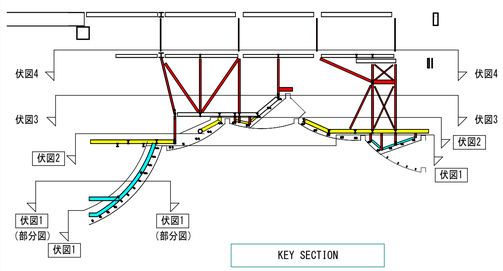


伏図2

A1:1/100
A3:1/200

注記）記入なき限り下記による。
1. ※1はスピーカー吊材受けを示す。g21梁下に取り付け。
2. ------ 印は、構面ブレース位置を示す。符号及び形状は軸組図による。
3. ◯ 印は、吊材m21及びm21a位置を示す。
4. ◇ 印は、既設RC躯体接合部を示す。
5. ※4は、伏図1と伏図2の中間レベルに設けるキャットウォーク支持材を示す。





補強部材リスト

符　号	部材断面	材　質
m21	H-125x125xx6.5x9	SS400
m21a	H-125x125xx6.5x9	SN400B
Pg21	216.3φx8.2+267.4φx9.3 要領図参照	STK400
Pb21	101.6φx4.2	STK400
g21	H-250x125x6x9	SN400B
g21a	H-248x124x5x8	SS400
g22	H-198x99x4.5x7	SS400
g23	H-248x124x5x8	SS400
b21	H-198x99x4.5x7	SS400
b31	[-125x65x6x8	SS400

符　号	部材断面	材　質
b32r	H-248x124x5x8	SS400
t21	[-100x50x5x7.5	SS400
a	L-75x75x6	SS400
b	2L-75x75x6	SS400
c	L-100x100x7	SS400
d	L-150x150x10	SS400
hv21	L-75x75x6	SS400
hv22	CT-150x150x6x9	SS400
C100	C-100x50x20x2.3	SS400

注記）1. 特記なき限り、レベルの記載は部材芯の狙い点位置を示す。
2. ▭ は現場継手を示す。
3. 特記なき限り、部材同士の接合は、継手基準図に示すウェブ継手とする。
4. ◇ 印は、既存RC躯体接合部を示す。

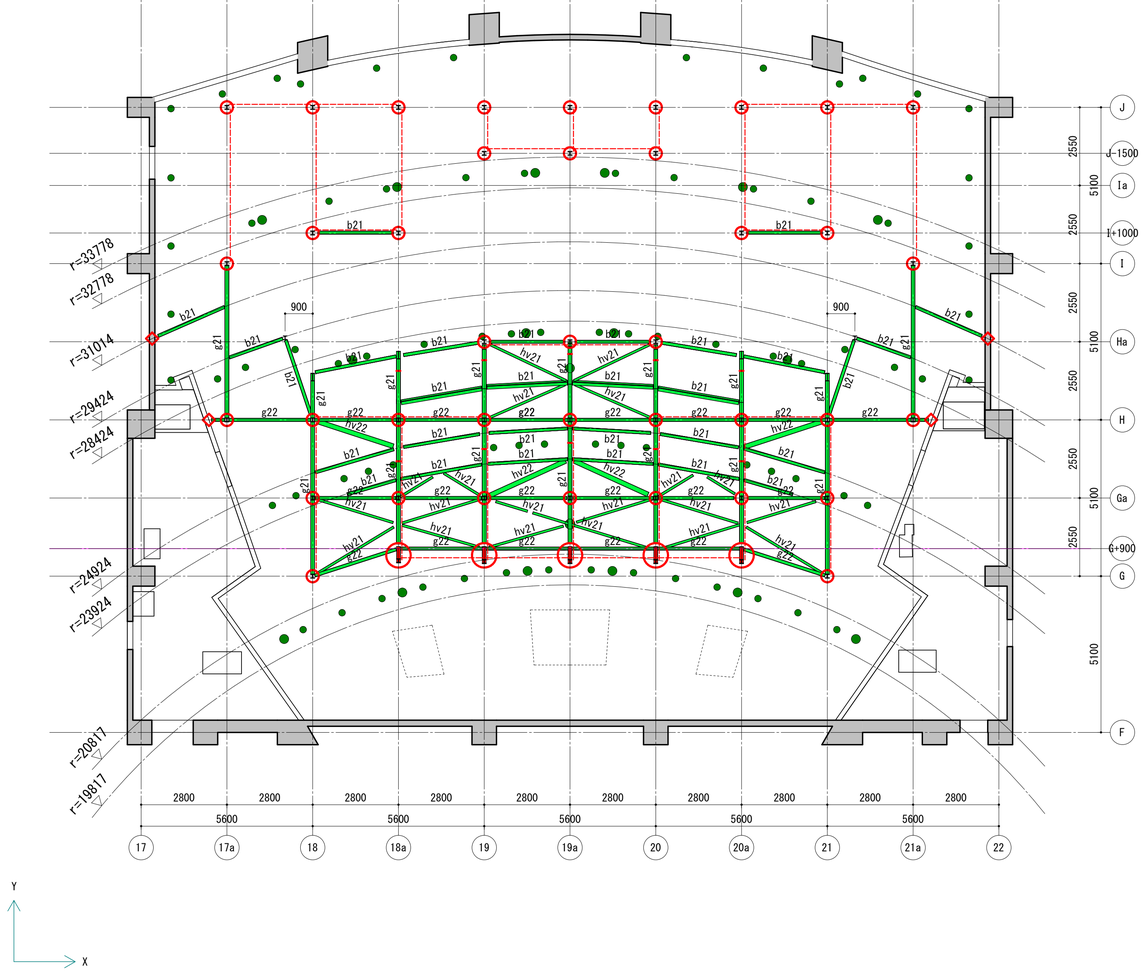
2025/03/24 15:26:47

整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S4 － 02	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 髙橋　淳	第二ホール改修後伏図（1）	A1: 1/100 A3: 1/200
		鹿児島市建設局建築部建築課	

伏図3

A1:1/100
A3:1/200

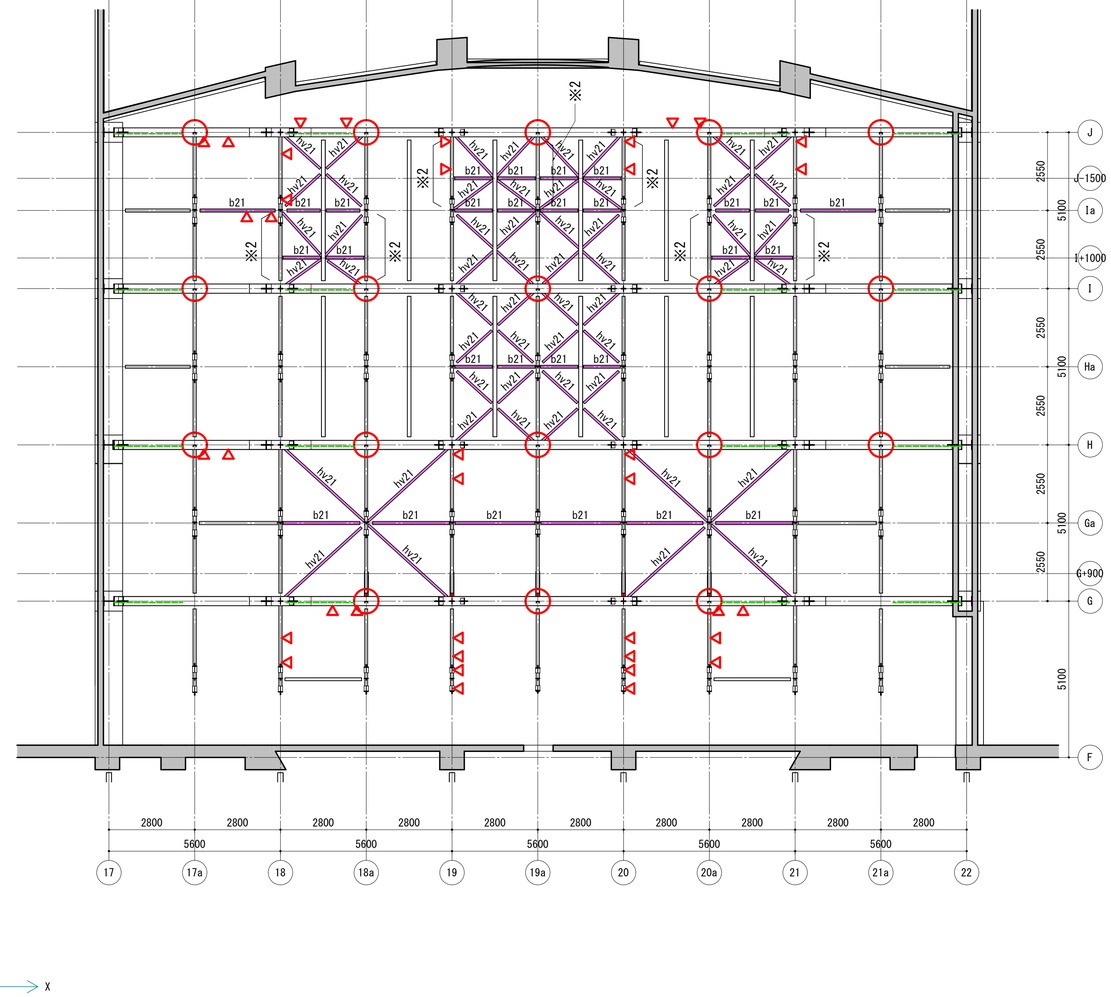
注記）記入なき限り下記による。
1. ------ 印は、構面ブレース位置を示す。本図で示すレベルに梁がない位置において
伏図2（黄色で示すレベル）から本図で示すレベルを通過するブレースについても図示している。
2. ◯ 印は、吊材m21及びm21a位置を示す。本図で示すレベルに梁がない位置において伏図2（黄色で示すレベル）
から本図で示すレベルを通過する吊材についても図示している。
3. ◇ 印は、既設RC躯体接合部を示す。

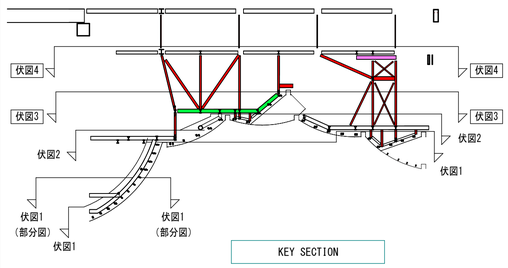


伏図4

A1:1/100
A3:1/200

注記）記入なき限り下記による。
1. ※2は既設梁下に g21 を設ける位置を示す。
2. ◯ 印は、既設トラス上下弦材間に追加する束材 t21 を示す。
3. ------ 印は、既設トラス梁ラチス材補強範囲を示す。
4. △ 印は、設備ダクト支持材追加箇所を示す。





補強部材リスト

符　号	部材断面	材　質
m21	H-125x125xx6.5x9	SS400
m21a	H-125x125xx6.5x9	SN400B
Pg21	216.3φx8.2+267.4φx9.3 要領図参照	STK400
Pb21	101.6φx4.2	STK400
g21	H-250x125x6x9	SN400B
g21a	H-248x124x5x8	SS400
g22	H-198x99x4.5x7	SS400
g23	H-248x124x5x8	SS400
b21	H-198x99x4.5x7	SS400
b31	[-125x65x6x8	SS400

符　号	部材断面	材　質
b32r	H-248x124x5x8	SS400
t21	[-100x50x5x7.5	SS400
a	L-75x75x6	SS400
b	2L-75x75x6	SS400
c	L-100x100x7	SS400
d	L-150x150x10	SS400
hv21	L-75x75x6	SS400
hv22	CT-150x150x6x9	SS400
C100	C-100x50x20x2.3	SS400

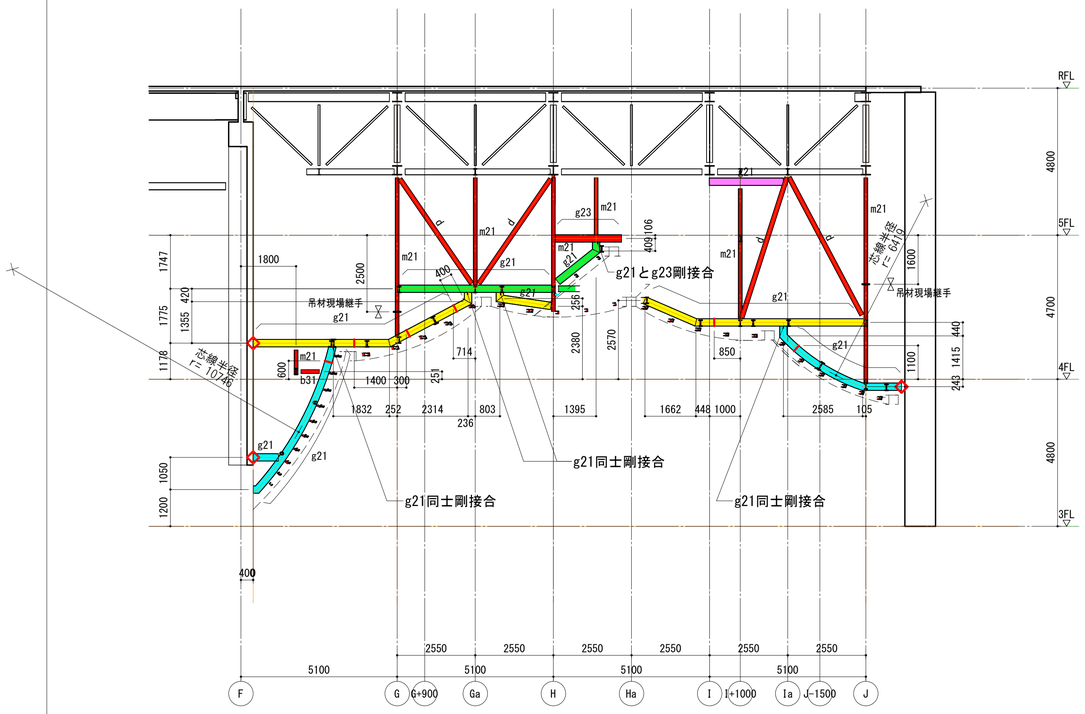
注記）1. 特記なき限り、レベルの記載は部材芯の狙い点位置を示す。
2. ▯ は現場継手を示す。
3. 特記なき限り、部材同士の接合は、継手基準図に示すウェブ継手とする。
4. ◇ 印は、既存RC躯体接合部を示す。

2025/03/24 15:26:53

整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S4 － 03	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	第二ホール改修後伏図（2）	A1: 1/100 A3: 1/200
		鹿児島市建設局建築部建築課	

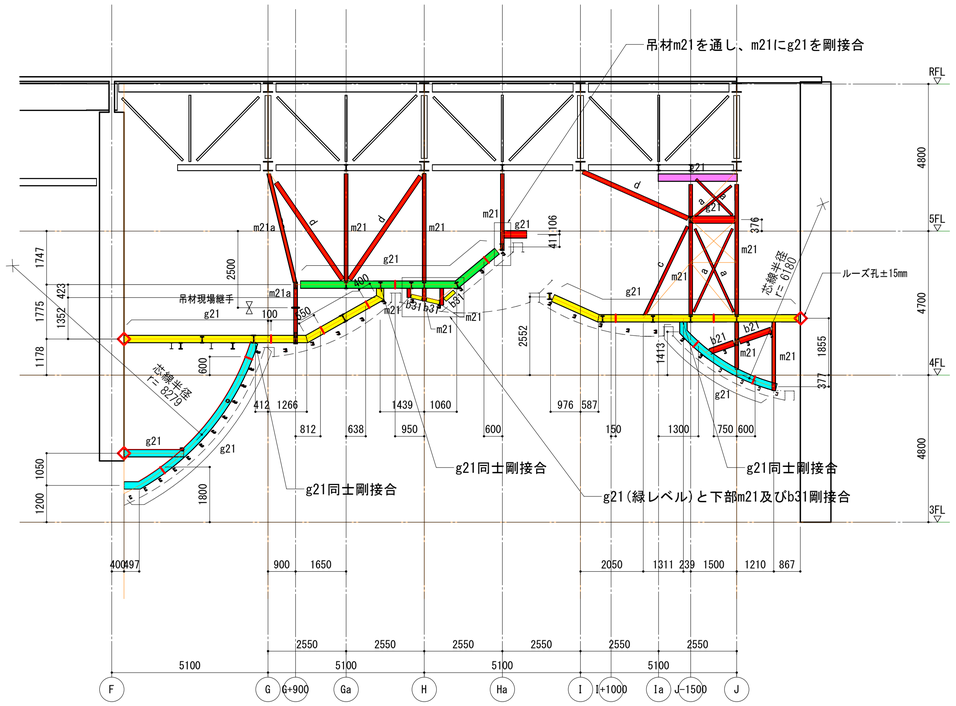
18通り軸組図

A1:1/100
A3:1/200



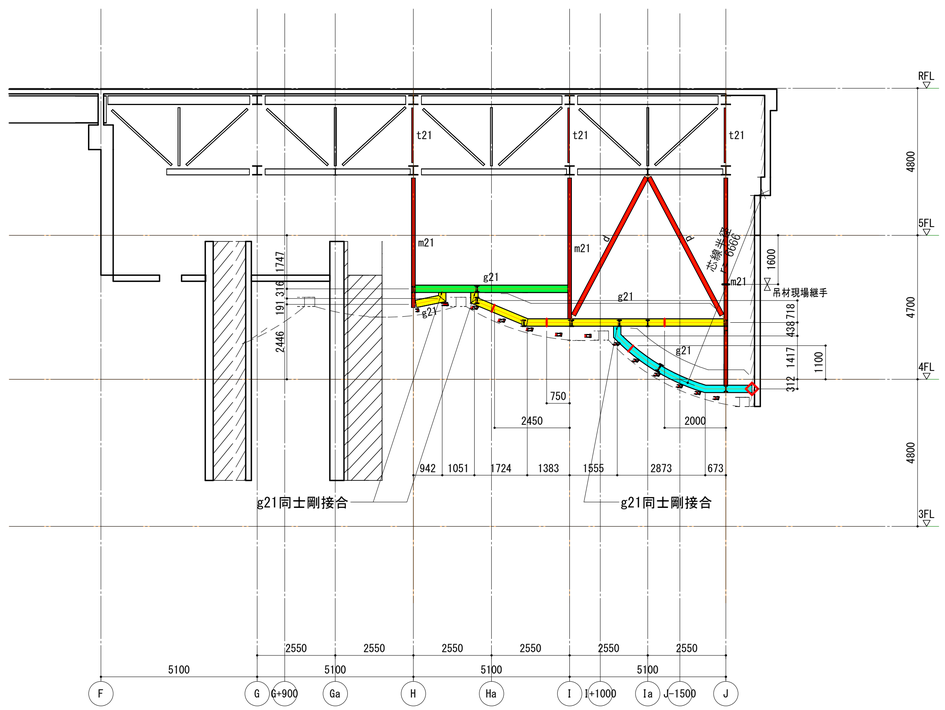
19通り軸組図

A1:1/100
A3:1/200



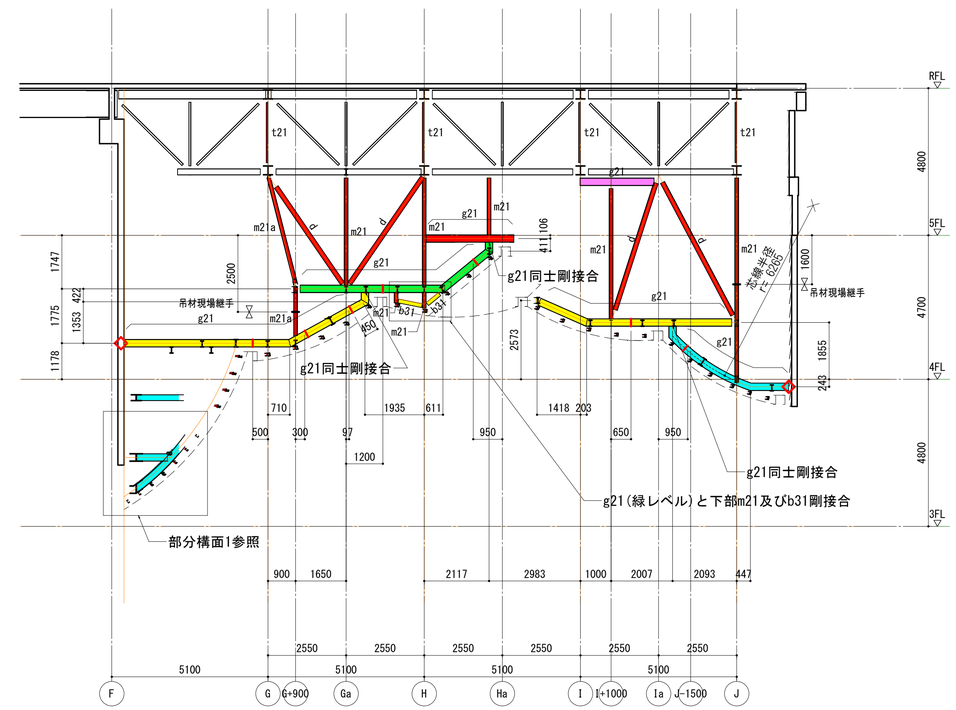
17a通り軸組図

A1:1/100
A3:1/200



18a通り軸組図

A1:1/100
A3:1/200



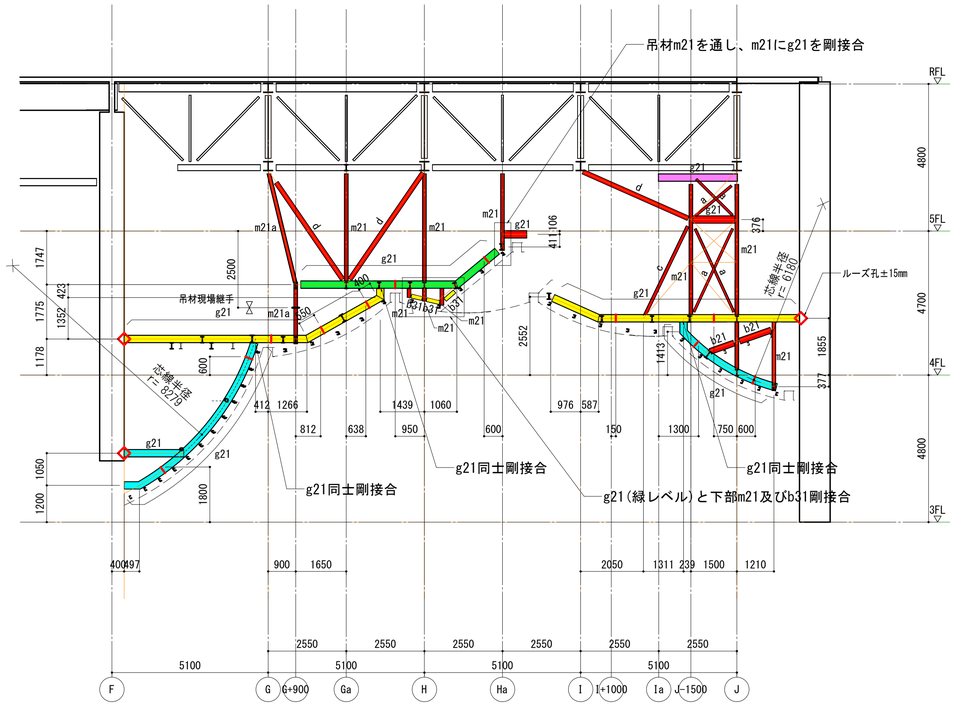
注記）1. 特記なき限り、レベルの記載は部材芯の狙い点位置を示す。
2. ▭ は現場継手を示す。
3. 特記なき限り、部材同士の接合は、継手基準図に示すウェブ継手とする。
4. ◇ 印は、既存RC躯体接合部を示す。

整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S4 － 04	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	第二ホール改修後軸組図（1）	A1: 1/100 A3: 1/200
		鹿児島市建設局建築部建築課	

2025/03/24 15:26:55

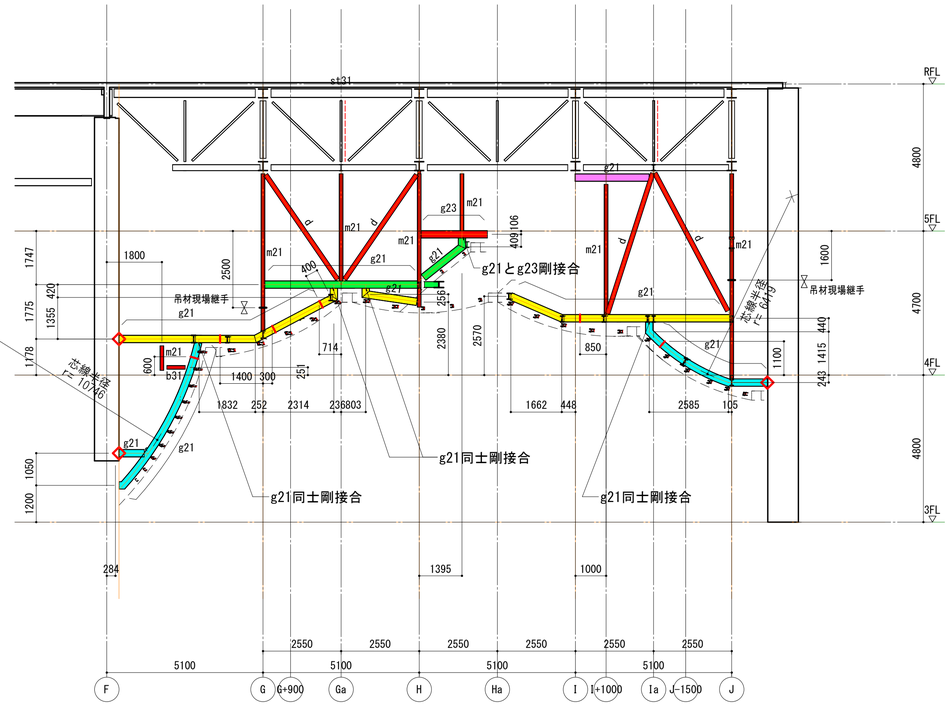
20通り軸組図

A1:1/100
A3:1/200



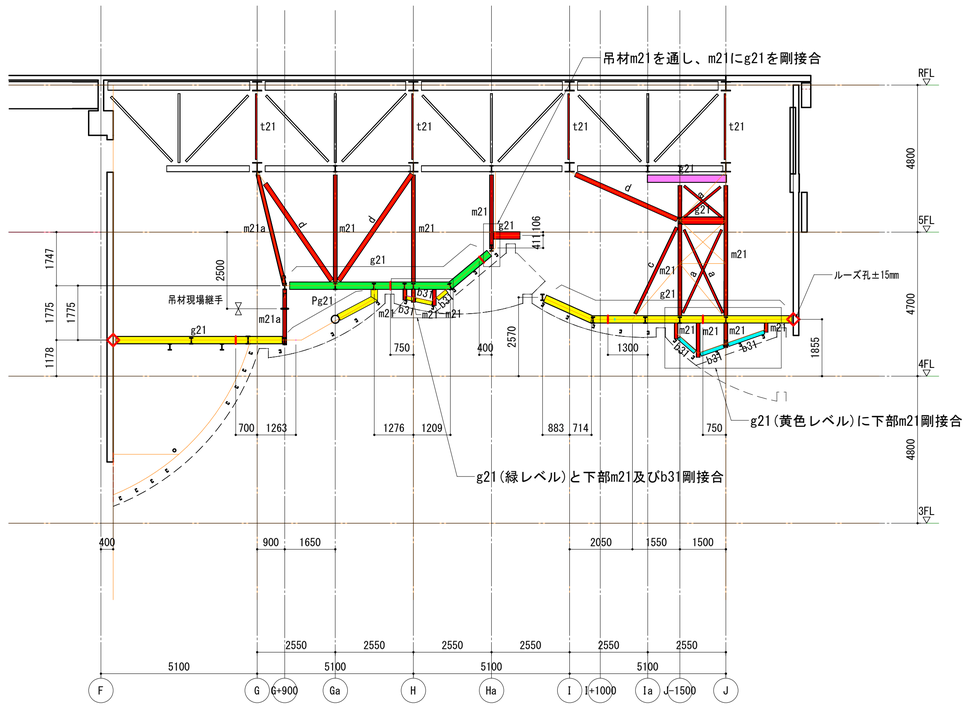
21通り軸組図

A1:1/100
A3:1/200



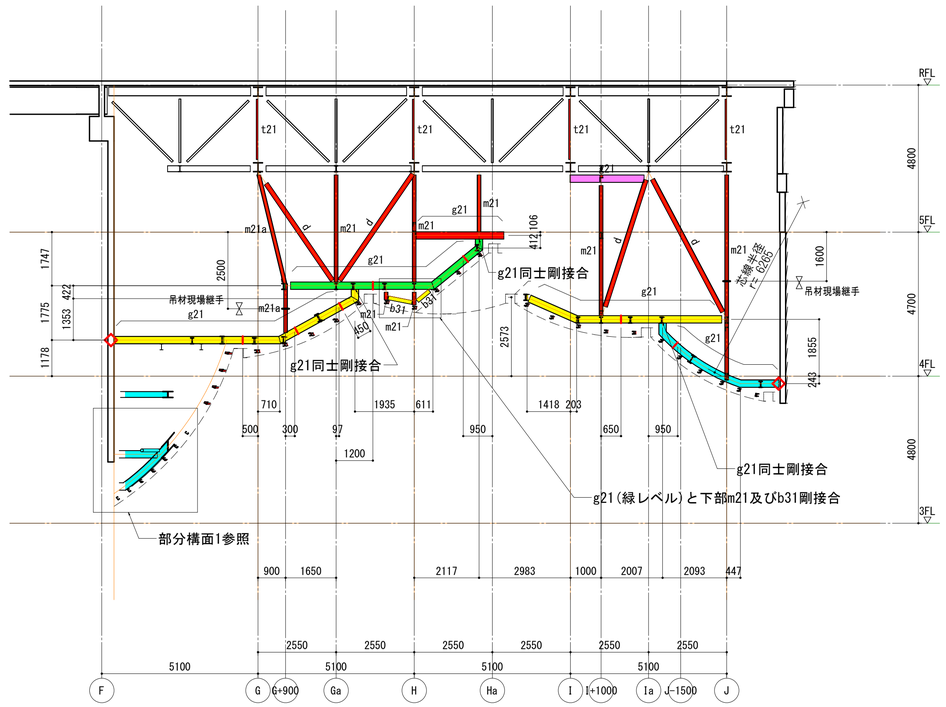
19a通り軸組図

A1:1/100
A3:1/200



20a通り軸組図

A1:1/100
A3:1/200



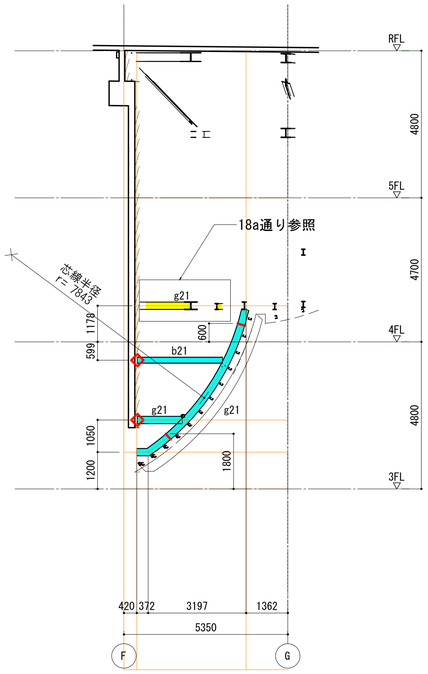
注記）1.特記なき限り、レベルの記載は部材芯の狙い点位置を示す。
2. ┃ は現場継手を示す。
3.特記なき限り、部材同士の接合は、継手基準図に示すウェブ継手とする。
4. ◇ 印は、既存RC躯体接合部を示す。

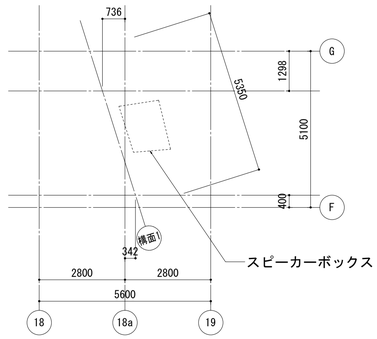
整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S4 － 05	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	第二ホール改修後軸組図（２）	A1: 1/100 A3: 1/200
		鹿児島市建設局建築部建築課	

2025/03/24 15:26:58

部分構面1軸組図

A1:1/100
A3:1/200

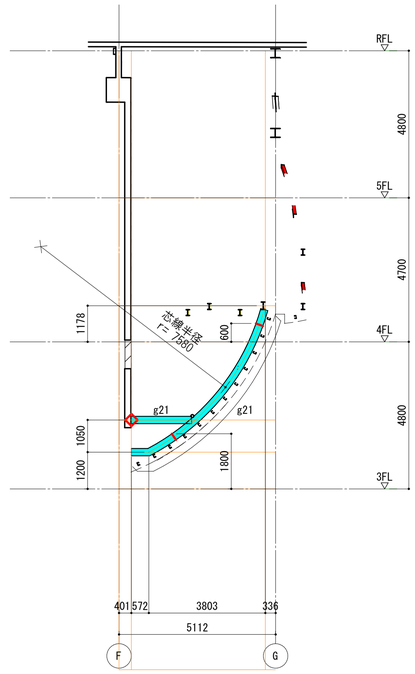


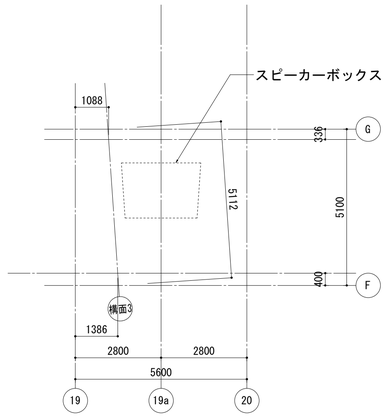


部分構面1 芯線定義図（伏図）

部分構面3軸組図

A1:1/100
A3:1/200

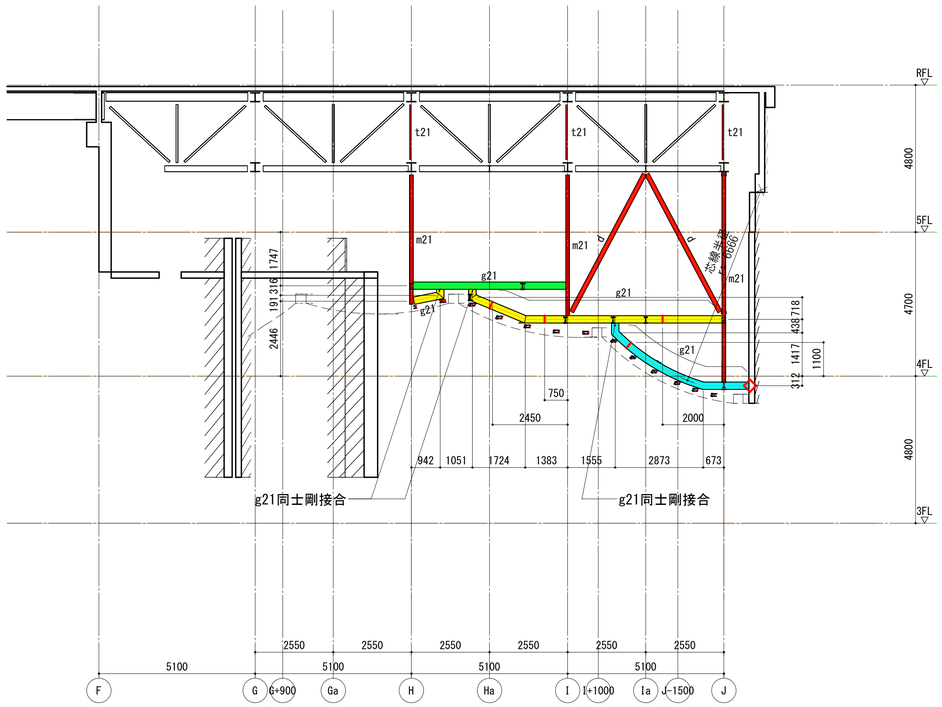




部分構面3 芯線定義図（伏図）

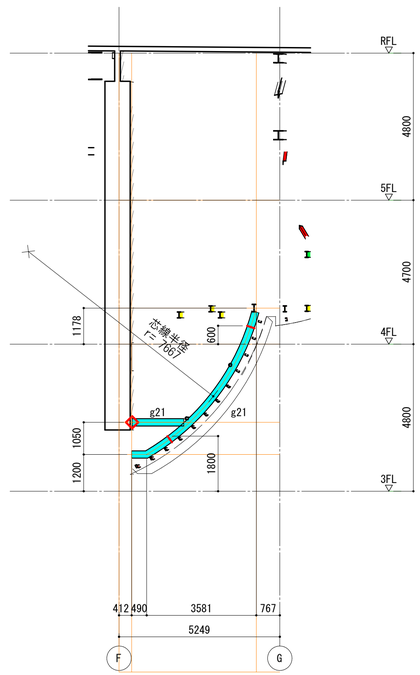
21a通り軸組図

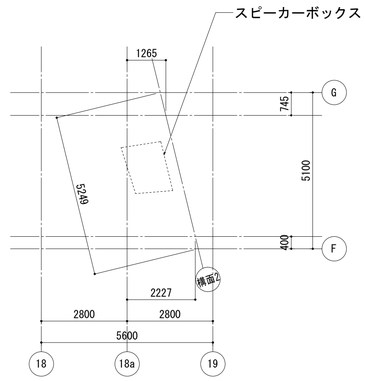
A1:1/100
A3:1/200



部分構面2軸組図

A1:1/100
A3:1/200





部分構面2 芯線定義図（伏図）

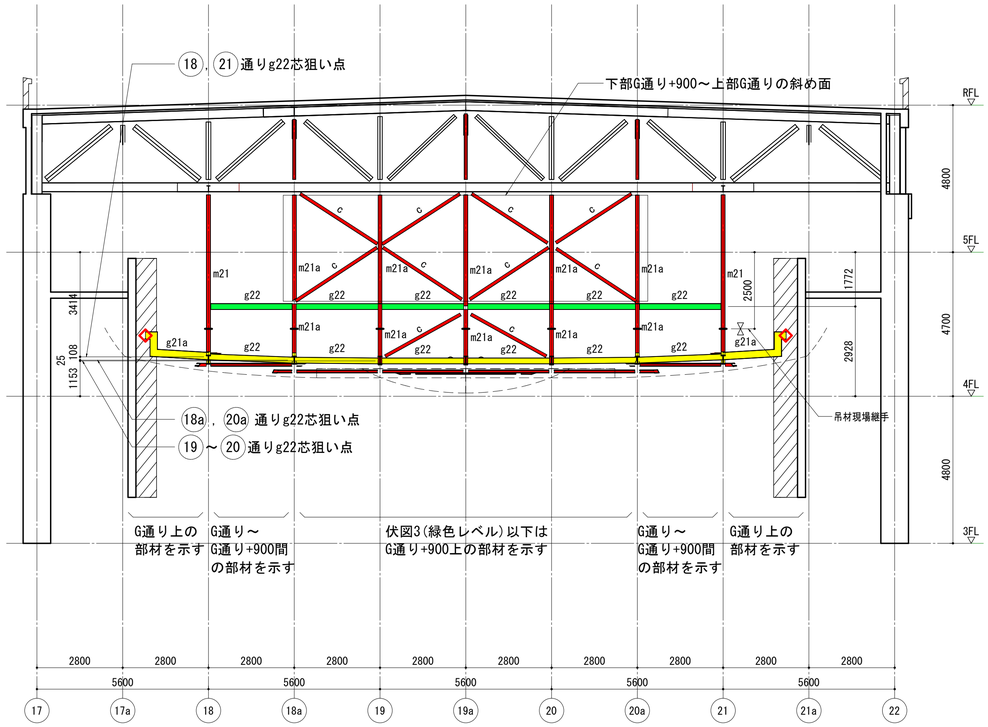
注記）1. 特記なき限り、レベルの記載は部材芯の狙い点位置を示す。
2. ┃ は現場継手を示す。
3. 特記なき限り、部材同士の接合は、継手基準図に示すウェブ継手とする。
4. ◇ 印は、既存RC躯体接合部を示す。

整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S4 － 06	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	第二ホール改修後軸組図（３）	A1: 1/100 A3: 1/200
		鹿児島市建設局建築部建築課	

2025/03/24 15:27:00

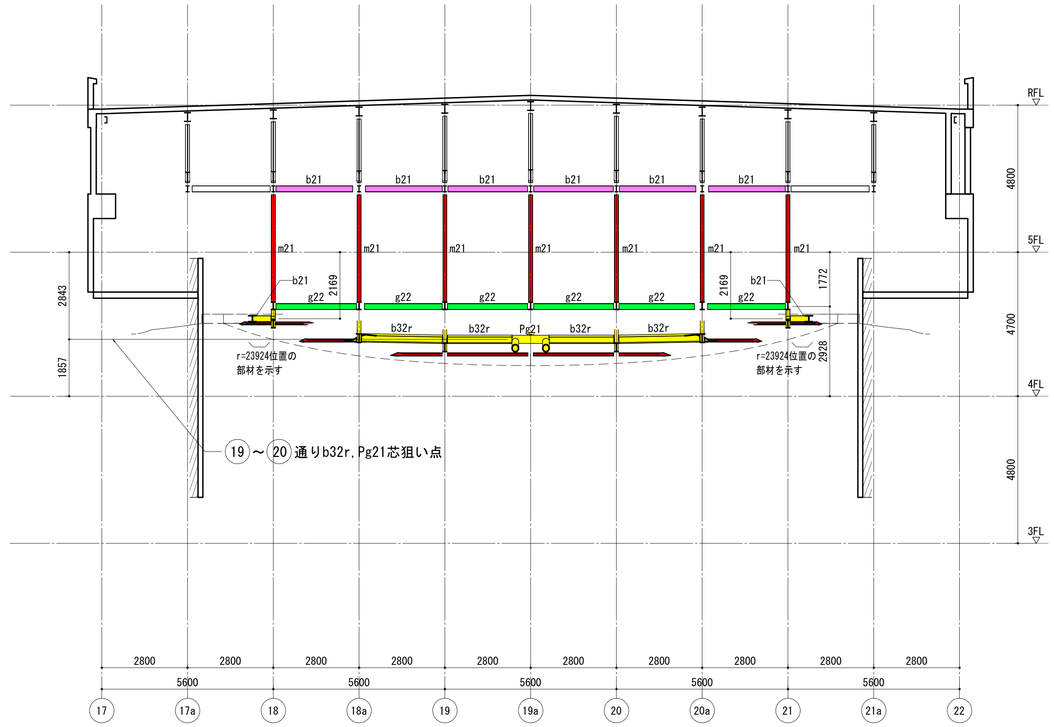
G通り軸組図（斜め面）

A1:1/100
A3:1/200



Ga通り軸組図

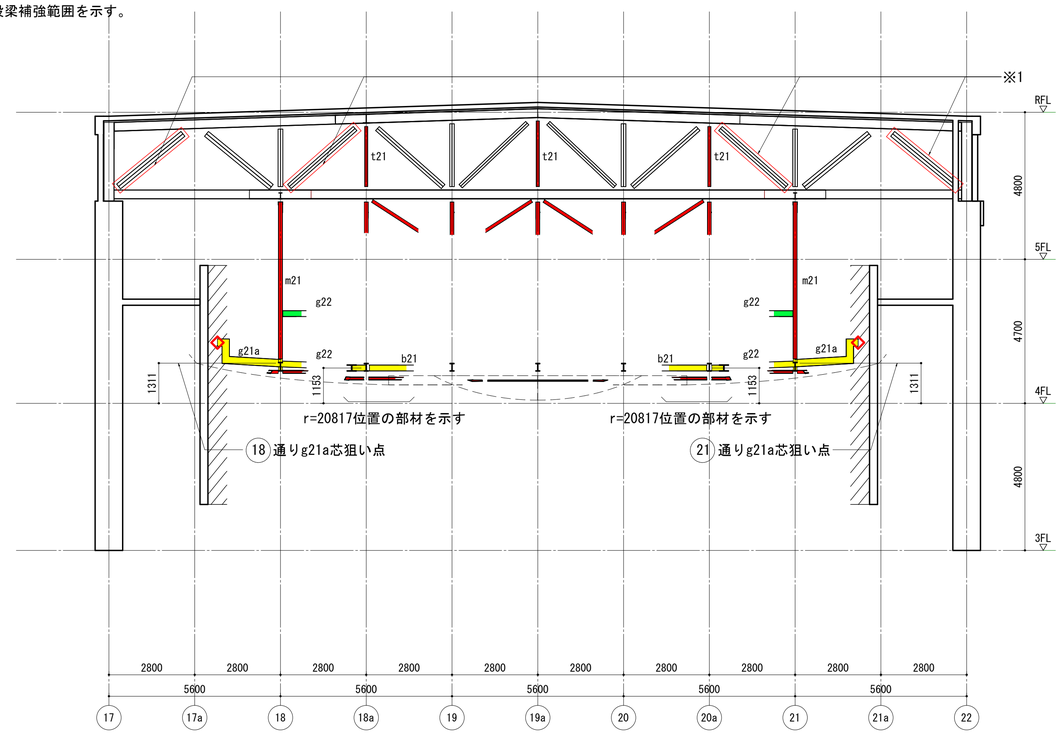
A1:1/100
A3:1/200



G通り軸組図

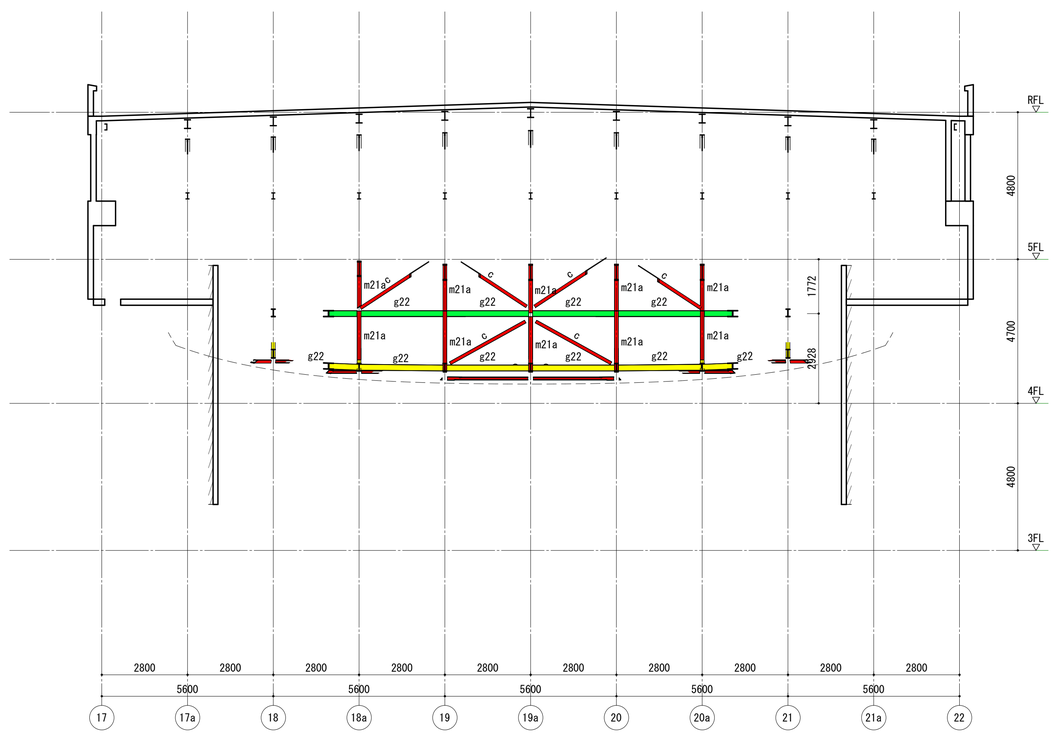
A1:1/100
A3:1/200

1.※1は既設梁補強範囲を示す。



G通り+900軸組図

A1:1/100
A3:1/200



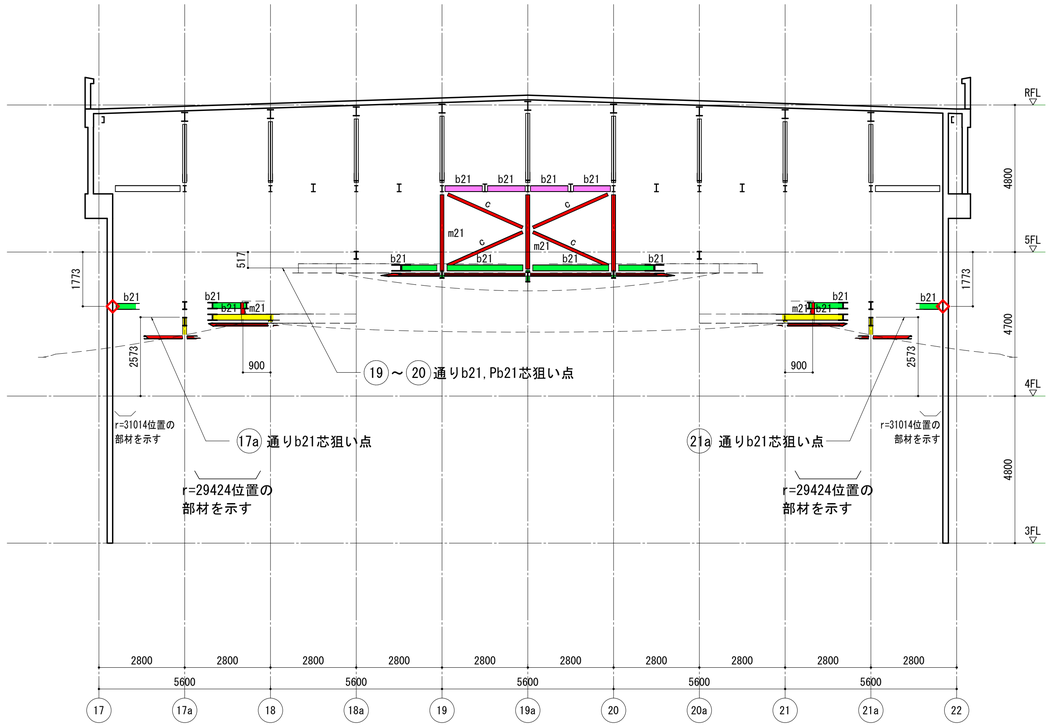
注記）1.特記なき限り、レベルの記載は部材芯の狙い点位置を示す。
2. ▭ は現場継手を示す。
3.特記なき限り、部材同士の接合は、継手基準図に示すウェブ継手とする。
4. ◇ 印は、既存RC躯体接合部を示す。

整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S4 － 07	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	第二ホール改修後軸組図（４）	A1: 1/100 A3: 1/200
		鹿児島市建設局建築部建築課	

2025/03/24 15:27:01

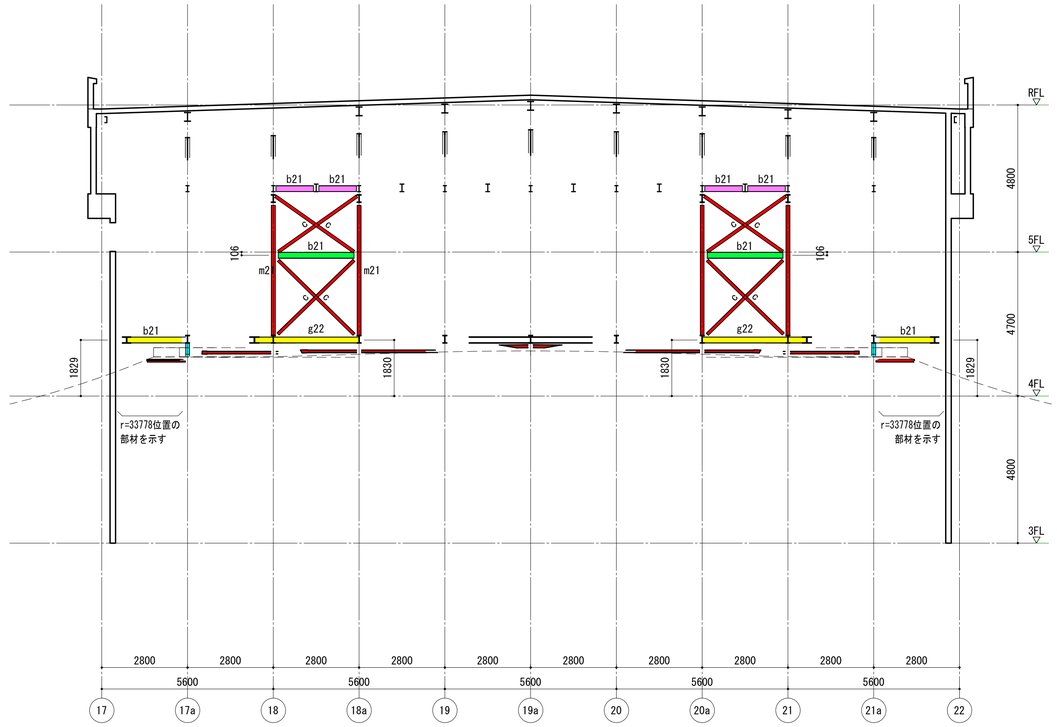
Ha通り軸組図

A1:1/100
A3:1/200



I通り+1000軸組図

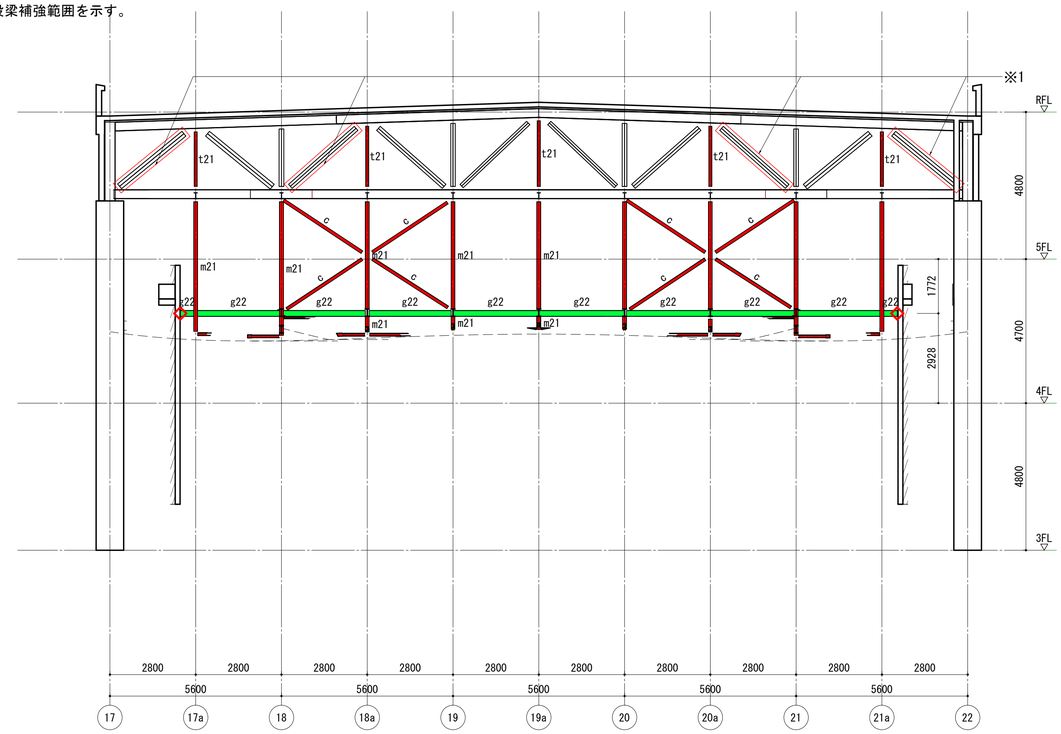
A1:1/100
A3:1/200



H通り軸組図

A1:1/100
A3:1/200

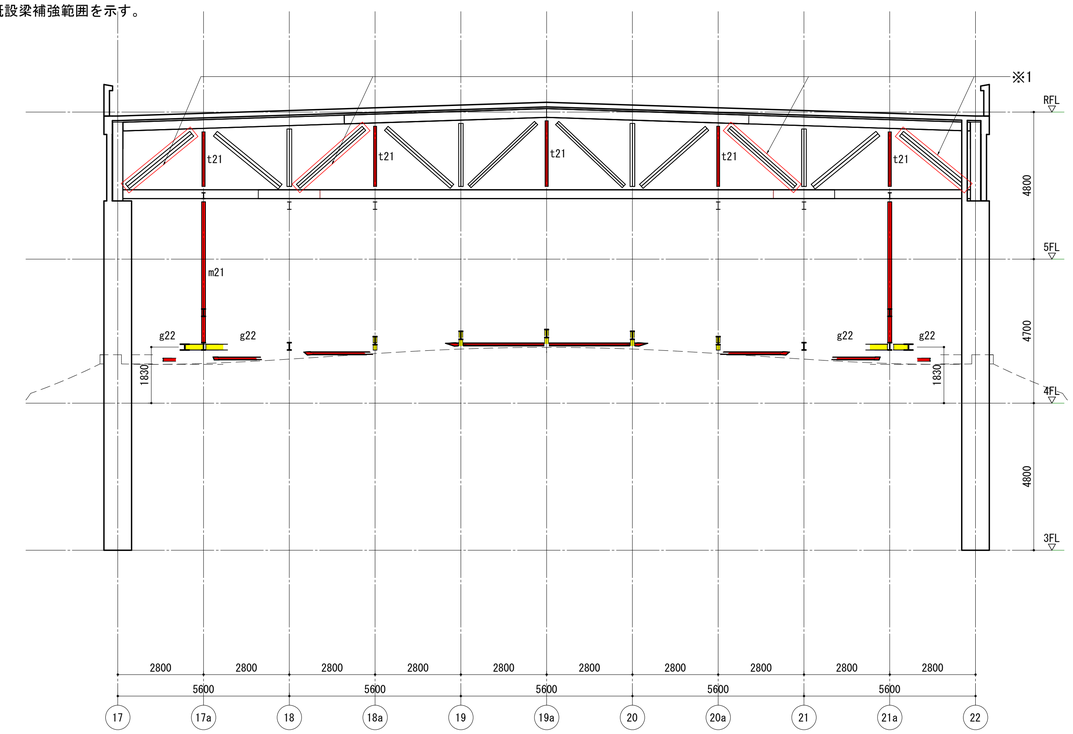
1.※1は既設梁補強範囲を示す。



I通り軸組図

A1:1/100
A3:1/200

1.※1は既設梁補強範囲を示す。



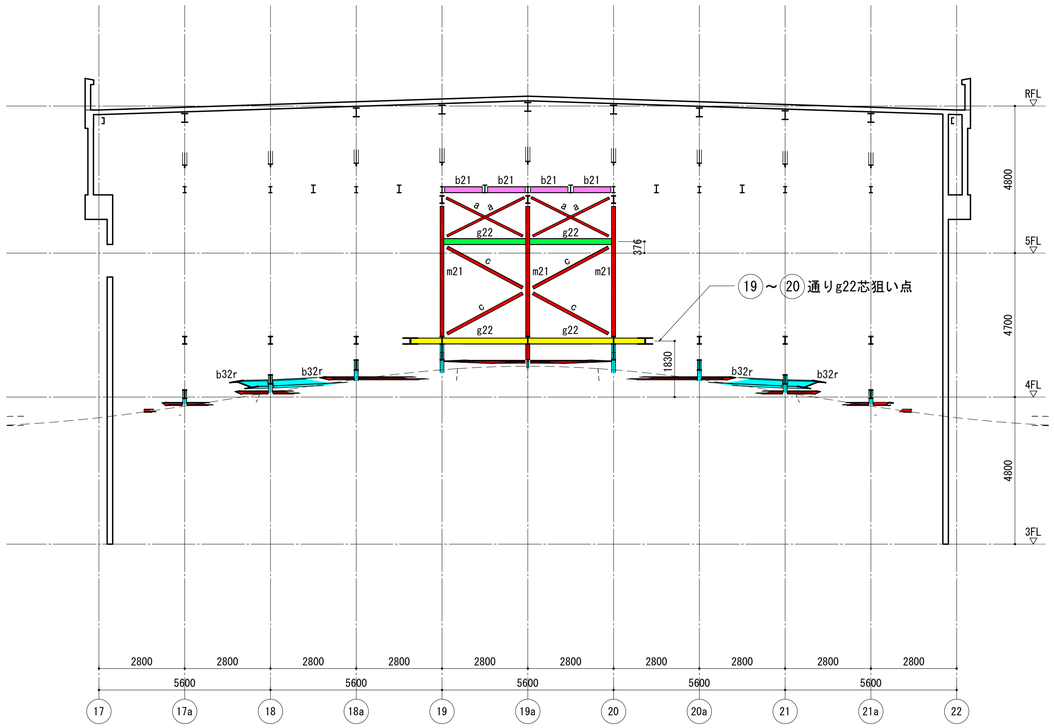
注記）1.特記なき限り、レベルの記載は部材芯の狙い点位置を示す。
2. ┃ は現場継手を示す。
3.特記なき限り、部材同士の接合は、継手基準図に示すウェブ継手とする。
4. ◇ 印は、既存RC躯体接合部を示す。

整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S4 － 08	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	第二ホール改修後軸組図（5）	A1: 1/100 A3: 1/200
		鹿児島市建設局建築部建築課	

2025/03/24 15:27:03

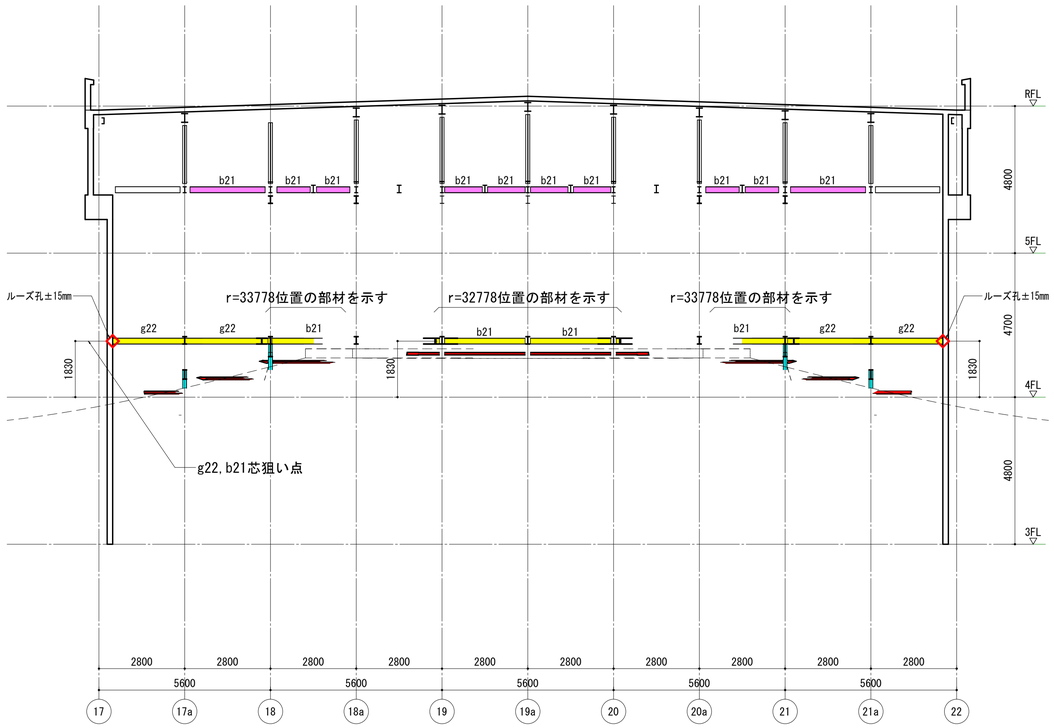
J通り-1500軸組図

A1:1/100
A3:1/200



Ia通り軸組図

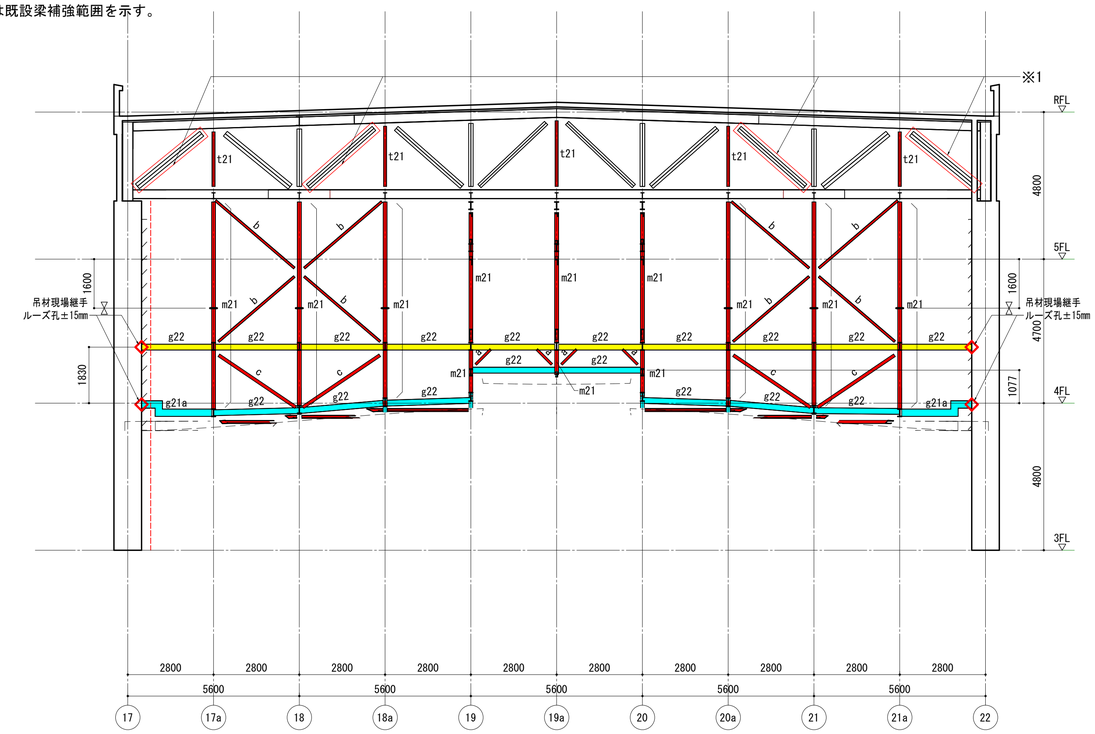
A1:1/100
A3:1/200



J通り軸組図

A1:1/100
A3:1/200

1.※1は既設梁補強範囲を示す。



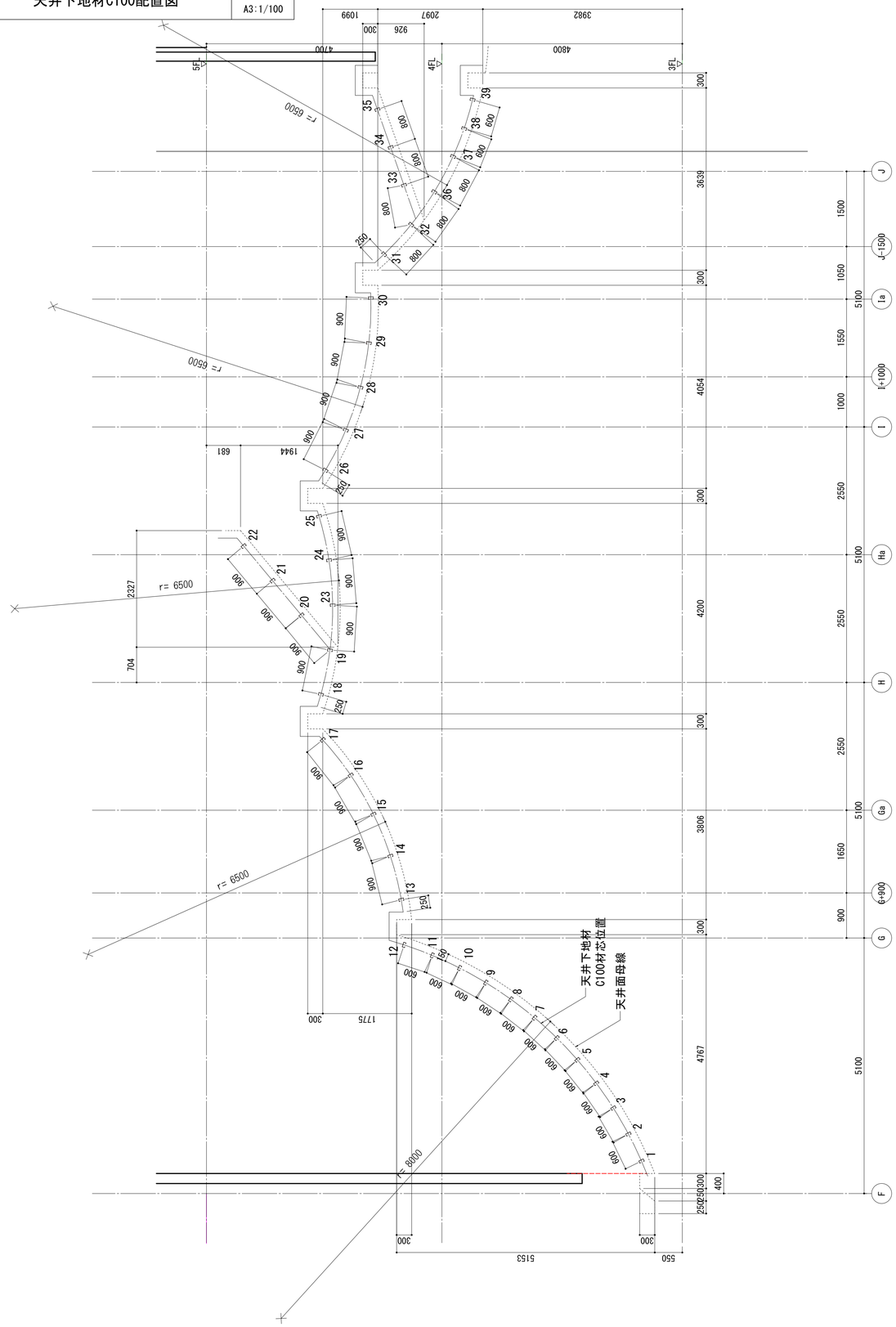
注記）1.特記なき限り、レベルの記載は部材芯の狙い点位置を示す。
2. ▭ は現場継手を示す。
3.特記なき限り、部材同士の接合は、継手基準図に示すウェブ継手とする。
4. ◇ 印は、既存RC躯体接合部を示す。

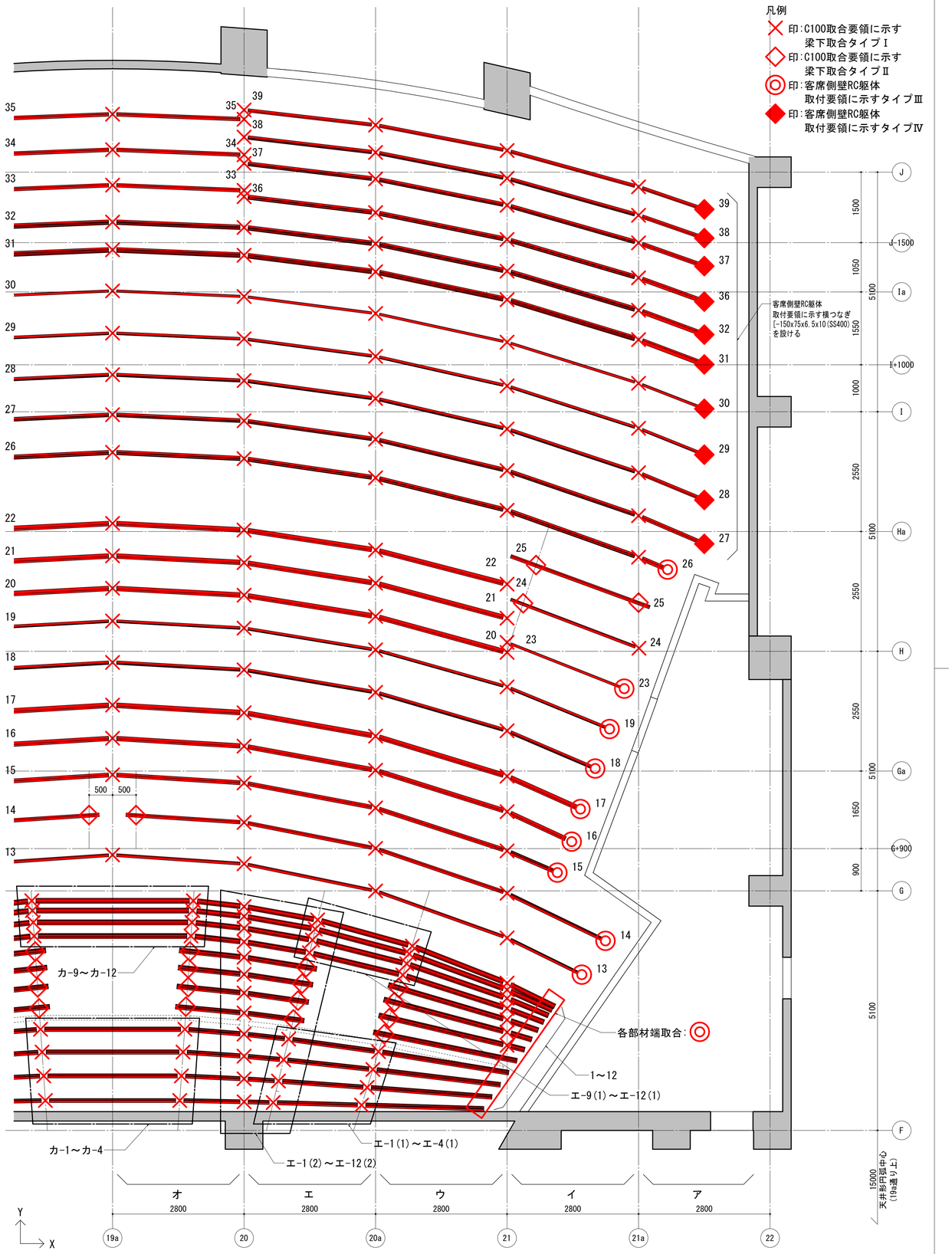
整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S4 － 09	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	第二ホール改修後軸組図（6）	A1: 1/100 A3: 1/200
		鹿児島市建設局建築部建築課	

2025/03/24 15:27:04

天井下地材C100配置図

A1:1/50
A3:1/100



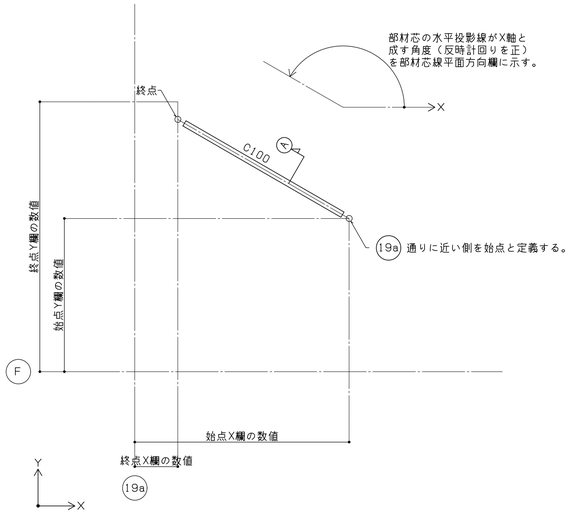


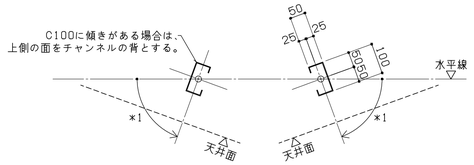
整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事
S4 － 10	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	第二ホール改修下地材配置図(1)　A1: 1/50　A3: 1/100 鹿児島市建設局建築部建築課

2025/03/24 15:27:06

天井下地材C100配置図（2）

注記）　記入なき限り下記による。
1．本表には、(19a)～(22) 通り間について示す。 (17) ～(19a)通り間は、 (19a) 通りを軸に対称配置とする。





*1の角度を強軸方向の傾きの欄に示す。
左上図の場合を正値、右図の場合を
負値とする。

(A) 断面（拡大）

配置	始点 X 19a通り基準	始点 Y B通り基準	終点 X 19a通り基準	終点 Y B通り基準	高さ位置 Z 3FL基準	部材芯線 平面方向	強軸方向 の傾き	狙い点間 長さ
ア- 26	11819	11940	11200	12203	7135	157.0	-58.8	672
ア- 27	12600	12487	11200	13087	6717	156.8	-67.0	1523
ア- 28	12600	13421	11200	14002	6426	157.5	-75.1	1515
ア- 29	12600	14386	11200	14948	6259	158.1	-83.3	1508
ア- 30	12600	15362	11200	15906	6218	158.8	-88.6	1502
ア- 31	12600	16307	11200	16835	5953	159.3	-43.9	1496
ア- 32	12600	16943	11200	17460	5413	159.7	-51.1	1493
ア- 36	12600	17644	11200	18151	4952	160.1	-58.3	1489
ア- 37	12600	18400	11200	18896	4576	160.5	-65.6	1485
ア- 38	12600	18996	11200	19482	4355	160.8	-71.0	1482
ア- 39	12600	19609	11200	20087	4187	161.1	-76.4	1479
イ- 6	8857	1695	8400	1811	2505	165.7	-31.9	471
イ- 7	9008	1911	8400	2091	2949	163.5	-28.6	634
イ- 8	9143	2104	8400	2355	3422	161.4	-25.1	784
イ- 9	9261	2273	8400	2597	3922	159.4	-21.4	920
イ- 10	9360	2414	8400	2811	4446	157.5	-17.5	1039
イ- 11	9437	2524	8400	2992	4991	155.7	-13.5	1138
イ- 12	9492	2602	8400	3136	5553	153.9	-9.4	1215
イ- 13	9992	3316	8400	4099	5610	153.8	-80.3	1774
イ- 14	10496	4036	8400	5049	5828	154.2	-72.2	2328
イ- 15	9470	5489	8400	5950	6167	156.7	-63.9	1166
イ- 16	9720	6174	8400	6786	6620	155.1	-56.0	1455
イ- 17	9963	6842	8400	7540	7178	155.9	-47.8	1712
イ- 18	10277	7705	8400	8507	7214	156.8	-74.0	2042
イ- 19	10583	8545	8400	9442	7034	157.7	-82.1	2360
イ- 23	10896	9405	8400	10390	6980	158.5	-89.8	2683
イ- 24	11209	10266	8400	11333	7053	159.2	-81.6	3005
イ- 25	11517	11110	8400	12253	7253	159.9	-73.5	3319
イ- 26	11200	12203	8400	13202	7131	160.4	-58.5	2973
イ- 27	11200	13087	8400	14047	6717	161.1	-66.8	2960
イ- 28	11200	14002	8400	14933	6426	161.6	-74.9	2951
イ- 29	11200	14948	8400	15850	6259	162.1	-83.0	2942
イ- 30	11200	15906	8400	16781	6218	162.6	-88.8	2934
イ- 31	11200	16835	8400	17685	5953	163.1	-43.8	2926
イ- 32	11200	17460	8400	18295	5413	163.4	-51.0	2922
イ- 36	11200	18151	8400	18968	4952	163.7	-58.2	2917
イ- 37	11200	18896	8400	19696	4576	164.1	-65.4	2912
イ- 38	11200	19482	8400	20269	4355	164.3	-70.8	2908
イ- 39	11200	20087	8400	20861	4187	164.6	-76.2	2905
ウ- 1	7991	459	5302	539	814	178.3	-52.0	2690
ウ- 2	8165	707	5421	915	1075	175.7	-49.4	2751
ウ- 3	8343	961	5543	1297	1377	173.2	-46.4	2820
ウ- 4	8521	1216	5663	1677	1717	170.8	-43.2	2895
ウ- 5	8695	1465	5472	2107	2094	168.7	-40.3	3287
ウ- 6	8400	1811	5586	2469	2505	166.8	-37.4	2889
ウ- 7	8400	2091	5694	2808	2949	165.1	-33.8	2800
ウ- 8	8400	2355	5793	3121	3422	163.6	-30.0	2717
ウ- 9	8400	2597	6179	3308	3922	162.3	-25.8	2332
ウ- 10	8400	2811	6256	3550	4446	161.0	-21.9	2268
ウ- 11	8400	2992	6322	3757	4991	159.8	-17.9	2215
ウ- 12	8400	3136	6376	3927	5553	158.6	-13.7	2174
ウ- 13	8400	4099	5600	5099	5610	160.3	-80.6	2973
ウ- 14	8400	5049	5600	6004	5828	161.2	-72.4	2958
ウ- 15	8400	5950	5600	6866	6167	161.9	-64.2	2946
ウ- 16	8400	6786	5600	7668	6620	162.5	-56.0	2936
ウ- 17	8400	7540	5600	8394	7178	163.0	-47.9	2927
ウ- 18	8400	8507	5600	9327	7214	163.7	-74.0	2917
ウ- 19	8400	9442	5600	10231	7034	164.3	-82.1	2909
ウ- 20	8400	10177	5600	10944	7604	164.7	-50.1	2903
ウ- 21	8400	10904	5600	11650	8181	165.1	-50.1	2898
ウ- 22	8400	11630	5600	12356	8758	165.5	-50.1	2893
ウ- 26	8400	13202	5600	13894	7128	166.1	-58.6	2884
ウ- 27	8400	14047	5600	14714	6717	166.6	-66.8	2878
ウ- 28	8400	14933	5600	15581	6426	167.0	-74.9	2874
ウ- 29	8400	15850	5600	16479	6259	167.3	-83.1	2870
ウ- 30	8400	16781	5600	17392	6218	167.7	-88.8	2866
ウ- 31	8400	17685	5600	18280	5953	168.0	-43.8	2862
ウ- 32	8400	18295	5600	18878	5413	168.2	-51.0	2860
ウ- 36	8400	18968	5600	19541	4952	168.5	-58.2	2858
ウ- 37	8400	19696	5600	20256	4576	168.7	-65.4	2856
ウ- 38	8400	20269	5600	20821	4355	168.9	-70.8	2854

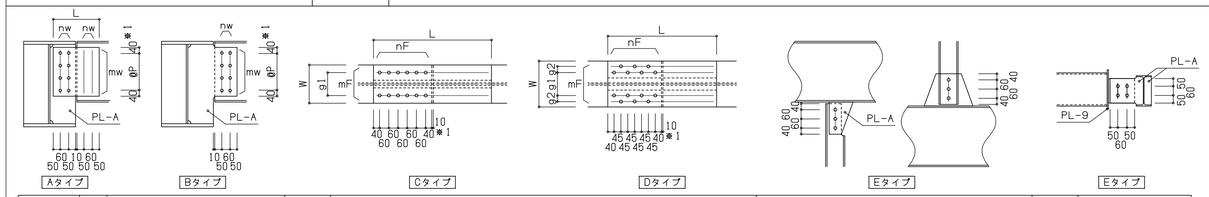
配置	始点 X 19a通り基準	始点 Y B通り基準	終点 X 19a通り基準	終点 Y B通り基準	高さ位置 Z 3FL基準	部材芯線 平面方向	強軸方向 の傾き	狙い点間 長さ
ウ- 39	8400	20861	5600	21403	4187	169.0	-76.2	2852
エ- 1 (1)	3420	593	2800	609	814	178.5	-63.1	621
エ- 1 (2)	5302	539	3420	593	814	178.4	-60.1	1883
エ- 2 (1)	3532	1052	2800	1097	1075	176.4	-59.4	733
エ- 2 (2)	5421	915	3532	1052	1075	175.9	-56.7	1894
エ- 3 (1)	3642	1504	2800	1580	1377	174.8	-55.5	845
エ- 3 (2)	5543	1297	3642	1504	1377	173.8	-53.1	1912
エ- 4 (1)	3749	1944	2800	2050	1717	173.6	-51.5	955
エ- 4 (2)	5663	1677	3749	1944	1717	172.1	-49.3	1932
エ- 5 (1)	4163	2325	2800	2500	2094	172.7	-47.2	1374
エ- 6 (1)	4196	3781	2800	4014	3922	170.5	-30.7	1415
エ- 7 (1)	4258	2719	2800	2925	2505	171.9	-43.1	1473
エ- 8 (1)	4262	4053	2800	4305	4446	170.2	-26.4	1484
エ- 9 (1)	4319	4287	2800	4556	4991	169.9	-22.2	1543
エ- 9 (2)	6179	3308	4196	3781	3922	166.6	-29.3	2039
エ- 10 (1)	4348	3086	2800	3322	2949	171.3	-39.0	1566
エ- 10 (2)	6256	3550	4262	4053	4446	165.9	-25.2	2057
エ- 11 (1)	4366	4482	2800	4766	5553	169.7	-17.9	1592
エ- 11 (2)	6322	3757	4319	4287	4991	165.2	-21.0	2072
エ- 12 (1)	4430	3424	2800	3686	3422	170.9	-34.8	1651
エ- 12 (2)	6376	3927	4366	4482	5553	164.6	-16.8	2084
エ- 13	5600	5099	2800	5676	5610	168.4	-80.5	2859
エ- 14	5600	6004	2800	6557	5828	168.8	-72.4	2854
エ- 15	5600	6866	2800	7397	6167	169.3	-64.2	2850
エ- 16	5600	7668	2800	8181	6620	169.6	-56.0	2847
エ- 17	5600	8394	2800	8891	7178	169.9	-47.9	2844
エ- 18	5600	9327	2800	9806	7214	170.3	-74.0	2841
エ- 19	5600	10231	2800	10693	7034	170.6	-82.2	2838
エ- 20	5600	10944	2800	11394	7604	170.9	-50.1	2836
エ- 21	5600	11650	2800	12088	8181	171.1	-50.1	2834
エ- 22	5600	12356	2800	12782	8758	171.3	-50.1	2832
エ- 26	5600	13894	2800	14301	7126	171.7	-58.7	2829
エ- 27	5600	14714	2800	15108	6717	172.0	-66.8	2827
エ- 28	5600	15581	2800	15963	6426	172.2	-74.9	2826
エ- 29	5600	16479	2800	16851	6259	172.4	-83.1	2825
エ- 30	5600	17392	2800	17753	6218	172.7	-88.8	2823
エ- 31	5600	18280	2800	18631	5953	172.8	-43.8	2822
エ- 32	5600	18878	2800	19224	5413	173.0	-51.0	2821
エ- 36	5600	19541	2800	19879	4952	173.1	-58.2	2820
エ- 37	5600	20256	2800	20588	4576	173.2	-65.4	2820
エ- 38	5600	20821	2800	21147	4355	173.3	-70.8	2819
エ- 39	5600	21403	2800	21725	4187	173.4	-76.2	2818
オ- 1	2800	609	1431	637	814	178.8	-64.9	1370
オ- 2	2800	1097	1466	1161	1075	177.3	-60.8	1335
オ- 3	2800	1580	1501	1668	1377	176.1	-56.7	1302
オ- 4	2800	2050	1534	2153	1717	175.4	-52.5	1270
オ- 5	2800	2500	1255	2641	2094	174.8	-48.4	1552
オ- 6	2800	2925	1284	3075	2505	174.4	-44.1	1523
オ- 7	2800	3322	1312	3476	2949	174.1	-39.8	1496
オ- 8	2800	3686	1337	3843	3422	173.9	-35.5	1472
オ- 9	2800	4014	1670	4139	3922	173.7	-31.2	1137
オ- 10	2800	4305	1689	4429	4446	173.6	-26.8	1117
オ- 11	2800	4556	1707	4680	4991	173.6	-22.5	1100
オ- 12	2800	4766	1721	4888	5553	173.5	-18.2	1086
オ- 13	2800	5676	0	5864	5610	176.1	-80.5	2806
オ- 14	2800	6557	200	6725	5828	176.3	-72.3	2605
オ- 15	2800	7397	0	7572	6167	176.4	-64.2	2805
オ- 16	2800	8181	0	8349	6620	176.6	-56.0	2805
オ- 17	2800	8891	0	9055	7178	176.7	-47.8	2805
オ- 18	2800	9806	0	9963	7214	176.8	-74.0	2804
オ- 19	2800	10693	0	10845	7034	176.9	-82.2	2804
オ- 20	2800	11394	0	11542	7604	177.0	-50.1	2804
オ- 21	2800	12088	0	12232	8181	177.0	-50.1	2804
オ- 22	2800	12782	0	12923	8758	177.1	-50.1	2804
オ- 26	2800	14301	0	14435	7125	177.3	-58.7	2803
オ- 27	2800	15108	0	15238	6717	177.3	-66.8	2803
オ- 28	2800	15963	0	16089	6426	177.4	-74.9	2803
オ- 29	2800	16851	0	16974	6259	177.5	-83.1	2803
オ- 30	2800	17753	0	17873	6218	177.6	-88.8	2803
オ- 31	2800	18631	0	18748	5953	177.6	-43.8	2802
オ- 32	2800	19224	0	19338	5413	177.7	-51.0	2802

配置	始点 X 19a通り基準	始点 Y B通り基準	終点 X 19a通り基準	終点 Y B通り基準	高さ位置 Z 3FL基準	部材芯線 平面方向	強軸方向 の傾き	狙い点間 長さ
オ- 33	2800	20013	0	20125	5557	177.7	-70.6682	2802
オ- 34	2800	20770	0	20880	5822	177.8	-70.6682	2802
オ- 35	2800	21527	0	21635	6087	177.8	-70.6682	2802
カ- 1	-1431	637	1431	637	814	0.0	-66.4874	2861
カ- 2	-1466	1161	1466	1161	1075	0.0	-62.2076	2933
カ- 3	-1501	1668	1501	1668	1377	0.0	-57.8927	3002
カ- 4	-1534	2153	1534	2153	1717	0.0	-53.553	3068
カ- 9	-1670	4139	1670	4139	3922	0.0	-31.639	3339
カ- 10	-1689	4429	1689	4429	4446	0.0	-27.2302	3379
カ- 11	-1707	4680	1707	4680	4991	0.0	-22.8163	3413
カ- 12	-1721	4888	1721	4888	5553	0.0	-18.3988	3442

整理番号		
S4－11	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事 第二ホール改修下地材配置図(2) A1: －　A3: － 鹿児島市建設局建築部建築課

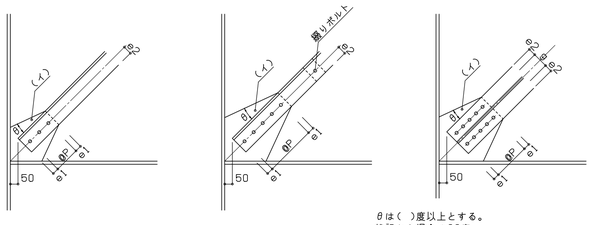
柱・大梁・小梁断面表・継手基準図

注記）　記入なき限り下記による。
1. ＊1はしあきは応力方向に2本並びの場合50mmとする。（要領図参照）



符号	材質	断面寸法 H × B × tw × tf	ボルト径	フランジ タイプ	フランジ ボルト nf	フランジ ボルト mf	フランジ ゲージ g1(mm)	フランジ ゲージ g2(mm)	フランジ 外添板 PL − t × W × L	フランジ 内添板 PL − t × W × L	ウェブ タイプ	ウェブ ボルト mw	ウェブ ボルト nw	ウェブ ボルト P(mm)	ウェブ 添板寸法 PL − t × W × L	PL-A 厚(mm)	備考
m21	△	H− 125×125×6.5× 9	M20	−	−	−	−	−	—	—	E	1	3	60	—	△ 9	部材取合部
	△	H− 125×125×6.5× 9	M16	C	3	2	65	−	△PL− 9×125× 410	—	A	1	3	60	△2PL− 9× 80× 410	△ 9	現場継手部
m21a	▲	H− 125×125×6.5× 9	M20	−	−	−	−	−	—	—	E	1	3	60	—	△ 9	部材取合部
	▲	H− 125×125×6.5× 9	M16	C	3	2	65	−	△PL− 9×125× 410	—	A	1	3	60	△2PL− 9× 80× 410	△ 9	現場継手部
Pg21	△	P−216.3φ×8.2+267.4φ×9.3	M20	−	−	−	−	−	—	—	F	2	2	60	—	△ 9	
Pb21	△	P−101.6φ×4.2	M20	−	−	−	−	−	—	—	F	2	2	60	—	△ 9	
g21	▲	H− 250×125× 6× 9	M20	−	−	−	−	−	—	—	B	2	2	60	—	△ 9	部材取合部
	▲	H− 250×125× 6× 9	M16	C	3	2	65	−	△PL− 9×125× 410	—	A	2	2	60	△2PL− 9× 160× 330	△ 9	現場継手部
g21a	△	H− 248×124× 5× 8	M20	−	−	−	−	−	—	—	B	2	2	60	—	△ 9	
g22	△	H− 198× 99×4.5× 7	M20	−	−	−	−	−	—	—	B	2	2	60	—	△ 9	
g23	△	H− 248×124× 5× 8	M20	−	−	−	−	−	—	—	B	2	2	60	—	△ 9	
b21	△	H− 198× 99×4.5× 7	M20	−	−	−	−	−	—	—	B	2	2	60	—	△ 9	
b31	△	[− 125× 65× 6× 8	M20	−	−	−	−	−	—	—	B	1	2	60	—	△ 9	
b32r	△	H− 248×124× 5× 8	M20	−	−	−	−	−	—	—	B	2	2	60	—	△ 9	
t21	△	[− 100× 50× 5×7.5	M20	−	−	−	−	−	—	—	E	1	3	60	—	△ 9	
C100	▽	C− 100× 50× 20×2.3	M16	−	−	−	−	−	—	—	B	1	2	60	—	△ 6	ボルトは中ボルトとする。
以下はルーズ孔の指定がある場合に適用し、RC躯体取合要領による。																	
g21a	△	H− 248×124× 5× 8	M20	−	−	−	−	−	—	—	B	2	2	60	—	△ 9	ボルトは中ボルトとする。
g22	△	H− 198× 99×4.5× 7	M20	−	−	−	−	−	—	—	B	2	2	60	—	△ 9	ボルトは中ボルトとする。
b21	△	H− 198× 99×4.5× 7	M20	−	−	−	−	−	—	—	B	2	2	60	—	△ 9	ボルトは中ボルトとする。

ブレース断面表・継手基準図



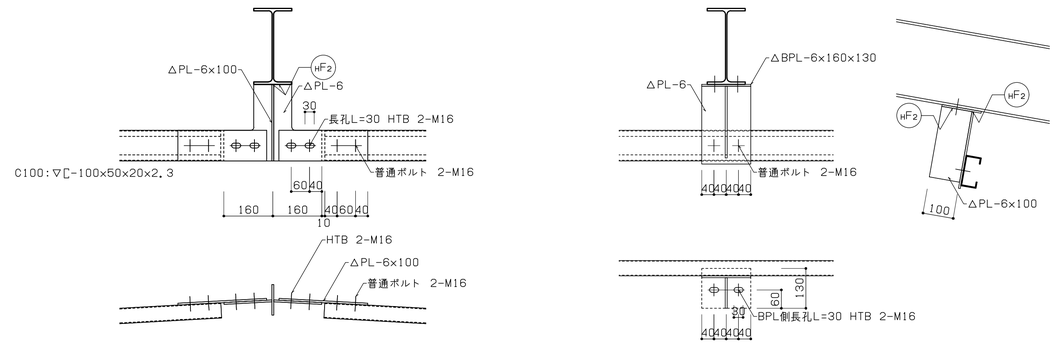
符号	ブレース 部材	継手タイプ	GPL−（イ）	ボルト本数及び径	ボルトに対する各寸法 P	e1	e2	g	締り高力ボルトの径及びピッチ 高力ボルト	ピッチ	備考
a	△ L− 75× 75× 6	A	△ PL− 9	3−M20	60	40	37.5	−	−	−	
b	△2L− 75× 75× 6	A	△ PL− 9	3−M20	60	40	37.5	−	M20	600	
c	△ L−100×100× 7	A	△ PL− 9	3−M20	60	40	50	−	−	−	
d	△ L−150×150× 10	A	△ PL− 9	3−M20	60	40	75	−	−	−	
hv21	△ L− 75× 75× 6	A	△ PL− 9	3−M20	60	40	37.5	−	−	−	
hv22	△CT−150×150× 6× 9	C	△ PL− 9	6−M20	60	40	35	80	−	−	

注）1. 鉄骨材種共通事項
2. 板厚が40mmを超える鋼材は、TMCP鋼とすること。

印	調板及び形鋼	鋼管	備考
●	SN490C	—	490N/mm²
▲	SN400B	—	400N/mm²
△	SS400	STK400	
▽	SSC400	—	

C100取合要領

A1:1/10
A3:1/20

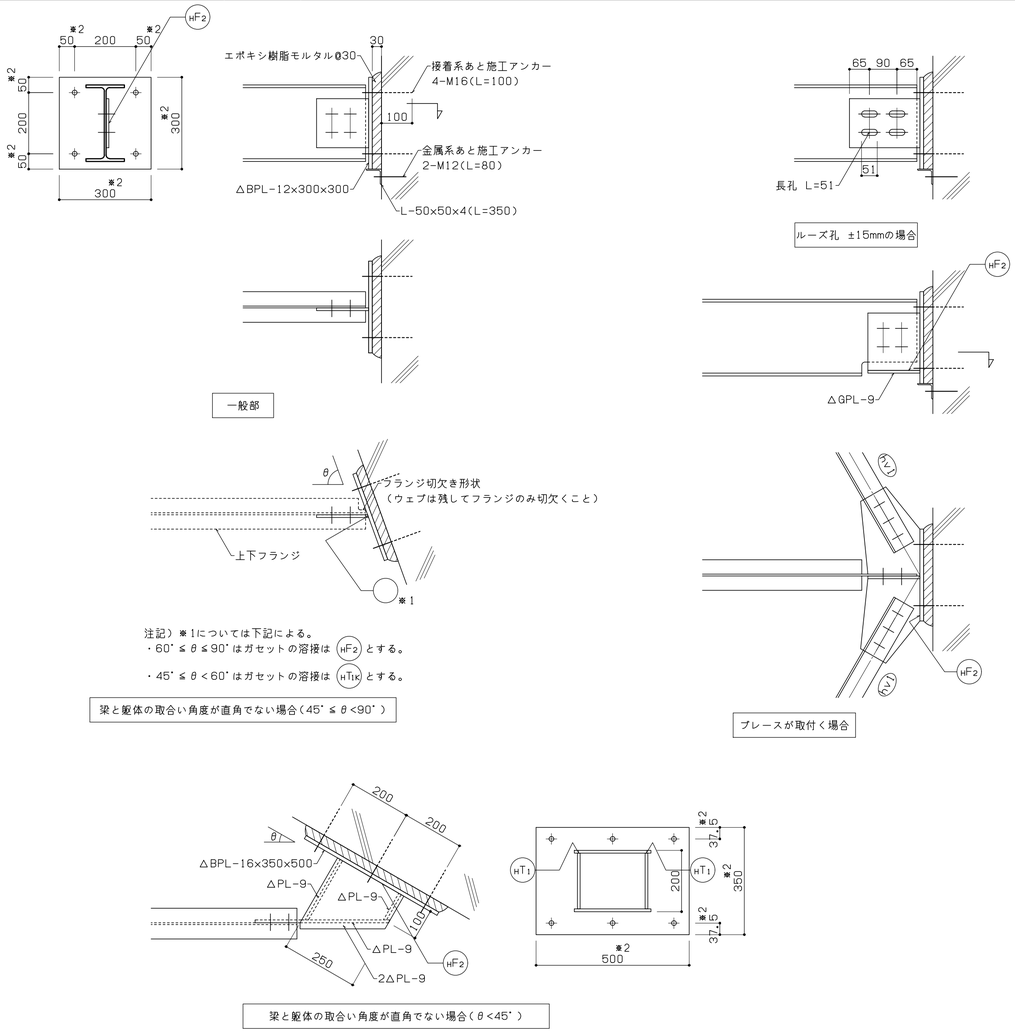


梁下取合タイプⅠ　　梁下取合タイプⅡ

RC躯体取合要領

A1:1/10
A3:1/20

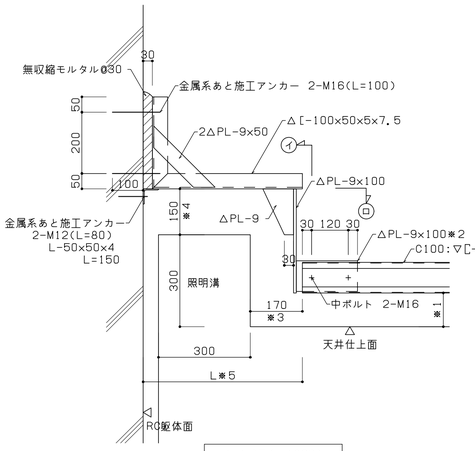
注記）　記入なき限り下記による。
1. 適用部材はg21, g21a, g22, b21, hv21とする。
2. RC躯体取合部は工作図作成に先立ち鉄筋及び埋設物の探査を行い、あと施工アンカー配置を打設可能な位置へ調整する。調整の結果、必要に応じて図中の＊2寸法を各取合部について見直すこと。



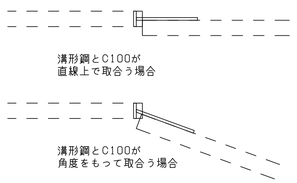
整理番号			
S4− 12	一級建築士事務所　東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 高橋 淳	鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事 第二ホール部材断面表・継手基準図	A1: 1/10 A3: 1/20
		鹿児島市建設局建築部建築課	

野縁受下地鉄骨客席側壁RC躯体取付要領

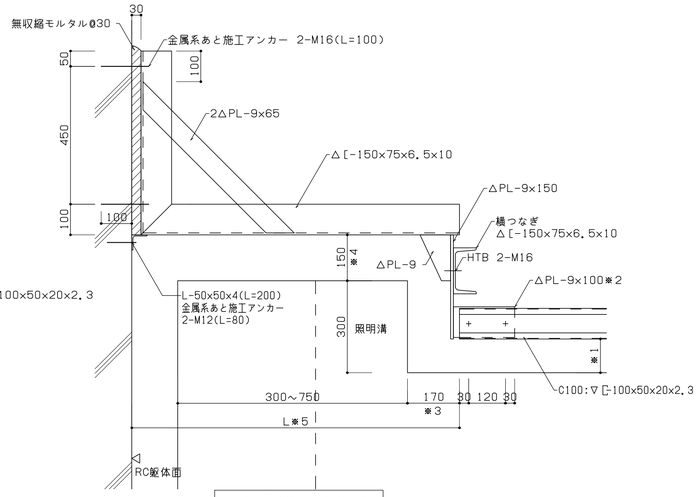
A1:1/10
A3:1/20



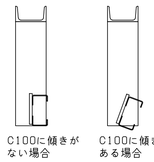
タイプⅢ(L≦800)



㋺視図



タイプⅣ(800<L≦1300)

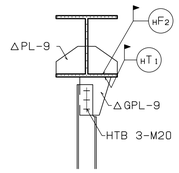


㋑視図

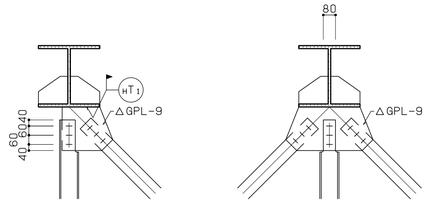
※1: 伏図に示すC100のレベルによる。
※2: C100が鉛直面から傾きのある場合は傾きに合わせて傾斜させる。
※3: 照明溝とC100が直交していない場合、最小寸法がこの数値を満足すること。
※4: 照明溝が水平でない場合、最小寸法がこの数値を満足すること。
※5: この寸法が1300を超える場合は監理と協議による。

m1柱 既設鉄骨T31トラス下弦材との取合要領

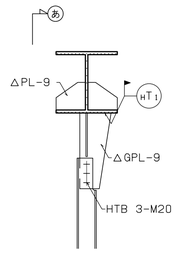
A1:1/20
A3:1/40



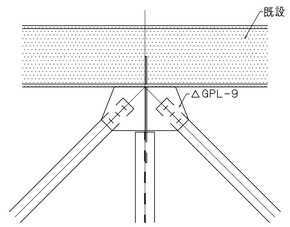
ブレースが取合わない場合



柱強軸方向にブレースが取合う場合



柱弱軸方向にブレースが取合う場合

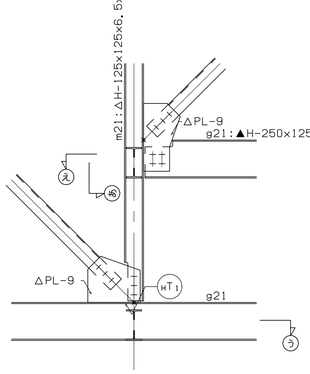


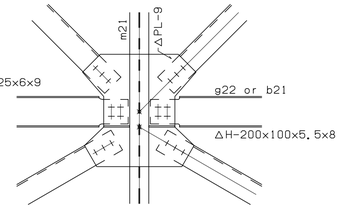
㋐視図

※ブレースの高力ボルト数・径はブレース断面表による。

m21, g21, g22 構面ブレース, 水平ブレース取合要領

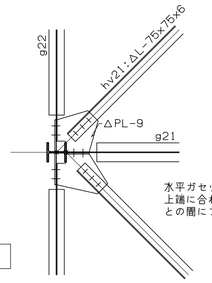
A1:1/20
A3:1/40





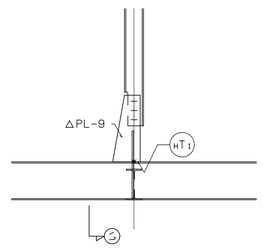
ブレース狙い芯は部材芯交点を基本とするが、納まりが悪い場合は100mmまでずらして良い。

あ視図

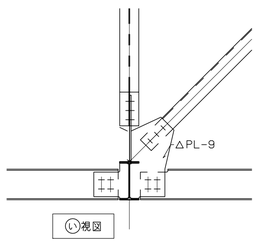


水平ガセットの天端レベルは梁下フランジ上端に合わせ、必要に応じて水平ブレースとの間にフィラープレートを入れること。

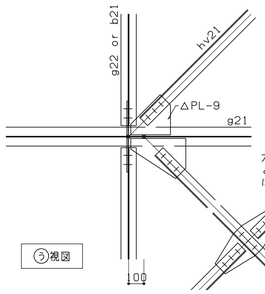
え視図



m21柱脚に構面ブレースが取合う場合



い視図



水平ブレースの狙い点は部材芯交点とするが、納まりが悪い場合は交点からは100mmまでずらして良い。

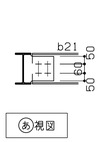
う視図

水平ブレースが取付く場合

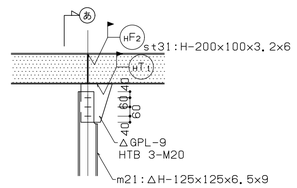
ブレース交差部要領

m21柱 既設St31との取合要領

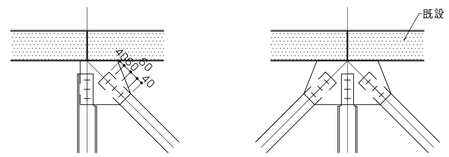
A1:1/20
A3:1/40



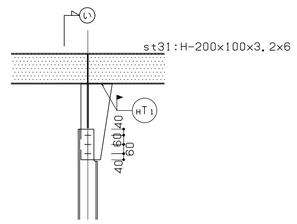
あ視図



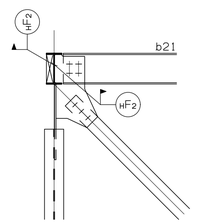
プレースが取合わない場合



柱強軸方向にブレースが取合う場合



柱弱軸方向にブレースが取合う場合



い視図

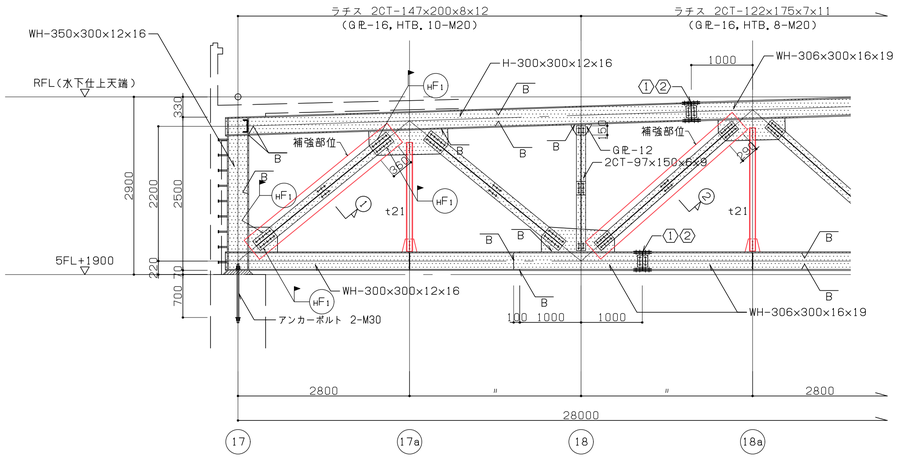
注)1. 鉄骨材種共通事項
2. 板厚が40mmを超える鋼材は、TMCP鋼とすること。

印	鋼板及び形鋼	鋼管	備考
●	SN490C	—	490N/mm²
▲	SN400B	—	400N/mm²
△	SS400	STK400	
▽	SSC400	—	

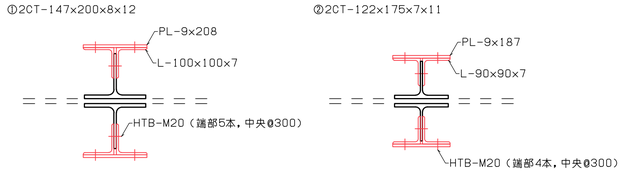
整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S4－13	一級建築士事務所 東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 高橋 淳	第二ホール改修鉄骨要領図(I)	A1:1/10,1/20 A3:1/20,1/40
		鹿児島市建設局建築部建築課	

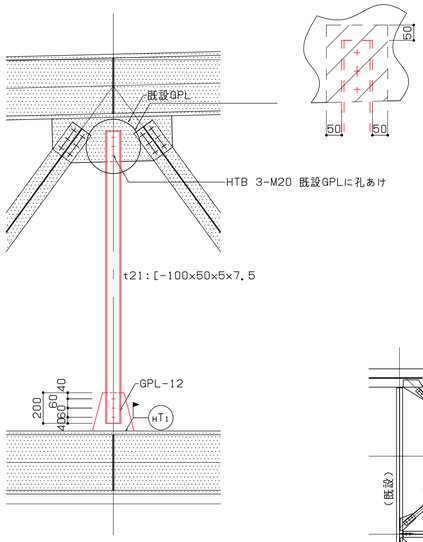
既存トラスの補強詳細

A1:1/10
A3:1/20



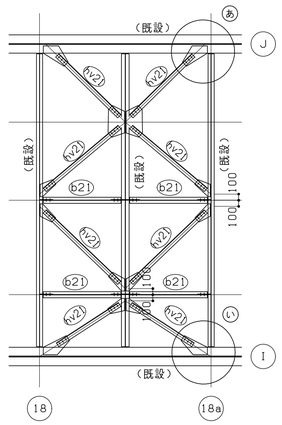
T31 トラス詳細図 A1:1/50 A3:1/100

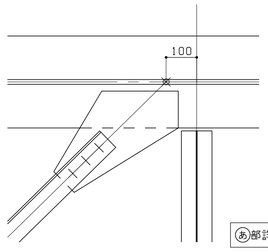




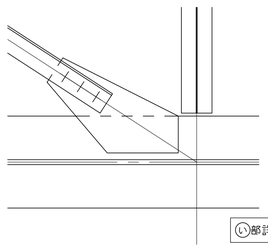
補強t21材の納まり詳細 A1:1/20 A3:1/40

・既存鉄骨へ高力ボルト摩擦接合する部位は摩擦面の周囲50mmの範囲について既設塗装をディスクサンダー等で除去し（RA種）、その後摩擦面処理を行う。





あ部詳細 A1:1/10 A3:1/20

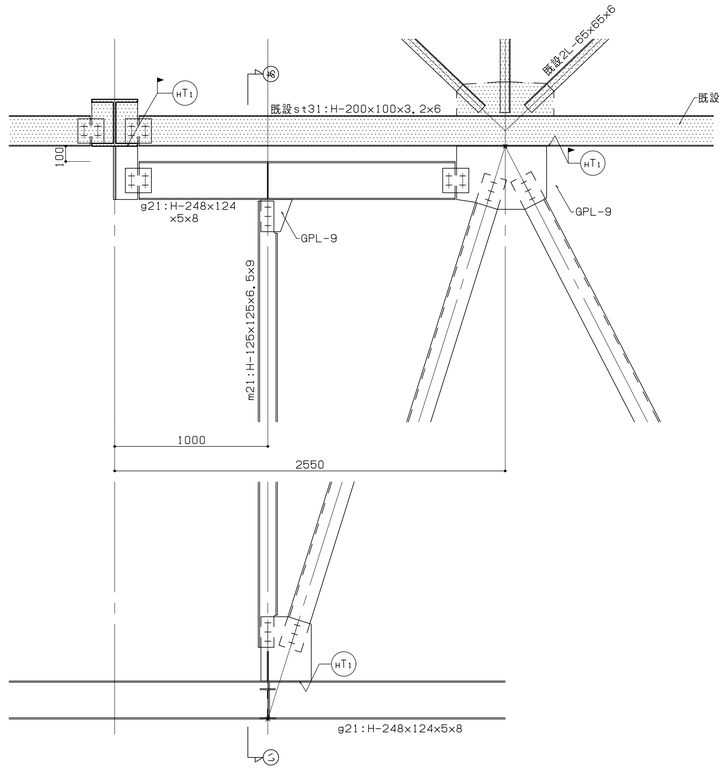


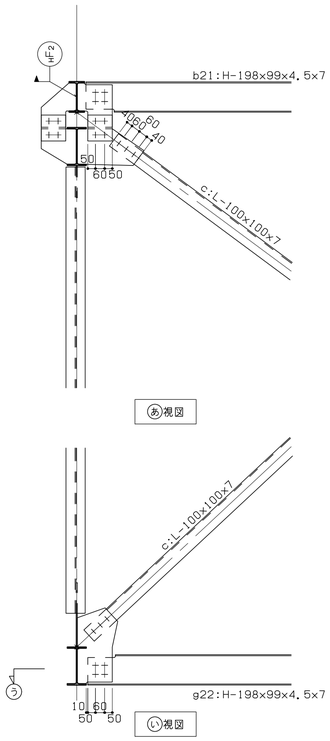
い部詳細 A1:1/10 A3:1/20

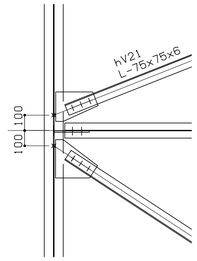
既存トラス下弦面の水平ブレース詳細
・水平ブレース取付レベルは、トラス梁下弦材の下フランジの上面にガセットプレートを現場溶接し、その上に高力ボルト接合とする。
・既存小梁・新設小梁との取合は、下フランジの上面にガセットプレートを現場溶接又は工場溶接し、その上に高力ボルト接合とする。

m21柱とg21梁取合詳細

A1:1/20
A3:1/40





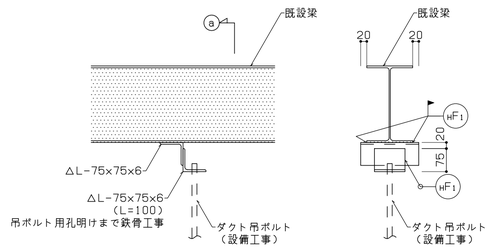


う視図

設備ダクト支持材設置要領

A1:1/10
A3:1/20

注記） 記入なき限り下記による。
1. 本図は、伏図に△で示す位置に適用する。



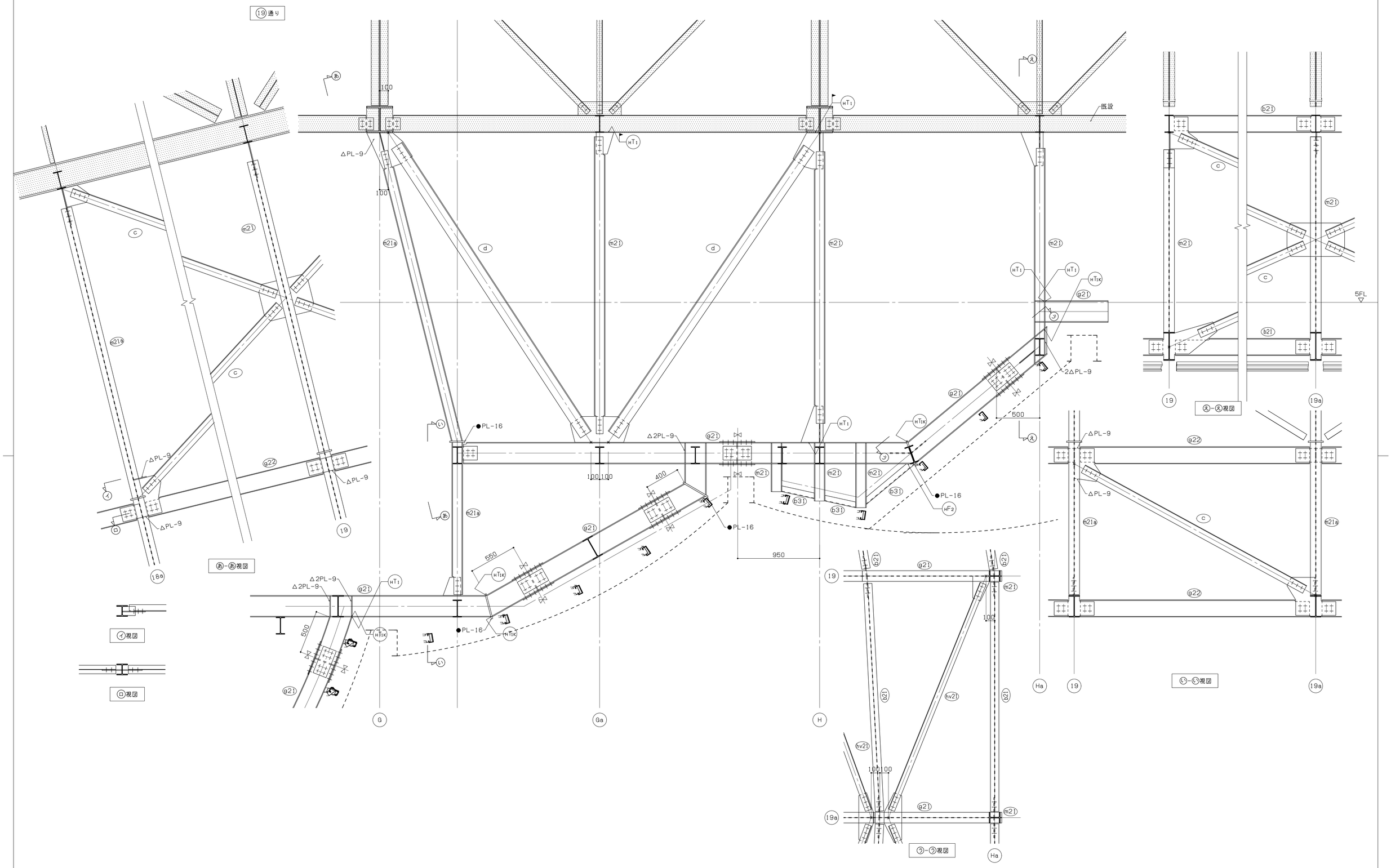
ⓑ 視図

注）1. 鉄骨材種共通事項
2. 板厚が40mmを超える鋼材は、TMCP鋼とすること。

印	鋼板及び形鋼	鋼管	備考
●	SN490C	—	490N/mm²
▲	SN400B	—	400N/mm²
△	SS400	STK400	
▽	SSC400	—	

整理番号			
S4－14	一級建築士事務所 東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 高橋 淳	鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事 第二ホール改修鉄骨詳細図(1)	A1:1/10,1/20 A3:1/20,1/40
		鹿児島市建設局建築部建築課	

鉄骨詳細図(1)	A1:1/20 A3:1/40	注記) 記入なき限り下記による。 1.20通りも本図にならう。

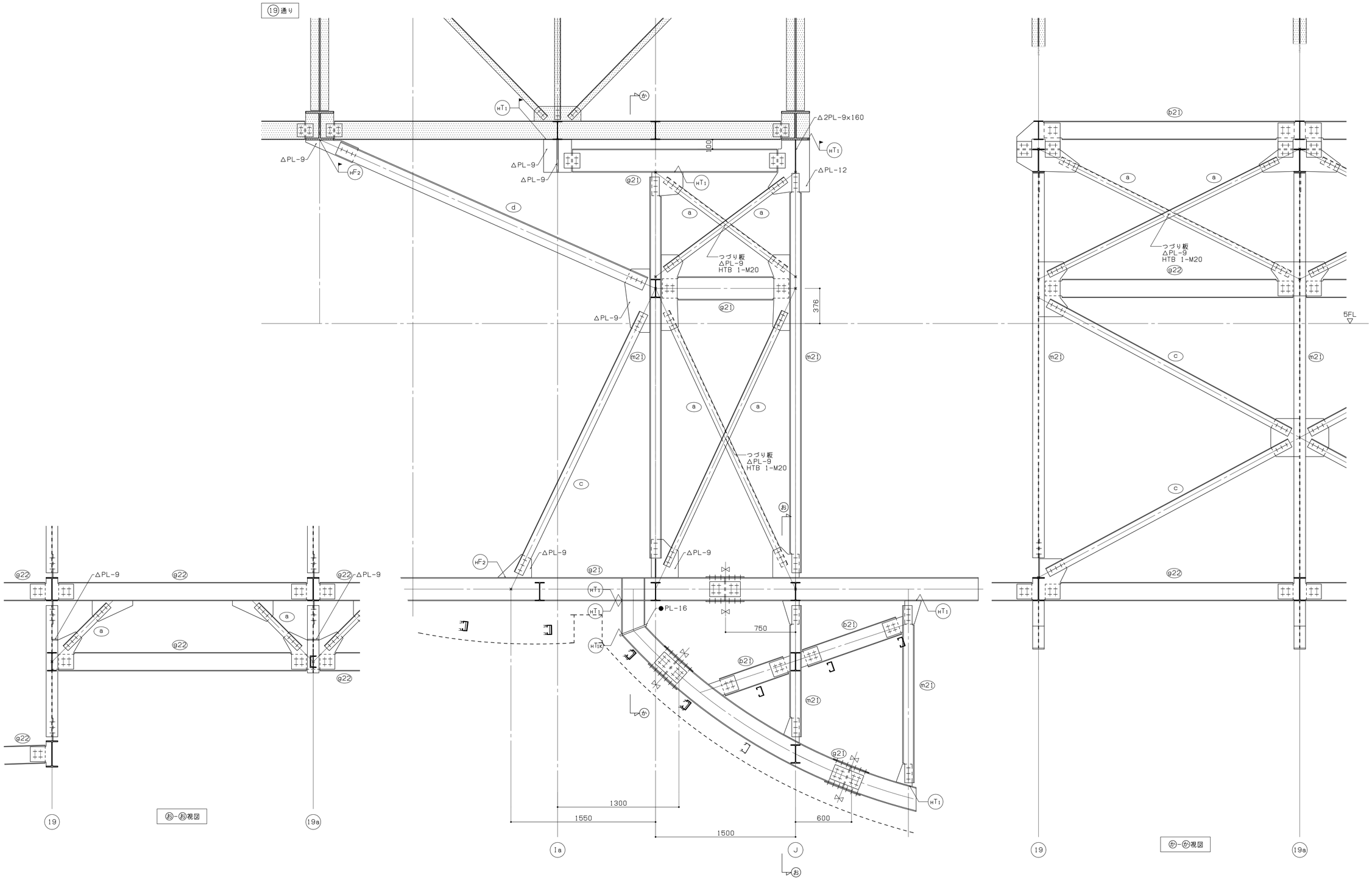


注)1.鉄骨材種共通事項
2.板厚が40mmを超える鋼材は、TMCP鋼とすること。

印	鋼板及び形鋼	鋼管	備考
●	SN490C	—	490N/mm²
▲	SN400B	—	400N/mm²
△	SS400	STK400	
▽	SSC400	—	

整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S4－15	一級建築士事務所 東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 高橋 淳	第二ホール改修鉄骨詳細図(2)	A1: 1/20 A3: 1/40
		鹿児島市建設局建築部建築課	

鉄骨詳細図(2)	A1:1/20 A3:1/40	注記)　記入なき限り下記による。 1.20通りも本図にならう。



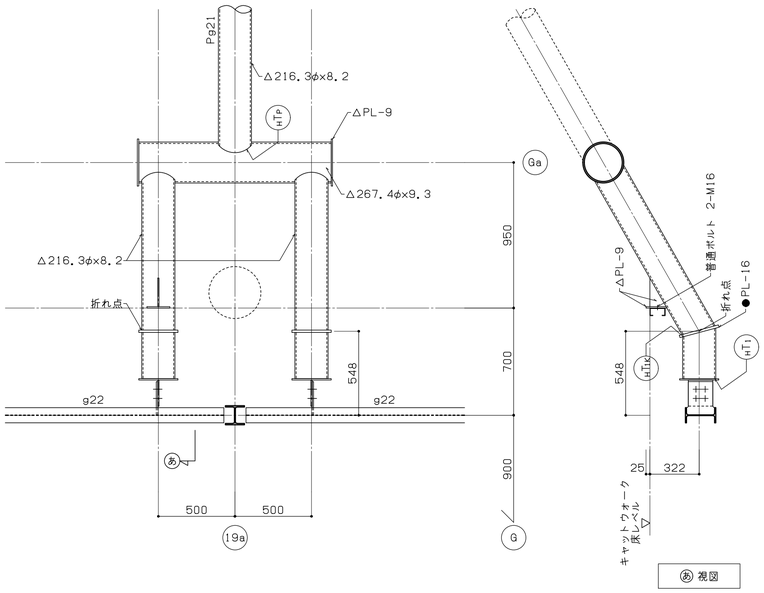
注)1.鉄骨材種共通事項
2.板厚が40mmを
超える鋼材は、
TMCP鋼とすること。

印	鋼板及び形鋼	鋼管	備考
●	SN490C	—	490N/mm²
▲	SN400B	—	400N/mm²
△	SS400	STK400	
▽	SSC400	—	

整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S4－16	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	第二ホール改修鉄骨詳細図(3)	A1: 1/20 A3: 1/40
		鹿児島市建設局建築部建築課	

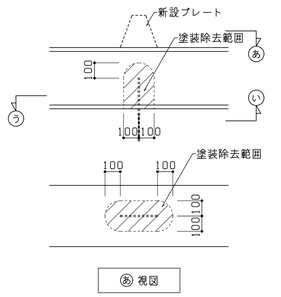
Pg21梁要領

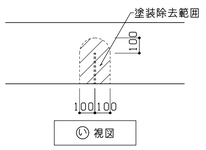
A1:1/20
A3:1/40

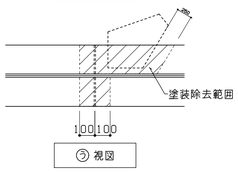


既存鉄骨への現場溶接要領

既設鉄骨面へ現場溶接する場合の、既設鉄骨面の処理は下記による。
・溶接線の周囲100mmの範囲について、既存の塗装をディスクサンダー等により除去する。その後RA種による下地処理を行う。
・現場溶接を行う。溶接後外観検査、超音波探傷検査を行う。
・塗装を行う。（構造特記による）







注）1. 鉄骨材種共通事項
2. 板厚が40mmを超える鋼材は、TMCP鋼とすること。

印	鋼板及び形鋼	鋼 管	備 考
●	SN490C	—	490N/mm²
▲	SN400B	—	400N/mm²
△	SS400	STK400	
▽	SSC400	—	

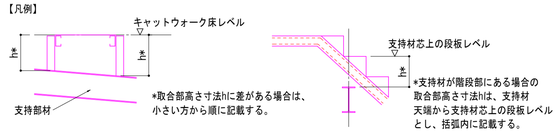
整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S4－17	一級建築士事務所 東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 高橋 淳	第二ホール改修鉄骨詳細図(4)	A1: 1/20 A3: 1/40
		鹿児島市建設局建築部建築課	

天井内キャットウォーク支持材配置図

A1:1/100
A3:1/200

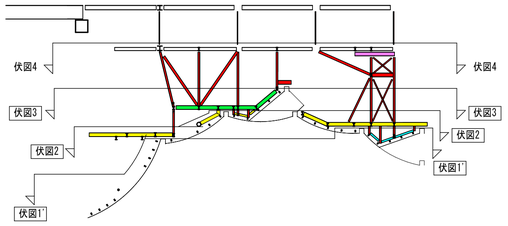
注記）記入なき限り下記による。
1. ------ 印は、構面ブレース位置を示す。
2. ◯ 印は、吊材m21及びm21a位置を示す。
3. ◇ 印は、既設RC躯体接合部を示す。
4. ※1はスピーカー吊材受けを示す。g21梁下に取り付け。
5. ※3は、伏図1'レベルのg21上部にキャットウォーク支持材としてb21を設ける箇所を示す。
6. ※4は、伏図1'と伏図2の中間レベルに設けるキャットウォーク支持材を示す。
7. ● 印は、キャットウォーク支持材位置を示す。
8. 配置図は、⑲a ～ ㉒ 通り間について示す。⑰ ～ ⑲a 通り間は、⑲a 通りを軸に対称配置とし、下表には ⑰ ～ ⑲a 通りも含めた箇所数を示す。

【凡例】



*取合部高さ寸法hに差がある場合は、小さい方から順に記載する。

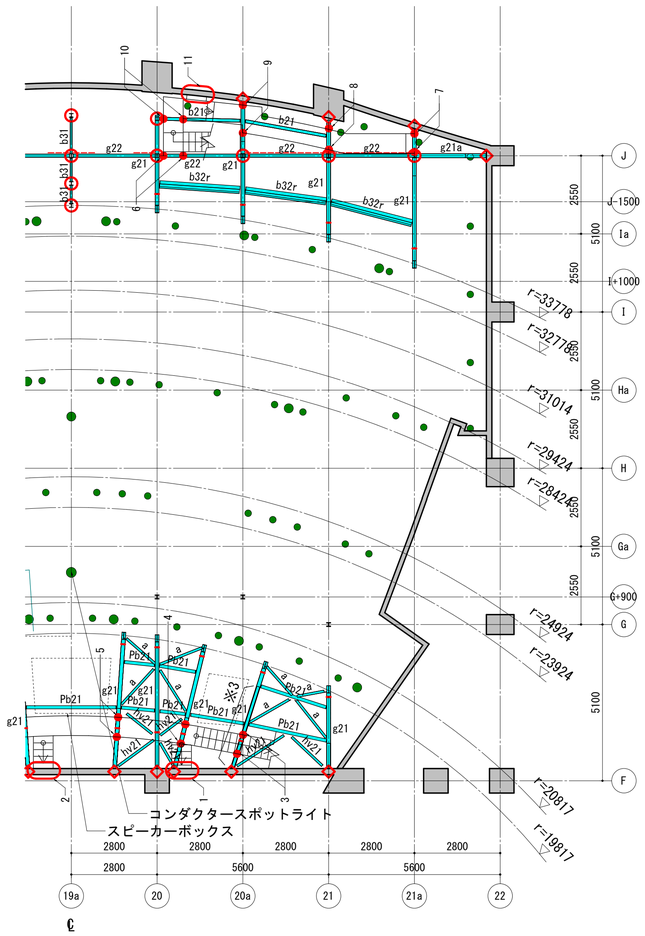
*支持材が階段部にある場合の取合部高さ寸法hは、支持材天端から支持材芯上の段板レベルとし、括弧内に記載する。



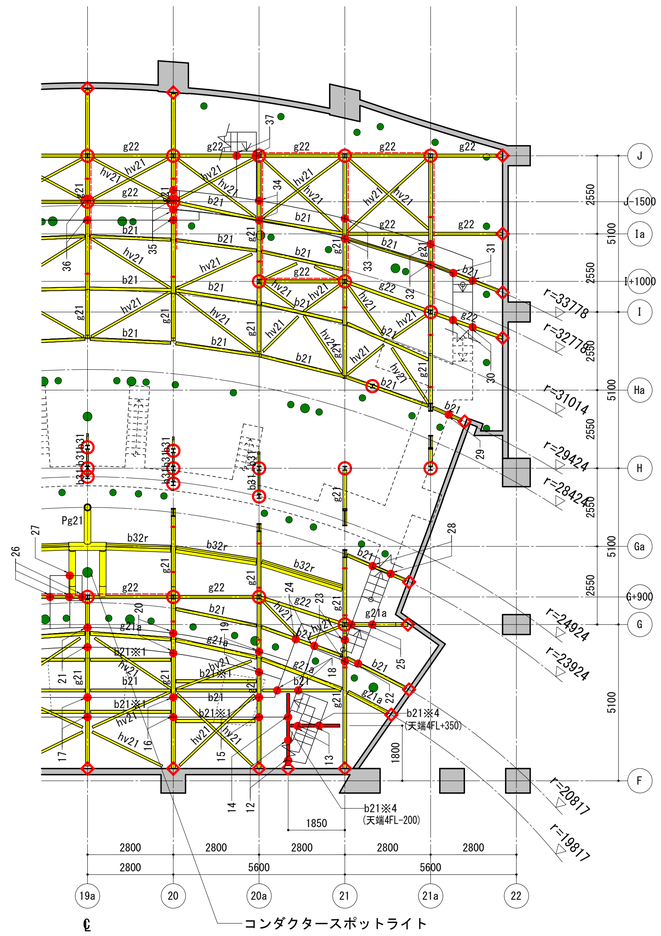
KEY SECTION

天井内キャットウォーク支持材リスト

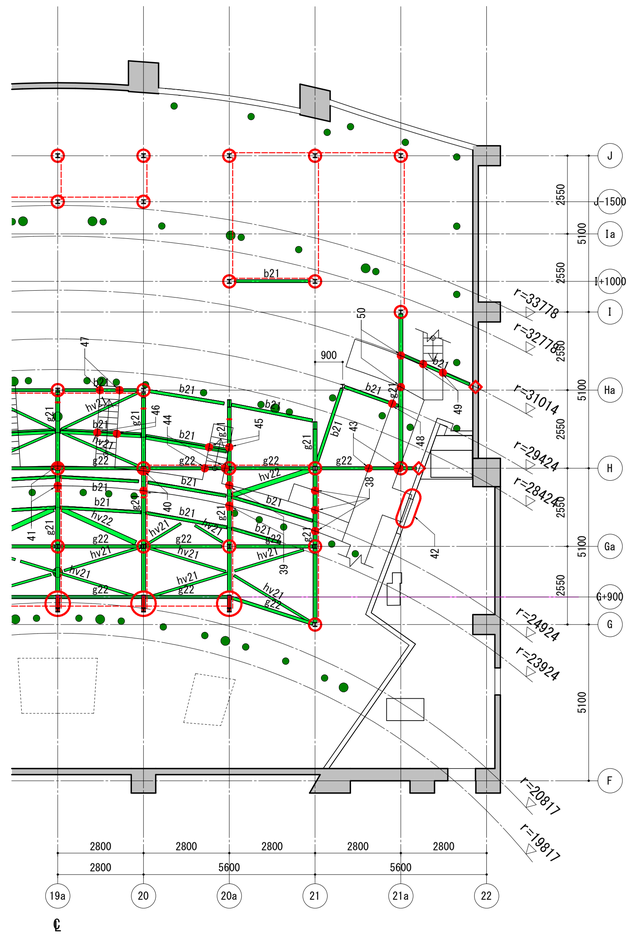
番号	取合部高さ寸法 h*	支持部材	取合タイプ	箇所数	備考	番号	取合部高さ寸法 h*	支持部材	取合タイプ	箇所数	備考
1	—	既存RC躯体	詳細図による	2		27	317	Pg21	Pg21梁要領による	1	
2	—	既存RC躯体	詳細図による	1		28	(620)	b21	タイプⅡ	2	階段部
3	(295)	b21(※3)	タイプⅡ	2	階段部	29	—	b21	詳細図による	2	
4	225	g21	タイプⅠ	2		30	471	g22	タイプⅡ	2	
5	225	g21	タイプⅠ	2		31	222	b21	タイプⅠ	2	
6	120, 139	g22	タイプⅠ	2		32	170	g21	タイプⅠ	2	
7	477	g21	タイプⅡ	2		33	170	g21	タイプⅠ	2	
8	408	g21	タイプⅡ	2		34	170	g21	タイプⅠ	2	
9	408	g21	タイプⅡ	2		35	170	g21	タイプⅠ	2	
10	436, 465	b21	タイプⅡ	2		36	170	g21	タイプⅠ	1	
11	—	既存RC躯体	詳細図による	2		37	221	g22	タイプⅠ	2	
12	220	b21(※4)	タイプⅠ	2		38	172	g21	タイプⅠ	2	
13	(575, 760)	b21(※4)	タイプⅡ	2	階段部	39	172	g21	タイプⅠ	2	
14	—	b21(※4)	詳細図による	2		40	172	g21	タイプⅠ	2	
15	197	g21	タイプⅠ	2		41	172	g21	タイプⅠ	1	
16	197	g21	タイプⅠ	2		42	—	既存RC躯体	詳細図による	2	
17	197	g21	タイプⅠ	1		43	223	g22	タイプⅠ	2	
18	249	b21	タイプⅠ	2		44	223	g22	タイプⅠ	2	
19	197	g21	タイプⅠ	2		45	(616, 873)	g21, b21	タイプⅢ	2	階段部
20	197	g21	タイプⅠ	2		46	(873)	b21	タイプⅢ	2	階段部
21	197	g21	タイプⅠ	1		47	—	b21	詳細図による	2	
22	248	b21	タイプⅠ	2		48	224	b21	タイプⅠ	2	
23	197	g21	タイプⅠ	2		49	224	b21	タイプⅠ	2	
24	248	b21	タイプⅠ	2		50	172	g21	タイプⅠ	2	
25	863, 901	g21a	タイプⅢ	2							
26	248	g22	タイプⅠ	1							



伏図1'レベル　キャットウォーク支持材配置図



伏図2レベル　キャットウォーク支持材配置図



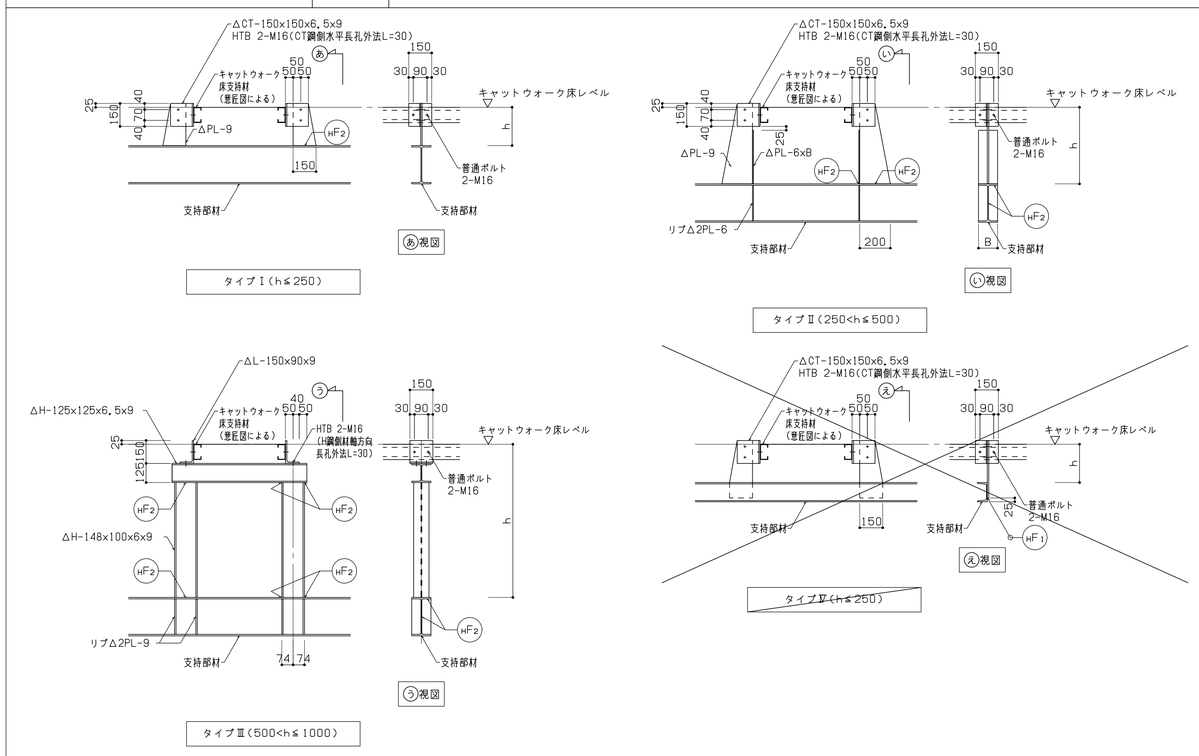
伏図3レベル　キャットウォーク支持材配置図

整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S4 － 18	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	第二ホール改修天井内 キャットウォーク支持材配置図	A1: 1/100 A3: 1/200
		鹿児島市建設局建築部建築課	

2025/03/24 15:27:10

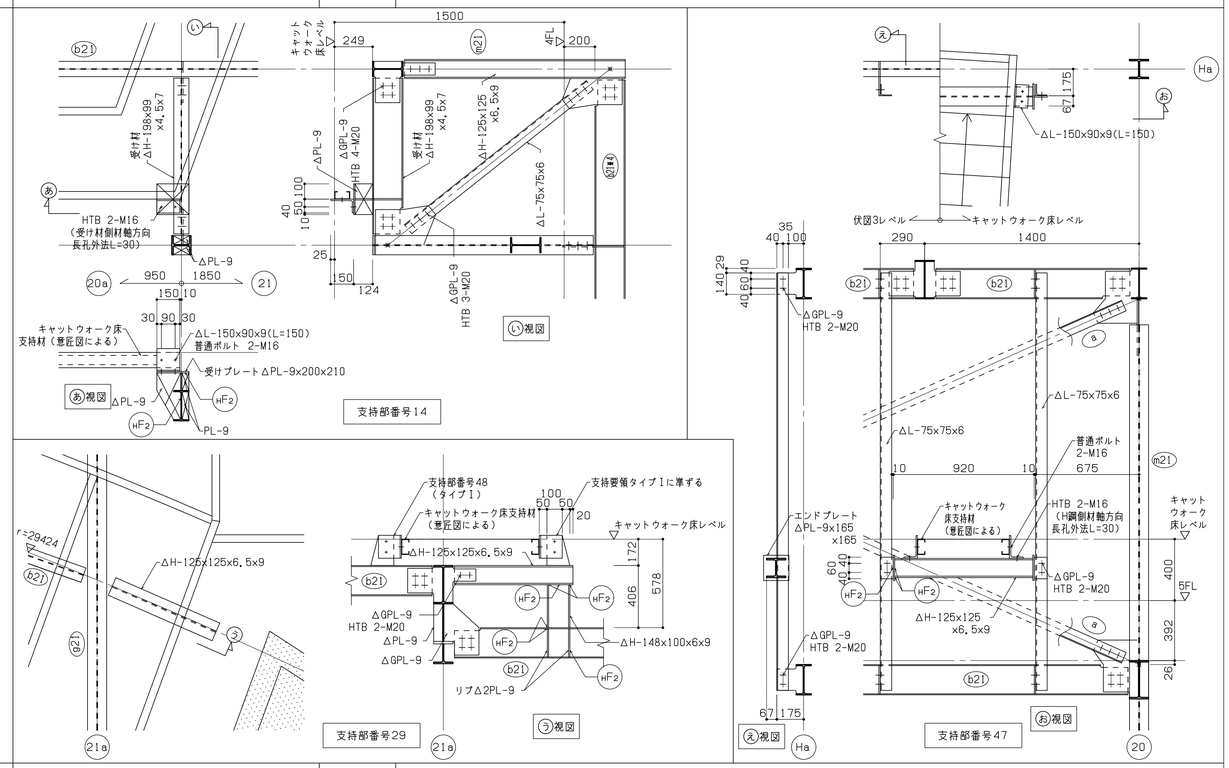
天井内キャットウォーク支持要領

A1:1/20
A3:1/40



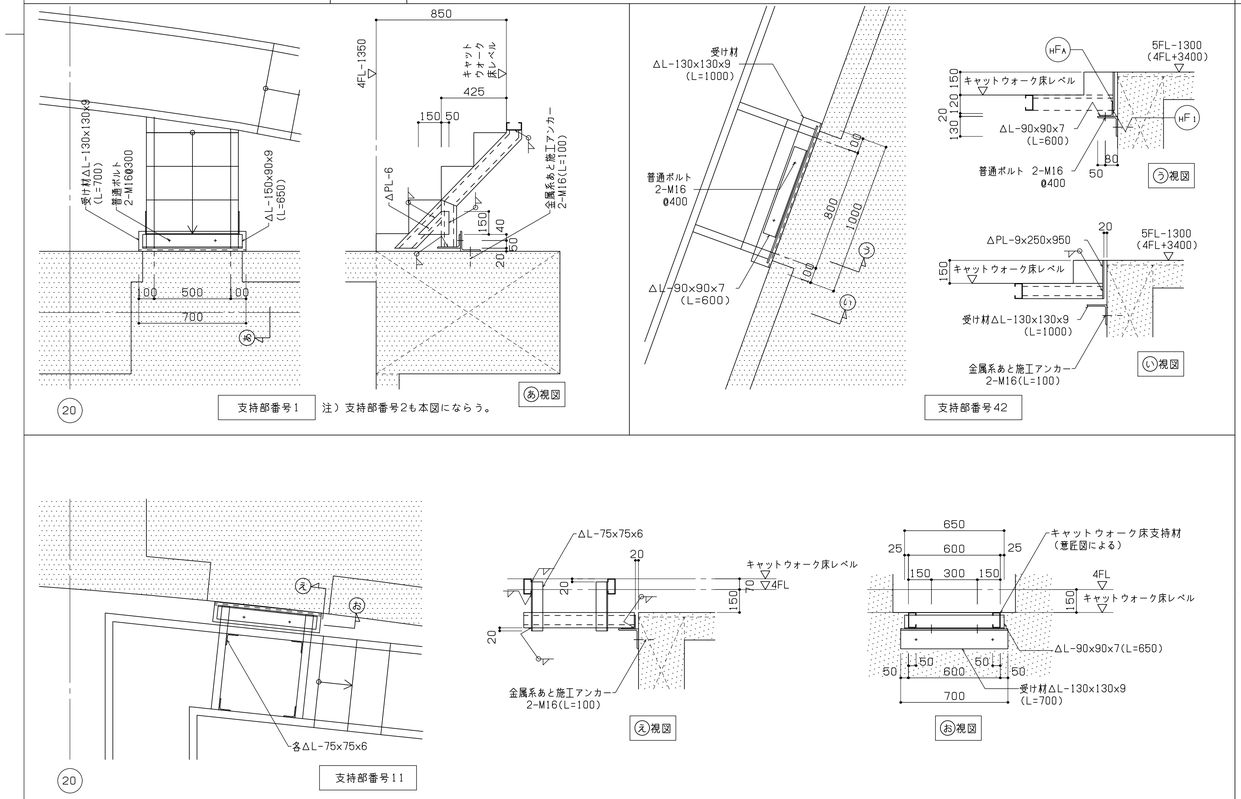
天井内キャットウォーク支持部詳細図

A1:1/20
A3:1/40



天井内キャットウォークと既設RC躯体取合詳細図

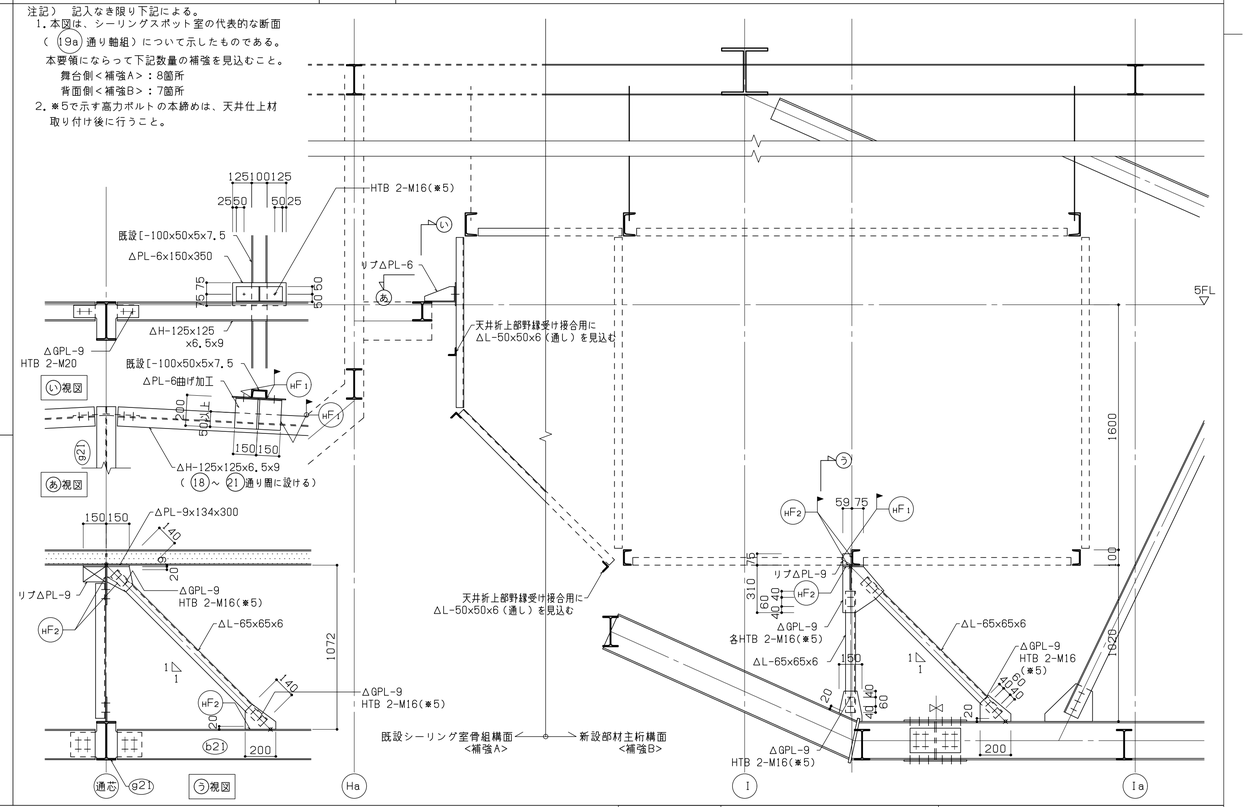
A1:1/20
A3:1/40



シーリングスポット室振れ止め補強要領図

A1:1/20
A3:1/40

注記） 記入なき限り下記による。
1. 本図は、シーリングスポット室の代表的な断面（ ⑲a 通り軸組）について示したものである。
本要領にならって下記数量の補強を見込むこと。
舞台側＜補強A＞：8箇所
背面側＜補強B＞：7箇所
2. ＊5で示す高力ボルトの本締めは、天井仕上材取り付け後に行うこと。



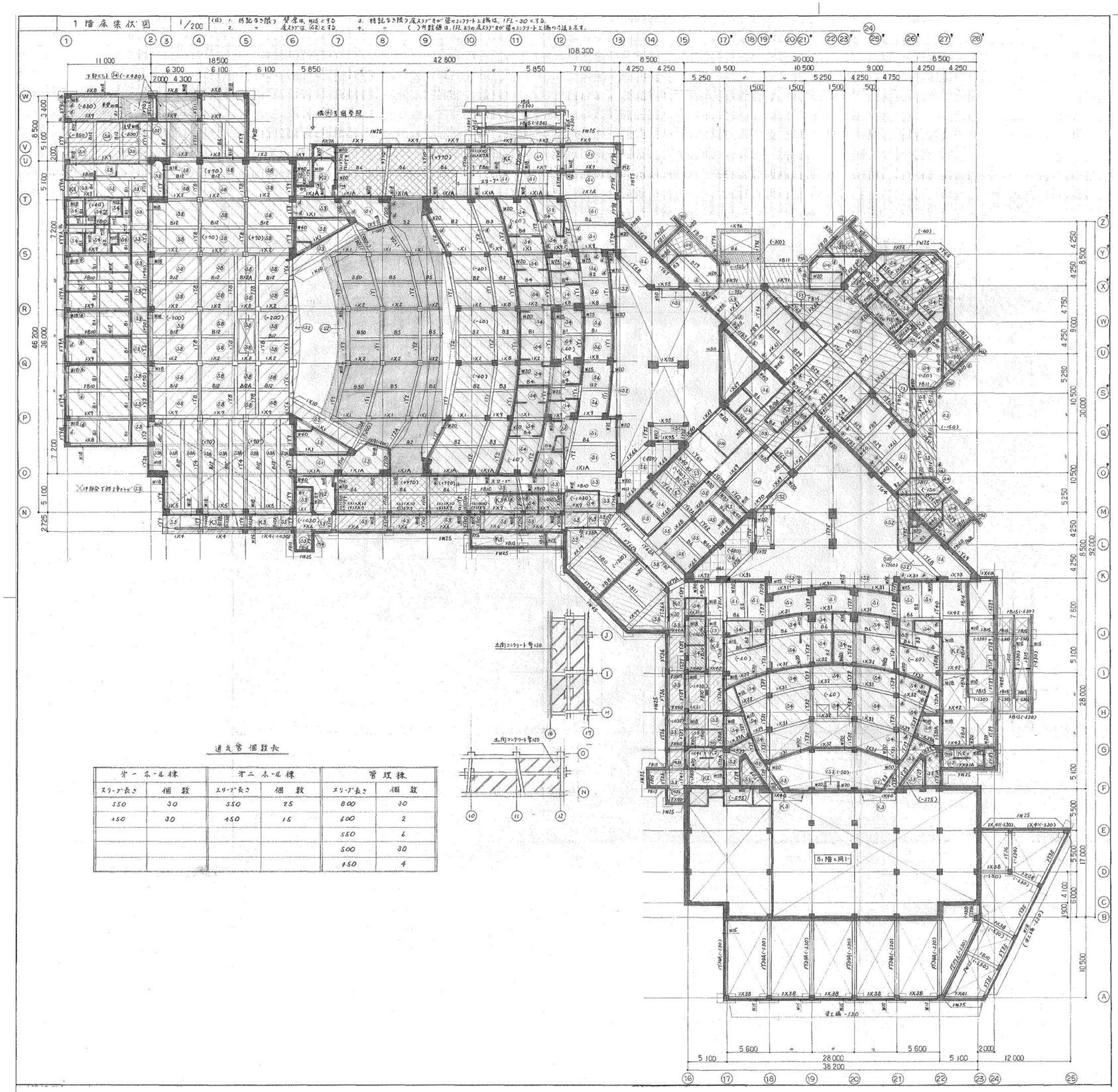
注）1. 鉄骨材種共通事項
2. 板厚が40mmを超える鋼材は、TMCP鋼とすること。

印	鋼板及び形鋼	鋼管	備考
●	SN490C	—	490N/mm²
▲	SN400B	—	400N/mm²
△	SS400	STK400	
▽	SSC400	—	

整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事
S4－19	一級建築士事務所 東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 髙橋 淳	第二ホール改修天井内キャットウォーク支持要領 A1: 1/20 A3: 1/40 鹿児島市建設局建築部建築課

1階床梁伏図　1/200

(注) 1. 特記なき限り 梁厚は、W45とする
2. 〃 床スラブは、S2とする
3. 特記なき限り 床スラブ及び梁のコンクリート上端は、1FL-30とする。
4. 〃 ( )内数値は、1FL より の床スラブ及び梁のコンクリート上端の寸法を示す。



通気管個数表

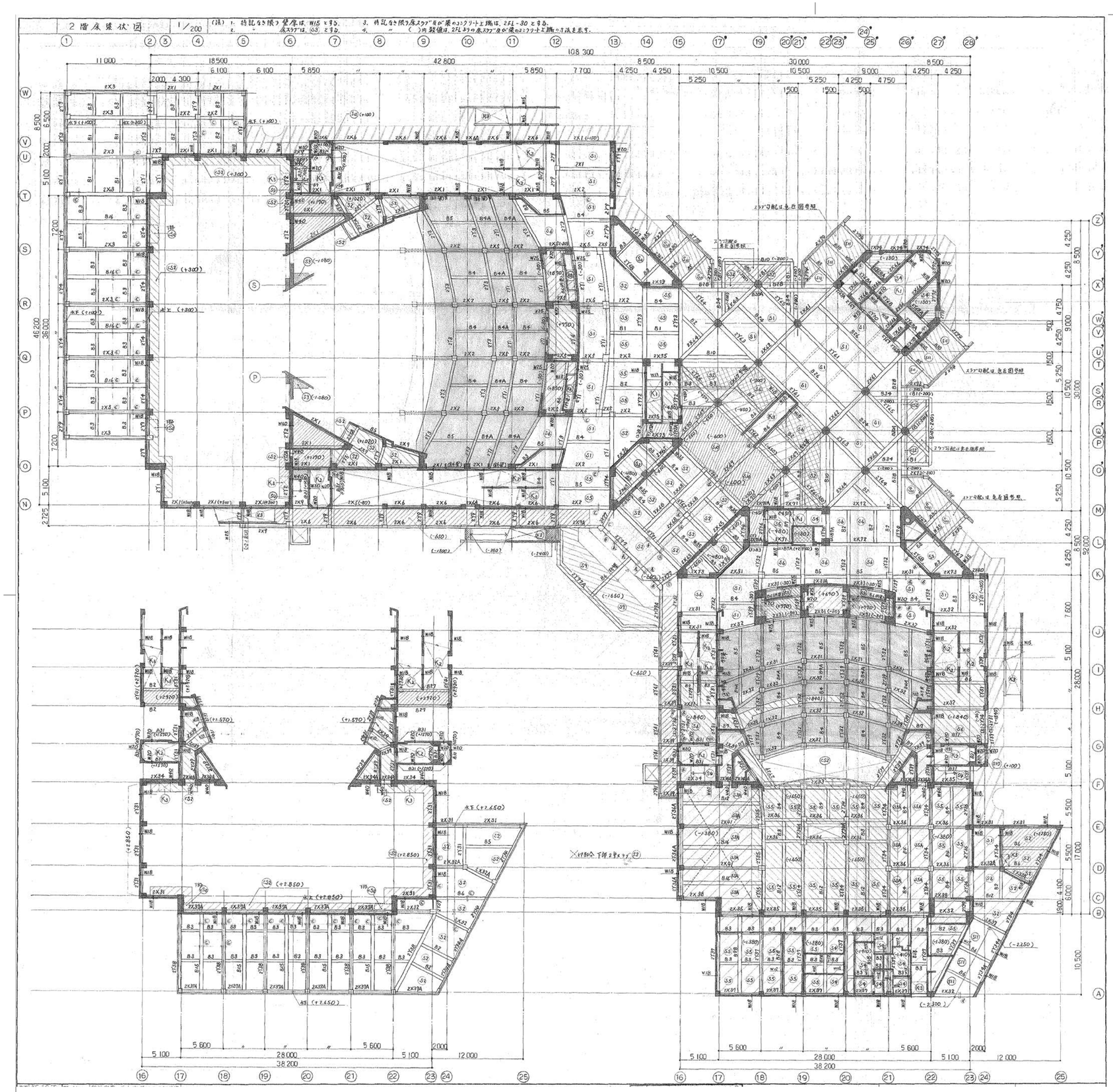
オーホール棟		オニホール棟		管理棟	
スリーブ長さ	個数	スリーブ長さ	個数	スリーブ長さ	個数
550	30	550	25	800	30
450	30	450	15	600	2
				550	6
				500	30
				450	4

整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S5－01	一級建築士事務所　東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 高橋 淳	1階床梁伏図（参考図）	A1: － A3: －
		鹿児島市建設局建築部建築課	

'24.06.10 仕様書委員会 改訂その2 Ver3.00

2階床梁伏図 1/200

(注) 1. 特記なき限り壁厚は W15 とする。
2. 〃 床スラブは (S3) とする。
3. 特記なき限り床スラブ及び梁のコンクリート上端は、2FL-30 とする。
4. 〃 ( )内数値は、2FL より床スラブ及び梁のコンクリート上端の寸法を示す。

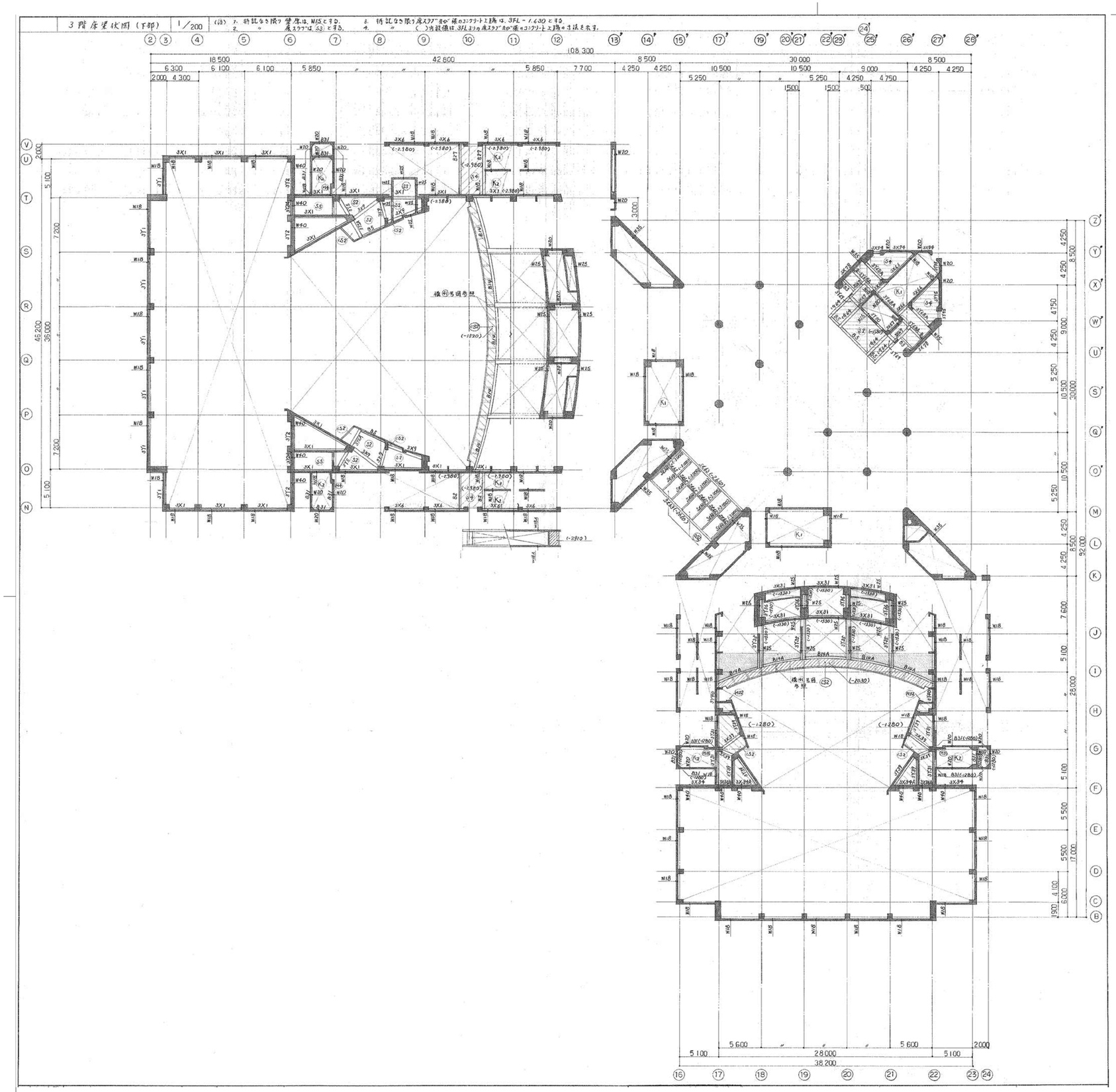


整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S5－02	一級建築士事務所 東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 高橋 淳	2階床梁伏図（参考図）	A1: － A3: －
		鹿児島市建設局建築部建築課	

*24.06.10 仕様書委員会 改訂その2 Ver3.00

3階床梁伏図（下部）　1/200

(注) 1. 特記なき限り壁厚は、W15とする。
2. 〃 床スラブは S3 とする。
3. 特記なき限り床スラブ"80"厚のコンクリート上端は、3FL − 1,630 とする。
4. 〃 ( )内数値は、3FL より内床スラブ"80"厚のコンクリート上端の寸法を示す。



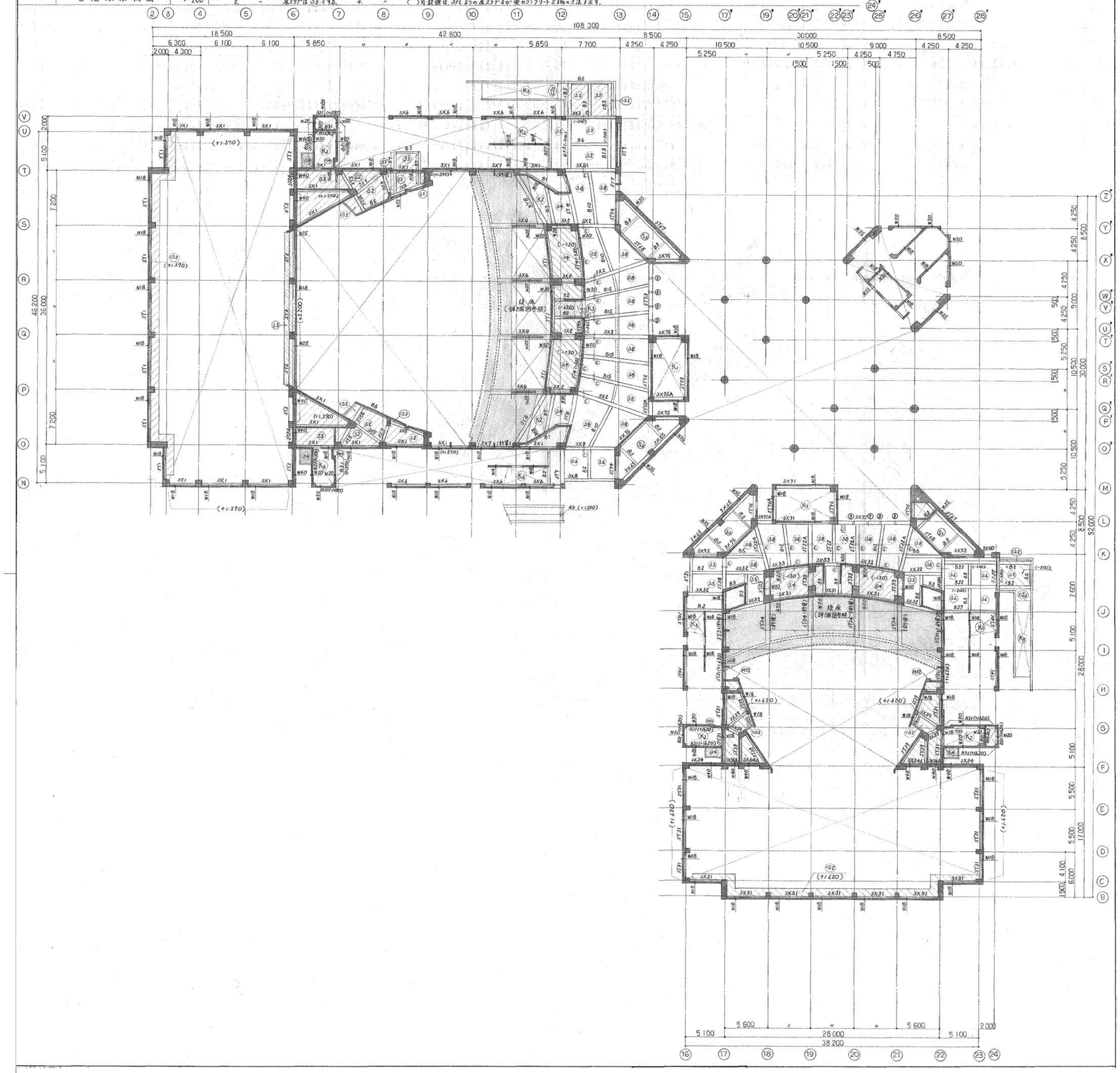
鋼材表	
S2.63	WH-600×250×9×19
S2.64	H-250×125×6×9
S2.65	L-75×75×6

整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S5−03	一級建築士事務所　東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 高橋 淳	3階床梁伏図（下部）（参考図）	A1: − A3: −
		鹿児島市建設局建築部建築課	

'24.06.10 仕様書委員会 改訂その2 Ver3.00

3階床梁伏図　1/200

(注) 1. 特記なき限り壁厚は、W15とする。
2. 〃 床スラブは、S3とする。
3. 特記なき限り床スラブ及び梁のコンクリート上端は、3FL−30とする。
4. 〃 ( )内数値は、3FLより床スラブ及び梁のコンクリート上端の寸法を示す。

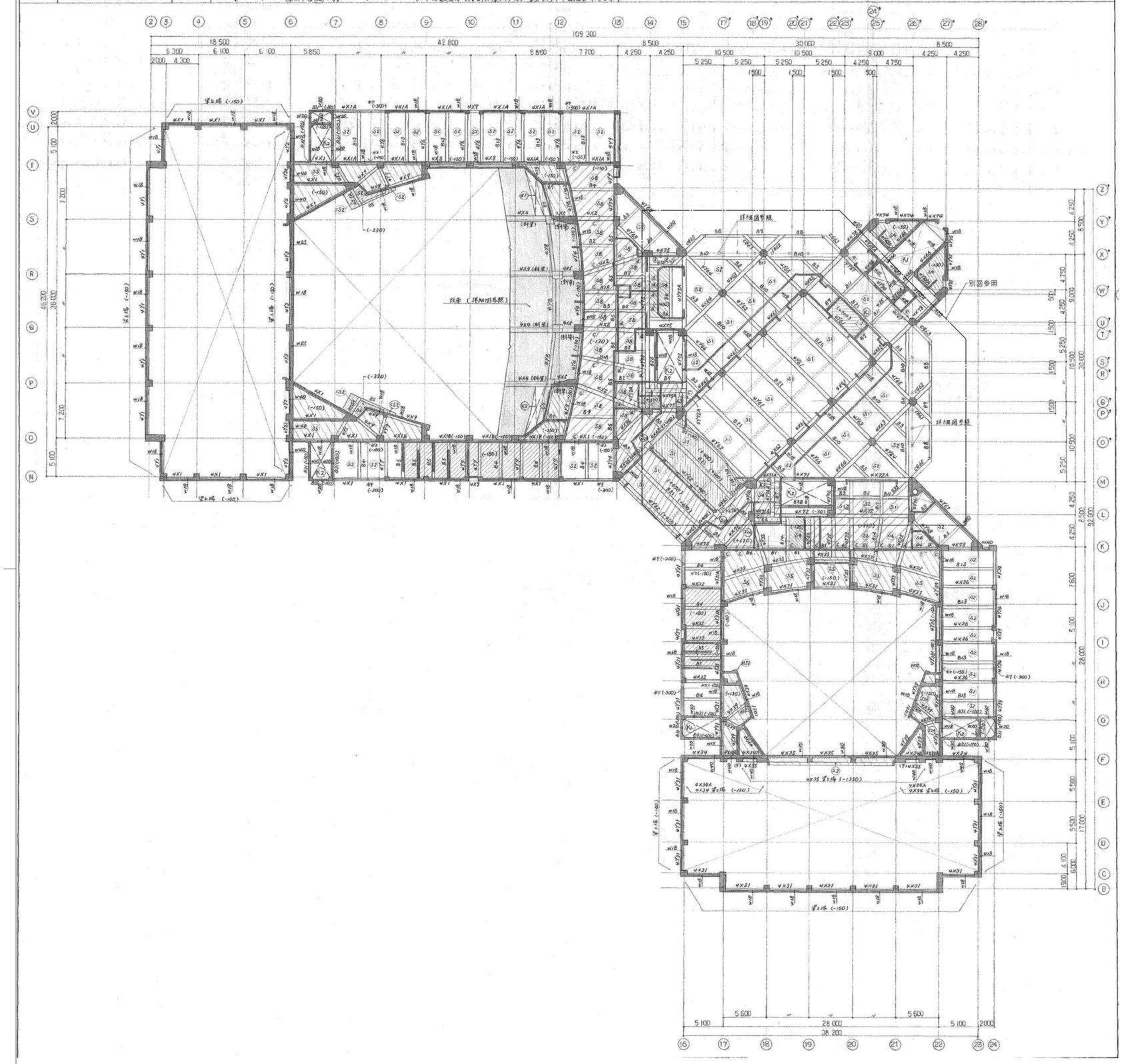


整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S5−04	一級建築士事務所　東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 高橋 洋	3階床梁伏図（参考図）	A1: − A3: −
		鹿児島市建設局建築部建築課	

'24.06.10 仕様書委員会 改訂その2 Ver3.00

4階床梁伏図　1/200

(注) 1. 特記なき限り 壁厚は W18 とする
2 〃 床スラブは S3 とする
3. 特記なき限り 床スラブ及び梁のコンクリート上端は 4FL(-30) とする
4 〃 ( ) 内数値は 4FL 基の床スラブ及び梁のコンクリート上端の寸法を示す

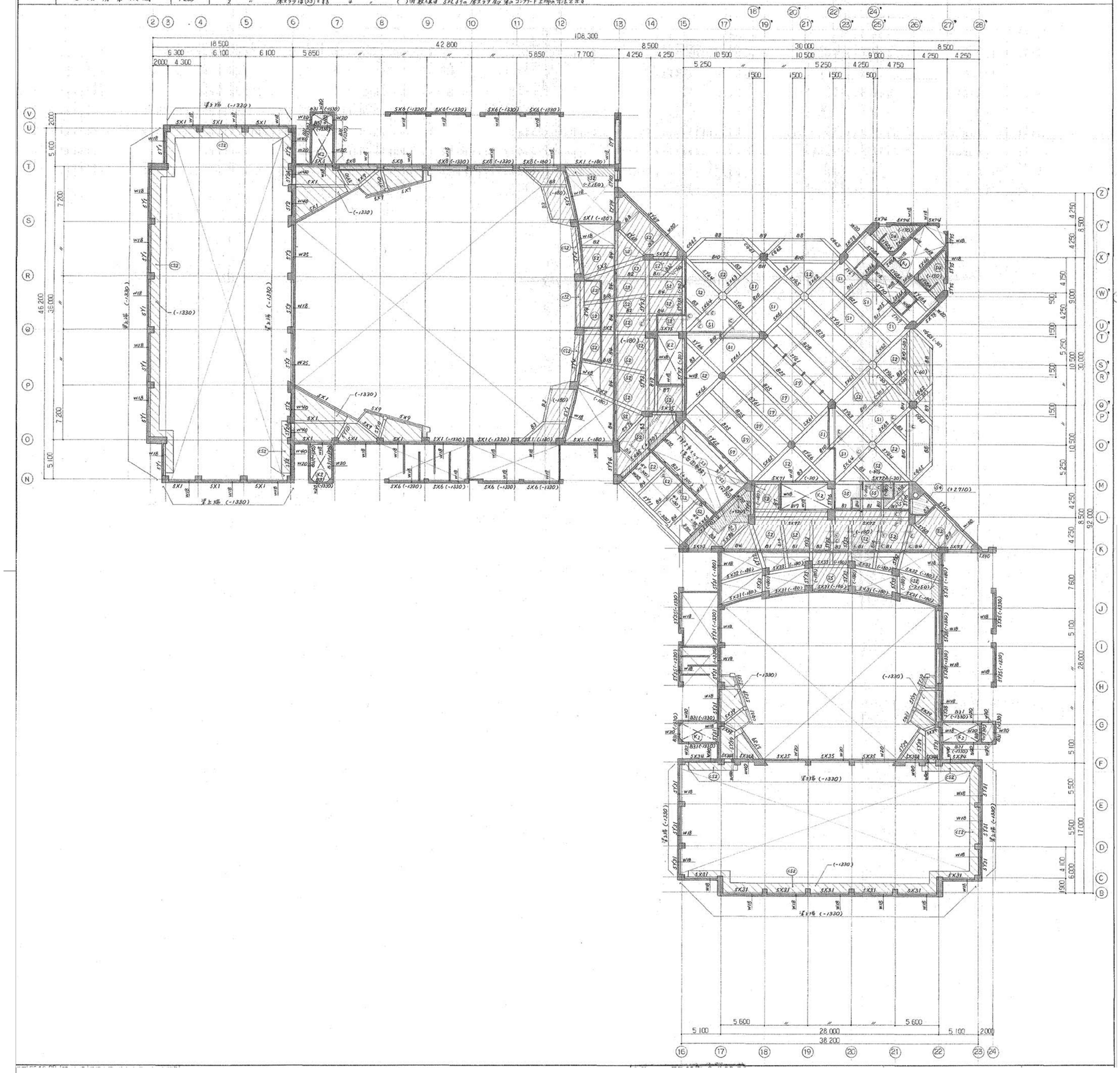


整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S5－05	一級建築士事務所　東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 高橋 洋	4階床梁伏図（参考図）	A1: － A3: －
		鹿児島市建設局建築部建築課	

'24.06.10 仕様書委員会 改訂その2 Ver3.00

5階床梁伏図 1/200

(注) 1. 特記なき限り屋階は W15 とする　3. 特記なき限り床スラブ及び梁のコンクリート上端は SFL-30 とする
2 〃 床スラブは (S3) とする　4 〃 ( ) 内数値は SFL より床スラブ及び梁のコンクリート上端の寸法を示す

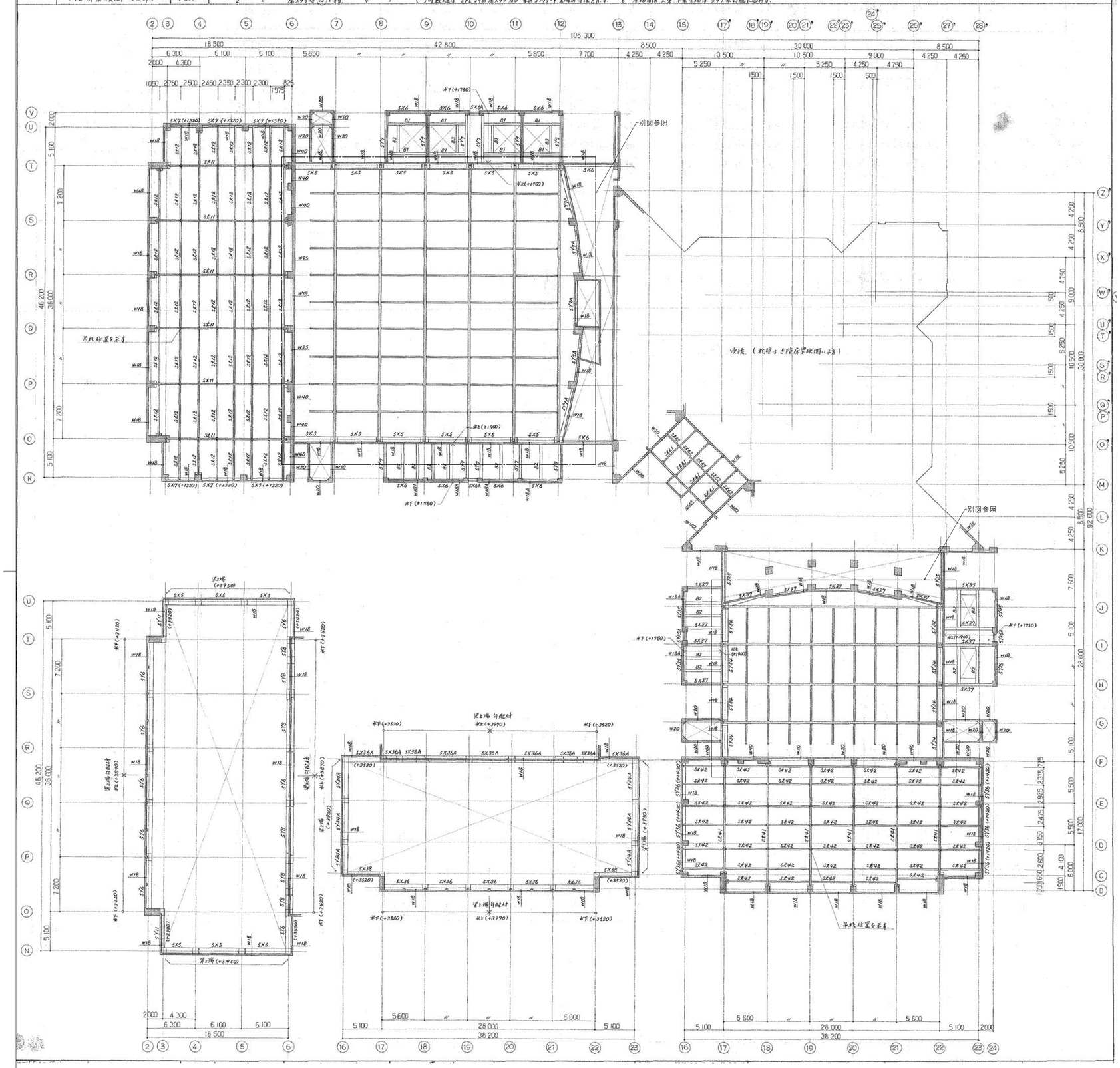


整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S5－06	一級建築士事務所　東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 高橋 淳	5階床梁伏図（参考図）	A1: － A3: －
		鹿児島市建設局建築部建築課	

'24.06.10 仕様書委員会 改訂その2 Ver3.00

5階 床梁伏図（上部） 1/200

(注) 1. 特記なき限り 壁厚は W15 とする。
2. 〃 床スラブは (23) とする。
3. 特記なき限り 床スラブ(B1) 梁のコンクリート上端は SFL+1,900 とする。
4. 〃 〃 ( ) 内数値は SFL±0m 床スラブ(B1) 梁のコンクリート上端の寸法を示す。
5. 鉄骨梁のレベルは 詳細図による。
6. 鉄骨柱の大梁 小梁 主端は スラブ天端に合わす。



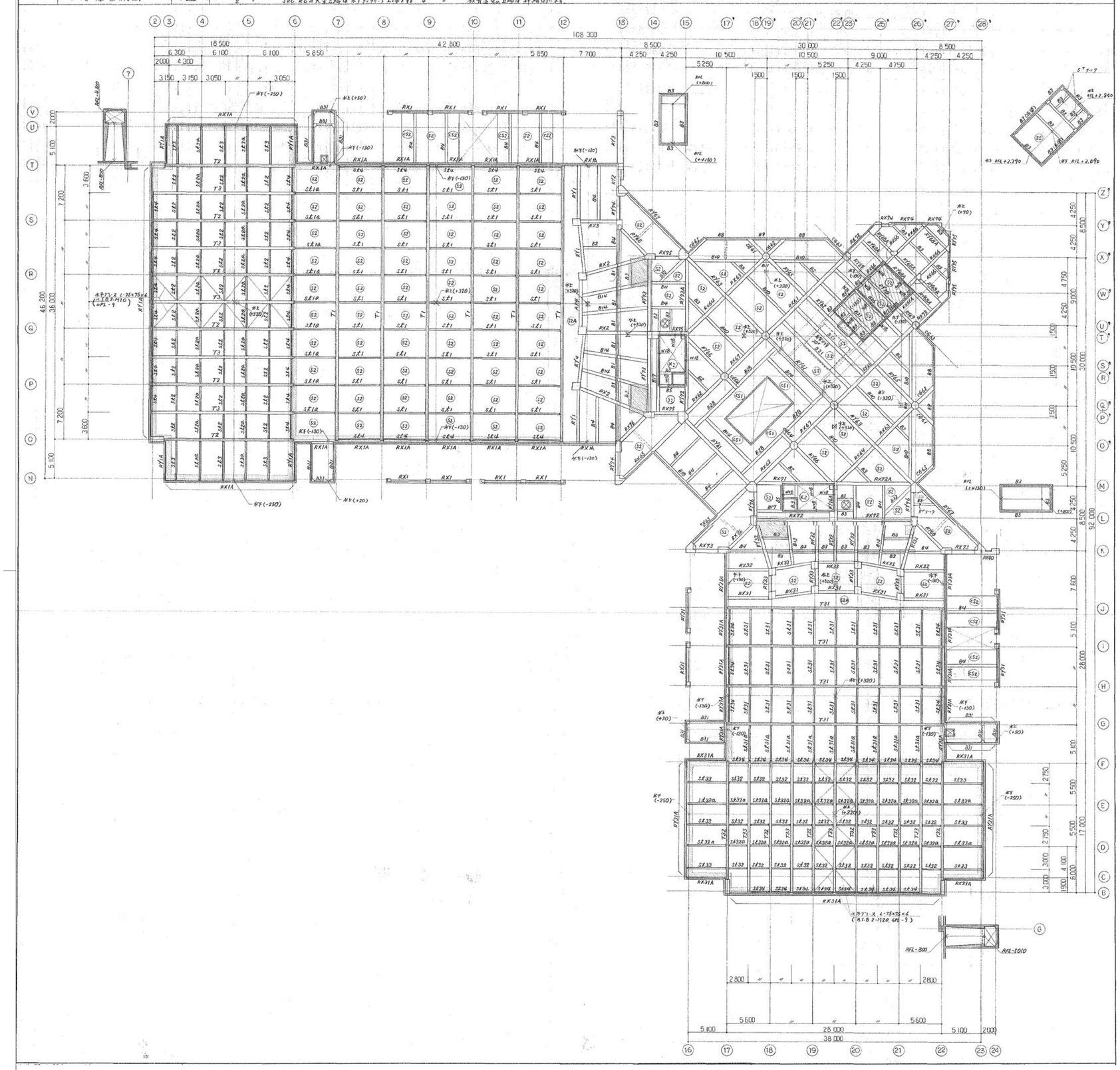
第1ホール棟		第2ホール棟		管理棟	
符号	部材	符号	部材	符号	部材
SK11	H-244×175×7×11	SK41	H-244×175×7×11	SK61	H-244×175×7×11
SK12	WH-250×175×6×16	SK42	H-244×175×7×11	SK62	H-250×125×6×9
吊材	2L-75×75×6	吊材	2L-75×75×6		

整理番号			
S5－07	一級建築士事務所 東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 高橋 淳	鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事 5階床梁伏図（上部）（参考図）	A1: － A3: －
		鹿児島市建設局建築部建築課	

'24.06.10 仕様書委員会 改訂その2 Ver3.00

R階 床梁伏図 1/200

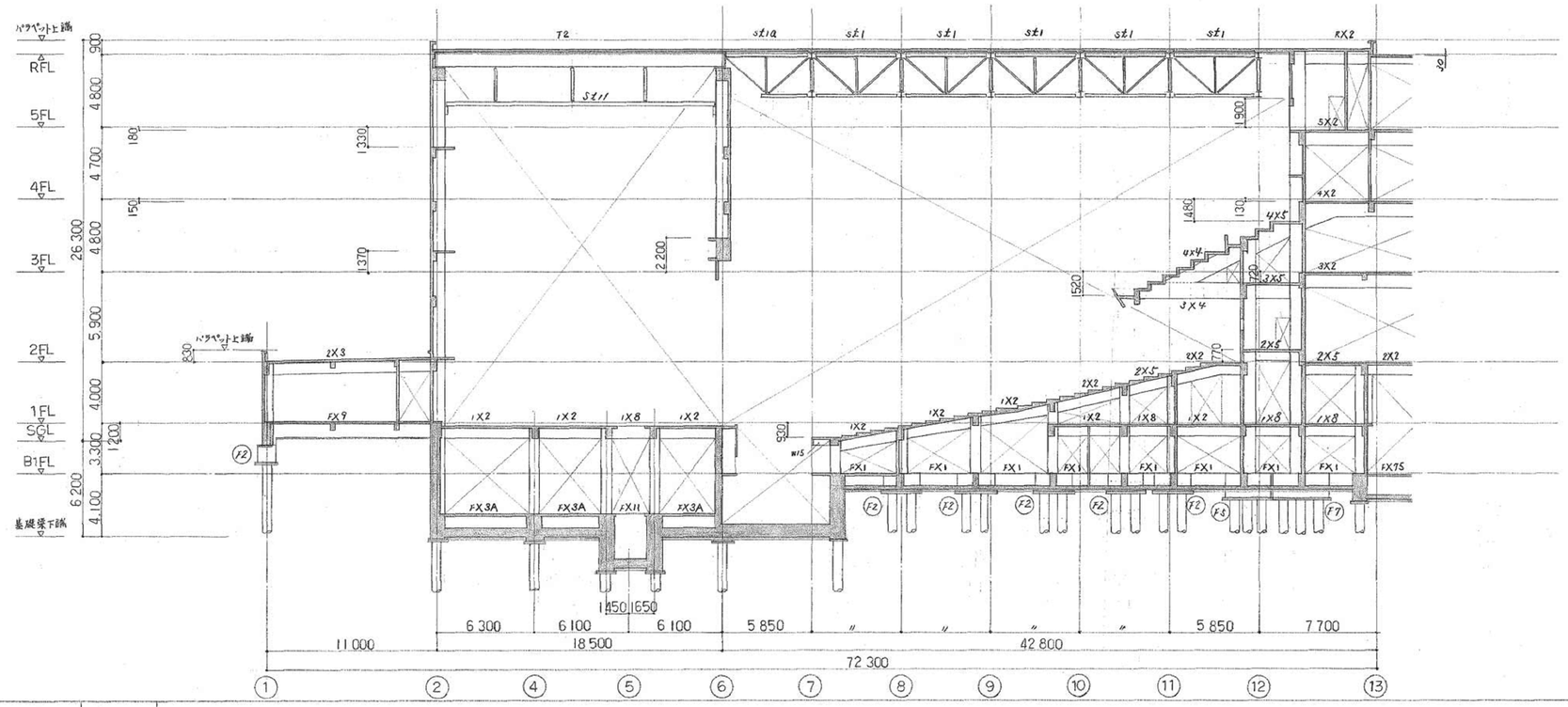
(注) 1. 特記なき限り床スラブは S2 とする
2. SRC, RCの大梁上端は 水下コンクリート上端とする
3. 特記なき限り RCの小梁上端及び RY1A, RX31Aの梁上端は床スラブ水勾配に合わす
〃 〃 鉄骨造梁の上端は 詳細図による
5. ▨ 印は 床スラブを補強する範囲を示し詳細は補強筋図参照。



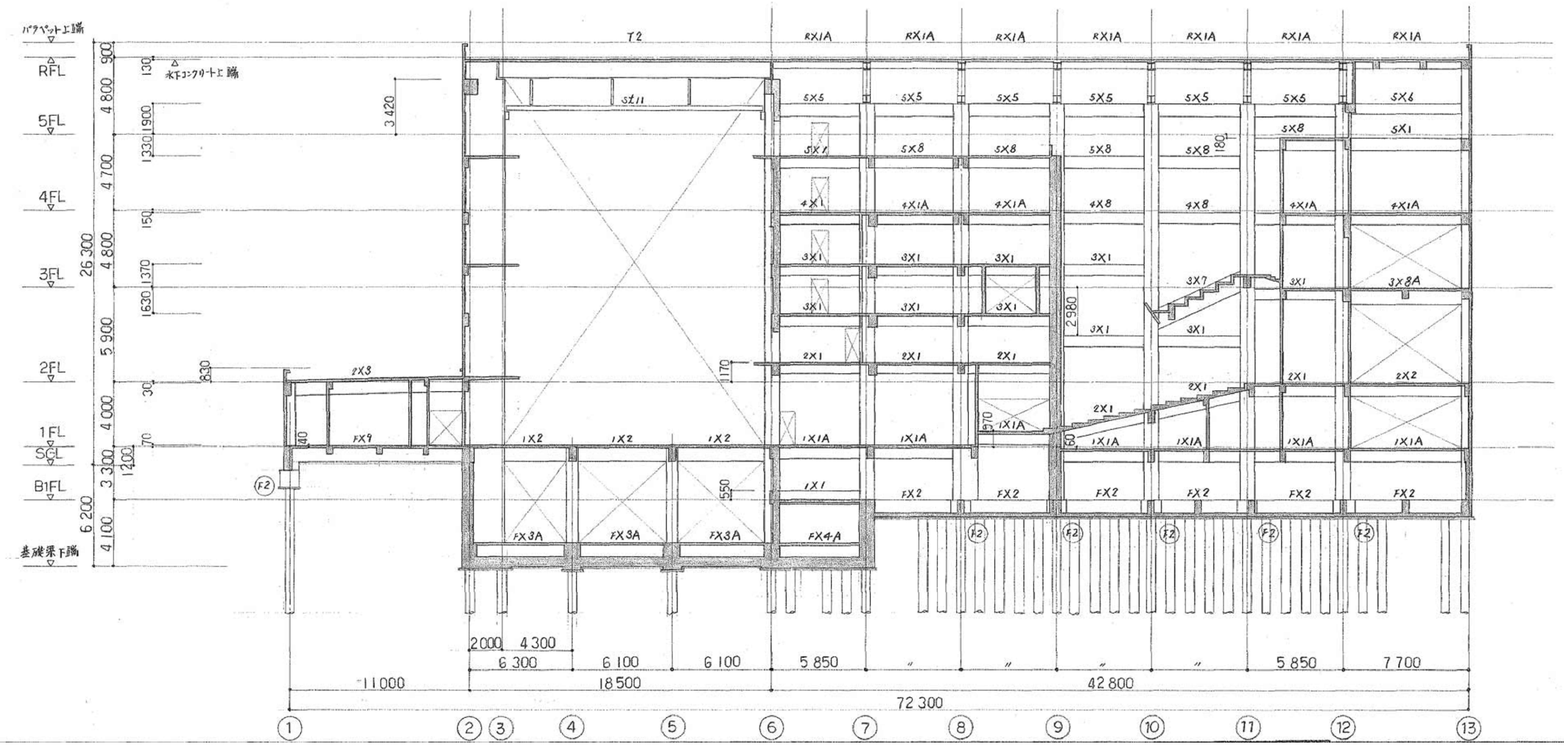
整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S5－08	一級建築士事務所 東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 高橋 淳	R階床梁伏図（参考図）	A1: － A3: －
		鹿児島市建設局建築部建築課	

'24.06.10 仕様書委員会 改訂その2 Ver3.00

Ⓡ通 軸組図 1/200



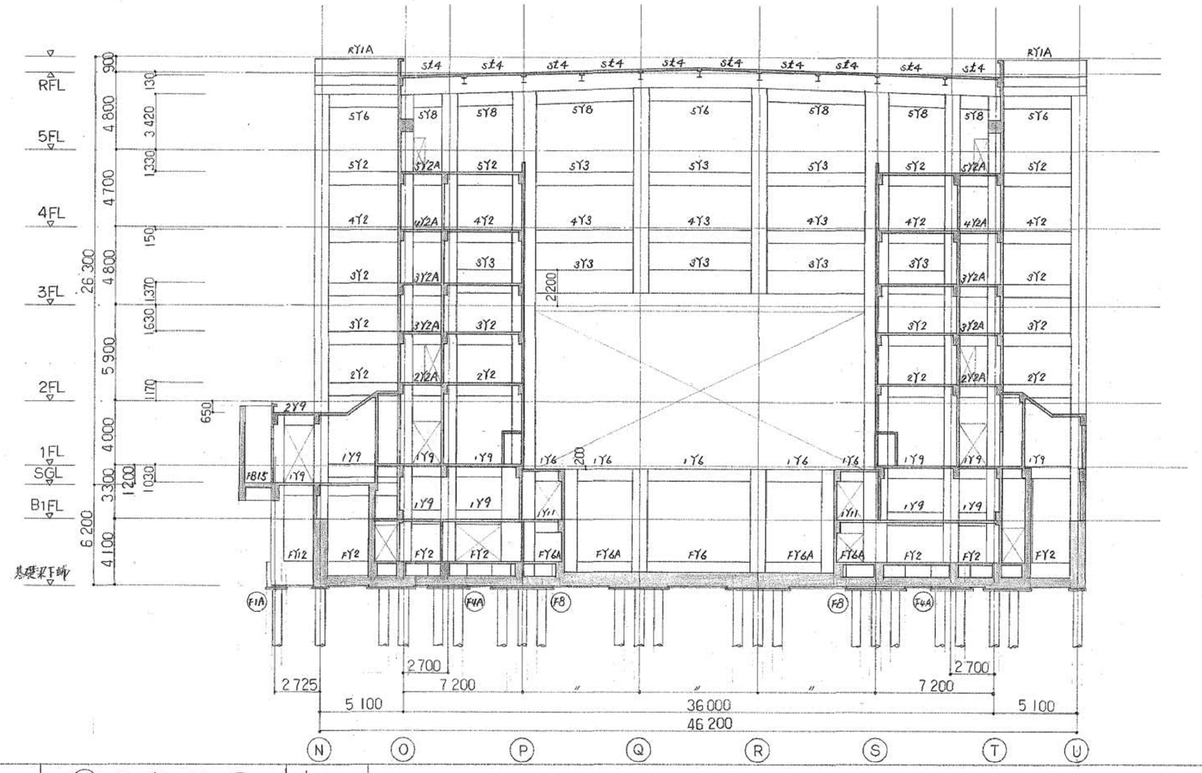
Ⓣ通 軸組図 1/200



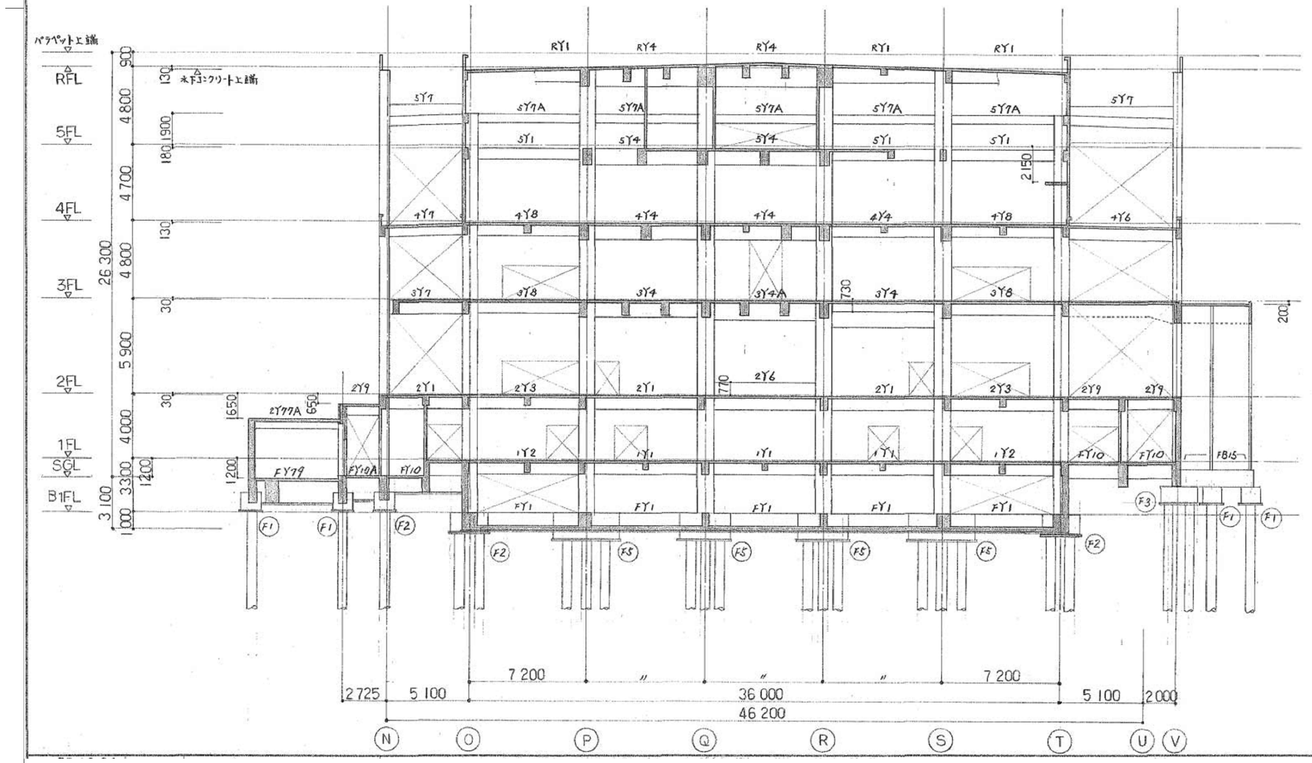
整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S5－09	一級建築士事務所 東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 高橋 淳	第一ホール縦軸組図-1（参考図）	A1: － A3: －
		鹿児島市建設局建築部建築課	

'24.06.10 仕様書委員会 改訂その2 Ver3.00

⑥ 通軸組図 1/200



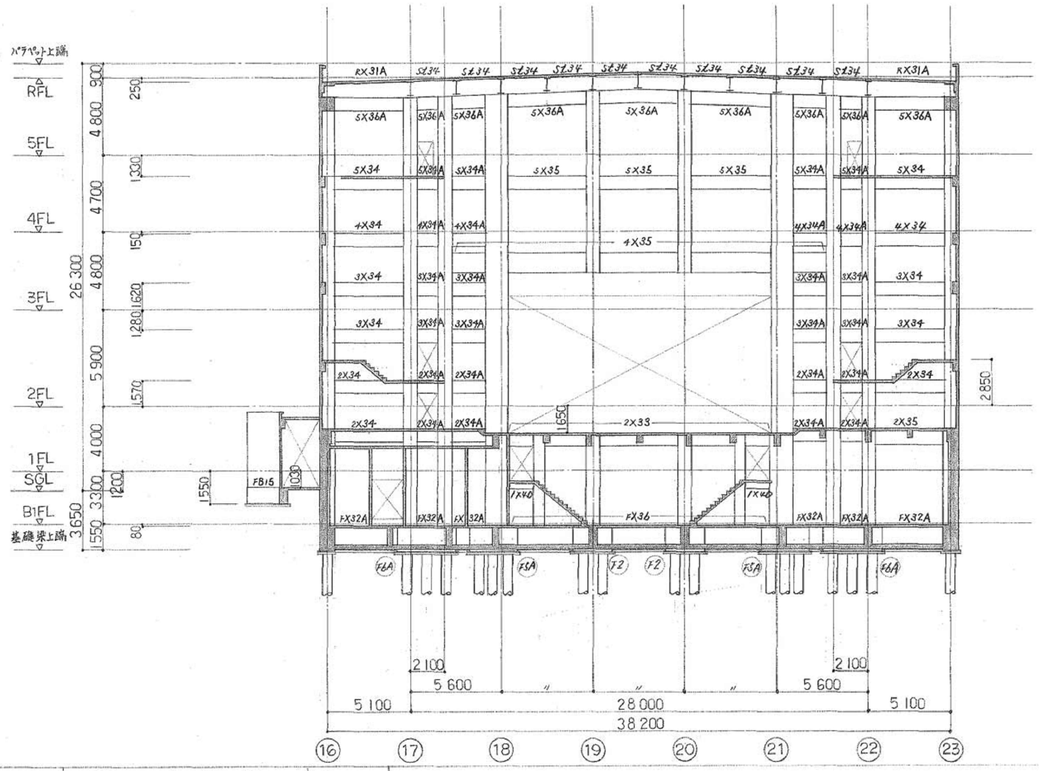
⑫ 通軸組図 1/200



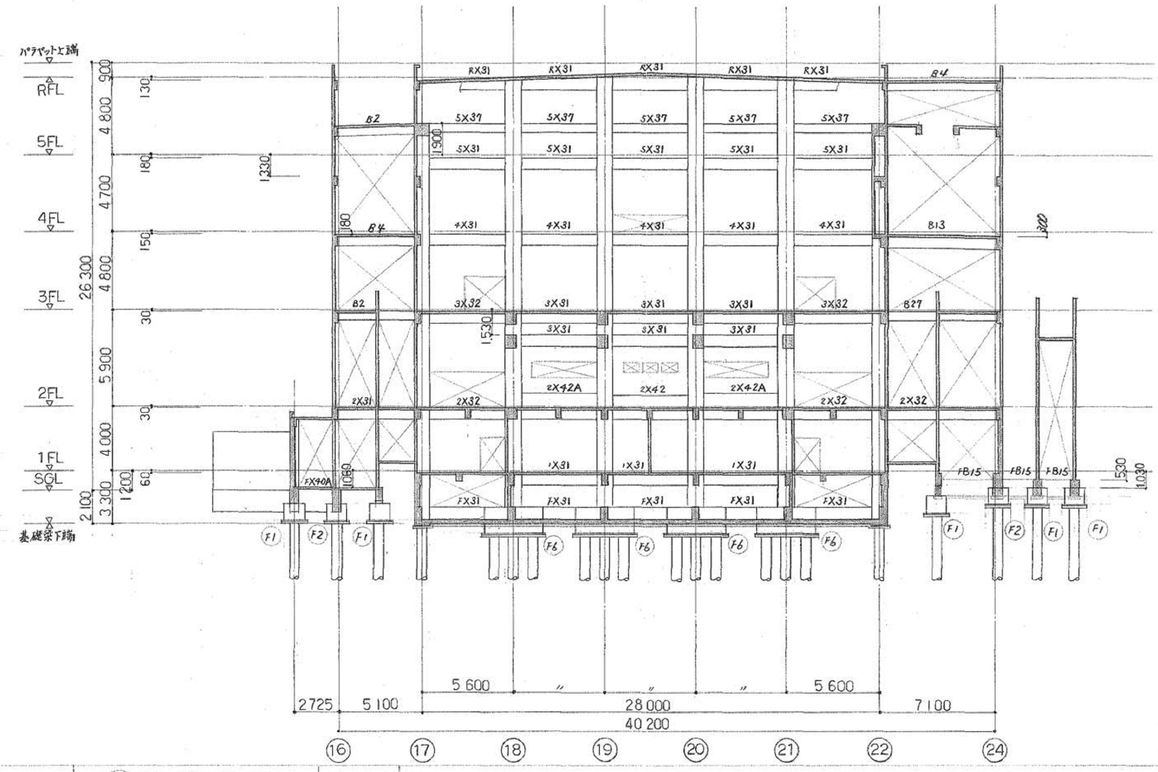
整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S5－10	一級建築士事務所 東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 高橋 淳	第一ホール縦軸組図-2（参考図）	A1: － A3: －
		鹿児島市建設局建築部建築課	

'24.06.10 仕様書委員会 改訂その2 Ver3.00

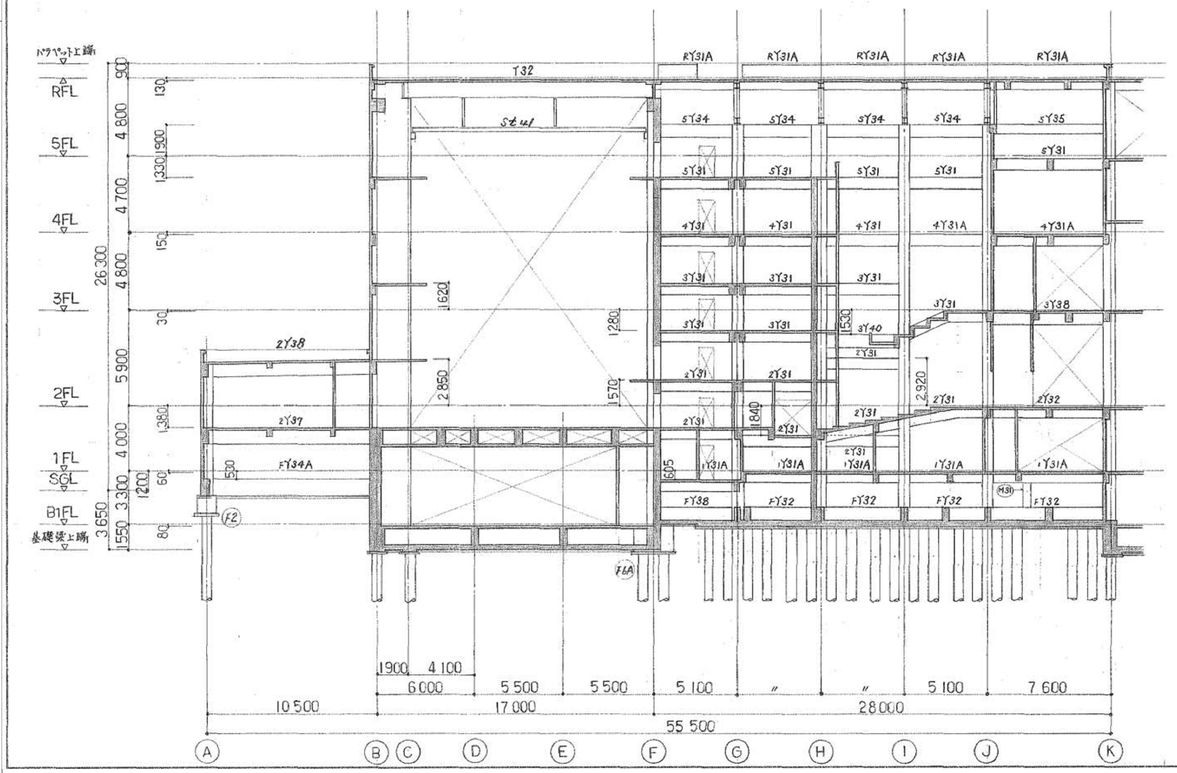
Ⓕ 通 軸 組 図　1/200



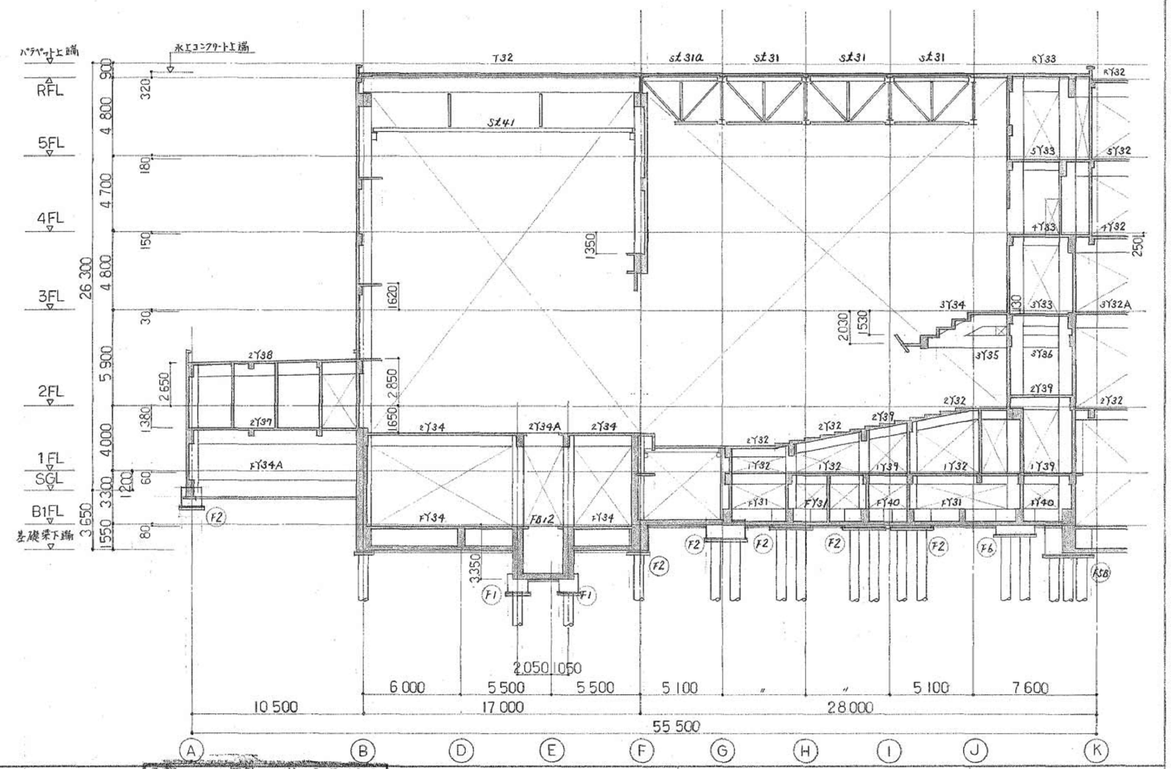
Ⓙ 通 軸 組 図　1/200



⑰ 通 軸 組 図　1/200



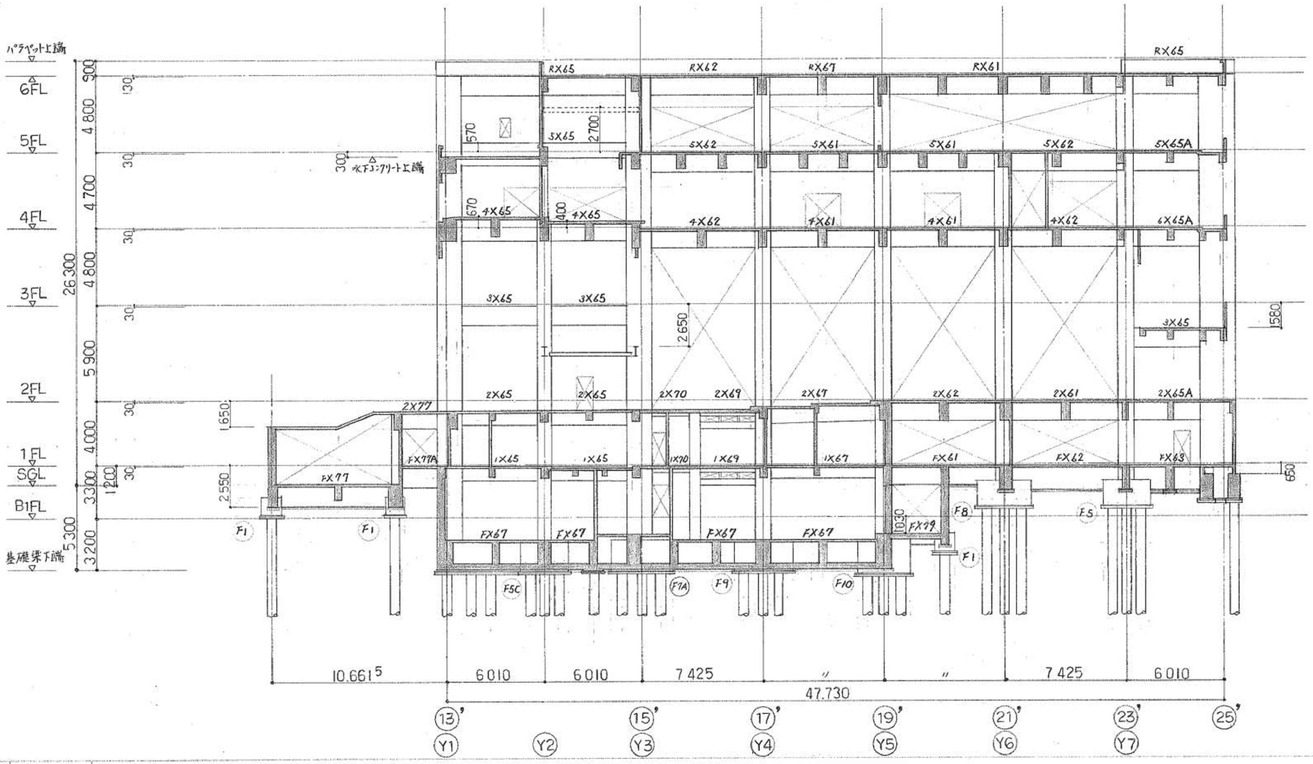
⑲ 通 軸 組 図　1/200



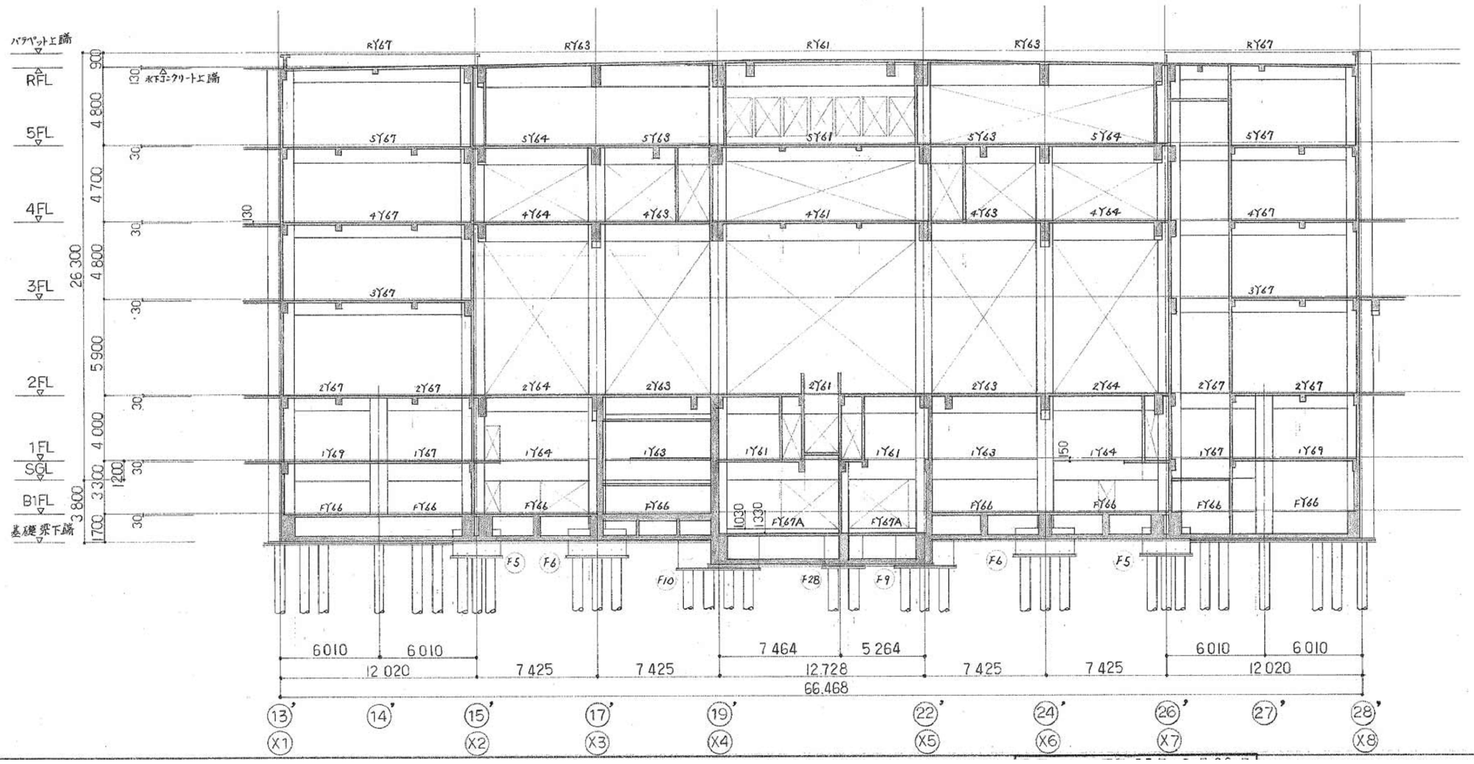
整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S5－11	一級建築士事務所　東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 高橋 淳	第二ホール棟軸組図（参考図）	A1: － A3: －
		鹿児島市建設局建築部建築課	

'24.06.10 仕様書委員会 改訂その2 Ver3.00

(X4) 通 軸 組 図　1/200



(Y5) 通 軸 組 図　1/200



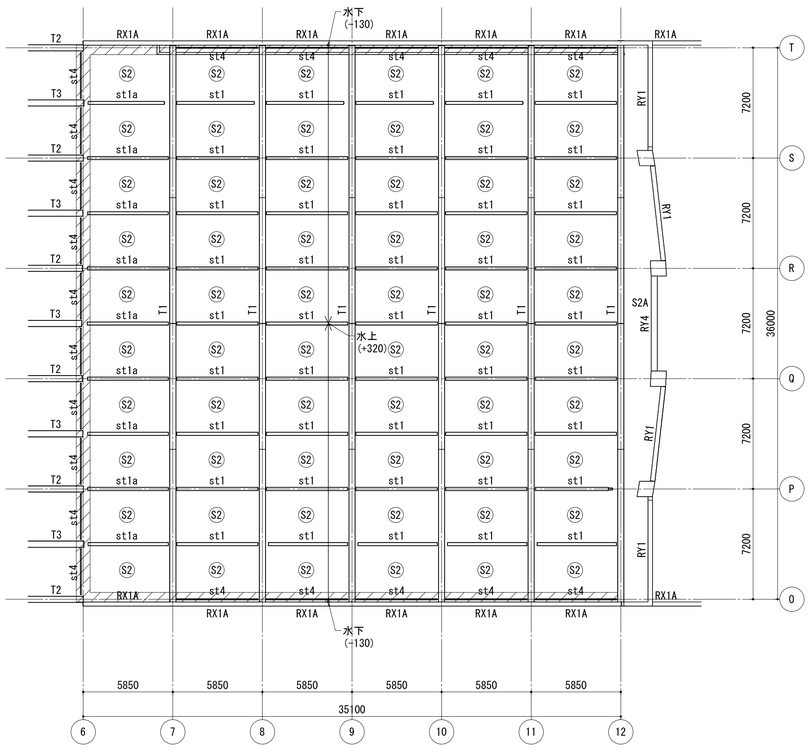
整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S5－12	一級建築士事務所　東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 高橋 淳	管理棟軸組図（参考図）	A1: － A3: －
		鹿児島市建設局建築部建築課	

'24.06.10 仕様書委員会 改訂その2 Ver3.00

R階床梁伏図

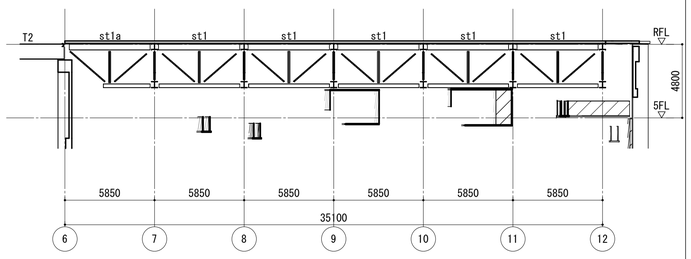
A1:1/200
A3:1/400

注）特記なき限り、下記による。
1. 床スラブ符号：S3
2. SRC、RC大梁上端は水下コンクリート上端とする。
3. 鉄骨梁のレベルは詳細図による。
4. RC小梁上端及びRY1Aの梁上端は床スラブ水勾配に合わせる。
5. ▨ 印は床スラブを補強する範囲を示し詳細は雑配筋図を参照すること。



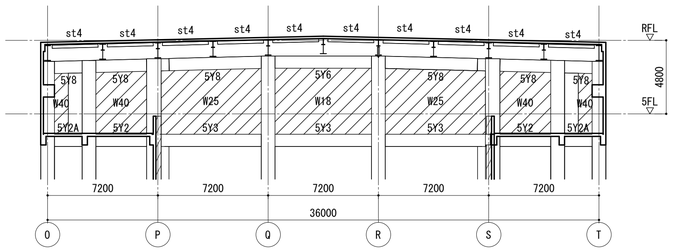
R通り軸組図

A1:1/200
A3:1/400



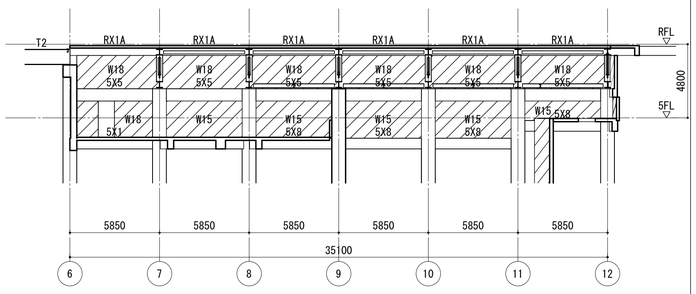
6通り軸組図

A1:1/200
A3:1/400



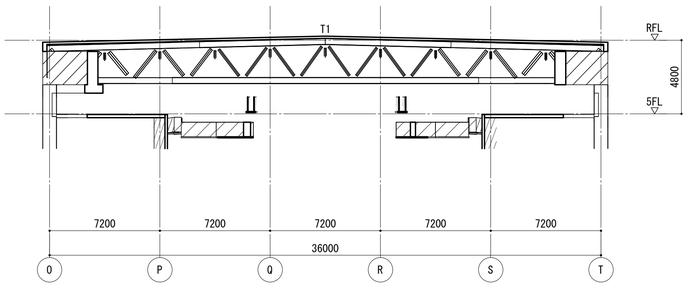
T通り軸組図

A1:1/200
A3:1/400



12通り軸組図

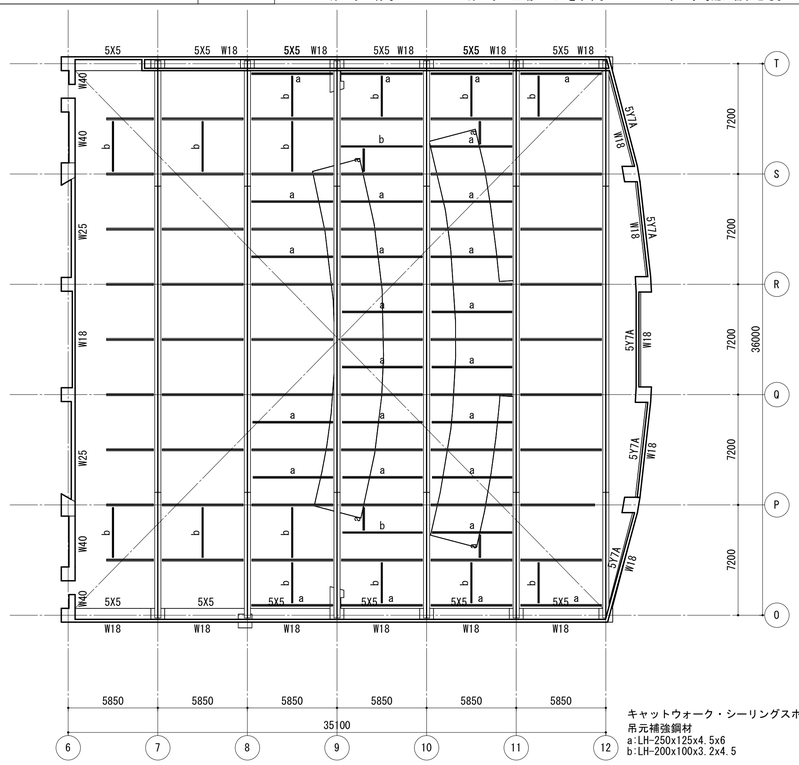
A1:1/200
A3:1/400



5階床梁伏図(上部)

A1:1/200
A3:1/400

注）特記なき限り、下記による。
1. 壁符号：W15
2. 床スラブ符号：S3
3. RC梁、床スラブ上端：5FL+1900
4. ( )内数値は5FLからのRC梁、床スラブ上端レベルを示す。
5. 鉄骨梁のレベルは詳細図による。
6. 屋根面の大梁、小梁上端はスラブ水勾配に合わせる。



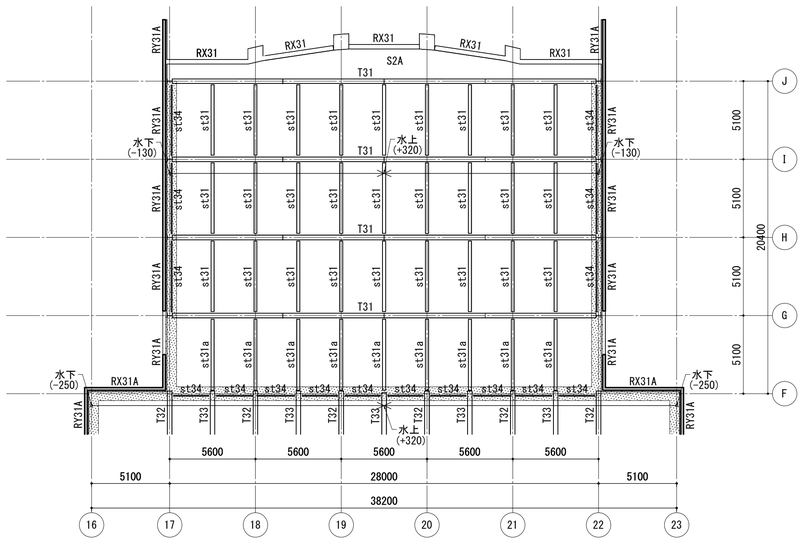
キャットウォーク・シーリングスポット室
吊元補強鋼材
a:LH-250x125x4.5x6
b:LH-200x100x3.2x4.5

整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S5 － 13	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	第一ホール棟伏図・軸組図（参考図）	A1:1/200 A3:1/400
		鹿児島市建設局建築部建築課	

R階床梁伏図

A1:1/200
A3:1/400

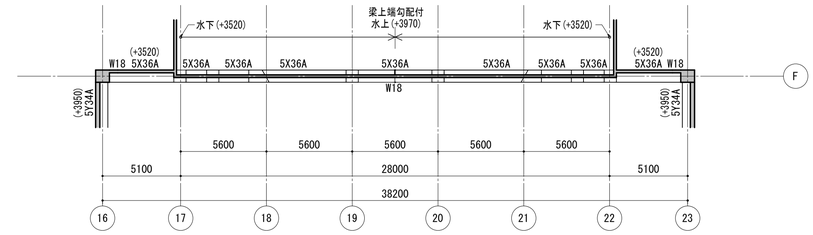
注）特記なき限り、下記による。
1. 床スラブはS3とする。
2. SRC,RCの大梁上端は水下コンクリート上端とする。
3. RCの小梁上端及びRX31Aの梁上端は床スラブ水勾配に合わす。
4. 鉄骨造梁の上端は詳細図による。
5. ▒ 印は床スラブを補強する範囲を示し、詳細は雑配筋図参照。

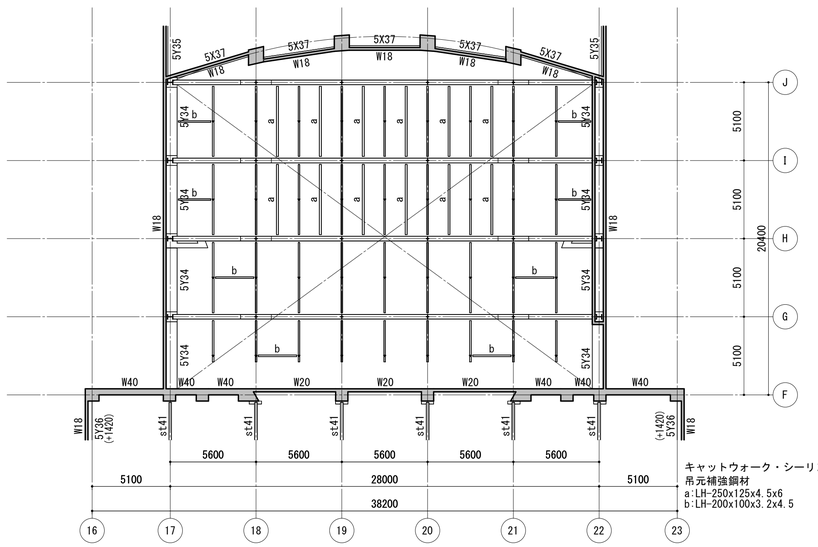


5階床梁伏図(上部)

A1:1/200
A3:1/400

注）特記なき限り、下記による。
1. 床スラブ及び梁のコンクリート上端は5FL+1900とする。
2. (　)内数値は5FLよりの床スラブ及び梁のコンクリート上端の寸法を示す。
3. 壁はW15とする。

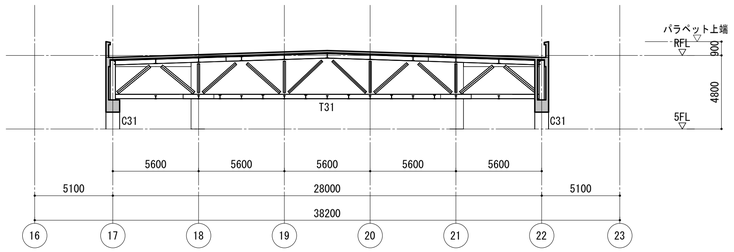




キャットウォーク・シーリングスポット室
吊元補強鋼材
a:LH-250x125x4.5x6
b:LH-200x100x3.2x4.5

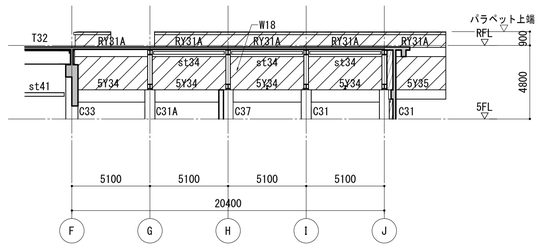
J通り軸組図

A1:1/200
A3:1/400



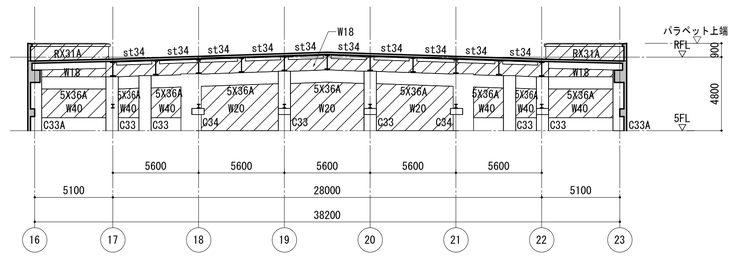
17通り軸組図

A1:1/200
A3:1/400



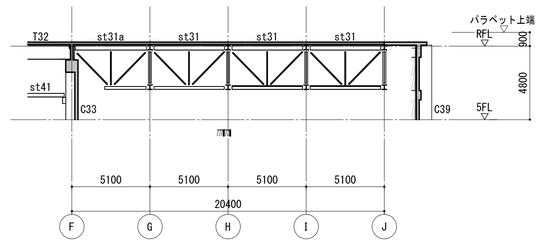
F通り軸組図

A1:1/200
A3:1/400



19通り軸組図

A1:1/200
A3:1/400



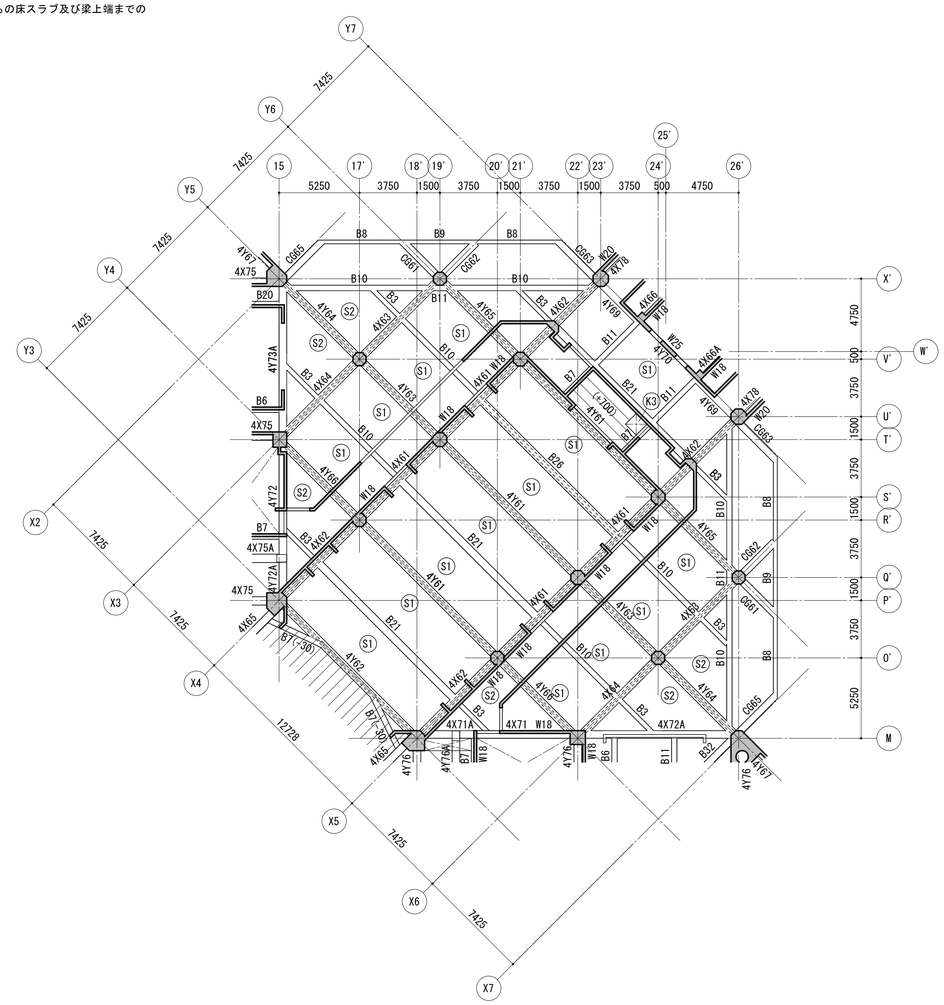
整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S5 － 14	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	第二ホール棟伏図・軸組図（参考図）	A1:1/200 A3:1/400
		鹿児島市建設局建築部建築課	

2025/01/31 10:13:43

4階床梁伏図

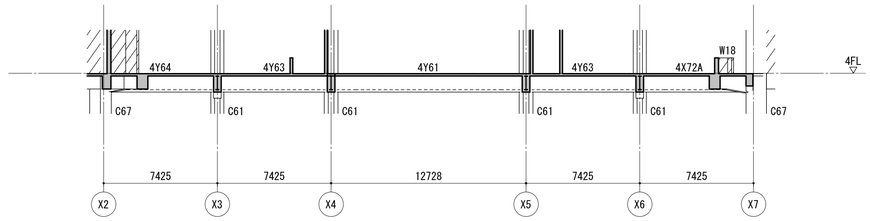
A1:1/200
A3:1/400

特記なき限り、下記による。
1. 壁は15とする。
2. 床スラブはS3とする。
3. 床スラブ及び梁の上端は4FL-30とする。
4. ( )内の数値は4FLからの床スラブ及び梁上端までの寸法を示す。



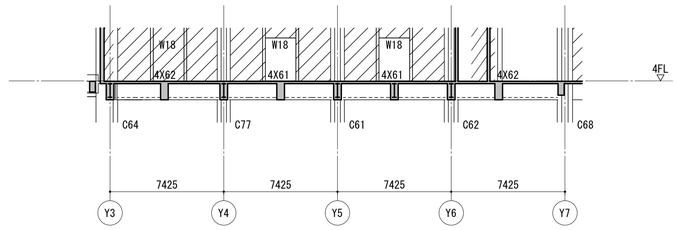
Y5通り軸組図

A1:1/200
A3:1/400



X4通り軸組図

A1:1/200
A3:1/400

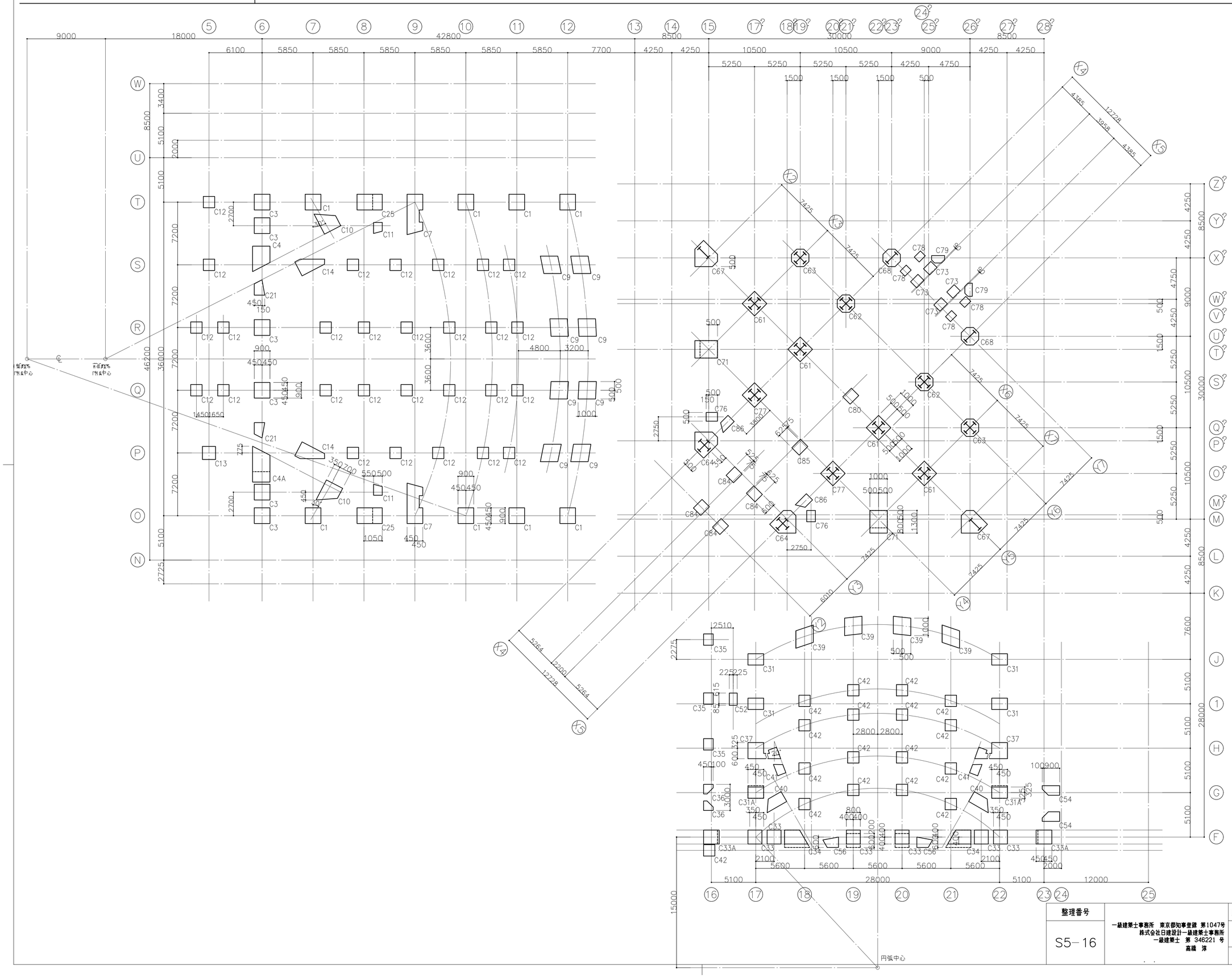


整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S5 － 15	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	管理棟伏図・軸組図（参考図）	A1:1/200 A3:1/400
		鹿児島市建設局建築部建築課	

??????

A1=1/100,1/200
A3=1/200,1/400

??)??????????????



整理番号		
S5−16	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事 柱符号位置図（参考図） A1:1/100,1/200 A3:1/200,1/400 鹿児島市建設局建築部建築課

第一ホール棟　柱断面表

A1=1／ 50
A3=1／100

注記）　記入なき限り下記による。

符号	C1	C2	C3	C4(C4A)	C5	C6	C7	C8	C9	C10
5~1階	900, 900	900, 850	900, 900	1460, 260, 940, 450, 450, 900	650, 550	200, 200, 550, 550	2320, 480, 200, 700, 900, 900	2575, 850	1000, 1000	1300, 1050, 650, 1200
主　筋	22-D25	22-D25	22-D25	22-D25	12-D22	8-D19	26-D22	28-D22	20-D25	16-D22
帯　筋	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	-D13 @85	□-D10 @100	□-D10 @100	-D13 @100	-D13 @90	□-D13 @100	-D13 @95
X　筋	D10 @500	D10 @500	D10 @500	D10 @510	D10 @500	D10 @500	D10 @500	D10 @450	D10 @500	D10 @475
備　考										

符号	C11	C15(C15A)	C16	C17(C17A)	C18	C19	C20	C23	C24	C25
5~1階	630, 500, 500	700, 600	600, 700	825 (700), 700	600, 450	800, 1000	800, 450	1125, 700	1125, 650	900, 900
主　筋	8-D19	12-D25	12-D25	10-D25	8-D19	14-D19	8-D25	16-D25	16-D19	22-D25
帯　筋	□-D10 @100	□-D10 @100	□-D10 @100	□-D10 @85	□-D10 @100	□-D10 @70	□-D10 @80	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100
X　筋	D10 @500	D10 @500	D10 @500	D10 @510	D10 @500	D10 @490	D10 @450	D10 @500	D10 @500	D10 @500
備　考				( )内はC17Aを示す。						

符号	C26	間　柱　（各所）
5~1階	625, 900	A, B
主　筋	16-D22	8-D19
帯　筋	□-D10 @70	□-D10 @100
X　筋	D10 @490	D10 @500
備　考		

符　号	A	B	備　考
M1	800	500	
M2	550	550	
M3	450	550	
M4	450	450	

第二ホール棟　柱断面表

A1=1／ 50
A3=1／100

注記）　記入なき限り下記による。

符号	C31(C31A)	C32	C33(C33A)	C34	C37	C38	C39	C40	C41	C43
5~1階	900, 650	650, 900	800 (900), 800	870, 400, 400, 800, 1330	900, 925, 625, 300, 500, 700, D19@300, 2900	2525, 650	1000, 1000	850, 650, 1300	700, 500, 500	800, 650
主　筋	18-D25	18-D25	20-D25	20-D25	20-D22 / 10-D19	22-D22	20-D25	11-D22	8-D19	14-D25
帯　筋	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @85	-D10@75	-D13 @100	□-D13 @100	-D13 @95	□-D10 @100	□-D10 @85
X　筋	D10 @500	D10 @500	D10 @500	D10 @510	D10 @450	D10 @500	D10 @500	D10 @475	D10 @500	D10 @510
備　考			( )内はC33Aを示す。							

符号	C45	C46	C47	C48	C49	C50	C51	C52	C53	C54
5~1階	600, 700	450, 1000, 800	1050, 700, 750	650, 450	800, 450	1000, 650, 650	800, 650	450, 700	800, 800	200, 550, 1000
主　筋	12-D25	10-D22	13-D22	10-D19	10-D22	9-D22	10-D22	10-D19	20-D22	14-D19
帯　筋	□-D10 @100	□-D10 @70	-D10 @65	□-D10 @100	□-D10 @85	-D10 @70	□-D10 @70	□-D10 @100	□-D10 @80	-D10@70
X　筋	D10 @500	D10 @490	D10 @520	D10 @500	D10 @510	D10 @490	D10 @490	D10 @500	D10 @480	D10 @490
備　考										

符号	C56	C57	間　柱　（各所）	M32
5~1階	500, 600, 650	950, 625	A, B	70°, 400, 700
主　筋	11-D19	16-D22	8-D19	7-D16
帯　筋	-D10 @85	□-D10 @70	□-D10 @100	□-D10 @200
X　筋	D10 @510	D10 @490	D10 @500	D10 @600
備　考				

符　号	A	B	備　考
M31	450	450	

整理番号 S5－17

一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号
株式会社日建設計一級建築士事務所
一級建築士　第 346221 号
高橋　淳

鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事

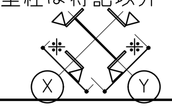
第一・第二ホール棟 柱断面表（参考図）　A1:1／ 50　A3:1／100

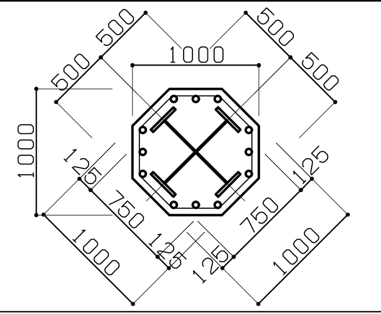
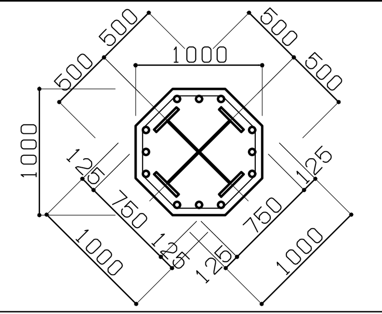
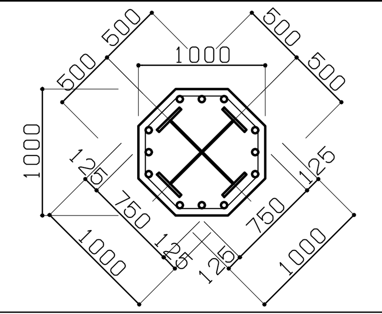
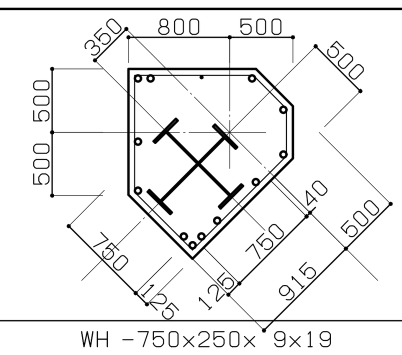
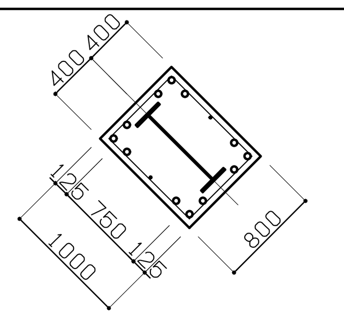
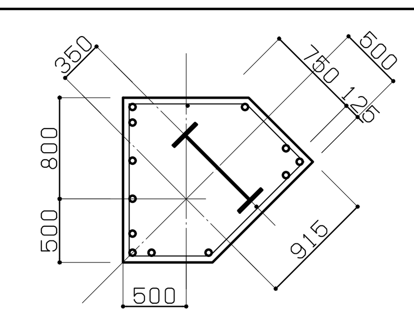
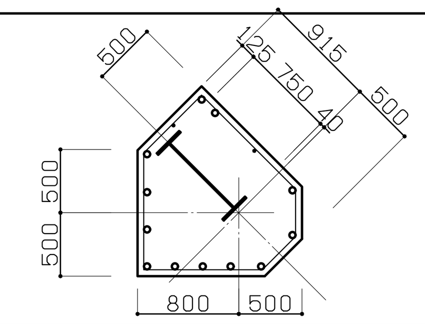
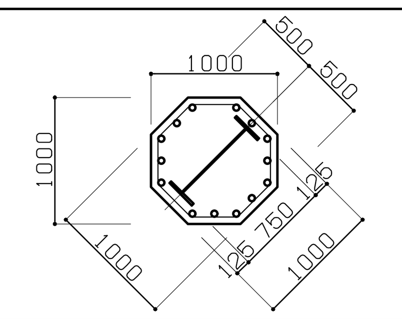
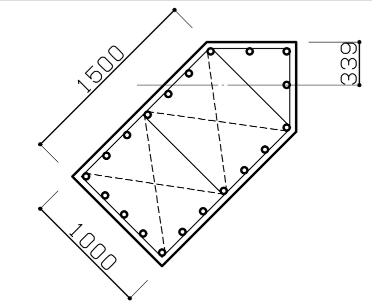
鹿児島市建設局建築部建築課

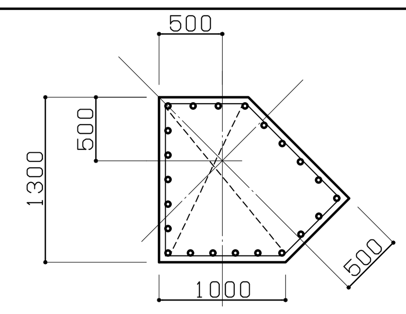
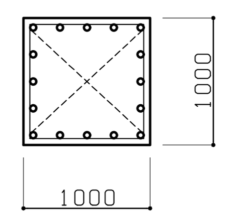
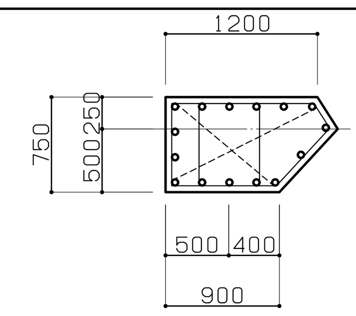
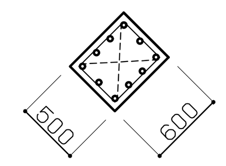
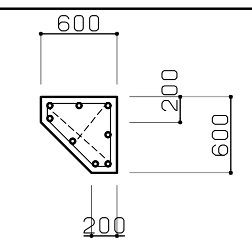
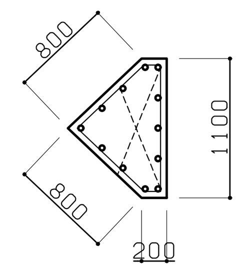
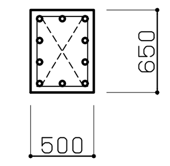
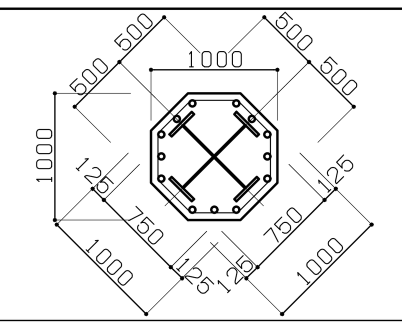
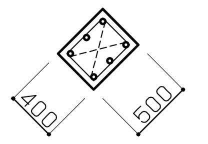
管理棟 柱断面表－1

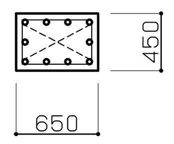
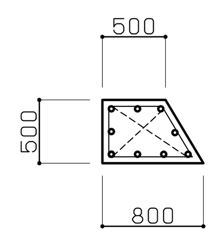
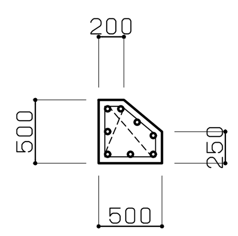
A1=1／ 50
A3=1／100

注記） 記入なき限り下記による。
1. 鋼材の材質は◯印をSM50Aとし、特記なきものはSS41とする。
2. 補助タイプレートはFB－75x6とする。
3. 特記なきB.PL は PL-25、アンカーボルトM24, ℓ=600
アンカーフレームは PL－9x100とする。
4. リストの鉄骨断面寸法は下図※印寸法とする。
型柱は特記以外 Y方向のウェブを通す。



符号		C61	C62	C63	C64	C65	C66	C67	C68	C69
3~2階										
鉄骨	X方向	◯ WH -750x250x 9x25	◯ WH -750x250x 9x25	◯ WH -750x250x 9x22	WH -750x250x 9x19			――	WH -750x250x 9x19	――
	Y方向	◯ WH -750x250x 9x25	◯ WH -750x250x 9x25	◯ WH -750x250x 9x22	WH -750x250x 9x19	WH -750x250x 9x19	WH -750x250x 9x19	WH -750x250x 9x16	――	――
主筋		12-D25	12-D25	12-D25	12-D25	12-D25	12-D25	12-D25	14-D25	20-D25
帯筋		◯-D13 @100	◯-D13 @100	◯-D13 @100	◯-D13 @100	□-D13 @100	▷-D13 @95	⌂-D13 @90	◯-D13 @100	□▷-D13 @100
X筋		――	――	――	――	――	――	――	――	
備考					補助筋 1-D13	補助筋 2-D13	補助筋 2-D13	補助筋 2-D13		

符号		C70	C71	C72	C73	C74	C75	C76	C77	C78
3~2階										
鉄骨	X方向								◯ WH -750x250x 9x25	
	Y方向								◯ WH -750x250x 9x25	
主筋		22-D25	16-D25	15-D25	10-D22	8-D22	12-D22	10-D22	12-D25	6-D19
帯筋		▷-D13 @95	□-D13 @100	□▷-D10 @90	□-D10 @100	□-D10 @100	◁-D13 @100	□-D10 @100	◯-D13 @100	□-D10 @100
X筋		D10 @475	D10 @500	D10 @500	D10 @500	D10 @500	D10 @500	D10 @500	――	D10 @500
備考										2階のみ。 3階柱は除く。

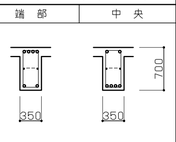
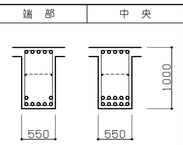
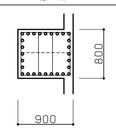
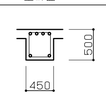
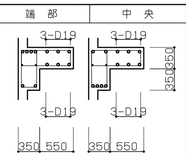
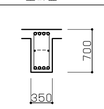
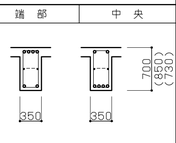
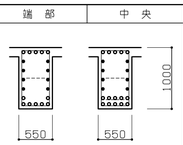
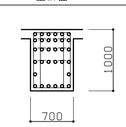
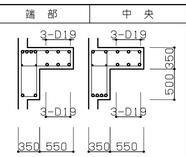
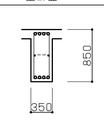
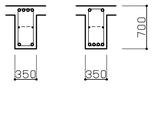
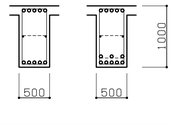
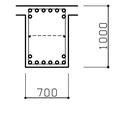
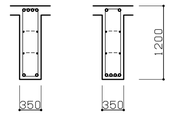
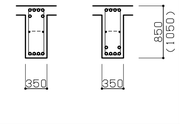
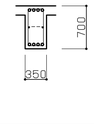
符号	M61	M62	M63						
									
主筋	10-D19	9-D19	8-D19						
帯筋	□-D10 @100	⏢-D10 @80	□-D10 @100						
X筋	D10 @500	D10 @480	D10 @500						
備考									

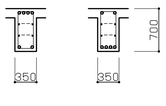
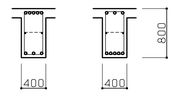
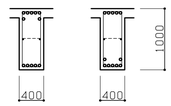
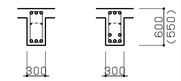
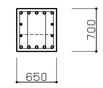
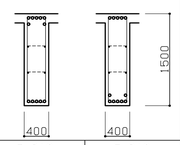
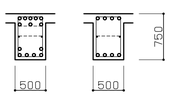
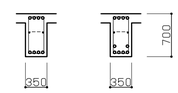
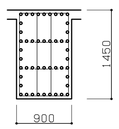
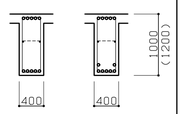
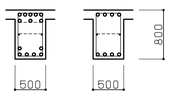
整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S5－18	一級建築士事務所 東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 高橋 淳	管理棟 柱断面表（参考図）	A1:1／ 50 A3:1／100
		鹿児島市建設局建築部建築課	

第一ホール棟　大梁断面表

A1=1/ 50
A3=1/100

注記）　記入なき限り下記による。
1.腹止筋は図示の本数でSRC D10@800、RC D10@600とする。
2.鉄骨寸法表示はフランジ外法（　）寸法を示す。

符号	X1(X1A)(X1B)		X2		X5	X7		X8(X8A)		X9(X9A)
位置	端部	中央	端部	中央	端部	全断面		端部	中央	全断面
5階										
上端筋	4-D19	2-D19	5-D25	5-D25	9-D19	4-D19		4-D19	2-D19	4-D19
下端筋	2-D19	4-D19	7-D25	10-D25	9-D19	2-D19		2-D19	4-D19	4-D19
あばら筋	□-D10 @200		□-D13 @100	□-D13 @200	⊞-D13 @200	□-D10 @150		□-D10 @200		□-D10 @200
腹筋	2-D10		2-D10		10-D19			2-D10		2-D10
備考										
位置	端部	中央	端部	中央	全断面			端部	中央	全断面
4階										
上端筋	4-D19	2-D19	5-D25	5-D25	全 32-D25			4-D19	2-D19	4-D19
下端筋	2-D19	4-D19	7-D25	10-D25				2-D19	4-D19	4-D19
あばら筋	□-D10 @200		□-D13 @100	□-D13 @200	⊞-D13 @150			□-D10 @200		□-D10 @200
腹筋	2-D10		8-D25		——			2-D10		2-D10
備考	（　）内はX1A,（　）内はX1Bを示す。									
位置	端部	中央	端部	中央	全断面	端部	中央	端部	中央	全断面
3階										
上端筋	4-D19	2-D19	5-D25	5-D25	8-D25	4-D19	2-D19	6-D19	4-D19	4-D19
下端筋	2-D19	4-D19	5-D25	8-D25	8-D25	2-D19	4-D19	4-D19	6-D19	4-D19
あばら筋	□-D10 @200		□-D13 @125	□-D13 @250	□-D13 @150	□-D10 @200		□-D10 @200		□-D10 @200
腹筋	2-D10		2-D10		2-D10	4-D10		2-D10		2-D10
備考								（　）内はX8A梁を示す。		

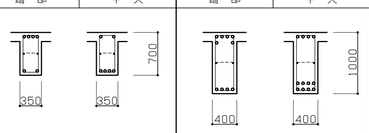
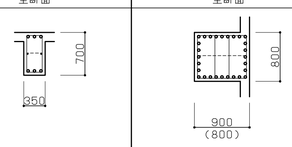
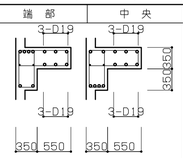
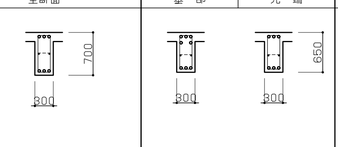
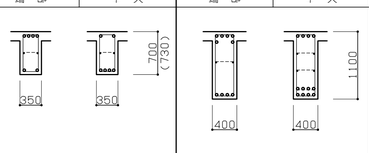
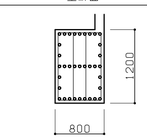
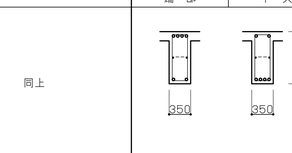
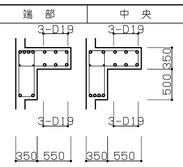
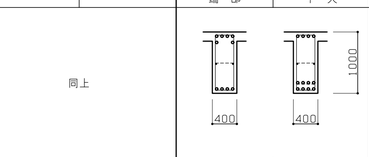
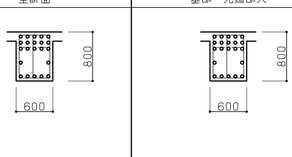
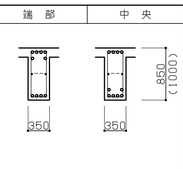
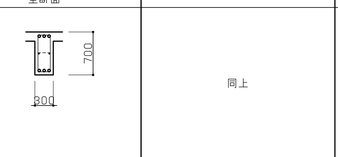
符号	Y1(Y1A)		Y3(Y3A)		Y4(Y4A)		Y5(Y5A)		Y7(Y7A)		Y9	Y10
位置	端部	中央	端部	中央	端部	中央			端部	中央	全断面	全断面
5階												
上端筋	4-D19	2-D19	5-D19	3-D19	7-D19	5-D19			3-D19	3-D19	5-D19	3-D19
下端筋	2-D19	4-D19	3-D19	5-D19	5-D19	7-D19			3-D19	5-D19	5-D19	3-D19
あばら筋	□-D10 @200		□-D10 @150		□-D10 @150				□-D10 @200		⊞-D10 @200	□-D10 @200
腹筋	2-D10		2-D10		2-D10				2-D10		4-D19	2-D10
備考									（　）はY7Aを示す。			
位置					端部	中央	Y5A端部（基部）	他端，中央（先端）	端部	中央	全断面	
4階	同上		同上									
上端筋					7-D19	5-D19	8-D25	4-D25	4-D19	4-D19	3-D19	
下端筋					5-D19	7-D19	6-D25	4-D25	4-D19	6-D19	3-D19	
あばら筋					□-D10 @100	□-D10 @150	□-D10 @125		□-D10 @200		□-D10 @200	
腹筋					4-D10		2-D10		2-D10		2-D10	
備考							（　）内はY5Aを示す。（鉄筋トップ位置はℓ=1500とする。）					
位置			全断面		端部	中央	Y5A端部（基部）	他端，中央（先端）	全断面			
3階	同上										同上	
上端筋			全 48-D19		5-D19	5-D19	8-D25	4-D25	5-D19			
下端筋					5-D19	7-D19	6-D25	4-D25	5-D19			
あばら筋			⊞-D13 @200		□-D10 @150		□-D10 @125		□-D10 @150			
腹筋			——		2-D10		2-D10		2-D10			
備考					（　）内はY4Aを示す。		（　）内はY5Aを示す。（鉄筋トップ位置はℓ=1500とする。）					

整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事
S5－19	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	第一ホール棟　大梁断面表（参考図）　A1:1/ 50　A3:1/100
		鹿児島市建設局建築部建築課

第二ホール棟　大梁断面表

A1=1/ 50
A3=1/100

注記）　記入なき限り下記による。
1.腹止筋は図示の本数でSRC D10@800、RC D10@600とする。
2.鉄骨寸法表示はフランジ外法（　　）寸法を示す。

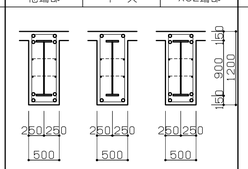
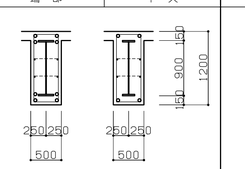
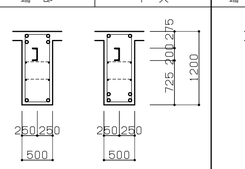
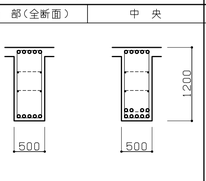
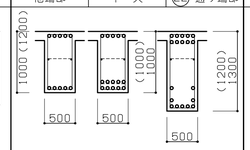
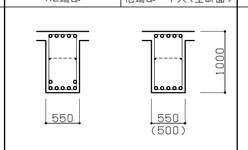
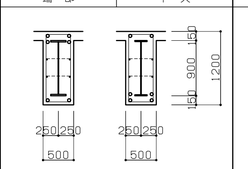
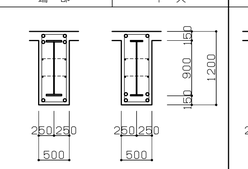
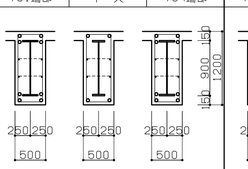
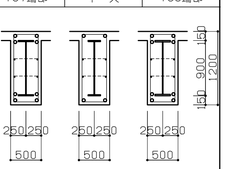
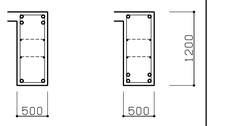
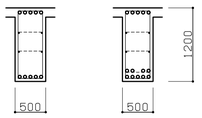
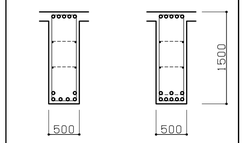
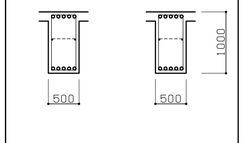
符号	X31(X31A)		X33		X35(X35A)		X37(X37A)		Y31(Y31A)		Y32(Y32A)		Y33	Y34(Y34A)		Y38(Y38A)		Y39(Y39A)	CG31	
位　置	端　部	中　央	端　部	中　央	端　部	中　央	端　部	中　央	端　部	中　央	端　部	中　央	全断面	全断面		端　部	中　央	全断面	基　部	先　端
5階																				
上端筋	4-D19	2-D19	6-D19	4-D19	5-D19	3-D19	5-D19	3-D19	4-D19	2-D19	4-D25	4-D25	3-D19	9-D19		4-D19	2-D19	3-D19	5-D19	3-D19
下端筋	2-D19	4-D19	4-D19	8-D19	3-D19	5-D19	3-D19	5-D19	2-D19	4-D19	4-D25	6-D25	3-D19	9-D19		2-D19	4-D19	3-D19	3-D19	3-D19
あばら筋	□-D10 @200		□-D10 @150		□-D10 @150		□-D10 @150		□-D10 @200		□-D10 @150		□-D10 @200	▥-D13 @200		□-D10 @150		□-D10 @200	□-D10 @200	
腹　筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	10-D19		2-D10		2-D10	2-D10	
備　考					X35AはX35梁の端部断面とする。									（　）内はY34Aを示す。						
位　置	端　部	中　央	端　部	中　央	全断面						端　部	中　央		端　部	中　央	端　部	中　央	全断面		
4階									同上				同上						同上	
上端筋	4-D19	2-D19	6-D19	4-D19	全 35-D19						4-D25	4-D25		4-D19	2-D19	4-D19	2-D19	3-D19		
下端筋	2-D19	4-D19	4-D19	8-D19							4-D25	6-D25		2-D19	4-D19	2-D19	4-D19	3-D19		
あばら筋	□-D10 @200		□-D10 @150		▥-D13 @200						□-D10 @125			□-D10 @200		□-D10 @150		□-D10 @200		
腹　筋	2-D10		4-D10								2-D10			2-D10		2-D10		2-D10		
備　考	（　）内はX31A梁を示す。																			
位　置			端　部	中　央							端　部	中　央	全断面	基部・先端部共		端　部	中　央	全断面		
3階	同上								同上										同上	
上端筋			6-D19	4-D19							4-D25	4-D25	全 22-D25	全 22-D25		6-D19	4-D19	3-D19		
下端筋			4-D19	8-D19							4-D25	6-D25				4-D19	6-D19	3-D19		
あばら筋			□-D10 @150								□-D10@150(2-D10@125)		□-D13 @125	□-D13 @125		□-D10 @200		□-D10 @200		
腹　筋			2-D10								2-D10					2-D10		2-D10		
備　考											（　）内はY32Aを示す。					（　）内はY38Aを示す。				

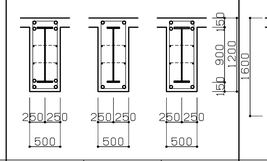
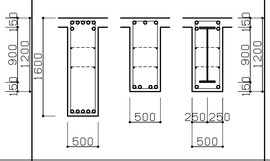
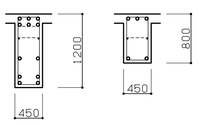
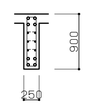
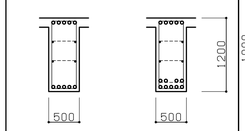
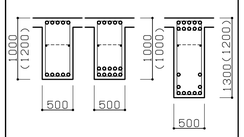
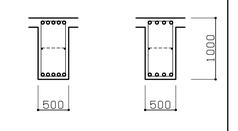
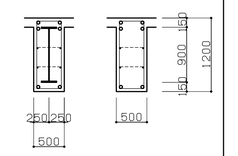
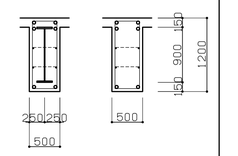
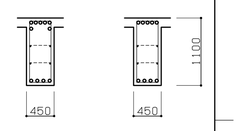
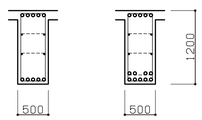
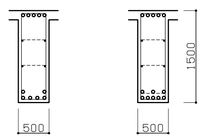
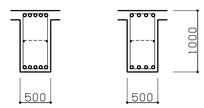
整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事		
S5－20	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第　346221　号 高橋　淳	第二ホール棟　大梁断面表（参考図）	A1:1/ 50 A3:1/100	
		鹿児島市建設局建築部建築課		

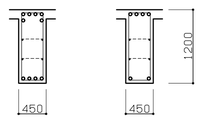
管理棟　大梁断面表

A1=1/ 50
A3=1/100

注記）　記入なき限り下記による。
1.特記なき限り鉄骨の材質はSS41とする。
2.○WH- 印のある鉄骨の材質はSM50Aとする。

符号	X61			X62		X65		X71(X71A)		X72(X72A)			X75(X75A)		Y61		Y62		Y63			Y64		
位置	他端部	中央	X62端部	端部	中央	端部	中央	端部(全断面)	中央	他端部	中央	(22)通り端部	X2端部	他端部・中央(全断面)	端部	中央	端部	中央	Y61端部	中央	Y64端部	Y67端部	中央	Y63端部
4階																								
鉄骨	○WH-900×250×9×22	○WH-900×200×9×22	○WH-900×250×9×22	WH-900×250×9×22	○WH-900×200×9×22	[-200×80×7.5×11									WH-900×250×9×22	WH-900×200×9×16	WH-900×250×9×22	WH-900×200×9×16	WH-900×250×9×22	WH-900×200×9×22	WH-900×250×9×22	WH-900×250×9×16	WH-900×200×9×16	WH-900×250×9×22
上端筋	4-D25	2-D25	4-D25	4-D25	2-D25	4-D25	2-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	10-D25	5-D25	5-D25	4-D25	2-D25	4-D25	2-D25	4-D25	2-D25	4-D25	4-D25	2-D25	4-D25
下端筋	4-D25	2-D25	4-D25	4-D25	2-D25	2-D25	4-D25	5-D25	9-D25	5-D25	10-D25	7-D25	7-D25	5-D25	2-D25	4-D25	2-D25	4-D25	4-D25	2-D25	4-D25	4-D25	2-D25	4-D25
あばら筋	□-D10 @200			□-D10 @200		□-D10 @150		□-D13 @100	□-D13 @200	□-D13 @200			□-D10 @125		□-D10 @200		□-D10 @200		□-D10 @200			□-D10 @200		
腹筋	4-D10			4-D10		4-D10		4-D10		2-D10			2-D10		4-D10		4-D10		4-D10			4-D10		
備考								( )内はX71A梁を示す。		ハンチ長さℓ=1500,( )内はX72A梁を示す。			( )内はX75A梁を示す。											
位置						端部	中央	端部(全断面)	中央	端部	中央		X2端部	他端部・中央(全断面)										
3階																								
鉄骨																								
上端筋						4-D25	2-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25		5-D25	5-D25										
下端筋						2-D25	4-D25	5-D25	9-D25	6-D25	8-D25		5-D25	5-D25										
あばら筋						□-D10 @150		□-D13 @100	□-D13 @200	□-D13 @200			□-D10 @125											
腹筋						4-D10		4-D10		4-D10			2-D10											
備考								( )内はX71A梁を示す。					( )内はX75A梁を示す。											

符号	Y65			Y66			Y69(Y69A)		Y70	Y72(Y72A)		Y73(Y73A)			Y76(Y76A)		CG61		CG62		CG63	
位置	他端部	中央	Y61端部	他端部	中央	Y61端部	CG63端部	他端部・中央	全断面	端部(全断面)	中央	他端部	中央	(T)通り端部	Y32端部	他端部・中央	基部	先端	基部	先端	基部	先端
4階																						
鉄骨	WH-900×250×9×19	WH-900×200×9×19	WH-900×250×9×22	WH-900×250×9×22													WH-900×250×9×19		WH-900×250×9×22			
上端筋	4-D25	2-D25	4-D25	7-D25	3-D25	4-D25	6-D25	3-D25	4-D19	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	10-D25	5-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	7-D25	5-D25
下端筋	4-D25	2-D25	2-D25	5-D25	4-D25	2-D25	4-D25	2-D25	4-D19	5-D25	9-D25	5-D25	10-D25	7-D25	5-D25	4-D25	2-D25	2-D25	2-D25	2-D25	4-D25	4-D25
あばら筋	□-D10 @200			□-D10 @125			□-D10 @150		□-D10 @100	□-D13 @100	□-D13 @200	□-D13 @200			□-D10 @125		□-D10 @125		□-D10 @125		□-D10 @125	
腹筋	4-D10			4-D10			2-D10		6-D13	4-D10		2-D10			2-D10		4-D10		4-D10		4-D10	
備考				ハンチ長さℓ=1500			ハンチ長さℓ=1450(鉄筋トップ筋位置ℓ=1000とする。)			( )内は72A梁を示す。		ハンチ長さℓ=1500,( )内は73A梁を示す。			Y76A梁はY76梁の中央断面とする。							
位置							全断面			端部(全断面)	中央	端部	中央		Y32端部	他端部・中央						
3階									同上												同上	
鉄骨																						
上端筋							3-D19			5-D25	5-D25	5-D25	5-D25		5-D25	4-D25						
下端筋							3-D19			5-D25	9-D25	6-D25	8-D25		5-D25	4-D25						
あばら筋							□-D10 @200			□-D13 @100	□-D13 @200	□-D13 @200			□-D10 @125							
腹筋							2-D10			4-D10		4-D10			2-D10							
備考										( )内は72A梁を示す。					Y76A梁はY76梁の中央断面とする。							

符号	CG65	
位置	基部	先端
4階		
上端筋	6-D25	4-D25
下端筋	4-D25	2-D25
あばら筋	□-D10 @125	
腹筋	4-D10	
備考		

整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S5－21	一級建築士事務所　東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第 346221 号 高橋　淳	管理棟 大梁断面表（参考図）	A1:1/ 50 A3:1/100
		鹿児島市建設局建築部建築課	

小梁断面表

A1=1/ 50
A3=1/100

注記） 記入なき限り下記による。
1. 特記なき限り鉄骨の材質はSS41とする。
2. ○WH- 印のある鉄骨の材質はSM50Aとする。

符号	B1		B2		B3	B4(B4A)		B5		B6		B7(B7A)	B8		B9	B10(B10A)	
位置	端部	中央	端部	中央	全断面	端部	中央	端部	中央	端部	中央	全断面	端部	中央	全断面	端部	中央
断面	300	300 500	300	300 500	300 500	300	300 600	350	350 650	350	350 700	350 (500) 700	250	250 700	250 700	350	350 800 (750)
上端筋	5-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	4-D19	4-D19	4-D19	4-D19	4-D19	4-D19	2-D19	4-D19	3-D22	3-D22
下端筋	3-D19	5-D19	3-D19	5-D19	3-D19	3-D19	5-D19	4-D19	6-D19	4-D19	6-D19	4-D19	2-D19	4-D19	2-D19	3-D22	5-D22
あばら筋	□-D10 @200		□-D10 @200		□-D10 @200	□-D10 @200		□-D10 @200		□-D10 @200		□-D10 @200	□-D10 @250		□-D10 @250	□-D10 @200	
腹筋	——		——		——	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	2-D10		2-D10	2-D10	
備考						B4A梁はB4梁の端部断面とする。						(　)内はB7A梁を示す。				(　)内はB10A梁を示す。	

符号	B11	B12(B12A)		B13		B14(B14A)		B15		B16		B17		B18		B19		B20(B20A)
位置	全断面	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	全断面
断面	350 800	400	400 800	400	400 850	450	450 900 (800)	500	500 900	550	550 900	500	500 1000	550	550 1000	400	400 1000	400 (500) 1000
上端筋	3-D22	5-D19	5-D19	4-D22	4-D22	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	6-D25	6-D25	4-D25	4-D25	4-D25(5-D25)
下端筋	3-D22	5-D19	8-D19	4-D22	6-D22	4-D25	6-D25	5-D25	8-D25	5-D25	9-D25	7-D25	10-D25	6-D25	10-D25	4-D25	6-D25	4-D25(5-D25)
あばら筋	□-D10 @200	□-D10 @150		□-D10 @150		□-D10 @125	□-D10 @150	□-D10 @125		□-D10 @125		□-D13 @125	□-D13 @250	□-D13 @100	□-D13 @200	□-D10 @175		□-D10 @175
腹筋	2-D10	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10
備考		B12A梁はB12梁の端部断面とする。				(　)内はB14A梁を示す。												(　)内はB20A梁を示す。

符号	B21		B22		B23		B24	B25		B26		B27		B28(B28A)		B29	B30	
位置	端部	中央	CB2端部	他端部・中央	CB3端部	他端部・中央	全断面	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	全断面	端部	中央
断面	500	500 1200	400	400 1100 800	500	500 1200 850	250 250 500 150 700 150 1000	250 250 500	250 250 500 150 600 150 900	250 250 500	250 250 500 150 900 150 1200	400	400 500	500	500 1000 (900)	450 1000	500	500 500
鉄骨							WH -700×200× 9×16	WH -600×250× 9×22		WH -900×200× 9×16								
上端筋	5-D25	5-D25	6-D25	4-D25	10-D25	5-D25	2-D25	2-D25	2-D25	2-D25	2-D25	3-D19	3-D19	5-D25	5-D25	3-D25	6-D19	6-D19
下端筋	5-D25	9-D25	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	2-D25	2-D25	6-D25	2-D25	4-D25	5-D19	7-D19	5-D25	7-D25(8-D25)	3-D25	6-D19	8-D19
あばら筋	□-D10 @125		□-D10 @175		□-D10 @125		□-D10 @200	□-D10 @200		□-D10 @200		□-D10 @200		□-D13 @125	□-D13 @250	□-D13 @125	ⅢⅢ-D10 @100	ⅢⅢ-D10 @200
腹筋	4-D10		2-D10		2-D10		2-D10	2-D10		4-D10				2-D10		6-D13		
備考			ハンチ長さ，ℓ=1200		ハンチ長さ，ℓ=1500									(　)内はB28Aを示す。				

符号	B31	B32		B33	B34		B50A					スラブリブ	5階スラブリブ
位置	全断面	CG65端部	中央，他端		CB1梁端部	他端	端部	中央				全断面	全断面
断面	200 600	450 1200	450 800		400	400 800	500	500 500				300 400	400 800
上端筋	4-D19	6-D25	4-D25		4-D25	2-D25	4-D19	4-D19				3-D19	4-D19
下端筋	4-D19	4-D25	2-D25		2-D25	2-D25	5-D19	7-D19				3-D19	4-D19
あばら筋	□-D10 @200	□-D10 @150			□-D10 @175		□-D10 @125					□-D10 @200	□-D10 @200
腹筋	4-D13	2-D10			2-D10		2-D10						
備考		ハンチ長さ，ℓ=1500											

符号	CB1		CB2		CB3		CB4
位置	基部	先部	基部	先部	基部	先部	基部・先端共
断面	400	400 800	400	400 1100	500	500 1150	350 600
上端筋	4-D25	2-D25	6-D25	4-D25	10-D25	5-D25	6-D19
下端筋	2-D25	2-D25	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	4-D19
あばら筋	□-D10 @175		□-D10 @175		□-D10 @125		□-D10 @200
腹筋	2-D10		4-D10		4-D10		2-D10
備考	鉄筋トップ筋位置はℓ=2000とする。		鉄筋トップ筋位置はℓ=2500とする。		鉄筋トップ筋位置はℓ=2500とする。		

整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事
S5－22	一級建築士事務所　東京都知事登録　第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士　第　346221　号 高橋　淳	小梁断面表（参考図）　A1:1/ 50　A3:1/100
		鹿児島市建設局建築部建築課

床スラブ、壁断面表

注記） 記入なき限り下記による。

符号	スラブ厚 端部	スラブ厚 中央	ハンチ長さ	位置	短辺方向配筋（主力筋） A部 端部	短辺方向配筋（主力筋） A部 中央	短辺方向配筋（主力筋） B部 端中共	長辺方向配筋（配力筋） A部 端部	長辺方向配筋（配力筋） A部 中央	長辺方向配筋（配力筋） B部 端中共	備考
S1	150	150		上端筋	D10, D13 @200	D10 @400	D10 @200	D10 @200	D10 @400	D10 @200	
				下端筋	D10 @400	D10, D13 @200	D10 @200	D10 @400	D10 @200	D10 @200	
S2A S2	(200) 150	(200) 150		上端筋	D10, D13 @200	D10, D13 @200	D10, D13 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	
				下端筋	D10, D13 @200	D10, D13 @200	D10, D13 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	
S3A S3	(200) 150	(200) 150		上端筋	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	
				下端筋	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	
S4	150	150		上端筋	D10 @150	D10 @150	D10 @150	D10 @150	D10 @150	D10 @150	
				下端筋	D10 @150	D10 @150	D10 @150	D10 @150	D10 @150	D10 @150	
S5A S5	(200) 150	(200) 150		上端筋	D10 @200	D10 @400	D10 @200	D10 @200	D10 @400	D10 @200	
				下端筋	D10 @400	D10 @200	D10 @300	D10 @400	D10 @200	D10 @300	
S6	150	150		上端筋	D10, D13 @200	D10 @400	D10 @200	D10, D13 @200	D10 @400	D10 @200	
				下端筋	D10 @400	D10, D13 @200	D10 @200	D10 @400	D10, D13 @200	D10 @200	
S7	150	150		上端筋	D13 @150	D13 @150	D13 @150	D10 @150	D10 @150	D10 @150	
				下端筋	D13 @150	D13 @150	D13 @150	D10 @150	D10 @150	D10 @150	
S8	250	250		上端筋	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	
				下端筋	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	
S9	200	200		上端筋	D13, D16 @100	D13, D16 @100	D13, D16 @100	D13, D16 @100	D13, D16 @100	D13, D16 @100	
				下端筋	D13, D16 @100	D13, D16 @100	D13, D16 @100	D13, D16 @100	D13, D16 @100	D13, D16 @100	
S10	250	250		上端筋	D13 @100	D13 @100	D13 @100	D13 @100	D13 @100	D13 @100	
				下端筋	D13 @100	D13 @100	D13 @100	D13 @100	D13 @100	D13 @100	
S11	200	200		上端筋	D13 @100	D13 @100	D13 @100	D13 @100	D13 @100	D13 @100	
				下端筋	D13 @100	D13 @100	D13 @100	D13 @100	D13 @100	D13 @100	
S12A S12	(150) 180	(150) 180		上端筋	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	
				下端筋	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	
S13	500	500		上端筋	D19, D22 @150	D19, D22 @150	D19, D22 @150	D19, D22 @150	D19, D22 @150	D19, D22 @150	
				下端筋	D19, D22 @150	D19, D22 @150	D19, D22 @150	D19, D22 @150	D19, D22 @150	D19, D22 @150	
				上端筋							
				下端筋							
				上端筋							
				下端筋							
土間コンクリート	150	150		——	D10 @250 シングル	D10 @250 シングル	D10 @250 シングル	D10 @250 シングル	D10 @250 シングル	D10 @250 シングル	

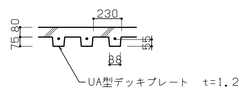
符号	スラブ厚 端部	スラブ厚 中央	ハンチ長さ	位置	短辺方向配筋 A部 端部	短辺方向配筋 A部 中央	短辺方向配筋 B部 端中共	長辺方向配筋 A部 端部	長辺方向配筋 A部 中央	長辺方向配筋 B部 端中共	備考
FS1	200	200		上端筋	D13 @300	D13 @150	D13 @200	D13 @400	D13 @200	D13 @200	
				下端筋	D13 @150	D13 @300	D13 @200	D13 @200	D13 @400	D13 @200	
FS2	200	200		上端筋	D10, D13 @200	D13 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @400	D10 @300	
				下端筋	D13 @200	D10, D13 @200	D10 @200	D10 @400	D10 @200	D10 @300	
FS3	600	600		上端筋	D13 @400	D13 @200	D13 @300	D13 @400	D13 @200	D13 @200	
				下端筋	D13 @200	D13 @400	D13 @300	D13 @200	D13 @400	D13 @200	
FS4	250	250		上端筋	D13 @400	D13 @200	D13 @300	D13 @400	D13 @200	D13 @300	
				下端筋	D13 @200	D13 @400	D13 @300	D13 @200	D13 @400	D13 @300	
FS5	250	250		上端筋	D13 @400	D13 @200	D13 @300	D13 @600	D13 @300	D13 @300	
				下端筋	D13 @200	D13 @400	D13 @300	D13 @300	D13 @600	D13 @300	
FS6	850	850		上端筋	D16 @150	D16 @150	D16 @150	D16 @200	D16 @200	D16 @200	
				下端筋	D16 @300	D16 @300	D16 @300	D16 @200	D16 @200	D16 @200	
FS7	600	600		上端筋	D13, D16 @200	D13, D16 @200	D13, D16 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	
				下端筋	D13, D16 @200	D13, D16 @200	D13, D16 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	
FS8	300	300		上端筋	D16 @200	D16 @200	D16 @200	D13 @300	D13 @300	D13 @300	
				下端筋	D16 @200	D16 @200	D16 @200	D13 @300	D13 @300	D13 @300	
FS9	300	300		上端筋	D16 @400	D13, D16 @200	D13 @200	D13 @600	D13 @300	D13 @300	
				下端筋	D13, D16 @200	D16 @400	D13 @200	D13 @300	D13 @600	D13 @300	
FS10	300	300		上端筋	D13 @400	D13 @200	D13 @300	D13 @600	D13 @300	D13 @300	
				下端筋	D13 @200	D13 @400	D13 @300	D13 @300	D13 @600	D13 @300	
FS11	200	200		上端筋	D13 @150	D13 @150	D13 @150	D13 @200	D13 @200	D13 @200	
				下端筋	D13 @150	D13 @150	D13 @150	D13 @200	D13 @200	D13 @200	
FS12	200	200		上端筋	D10, D13 @200	D10, D13 @200	D10, D13 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	
				下端筋	D10, D13 @200	D10, D13 @200	D10, D13 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	
FS13	600	600		上端筋	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	
				下端筋	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	
FS14	250	250		上端筋	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	
				下端筋	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	
FS15	250	250		上端筋	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @300	D13 @300	D13 @300	
				下端筋	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @300	D13 @300	D13 @300	
FS16	300	300		上端筋	D13, D16 @200	D13, D16 @200	D13, D16 @200	D13 @300	D13 @200	D13 @300	
				下端筋	D13, D16 @200	D13, D16 @200	D13, D16 @200	D13 @300	D13 @200	D13 @300	
FS17	300	300		上端筋	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @300	D13 @300	D13 @300	
				下端筋	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @300	D13 @300	D13 @300	
				上端筋							
				下端筋							
				上端筋							
				下端筋							
				上端筋							
				下端筋							
				上端筋							
				下端筋							

片持ち床スラブ断面表

注記） 記入なき限り下記による。

符号	基端	先端	ハンチ長さ	位置	主筋 元端部	主筋 先端部	配力筋 全断面	備考
CS1	350	180	全長	上端筋	D10, D13 @100	D10, D13 @100	D10 @200	1000 CS1
				下端筋	D13 @200	D13 @200	D10 @200	
CS2	180	150	全長	上端筋	D13 @200	D13 @200	D10 @200	
				下端筋	D10 @200	D10 @200	D10 @200	
				上端筋				
				下端筋				
				上端筋				
				下端筋				
DS1				上端筋				
				下端筋				
DS2				上端筋				
				下端筋				
				上端筋				
				下端筋				
				上端筋				
				下端筋				

DS1



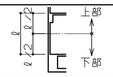
DS2

壁断面表

注記） 記入なき限り下記による。

符号	厚さ	壁配筋 たて筋	壁配筋 よこ筋	開口補強筋 L,H ≦ 1000 たて,よこ筋	開口補強筋 L,H ≦ 1000 ななめ筋	開口補強筋 L,H > 1000 たて,よこ筋	開口補強筋 L,H > 1000 ななめ筋	備考
W10 W12	100 120	D10 @200 シングル	D10 @200 シングル	1-D13	1-D10	1-D13	1-D10	5本毎にD10をD13にする。
W15	150	D10 @200 ダブル	D10 @200 ダブル	1-D13	1-D10	2-D13	1-D10	5本毎にD10をD13にする。 千鳥配筋とする。
W18 W20	180 200	D10, D13 @200 ダブル	D10, D13 @200 ダブル	2-D16	2-D13	4-D13	2-D16	
W25	250	D13 @200 ダブル	D13 @200 ダブル	2-D19	2-D16	4-D16	2-D16	
W30 W35	300 350	D13, D16 @200 ダブル	D13, D16 @200 ダブル	2-D22	2-D16	4-D19	2-D19	
W40	400	D16 @200 ダブル	D16 @200 ダブル	4-D19	2-D19	4-D22	2-D22	
W45	450	D16, D19 @200 ダブル	D16, D19 @200 ダブル	4-D19	2-D19	4-D25	2-D25	
W18A	180	D13 @200	D10, D13 @200					

符号	厚さ	位置	たて方向配筋 上端筋	たて方向配筋 中央	たて方向配筋 下端筋	よこ方向配筋 端部	よこ方向配筋 中央	備考
FW25	250	外側	D16 @300	D16 @300	D16 @150	D13 @200	D13 @200	
		内側	D16 @300	D16 @300	D16 @300	D13 @200	D13 @200	
FW35	350	外側	D16 @200	D16 @200	D19 @200	D16 @200	D13 @200	
		内側	D16 @200	D16 @200	D16 @200	D16 @200	D13 @200	
FW45	450	外側	D19 @300	D19 @300	D22 @150	D16 @200	D16 @200	
		内側	D16 @200	D19 @200	D19 @200	D16 @200	D16 @200	
FW45A	450	外側	D16 @300	D16 @300	D16 @150	D16 @200	D16 @200	
		内側	D16 @300	D16 @200	D16 @200	D16 @200	D16 @200	
FW50	500	外側	D16 @200	D16 @200	D19 @200	D220300(D190300)	D220150(D190150)	
		内側	D16 @200	D16 @200	D16 @200	D190200(D160200)	D190200(D160200)	
FW55	550	外側	D16 @200	D16 @200	D19 @200	D220300(D190300)	D220150(D190150)	
		内側	D16 @200	D16 @200	D16 @200	D190200(D160200)	D190200(D160200)	
FW60	600	外側	D19 @250	D19 @250	D22 @125	D16 @200	D16 @200	
		内側	D16 @150	D19 @150	D19 @150	D16 @200	D16 @200	
FW65	650	外側	D19 @250	D19 @250	D22 @125	D16 @200	D16 @200	
		内側	D16 @150	D19 @150	D19 @150	D16 @200	D16 @200	



（ ）内は上部よこ配筋を示す。

整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事
S5－23	一級建築士事務所 東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 高橋 淳	床スラブ、壁断面表（参考図） A1:1/ 50 A3:1/100
		鹿児島市建設局建築部建築課

鉄骨詳細図－4

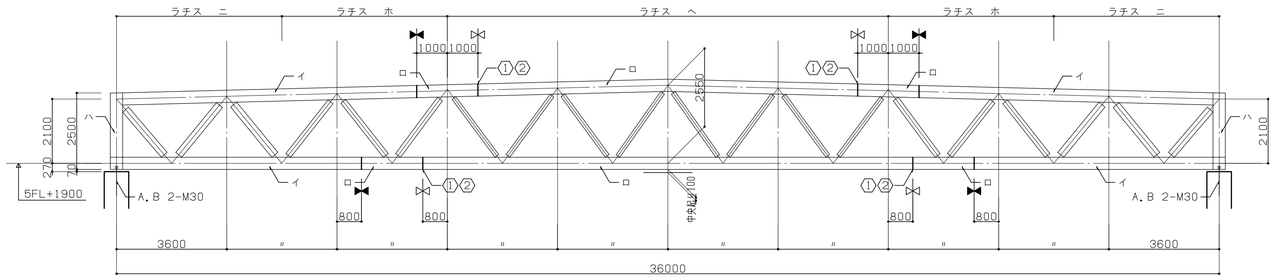
A1=1/100
A3=1/200

注記） 記入なき限り下記による 。

T1

A1=1/100
A3=1/200

注）⋈ 印は現場継手位置を示す 。⋈ 印は板厚変化位置を示す 。

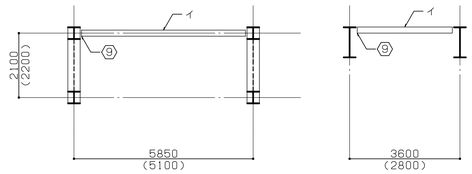


符 号	部 材	G.PL	H.T.B.
イ	WH -400×400×16×19		
ロ	WH -412×400×22×25		
ハ	WH -350×400×16×19		
ニ	2CT -170×250× 9×14	PL-19	14-M20
ホ	2CT -147×200× 8×12	PL-16	10-M20
ヘ	2CT - 97×150× 6× 9	PL-16	6-M20

st4 st34

A1=1/100
A3=1/200

注）・( )内寸法はst34を示す 。

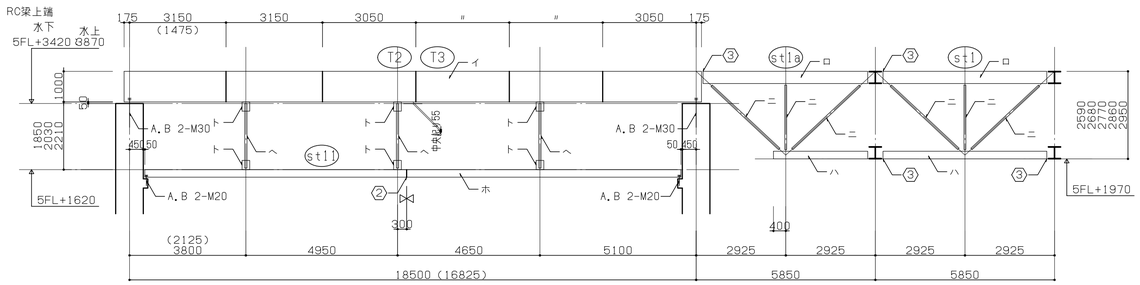


イ・・・・・[-200×70×7

T2 T3 st1 st1a st11

A1=1/100
A3=1/200

注）・ぶどう棚 吊材(ヘ,ト)はT2トラスのみ取付 。
・( )内寸法は ⓪,Ⓣ 通りトラスを示す 。

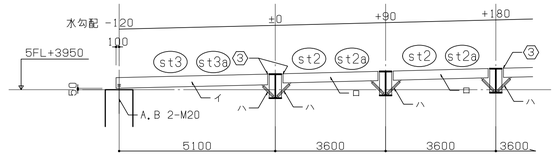


梁符号	符 号	部 材	G.PL	H.T.B.
T2	イ	WH -1000×400×16×22/28		
T3	イ	WH -1000×400× 9×16/22		
st1 st1a	ロ	H -400×200× 8×13		
	ハ	LH -250×150×4.5× 6		
	ニ	2L - 65× 65× 6	PL-9	2-M20
st11	ホ	H -244×175× 7×11		
	ヘ	2L - 75× 75× 6		3-M20
	ト	H -175×175×7.5×11		

st2 st2a st3 st3a

A1=1/100
A3=1/200

注）・部材 ハ はst2a,st3aにのみ取付 。

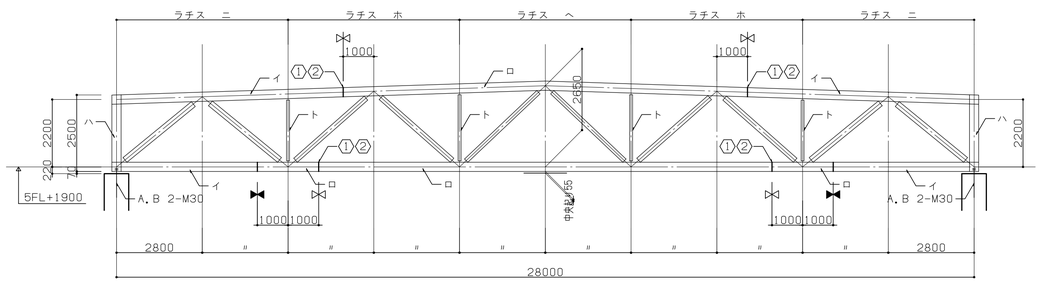


梁符号	符 号	部 材	G.PL	H.T.B.
st3 st3a	イ	H -346×174× 6× 9		
	ハ	2L - 65× 65× 6	PL-9	2-M20
st2 st2a	ロ	H -300×150×6.5×9		
	ハ	2L - 65× 65× 6	PL-9	2-M20

T31

A1=1/100
A3=1/200

注）⋈ 印は現場継手位置を示す 。⋈ 印は板厚変化位置を示す 。

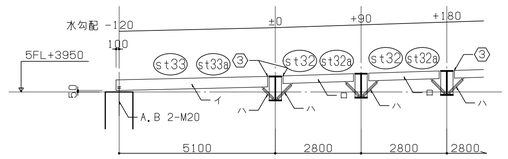


符 号	部 材	G.PL	H.T.B.
イ	WH -300×300×12×16		
ロ	WH -306×300×16×19		
ハ	WH -350×300×12×16		
ニ	2CT -147×200× 8×12	PL-16	10-M20
ホ	2CT -122×175× 7×11	PL-16	8-M20
ヘ	2CT - 97×150× 6× 9	PL-16	6-M20
ト	2CT - 97×150× 6× 9	PL-12	4-M20

st33 st33a st32 st32a

A1=1/100
A3=1/200

注）・部材 ハ はst33a,st32aにのみ取付 。

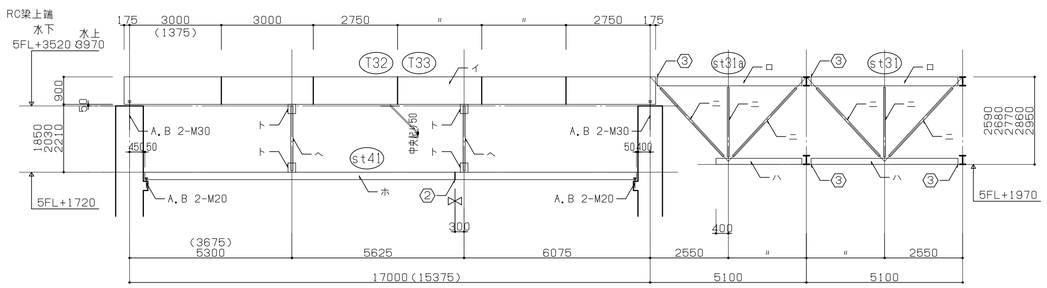


梁符号	符 号	部 材	G.PL	H.T.B.
st33 st33a	イ	H -346×174× 6× 9		
	ハ	2L - 65× 65× 6	PL-9	2-M20
st32 st32a	ロ	H -250×125× 6× 9		
	ハ	2L - 65× 65× 6	PL-9	2-M20

T32 T33 st31 st31a st41

A1=1/100
A3=1/200

注）・ぶどう棚 吊材(ヘ,ト)はT32トラスのみ取付 。
・( )内寸法は ⑰,㉒ 通りトラスを示す 。



梁符号	符 号	部 材	G.PL	H.T.B.
T32	イ	WH -900×300×12×22/28		
T33	イ	WH -900×300× 9×16/22		
st31 st31a	ロ	H -294×200× 8×12		
	ハ	LH -200×100×3.2× 6		
	ニ	2L - 65× 65× 6	PL-9	2-M20
st41	ホ	H -244×175× 7×11		
	ヘ	2L - 75× 75× 6		3-M20
	ト	H -175×175×7.5×11		

注記） 1. 特記なき限り鋼材の材質はすべてSS41とする 。
2. ⬡ 内数字は現場継手リストのタイプ(別紙継手リスト参照)を示す 。
3. アンカーボルト(A,B)の長さは下記による 。
M30 L=700 ┤コンクリート定着長さを示す
M20 L=300 ┤

4. ⋈ 印の板厚変化位置は下記の要領とする 。

整理番号		
S5－24	一級建築士事務所 東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 高橋 淳	鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事 鉄骨詳細図－4（参考図） A1:1/100 A3:1/200 鹿児島市建設局建築部建築課

鉄骨詳細図－5

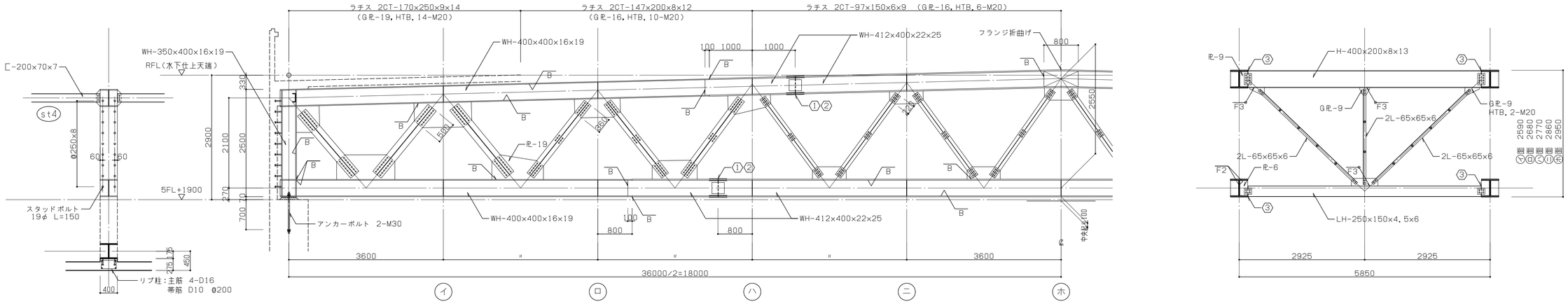
A1=1/ 50
A3=1/100

注記） 記入なき限り下記による。

T1 st1 トラス詳細図

A1=1/ 50
A3=1/100

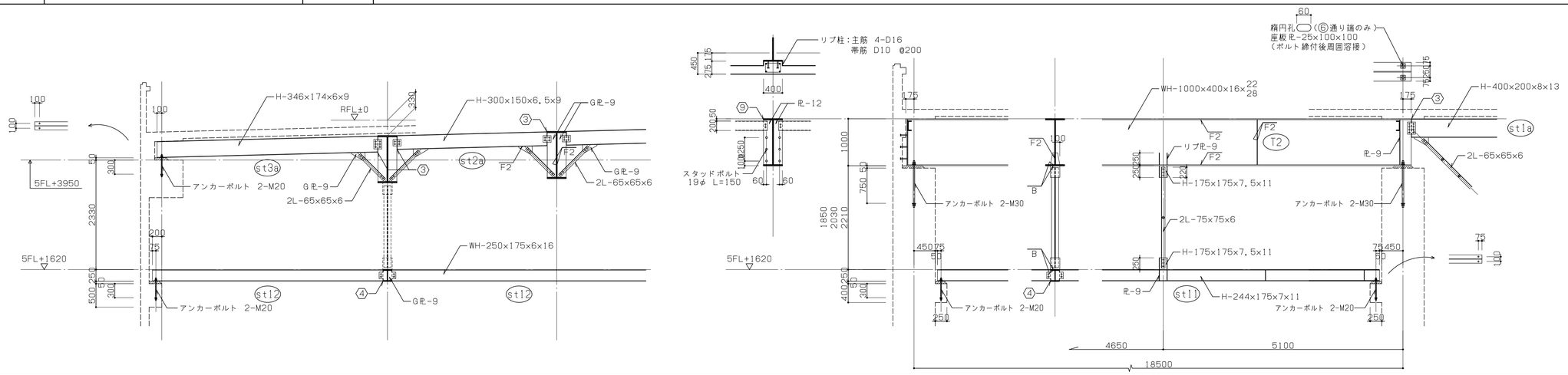
注）・st31，st31aの詳細は下図にならう。



T2 st1a st2a st3a st11 st12 梁詳細図

A1=1/ 50
A3=1/100

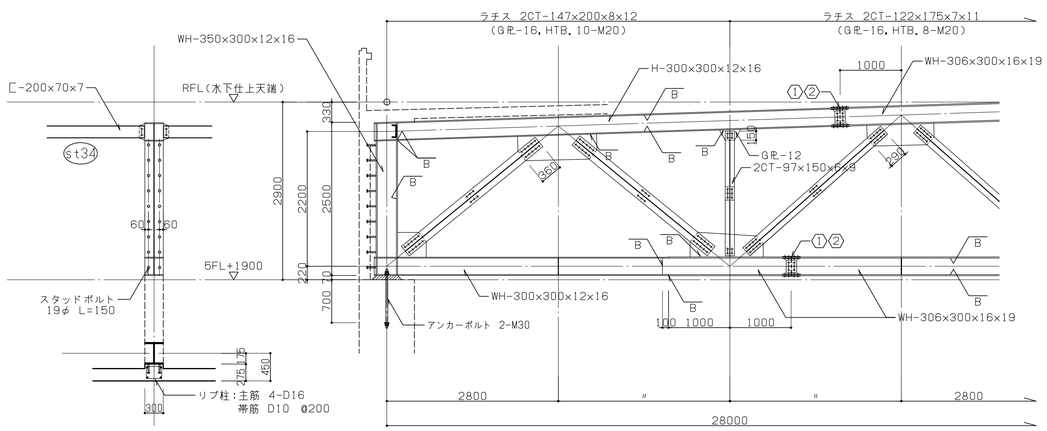
注）・第二ホール各部詳細も下図にならう。



T31 トラス詳細図

A1=1/ 50
A3=1/100

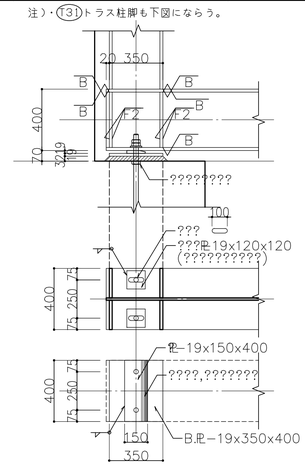
注）・特記なき限り詳細はT1トラスにならう。



T1 トラス柱脚詳細図

A1=1/20
A3=1/40

注）・T31トラス柱脚も下図にならう。



整理番号		鹿児島市民文化ホール特定天井改修本体工事	
S5－25	一級建築士事務所 東京都知事登録 第1047号 株式会社日建設計一級建築士事務所 一級建築士 第 346221 号 髙橋 洋	鉄骨詳細図－5（参考図）	A1:1/ 50 A3:1/100
		鹿児島市建設局建築部建築課	